

言語対応:



tiger

Tigermeeting

管理者ユーザーマニュアル

バージョン 3.5.0

内容

内容	2
翻訳免責事項	13
ネットワーク要件概要	14
はじめに	16
主な特徴	16
TigerMeeting 製品	18
タイガーミーティング予約画面	18
タイガーミーティング概要画面	19
Tigermeeting 管理アプリ	19
管理者アプリの目的は何ですか?	21
どうやって始めればいい?どこから始めればいい?	22
Tigermeeting Admin インストール	25
Windows に Tigermeeting 管理者をインストールする	25
指導ビデオ:	28
Linux での Tigermeeting 管理者のインストール	29
RPM パッケージ	29
DEB パッケージ	29
ApplImage ファイル	29
BSD バリエントに Tigermeeting 管理者をインストールする方法	30
Tigermeeting 管理アプリケーションの MacOS インストール	31
指導ビデオ:	32
ユーザーログイン	33
ユーザー登録	34
メニュー構成	35
ネットワーク	36
予約機器のプロパティ:部屋の接続前	39

予約機器の特性:部屋の取り付け後.....	40
基本特性.....	40
物件の予約.....	42
高度な性質.....	45
概要画面のプロパティ.....	47
一般的性質.....	47
部屋の特徴.....	49
概要画面ページ.....	50
概要マップモード.....	50
Tigermeeting 管理アプリから Android APK をダウンロードしてください.....	51
舞台設定.....	53
ライセンスタブ.....	53
カレンダータブ.....	55
部屋タブ.....	58
管理者ユーザータブ.....	61
アナリティクスタブ.....	63
分析.....	65
管理者ログ.....	69
ウィザード.....	70
概要.....	70
ライセンス.....	71
カレンダー.....	72
部屋.....	73
実用的なユースケース.....	74
管理者アプリケーションをインストールしてください.....	74
装置を起動してください.....	74
管理者アプリケーションを起動します.....	74
管理者アプリケーションでウィザードを実行する.....	74

Microsoft365 カレンダーの設定	75
Microsoft365 管理パネル -> ルームリソースを作成	76
Windows PowerShell を使った RoomList 設定	78
Microsoft 365 ヘルパースクリプトを用いた RoomList の設定	79
Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行	81
手動構成.....	81
Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください.....	81
指導ビデオ:.....	82
Exchange カレンダーの設定	83
Exchange 管理パネル.....	83
Exchange Management Shell を通じた設定.....	85
Microsoft ヘルパースクリプトによる設定	85
Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行	86
手動構成.....	86
Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください.....	86
重要な注意事項	88
Microsoft365 helper script	92
はじめに	92
ダウンロードとインストール	92
異なるオペレーティングシステムでの PowerShell インストール.....	92
MacOS PowerShell インストール	93
Ubuntu PowerShell インストール	93
OpenSuSE のインストール	93
フェド라의設置.....	93
Windows PowerShell	93
部屋の資源を準備しろ.....	93
スクリプトの実行(例).....	94
重要な使用注意事項	96

一般的なユースケース	96
重要な注意事項	99
PowerShell の問題のトラブルシューティング	100
Google Workspace の設定	101
部屋の構成	101
管理者アプリでカレンダーを添付する方法	104
部屋資源のインポート/再インポート	105
カレンダーの切り離し	105
重要な注意事項	106
指導ビデオ	106
Google カレンダーの設定	106
認証	106
既存の部屋を再インポート	108
新しい部屋を作成する	109
iCalendar カレンダーの設定	111
統合 – ICS を通じたスケジュールの公開	114
概要	114
対応プラットフォームと構成	115
URL が暴露した ICS と Webcal リンクの混乱	119
トラブルシューティングとベストプラクティス	120
Webcal カレンダーの設定	121
Webcal および iCalendar(.ics)フィードの設定	121
歴史と標準:iCalendar と Webcal の違い	121
構成ステップ	122
CalDAV カレンダーの設定	122
仕様および RFC 規格	123
アーキテクチャワークフロー	123
CalDAV カレンダーの添付	123

Zextras Carbonio および Carbonio CE の設定	127
a) サービスアカウント経由	127
b) リソース認証パスワードを設定してください	129
OX カレンダーの設定	131
ラークとフェイスユの設定 飛書	132
ルームリソースの作成	132
管理者ユーザーをルームリソースに購読してください	135
管理者ユーザー権限およびルーム管理者権限	137
タイガーミーティング ラーク/フェイスユアプリ	138
管理者アプリでカレンダーを添付する方法	139
Odoo ERP カレンダーの設定	142
Odoo での会議室リソースの作成	142
管理アプリケーションでの Odoo の設定	143
TigerMeeting へのルームインポート	144
Zoho ワークスペースの設定	145
Create Zoho API application	146
Zoho アカウントの連携	147
カレンダーと会議室のインポート	149
日々の同期の仕組み	150
ヤンデックス 360 カレンダー	151
要件	151
Yandex 360 を準備してください	152
Yandex OAuth アプリケーションを作成する	153
管理者アプリで接続	154
ルームのインポートと同期	155
仕組み	156
制限と機能の現状	157
メンテナンス	158

一般的な暦機能	159
複数の入口を持つ部屋.....	159
部屋の「表示名」.....	160
編集可能で説明的な「部屋情報」.....	160
環境選択	160
専用画面のサポート	161
LED バックライトの色.....	161
LED 輝度	162
LED ライトの位置.....	162
LEAD ON インターバル.....	163
画面オン間隔	164
周囲の温度と湿度.....	164
天候情報	165
ルームサービスの構成.....	167
メール送信.....	168
QR コードウェブフック.....	169
NFC	170
TigerMeeting による NFC 認証の実装	170
NFC の使用	170
NFC 検証サービス.....	171
Active Directory/LDAP 統合の手順.....	171
CSV ファイル統合の手順.....	173
API REST 統合の手順.....	173
GPIO 制御	175
GPIO とは何ですか?	175
GPIO のユースケース.....	175
GPIO ピン/ポート.....	175
ドアロックおよびアクセスコントロールシステム.....	176

センサーおよび IoT デバイスの構成	177
Tigermeeting センサー統合アーキテクチャ.....	177
対応センサーの種類	177
REST 対応 IoT デバイス向けのモジュラーアーキテクチャ.....	177
主要なアーキテクチャ原則	177
新しいセンサーのサポート追加	178
シュタイネル	180
マイルサイト	180
フィリップス・ヒュー	181
トウヤ	181
セットアップの確認	182
テーマ構成.....	184
テーマ背景画像の構成.....	184
各デバイスごとのテーマ設定.....	185
テーマの肖像と風景の方向性	186
ファイルストアの機能.....	188
概要地図.....	189
マップモード	189
マップキャンバスと画像資産の管理	189
キャンバスとベクター描画ツールバーの編集.....	190
ベクター形状をカレンダーにマッピングする.....	191
マップを概要画面に割り当てる.....	192
デバイス変更 - 交換	192
ネットワークからデバイスを削除してください.....	193
デバイスを別のネットワークセグメントに移動させる	194
異なるネットワークセグメントとの連携.....	195
やってはいけないこと.....	196
やって	196

ソフトウェアおよびファームウェアのアップグレード	196
ソフトウェアアップグレード	196
ファームウェアのアップグレード	197
トラブルシューティング	199
管理者ログをダウンロード	199
デバイスログをダウンロード	199
デバイス UID(ユニット識別)	200
デバイス情報を見る	201
タイガーミーティングルームのパラメータ	201
メンテナンスモード	202
出口申請	204
ポスト指揮部	205
ハードウェア指標	206
デバイス発見の問題	207
ネットワーク再起動	209
免許証の欠落	210
同じデバイスが異なる識別で複数回	211
インテグレーターやディストリビューターの方へ:画面をある組織から別の組織へ 移行するにはどうすればよいですか?	213
会社のロゴ、背景画像、ブランディング	213
Microsoft / Google / Lark の認証トークンが期限切れ	215
デバイスの時間は正しいのでしょうか?	216
ビデオプレーヤーが起動しません	217
横向きモードのポートレートテーマ	218
デュアルスクリーンデバイス	218
ハードウェア固有の設定	219
ProDVX トークン	219
ロックチップシリアルデバイス	220

ShiMeta シリアルデバイス	220
言語サポート	220
アプリケーションクリアデータ	221
デバイスの工場出荷時リセット	222
タイガーミーティングの建築コンセプト	222
Tigermeeting 製品アーキテクチャ	223
ネットワークセグメンテーション	223
放送通信	224
ネットワークセグメントでのタイガーミーティング	226
高水準シーケンス図.....	226
タイガーミーティングクラウド	227
TigerMeeting ネットワークの利用状況	228
タイガーミーティング運営	228
VPN 接続による管理.....	230
バーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念.....	230
整合性声明	231
閉鎖されたオンプレミス環境でのタイガーサービス	234
エアギャップ環境におけるオフライン管理	234
オフラインモードの前提条件	234
オフラインでのログイン	234
オフラインモードの機能制限	235
インターネットへの再接続.....	236
タイガークラウドにアクセスできない画面の制限	236
タイガーソフトウェアのアップグレード.....	237
言語更新.....	237
テーマ変更.....	238
概要地図.....	238
気象サービス	238

NFC/スキャナー認証サービス	239
分析	239
AI アシスタント	239
VPN からタイガークラウドへ	239
混合カレンダー環境におけるタイガーミーティング	241
カレンダー相互運用(Google + Microsoft Mix に最適です)	241
リアルタイムカレンダー同期ツールの利用	241
資源の共有と委任	241
iCal フィード	242
Tigermeeting 管理アプリのアンインストール	242
Windows オペレーティングシステム	242
macOS オペレーティングシステム	242
Linux オペレーティングシステム	243
ヒントやコツ、ショートカット	244
簡単なスクリーンショット	244
クイックデバイスモデルとブランド	244
デバイスのフルファームウェアバージョン	244
利用可能なファームウェアおよびソフトウェアアップグレードバージョン	244
デバイスをモデルやアプリケーションバージョンで並べ替えてください	244
TigerMeeting でお困りですか?	245
文書	245
YouTube のヘルプ動画	245
FAQ	245
AI アシスタント	248
Tigermeeting カスタマーサポート	250
Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス	251
GDPR 声明	256
予約および概要画面	256

管理アプリ	256
分析	256
ウェブクッキー	256
サイバーセキュリティコンプライアンス	257
DEMO ライセンスをお願いしましょう	259
連絡先情報	260
ソーシャルメディア	260

翻訳免責事項

当ドキュメントはもともと英語で書かれており、Tigermeeting 製品、その機能、使用方法について包括かつ正確な情報を提供しています。

グローバルなオーディエンスに対応するため、先進的で自動化された AI ツールや商業翻訳サービスを活用して他言語のバージョンを作成しています。

正確さを保つために最善を尽くしても、翻訳やテキストのフォーマットに誤りが時折発生することがあります。

これらの誤差には以下が含まれますが、これに限定されません:

- **誤訳:** 特定の専門用語やフレーズは他の言語に完全に翻訳できない可能性があり、誤解の原因となることがあります。
- **フォーマットの問題:** 翻訳文書のレイアウト、スタイル、構成が元の文書と完全に一致していない場合があります、読みやすさに懸念が生じます。
- **文化的なニュアンス:** 原文における微妙な文化的言及や慣用表現は、翻訳版では十分に捉えられていない場合があります。

ご不便をおかけし申し上げ、翻訳の質向上に努める中でご理解いただければ幸いです。

皆様のフィードバックは私たちにとって非常に貴重です。

もしこの文書を公開されていない言語でご希望の場合はお知らせください。

また、問題や不正確な点に遭遇した場合は、ご確認いただくか、Tigermeeting カスタマーサービスにご報告いただくか、どうぞ遠慮なくご連絡ください。support@tigermeeting.app

ご理解とご協力に感謝いたします。

ネットワーク要件概要

重要:詳細は章「タイガーミーティングの建築コンセプト」をご覧ください

Tigermeeting アプリケーションは分散データベースアーキテクチャと独自のハイウォーターマーク同期技術に基づいており、オンプレミスの中央データベースや外部クラウドデータベースを使わずに動作しますが、特定のネットワーク要件を設定するために、デバイス間のフローレスな通信を必要とします。

TIGER ミーティングネットワーク要件:

- **ブロードキャストリクエスト**はネットワークセグメント間および間で有効化する必要があります(リモート管理を使用する場合は VPN 経由でも望ましいです)
- **UDP ポート:6024、6025、6030、6031** はネットワークセグメントで有効化する必要があります。
- **管理者>デバイス、デバイス>デバイス、デバイス>管理者間の通信**では、ネットワーク上で **TCP ポート 6026** が有効化されている必要があります。
- Google Workspace、Microsoft365、Exchange Online、Lark/Feishu、または CalDAV や iCal ファイルの外部 URL などの外部オンラインを利用している場合、これらのリソースへの通信はファイアウォール経由で許可される必要があります。
- Tigermeeting Cloud へのオープン通信は、**TCP ポート 443** 経由のもの **tigermeeting.app** 以下の機能にのみ必要です。
 - 管理者アプリ:管理者ログイン
 - 管理者アプリ:パスワードリセットを忘れました
 - 管理アプリ:分析を表示
 - 管理者アプリ:管理者ログを見る
 - 管理アプリ:予約テーマの選択と設定
 - 管理アプリ:概要マップエディター
 - 管理アプリ:ファイルサービス操作
 - 管理アプリ:AI ドキュメントアシスタント
 - デバイスズ気象サービス
 - デバイスの NFC 検証サービス(Tiger クラウド上でホストされている場合)
 - デバイスのイベントログ(分析機能が有効の場合)
 - 管理者とデバイスの両方:テーマとバックグラウンドの更新
 - 管理者とデバイスの両方:概要マップ
 - 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアアップグレードチェック
 - 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアアップグレードチェック

詳細は GDPR 声明をご覧ください。

ネットワーク要件が満たされない場合、Tigermeeting アプリケーションが正常に機能しなくなる可能性があります。多くの場合、以下のような問題が生じます。

- 管理者ログイン中の「ネットワーク通信エラー」
- 管理者アプリの自動発見時にネットワーク上でデバイスが検出されません。
- デバイスは選択したテーマに変更できません。

はじめに

Tigermeeting は、会議室管理、デジタルサイネージ、アクセス制御における最先端のオンプレミスソリューションであり、完全分散型、サーバーレス、極めて高いスケーラビリティを追求して構築されています。

エンタープライズレベルの信頼性を重視して設計されており、隠れたコストやクラウド依存のない永続的なライセンスモデルを提供します。

どうすればこれを実現できるのでしょうか?答えは簡単です。私たちはお客様の声に耳を傾けます。

私たちは技術を所有しています。業界をよく知っています。私たちは自分たちの仕事に情熱を持っています。

お客様のニーズを考慮します。それに応じて製品とサービスのロードマップを調整します。

一貫したブルーオーシャン戦略と市場への注力は、顧客と競合他社の両方から尊敬を集めました。

私たちの製品は、学校、大学、オフィス、組織に対して、シンプルで機能的、効率的かつ信頼性の高い会議室管理ソリューションを提供しており、世界中で高く評価されていることを確信しています。

主な特徴

製品の機能は完璧に緻密に作られており、革新的で手頃な価格の会議室管理製品を提供するという真摯な目標に基づいています。独自で独創的なデザインで、巨大な市場需要と高価で高級な競合とのギャップを埋めています。

- **中央管理** - すべてのデバイスに時間を無駄にする必要がありません。すべての設定、設定、アップデートは管理者アプリを通じてデバイスに集中的に送信できます。
- **シンプルさ** - フロントエンド設計ではユーザー体験を最優先に考えました。操作が簡単であればあるほど、より多く使われます。
- **柔軟性** - 異なる環境や混合環境でも同じソリューションを使いましょう。オフィスでは会議室を予約し、学校では教室の時間割を表示し、必要に応じてテーブルや机、キャビネットを予約してください。環境や目的に最適な異なるデバイスを自由に使いましょう。成長に合わせてスケールアップしましょう。
- **セキュリティ** - このソリューションは外部データストアを必要としない独自のハイウォーターマーク分散型データベース技術で動作します。すべてのデータは組織の LAN 内に収まります。
- **自動化** - 私たちの独自の主要機能の一つです。ユーザーはいつでも利用可能な部屋を見つけることができます。オンラインカレンダーや画面上で会議の予約をしてください。
- **ローカリゼーション** - 画面でご自身の言語を使用可能です。40 以上の言語をサポートしており、新しい言語もソフトウェアのアップグレードなしで簡単に追加可能です。
- **互換性** - 今日の相互接続された世界では、顧客のインフラを尊重する必要があります。そのため、オンプレミスの Exchange Server、Exchange Online、Microsoft 365、

Google Workspace、Google Calendar、Lark Suite、Feishu、CalDAV、iCalendar など、主要なカレンダーアプリケーションすべてをサポートしており、世界中の最もネットワーク化されたルーム予約エコシステムに容易に適合しています。

- **アナリティクス** - 会社の会議文化、人々の習慣、ハードウェアの使用状況や健康状態を垣間見ることができます。
- **カスタマイズ** - 画面の見た目や感触を変える。自分だけのものにする。ロゴや背景をすべてのテーマで変えて、スクリーンをオフィス環境に合わせる。
- **独自の特徴** - 市場にあるすべての会議室予約システムはその役割を果たしていますが、違いは革新的で独自の特徴にあり、Tigermeeting が競争の先端を発揮しています。
- **無料アップデート** - 製品が進化し、新機能が追加され、バグが修正される中で、すべての顧客が環境を最新製品リリースにアップグレードする資格があり、永続的なライセンスモデルが適用されます。これは生涯にわたる手間なくアップデートと製品サポートを意味します。
- **総所有コスト** - Tigermeeting の永続ライセンスモデルと価格戦略により、Tigermeeting スイートは市場で最もコスト効率の良い会議室ソリューションの一つとなり、最低の TCO を実現しました。



TigerMeeting 製品

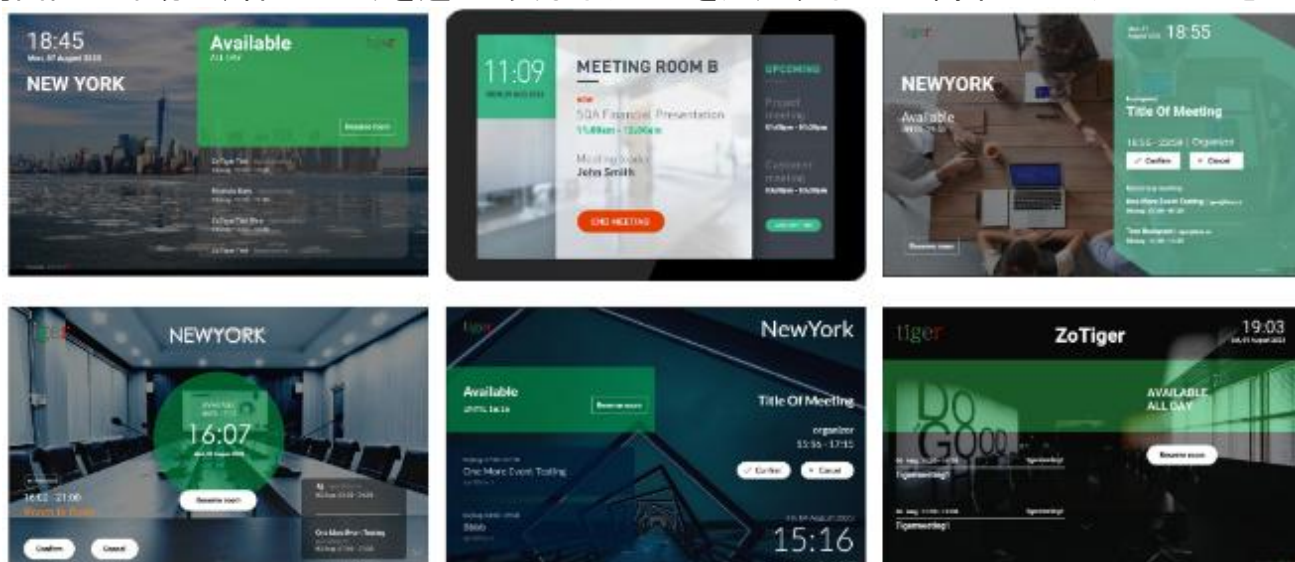
タイガーミーティング予約画面

この製品は、6 インチから 15 インチの画面サイズの Android デバイスで動作するよう設計されており、会議室、教室、会議ホールなどの前の壁に設置され、部屋名、進行中の会議状況、会議情報、今後の会議スケジュール、企業動画の再生、そして付随する企業のオンラインカレンダーと同期した直接の画面上会議予約機能を提供します。

同じ機器は、3～6 インチの画面サイズのマイクロデバイスに、オフィスデスクや学校のキャビネットに取り付けられ、リソースの利用状況を示し、画面上の予約機能を提供します。それは次のように振る舞います。緊急時のための火災報知器。



予約画面の外観は、管理アプリを通じて異なるテーマを適用することで簡単にカスタマイズできます



タイガーミーティング概要画面

この製品は、会社全体の会議室の状況をリアルタイムかつ包括的に把握するように設計されており、主に公共スペースに設置された巨大な Android オペレーティングシステム搭載のスクリーンで使用されます。

会議室の名前、スケジュール、状況を直感的なタイムラインで表示し、テレビの EPG や地図に似ています。また、温度、湿度、部屋の大きさ、画面上の相対位置(左、右、2 階など)も表示します。概要画面も独自の火災報知機能の一部です。



Tigermeeting 管理アプリ

Admin アプリはマルチプラットフォームのウェブベースの管理アプリケーションで、TigerMeeting のインフラ全体を簡単に直感的かつ効率的かつ安全な方法で設定、更新、管理します。このツールはトラブルシューティング、ネットワークバックアップ・リストアメンテナンス、ログ取得、外部 BI ツールにエクスポート可能な有用な分析データの提示にも使われます。

管理者アプリは、Windows、MacOS、Linux のオペレーティングシステム向けのインストーラーが提供されている、node.js プラットフォームに依存しないアプリケーションです。

この文書では、この製品について詳しく説明しています。

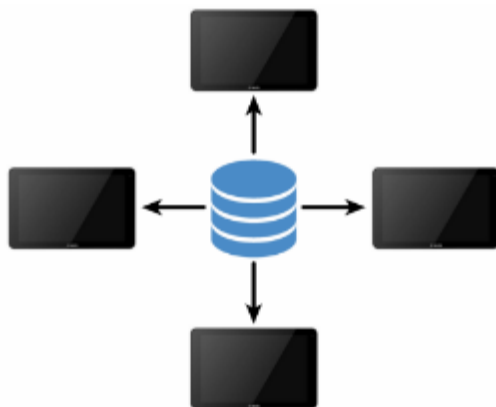
The screenshot displays the 'Network' management page in the Tigermeeting application. The interface includes a sidebar with navigation icons and a top navigation bar with tabs for 'ALL', 'FREE DEVICES', 'CONNECTED', 'DISCONNECTED', and 'OVERVIEW SCREENS'. The main area shows a table of 10 connected devices, all with the status 'Not assigned' and 'CONNECTED'. A context menu is open over the first device, listing actions such as 'Restart device', 'Download log', 'Download data', 'View screenshot', 'View device info', 'Device UID', 'Open the door', 'Maintenance mode', 'Exit application', 'Clear data', and 'Factory reset'.

DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS	SOFTWARE VERSION	FIRMWARE VERSION	LICENSE	DEVICE UPTIME	ACTIONS
	Not assigned	IP: 192.168.88.27 ID: e053e63ceebc1eb3	CONNECTED	3.5.15-622	2.8.2-158	LICENSED	0d 5h 1m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.29 ID: 6025661c8cbba223	CONNECTED	3.5.15-622	rk3368_64 user 7.1.2 NH	LICENSED	0d 5h 1m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.14 ID: 2ad02f55c6d528a	CONNECTED	3.5.15-622	Pwd10-7rom1ab 2004050	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.30 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.15-622	108DL4531T release-keys	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.13 ID: c5b2b09aa017e39	CONNECTED	3.5.15-622	SHXS-WA1012T-255V2 20-	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.24 ID: 1353d5493c2d93d	CONNECTED	3.5.15-622	3.6.0-158	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.41 ID: 867f105b2f3a3f6f	CONNECTED	3.5.15-622	v1.12.2	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.21 ID: 5a9eabab6379dbd	CONNECTED	3.5.15-622	coros-c3-emp10 QPIA.10	LICENSED	0d 5h	
	Not assigned	IP: 192.168.88.26 ID: c0ad3a693b538a6	CONNECTED	3.5.15-622	X8-7K5566003-v6.0.8Z-EN	LICENSED	0d 5h 1m	

管理者アプリの目的は何ですか？

最高の稼働時間とセキュリティを確保するために、Tigermeeting アプリケーションの運用は分散データベースアーキテクチャと独自のハイウォーターマーク同期技術に基づいています。

つまり、すべてのデバイスが最新の情報を把握し、中央集権型のデータストアや外部クラウド環境、あるいは最終的なローカルダウンに依存せず、ユーザーに正しい情報を伝えることが可能となります。



...管理アプリである中央管理コンソールでさえ、管理者のローカルコンピュータにはデータを保存しません。代わりに、起動すると管理者アプリは分散データベースの有機的な一部となり、予約画面と概要画面間でローカルネットワークセグメント間で絶えず共有されます。

Admin アプリの機能は明確にするために、基本的には以下の通りです：

- ネットワーク上のデバイスを発見します
- デバイスの構成を取得します
- デバイスの設定を変更し、管理します
- 新しい構成をデバイスに押し戻します

デバイスは次の管理者設定セッションまで完全に独立して動作し続けます（そのセッションは将来的に行われるかもしれません）。

したがって、サーバー上で常に稼働している Admin アプリは不要であり、Admin アプリはステートレスです。情報を保存せず、外部クラウドサーバーも必要ありません。

Tigermeeting では、この技術が独立したモジュール型アプリケーションエコシステムにとって最良で自立的なソリューションであると信じています。

どうやって始めればいい?どこから始めればいい?

その旅は、デモライセンスの作成を依頼するか、ホームページから取得するか、メールで <https://tigermeeting.app/en/contact> に送信できる購入ライセンスの申請から始まります
info@tigermeeting.app

進行するためには、タイガーミーティングには以下の情報が必要です。

- 会社名 — ライセンスを保有する主体
- 管理者ユーザー名 – メールコミュニケーションのパーソナライズ専用です。
- 管理者ユーザーのメールアドレス – 管理者アプリでの認証に使用されます

希望されたライセンスを持つ会社が作成されると、管理者ユーザーには Tigermeeting アプリケーションの使い方、やるべきこと、使い方に関する指示がメールで届きます。
このメールがまだ届いていない場合は、迷惑メールやプロモーションフォルダを必ずご確認ください。

指示が書かれた郵便物は、次のような例になります。



これは、あなたの会議体験を新たなレベルに引き上げる、御社のミーティング強化プロセスのごく始まりです。

Tigermeeting ソリューションは、市場で最も先進的な会議室管理製品の一つです。

まずは、以下の簡単な手順に従ってください。

1. 管理者アプリをダウンロードしてください

<https://tigermeeting.app/en/downloads>

2. 管理者アプリケーションをインストールして起動します(システムから求められた場合はファイアウォール経由でネットワークアクセスを許可してください)

3. 以下の認証情報を使って Tigermeeting 管理者アプリにログインしてください

。ご注意ください、あなたの管理者アカウントはすでに作成されています。直接ログインできますので、登録は不要です。

あなたの固有の会社コードは、追加の管理者ユーザーの登録時に使用されます。ただし、新規登録はライセンスプールを共有するため、この情報は機密にしてください。

4. Admin アプリから Tigermeeting Android APK をダウンロードしてください

5. APK は Android デバイスにインストールしてください(USB、Bluetooth 転送などで...またはデバイス上で利用可能な場合は Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、ONE ストア、Xiaomi GetApps、その他の Android バージョン 5.0 以降のデバイス向けにインストール可能です)

6. Android デバイスではモバイルネットワークを切り、Wi-Fi かイーサネットをオンにしてください。

7. Tigermeeting APK と Admin アプリが同じネットワークセグメント上にあるデバイスが同じネットワークセグメント上にある場合、デバイスは自動的に検出されます。

8. ライセンスをデバイス間で配布しましょう。

9. Tigermeeting 管理アプリを使ってカレンダー、テーマ、言語、デバイスの動作を設定できます

スムーズに始めるには、以下のマニュアルを読んでください

<https://tigermeeting.app/en/downloads>

名前:{{first_name}}
姓:{{last_name}}
メール:{{email}}
パスワード:{{password}}

ライセンスを共有したい場合や、他の管理者ユーザーに登録させたい場合は、
会社コード:{{code}}



スウェーデンの企業で、高級な会議管理とカレンダー製品を手頃な価格のレベルに引き上げています。ご質問があれば、ぜひお問い合わせください。

TigerMeeting のサポートは、会議室を一気に整えるのに役立ちます：
support@tigermeeting.app

それだけだ。

管理者は指示に従うだけです。

それ以上に複雑な話ではありません。

TigerMeeting は意図的に非常にシンプルで理解しやすく、ユーザーの視点から直感的に保たれています。複雑で高度な技術を使いやすい表面の裏に隠すことが、広く受け入れられるデザインと世界中で成功するビジネス戦略の鍵であることが証明されています。

確かに課題はありますが、このマニュアルの目的は、管理者ユーザーがほとんどの障害を簡単に技術的すぎず、人間らしい語り口で乗り越える案内をすることです。

Tigermeeting のカスタマーサポートも常に対応しており、会議室や教室を一新するお手伝いをいたします。

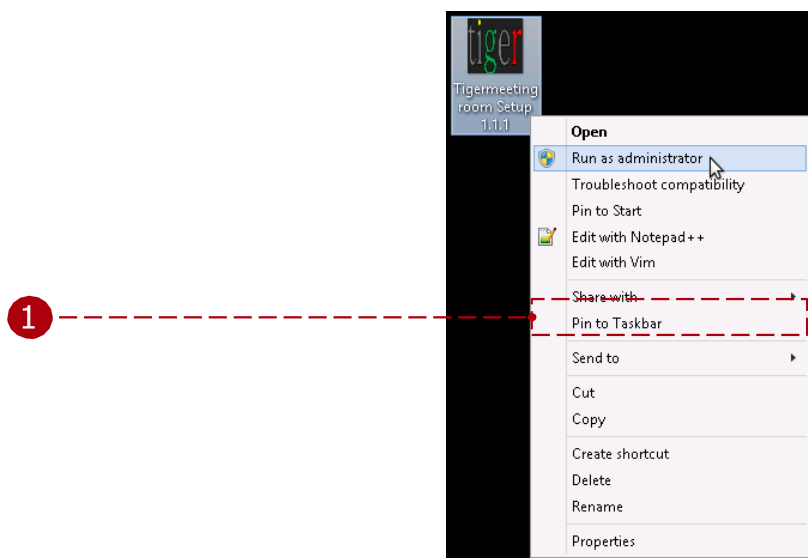
Tigermeeting Admin インストール

Tigermeeting 管理アプリケーションは、マルチプラットフォームのウェブベースの管理アプリケーションであり、Tigermeeting のインフラ全体を簡単に直感的かつ効率的かつ安全な方法で設定、更新、管理します。Windows、MacOS、Linux プラットフォーム向けのインストーラーが利用可能です。

Windows に Tigermeeting 管理者をインストールする

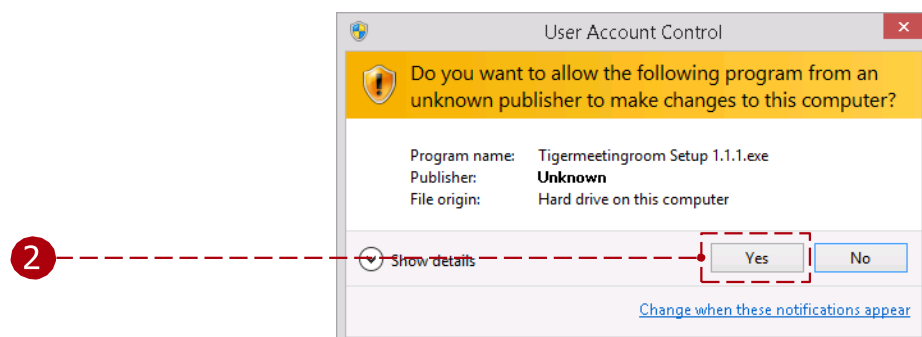
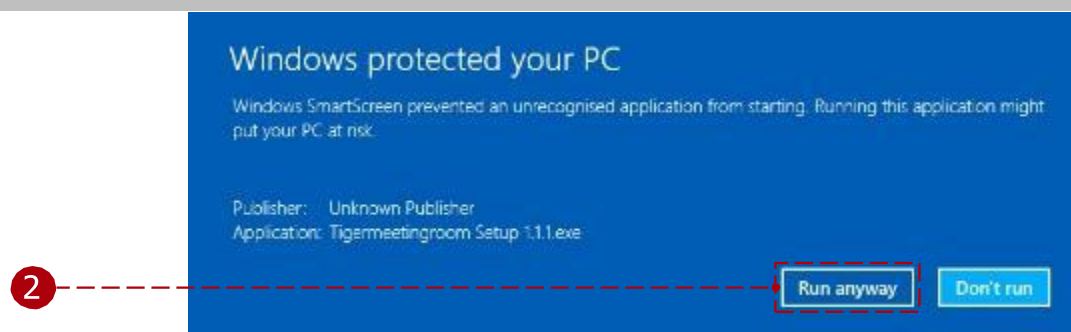
設置手順に従ってください:

- タイガーミーティングのウェブサイトへ
: <https://tigermeeting.app/en/downloads>
- Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。
- 1 インストーラーを管理者として実行してください。

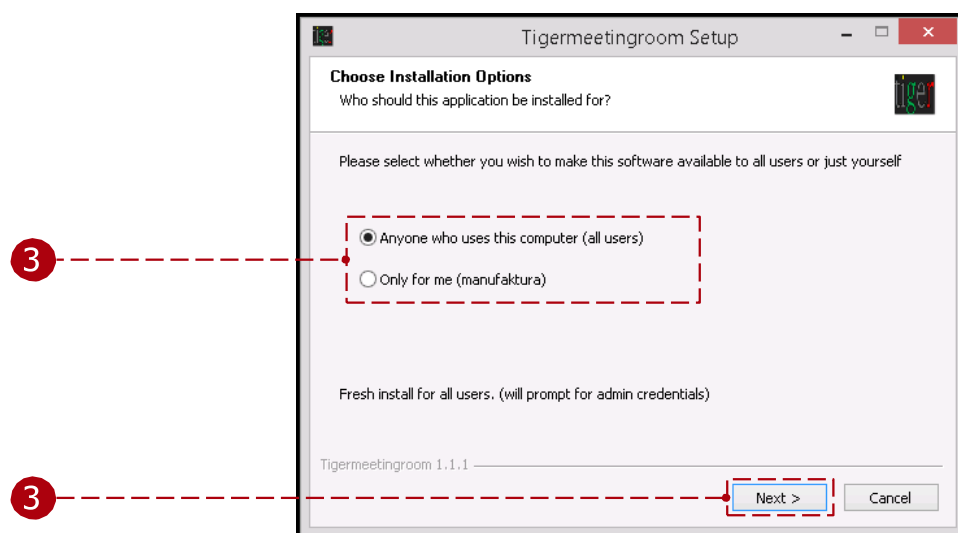


- 2 Tigermeeting Admin は署名済みアプリケーションですが、もし拒否された場合は、認識されていないアプリケーションのインストールを許可してください。

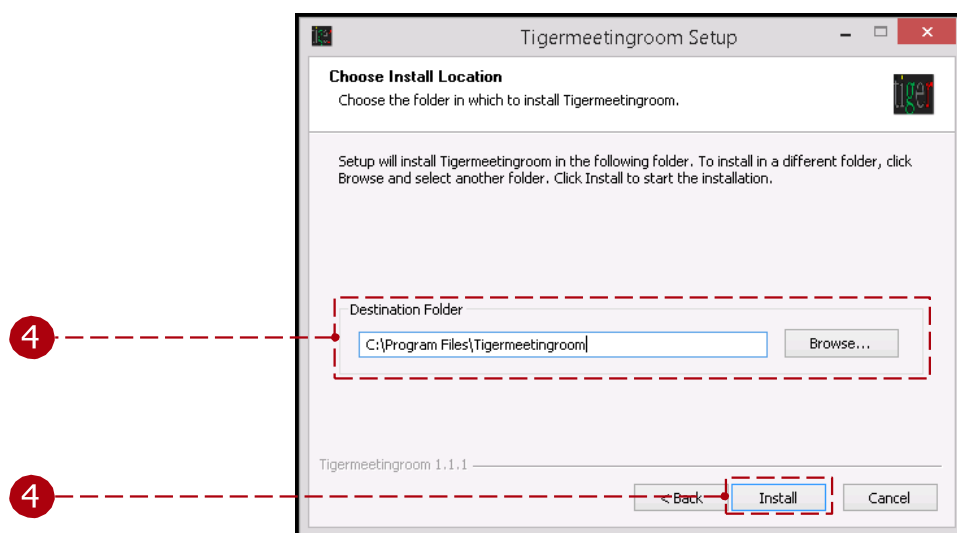




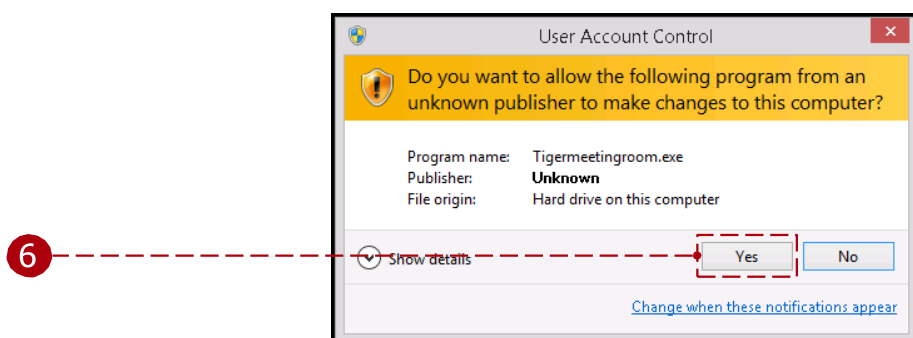
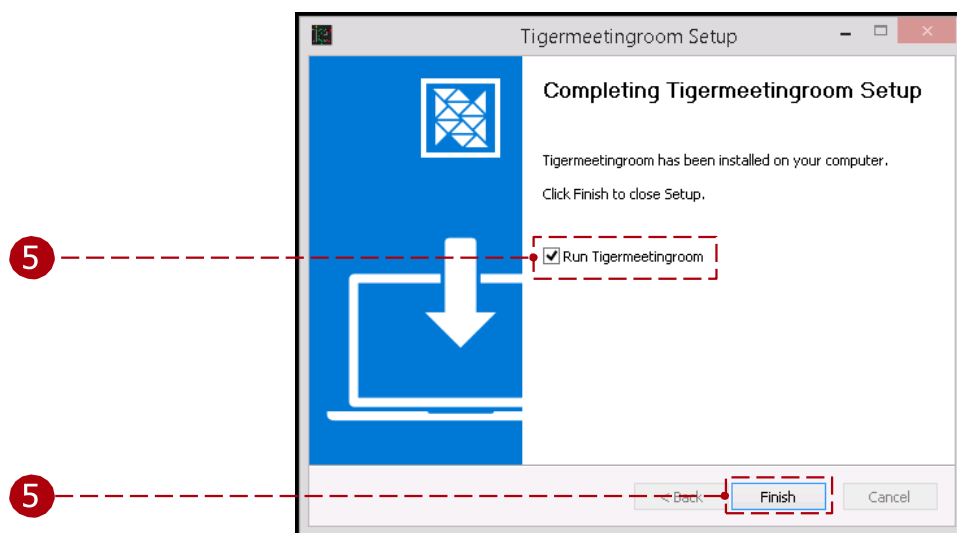
3 選択したユーザーでインストールを続け、「次へ」ボタンを押してください。



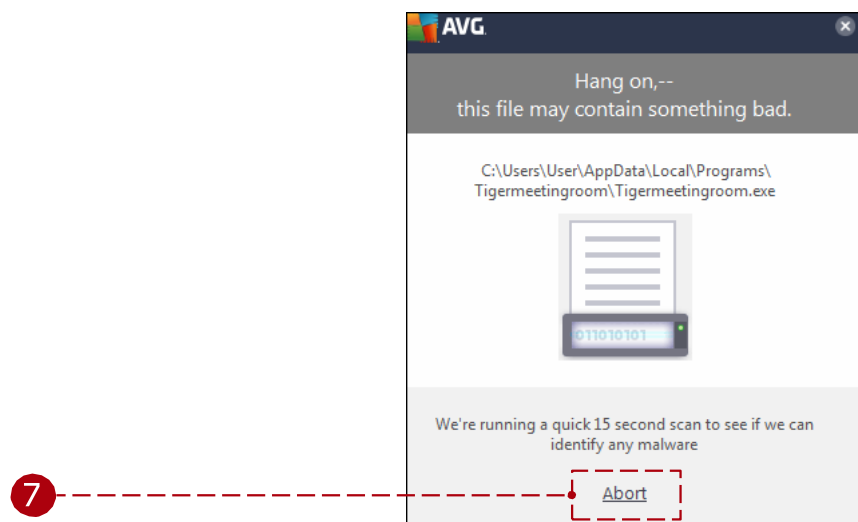
- 4 希望する設置場所を選択し、「インストール」ボタンを押します。



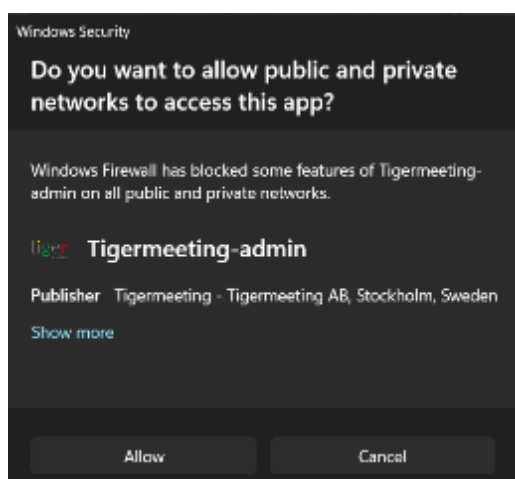
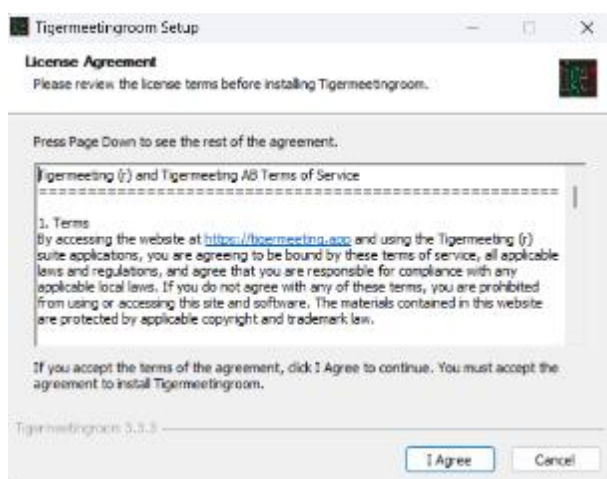
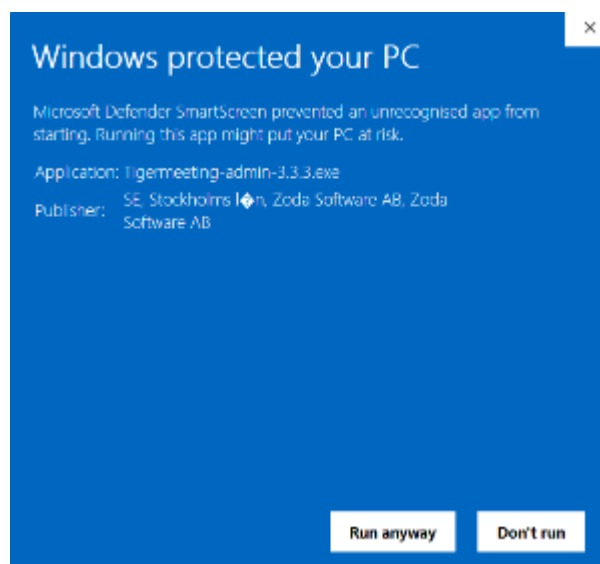
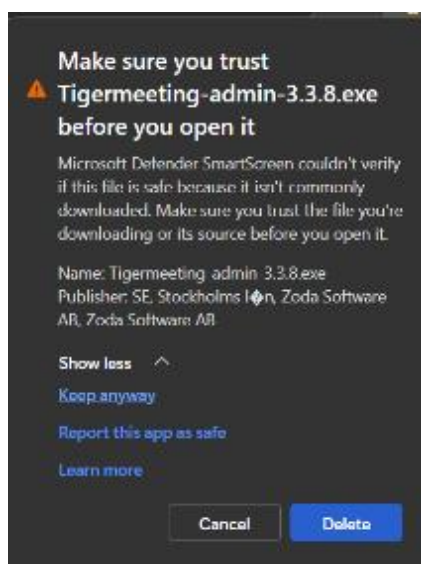
- 5 設置後に「ラン・タイガーミーティングルーム」を確認すると、Tigermeeting 管理者アプリケーションが開かれました。インストールウィザードを完了してください。Publisher 6 を許可してください (Tigermeeting 管理アプリケーションでコンピューター上で 6 の変更を行えと)



- 7 ウィルススキャンが終わるまで待つか、スキャンを中止してください。



注意:TigerMeeting は認証済みの証明書を持つ署名済みアプリケーションです。Tigermeeting AB の証明書を受け入れてください



ライセンス契約を読んで同意し、ネットワークへのアクセスを許可してください。

指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=sB8ea-VrYz8>

Linux での Tigermeeting 管理者のインストール

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティングシステム向けに 3 つのフォーマットで提供されています。

- RPM - Redhat Package Manager – RedHat、Fedora、SuSE など用です。
- DEB – Debian ソフトウェアパッケージ – Debian、Ubuntu、Kali など向け
- AppImage - Linux 向けのポータブルソフトウェアパッケージで、アプリケーションと異なる Linux ディストリビューションで動作するために必要なすべての要素が含まれています。

RPM パッケージ

端末を開き、.rpm ファイルの場所へ移動します。

スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo rpm -ivh filename.rpm
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動してください：

```
$/usr/bin/tigermeetingroom
```

DEB パッケージ

端末を開き、.deb ファイルの場所へ移動します。

スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo DPKG -i package_file.deb
```

デスクトップまたはコマンドラインからアプリケーションを起動してください：

```
$/usr/bin/tigermeetingroom
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所をナビゲートします。

appImage ファイルを `chmod +x ファイル名` コマンドで実行可能にしてください。

`./filename` コマンドで **AppImage 実行ファイル**を実行します。

注意:Tigermeeting 管理アプリはグラフィカルなアプリケーションです。

インストールはターミナルやコマンドラインから行うことができますが、実行には機能する X の Windows 環境が必要です。

BSD バリエーションに Tigermeeting 管理者をインストールする方法

Tigermeeting 管理アプリのような Node.js Electron アプリケーション向けの BSD 実行ファイルの作成は公式にはサポートされていません。Electron Builder は主に Windows、macOS、Linux に対応しており、FreeBSD やその他の BSD バリエーションは対象プラットフォームとしてリストされていません。

しかし、Linux 互換層を使って一部の BSD 環境で Tigermeeting 管理アプリを動かす回避策もあります。

FreeBSD には Linux 互換層があり、通常の Linux バイナリを実行できます。

NetBSD と Dragonfly BSD は Linux バイナリのサポートに非常に似たアプローチを採用しています。

Tigermeeting 管理アプリケーションの MacOS インストール

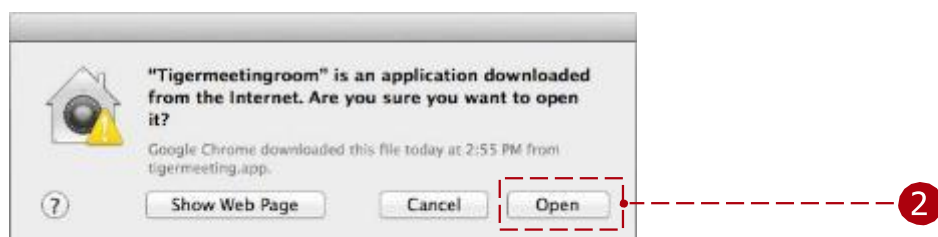
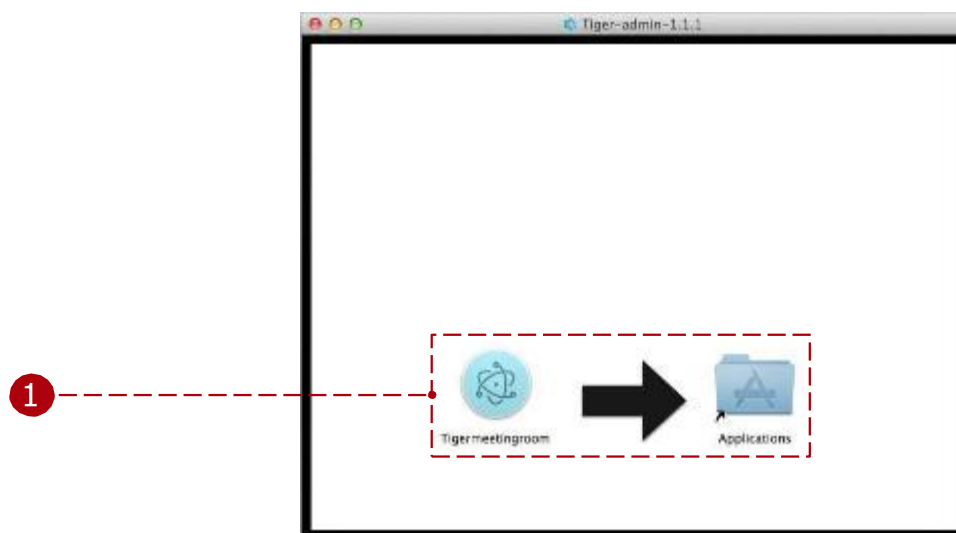
設置手順に従ってください:

タイガーミーティングのウェブサイトアクセスしてください

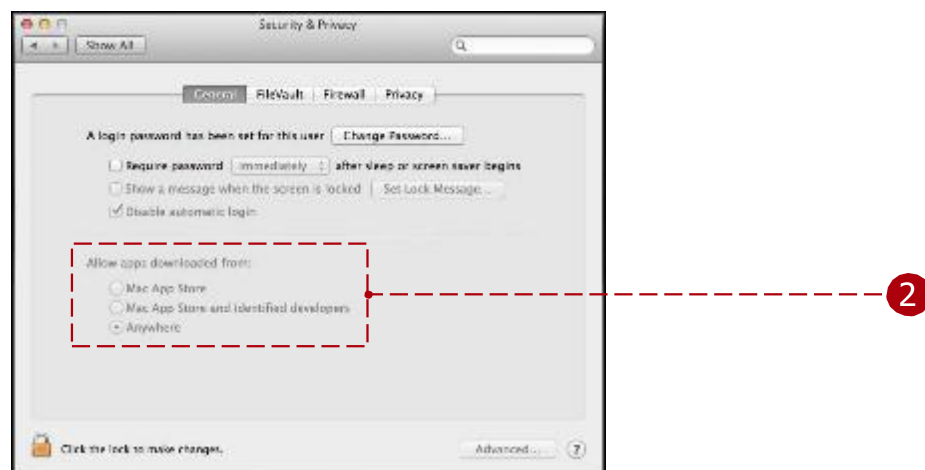
<https://tigermeeting.app/en/downloads>

Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。

- 1 インストーラーを実行し、検証後に「Tigermeetingroom」を「Applications」にドラッグ&ドロップします。



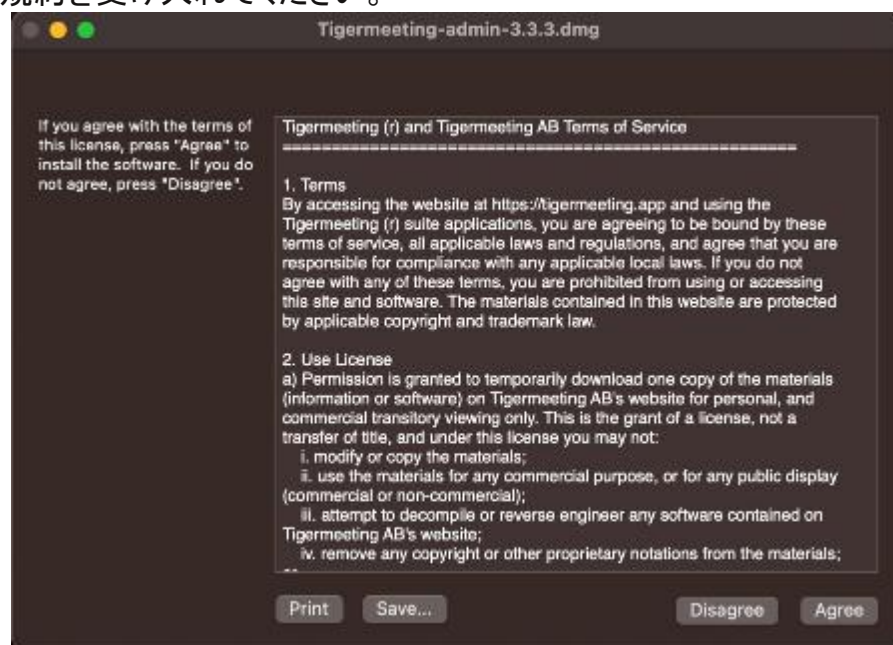
- 2 Tigermeeting 管理アプリケーションを実行してください。必要に応じてセキュリティ設定を変更してください(アプリケーションは Tigermeeting AB – 認証済み Apple 開発者)



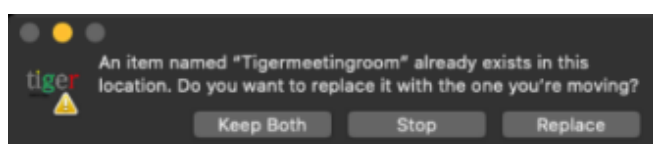
注意: インストーラーのスプラッシュイメージはリリース間で変更される場合があります。管理者アプリをインストールするには、Tiger アイコンを Applications フォルダにドラッグしてください。すでにアプリケーションが存在する場合は(アップグレードの場合)、上書きすることをお勧めします。



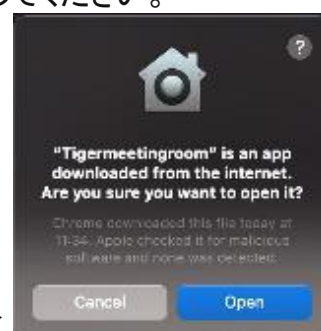
設置前に利用規約を受け入れてください。



もし古いバージョンがあれば、アプリケーションを交換してください。



アプリを開く

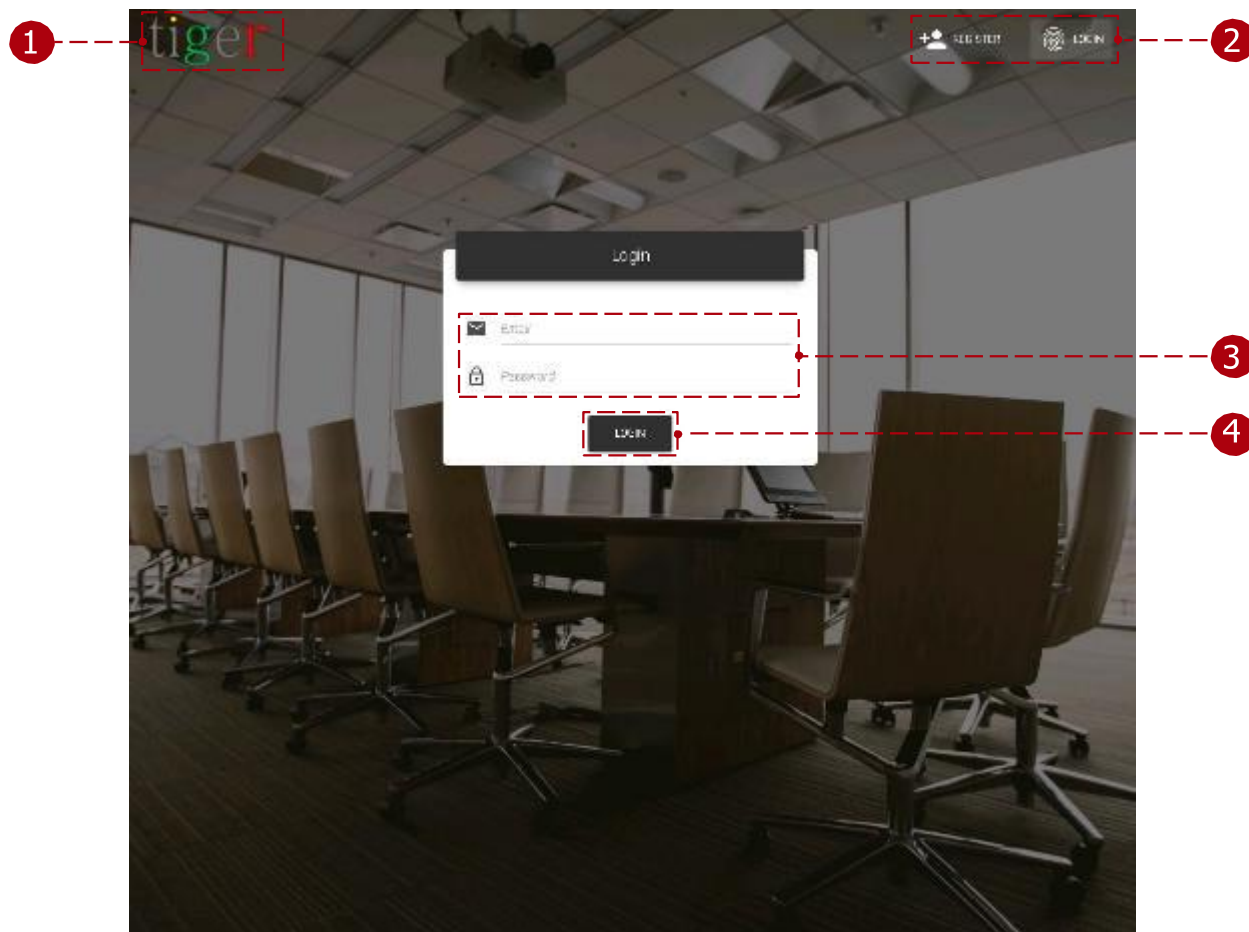


指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=MvmDbgB7dnk>

ユーザーログイン

Tigermeeting 管理アプリケーションは登録ユーザーのみが利用できます。ユーザーは正しいメールアドレスとパスワードでログインできます。



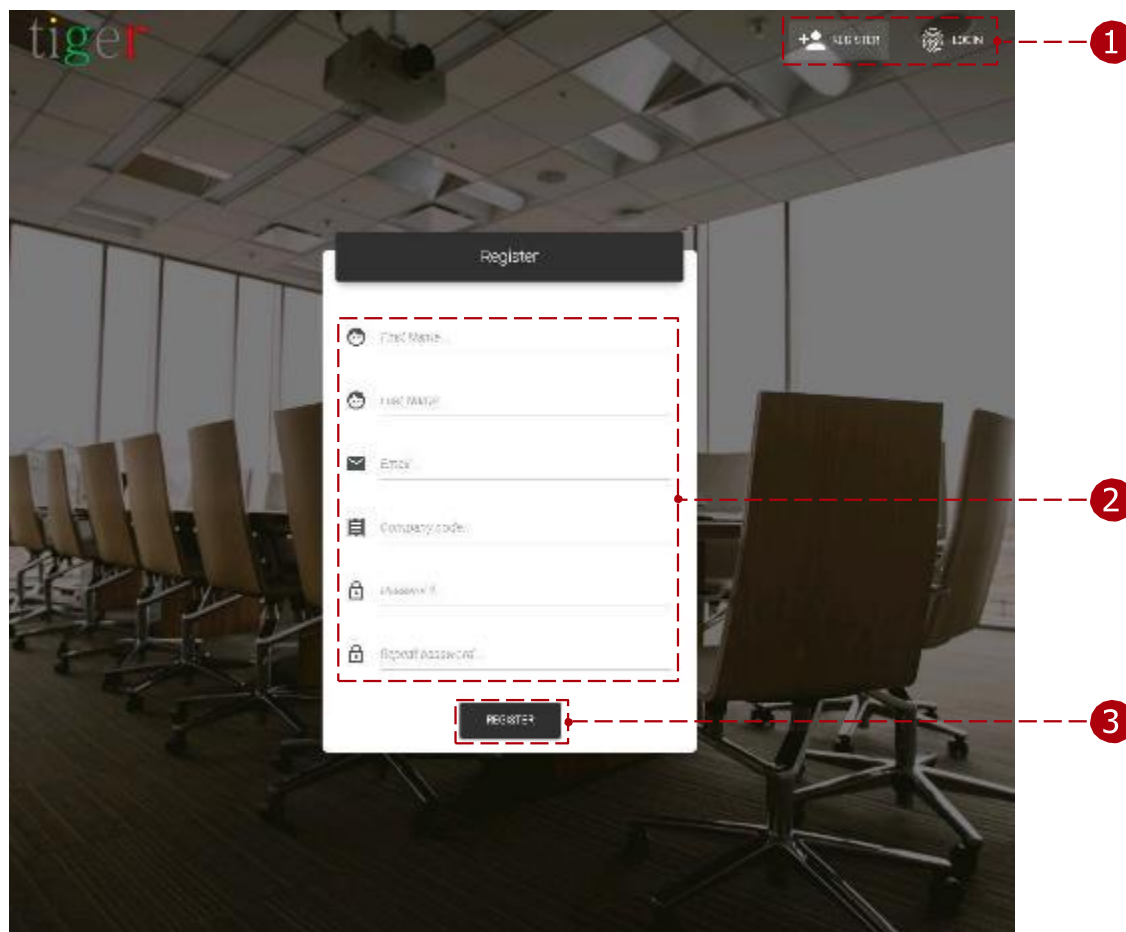
ログインフォームには主に 3 つの要素があります:

- ① ログ: いつ カチッ オン ログ、ブラウザ は 開業 および
<https://tigermeeting.app/> へリダイレクト
- ② ログインと登録:ユーザーログインと登録機能を切り替えられます。メールアドレスと
- ③ パスワード:Tigermeeting 管理アプリケーションは登録ユーザーのみが使用可能です。
- ④ システムにログイン:有効なユーザー名とパスワードで手続きを進めることができます。

注意: 最初の管理者アカウントは Tigermeeting のカスタマーサービスによって作成され、認証情報は管理者にメールで送信されます。
登録は不要です。直接ログインしてください。

ユーザー登録

Tigermeeting の管理者登録は共有された「会社コード」で行うことができます。これにより、管理者ユーザー作成機能が既存の別の管理者ユーザーに置き換えられます。

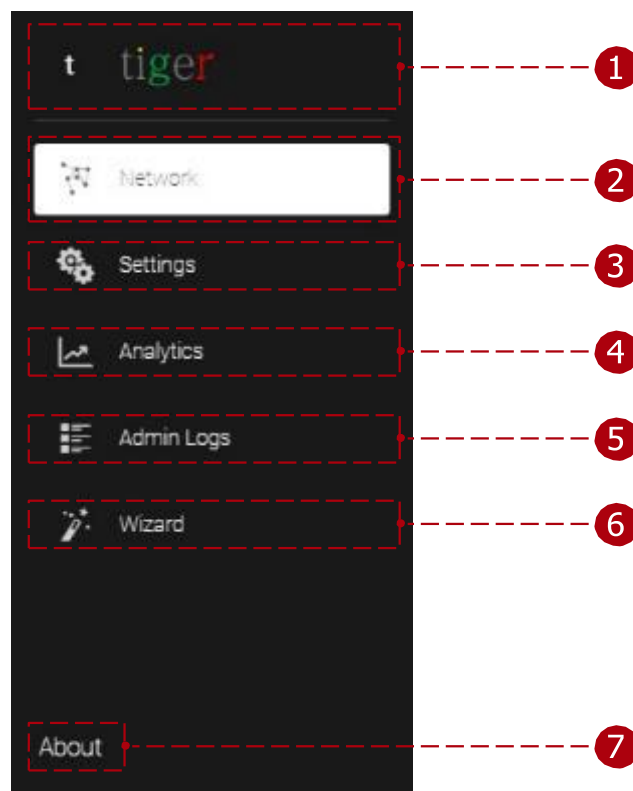


登録フォームには主に 3 つの要素があります:

- ① ログインと登録: ユーザーログインと登録機能を切り替えます。
- ② ユーザーパラメータ: すべての項目は必須で、登録を完了するために記入する必要があります。
 - 企業コード: 企業コードはデバイス間で配布できるライセンスの数を決定します。企業コードはメールで送信されます。
 - パスワード: ユーザーのパスワードは最低 8 文字を含めなければなりません。
- ③ レジスタ: すべてのフィールドに有効なデータが入力されると、レジストレーションが完了します。

注意: お客様の固有の会社コードは、追加の管理者ユーザーの登録時に使用されますが、新規登録は組織のライセンスプールを共有するため、この情報は機密に保ってください。

メニュー構成

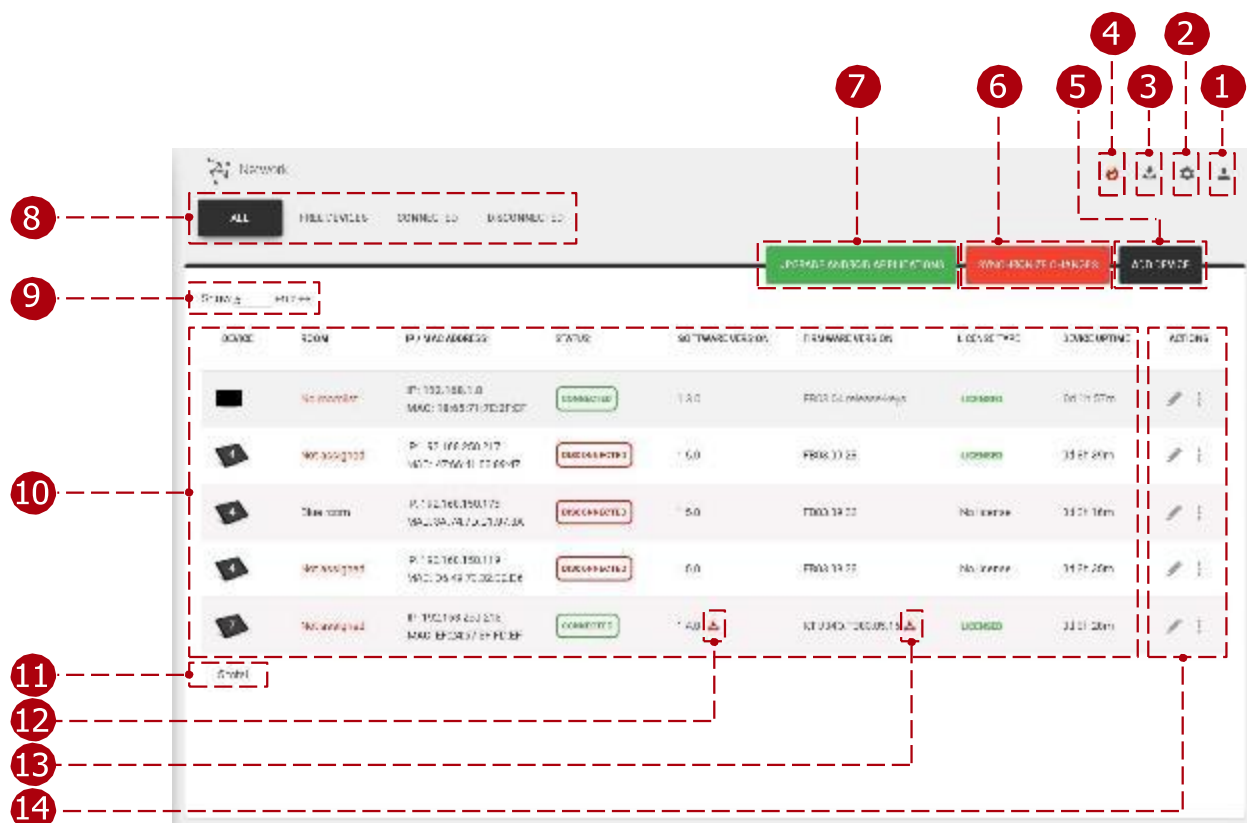


管理アプリケーションの主な機能は 3 つの主要なカテゴリに分類されています。

- ① **ロゴ**: ロゴをクリックするとブラウザが開かれ、<https://tigermeeting.app/> にリダイレクトされます
- ② **ネットワーク**: デバイスの状態を監視でき、パラメータも変更可能です。
- ③ **設定**: ライセンス、カレンダー添付、デタッチメント、ルーム管理、管理者ユーザー設定を変更可能です。
- ④ **アナリティクス**: デバイスの予約、デバイスの概要、管理者、企業の管理などにデバイス分析を読み込むことができます。
- ⑤ **管理者ログ**: ログイン、ログアウト、デバイス同期などのユーザーイベントが記録・表示されます。
 - ☐ **テーマ**: テーマ設定はすべてのデバイスでテーマおよび背景操作を可能にします
 - ☐ **ファイルストア**: 組織のファイルストア管理
- ⑥ **ウィザード**: ユーザーはステップバイステップのウィザードでデバイスの設定をサポートします。(主に管理者アプリケーションを初めて使用したときに使われます)
- ⑦ **概要**: Tigermeeting 管理アプリケーションに関する情報、プライバシーポリシー、利用規約、クッキーポリシー、オープンソースライセンス。

ネットワーク

ネットワークパネルでは、デバイスの状態を監視し、部屋やライセンスの取り付け、切断、その他の重要なパラメータを編集できます。ネットワークは常にデバイスのスキャンが行われます。



ネットワークの特徴:

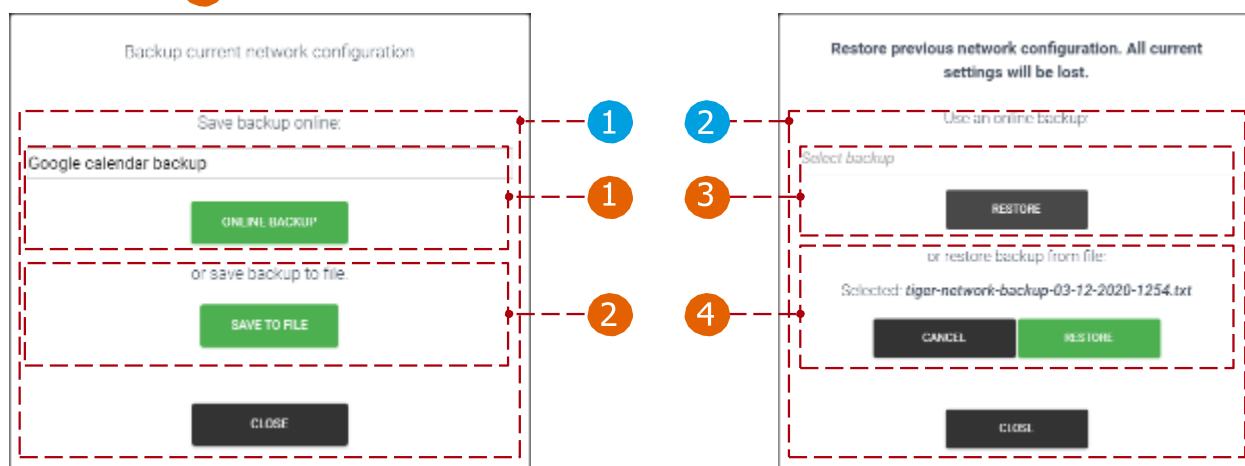
- 1 ユーザー設定:
 - 現在ユーザー: ユーザーのメールアドレスに現在ログインしています。
 - ユーザー設定: 現在ログインしているユーザーのデータを開いて編集できます。(リダイレクト: 設定、管理者ユーザー、ユーザー編集)
 - ログアウト: セッションを終了し、Tigermeeting 管理者アプリケーションからログアウトします。ユーザーは 5 分間の非アクティブになると自動的にログアウトされます。
- 2 システム設定:
 - バージョン番号: Tigermeeting 管理者アプリケーションの現行バージョン。
 - デバイスロゴの設定: ロゴは Tigermeeting 管理アプリケーションにアップロードでき、同期後はアップロードされたロゴのサイズがリサイズされ、接続されたデバイスでは 300x130px フォーマットが使用されます。
 - 管理者ログをダウンロード: Tigermeeting 管理者アプリケーションのログをエクスポートします。エラー追跡に使用されます。

ネットワークリセット: 管理アプリケーションおよび接続されたすべてのデバイスをデフォルト設定にリセットします。カレンダー、部屋、ルームリストはデバイス設定を分離し、デフォルトに戻します。(デバイスの予約、オーバービューデバイス、管理アプリケーション) バックアップネットワーク: 予約のバックアップ、デバイスの概要(接続された部屋、デバイス設定など)、Tigermeeting の管理アプリケーション設定(オンラインカレンダー、部屋など)。ネットワーク設定のバックアップには 2 つのオプションがあります:

- 1 オンラインでバックアップ
- 2

を保存する。ファイルに
バックアップを保存する

- 2 ネットワークを復元:予約や概要デバイス(接続された部屋、デバイス設定など)、Tigermeeting 管理アプリケーション(オンラインカレンダー、部屋など)のバックアップ済み設定を復元します。
- 3 オンラインバックアップから復元。保存
- 4 したバックアップファイルから復元。



- 3 Android アプリをダウンロード:Tigermeeting の Android アプリの APK ファイル (4+または 5+の Android 予約またはオーバービューデバイス)をダウンロードし、設定スクリプトを希望の宛先に交換してください。また、新しい管理者アップデートはこちらからダウンロード可能です。
- 4 火災報知器:火災報知器を作動させるには、「アクティベート」ボタンを 3 秒間押し続けます。作動(同期)後、すべての機器(予約画面と概要画面)が点滅し、火災報知器の音が流れます。



- 5 デバイス追加:Tigermeeting 管理アプリケーションで検出されていない IP アドレスのデバイスを追加します。これは、デバイスが別のサブネットワークにある場合に使用されます。
- 6 変更の同期:デバイスのプロパティ(部屋、ライセンスの接続・切断、パラメータの変更(容量、部屋情報、開室時間など)が変更された場合、すべてのデバイスに同期しなければ効果が発揮されません。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。
- 7 デバイスを更新:接続されたすべてのデバイスのソフトウェアバージョンを更新してください。
- 8 デバイスフィルター:
 - 全員:すべてのデバイスはフィルターなしでリストアップされています。
 - 無料デバイス:部屋のないデバイスがリストアップされています。
 - 接続済み:ステータスが「接続済み」のデバイスが一覧表示されます。
 - 切断:状態が「切断中」のデバイスが一覧表示されます。
- 9 デバイス数:1 ページあたりに表示されるデバイス数。
- 10 発見されたデバイス:ネットワーク上で検出されたすべてのデバイスが表示されます。ネットワークは 30 秒ごとにスキャンされます。

- 数字(4)は Android オペレーティングシステムのバージョンを示します。
- 11 デバイス数: デバイスフィルターでフィルタリングされたデバイス数の合計数。(全て、フリー、接続済み、切断済み)
- 12 ソフトウェア更新: 選択したデバイスのソフトウェアバージョンを更新してください。
- 13 選択したデバイスのファームウェアを更新する: デバイスのファームウェアを更新してください。数分かかりますが、ファームウェアの更新時にデバイスの電源を切らないでください。
- 14 行動:
 - デバイスプロパティ: 選択したデバイスのプロパティを編集します。
 - デバイスを再起動: 選択したデバイスを再起動します。
 - ログをダウンロード: デバイスをエクスポートして .json ファイルにログインします。json ファイル。デバイスが接続されているときのみ表示されます。エラー追跡に使用されます。
 - スクリーンショットを見る: デバイスからスクリーンショットが撮られています。
 - デバイス削除: 管理者アプリケーションから切断されたデバイスを削除します。デバイスが切断されたときのみ表示されます。
 - メンテナンスモード: デバイスをメンテナンスモードに設定します。
 - コマンドを投稿: ベンダー固有の API メッセージをデバイスに送信します。

Tigermeeting はデバイスに依存せず、特に広く知られているブランドの Android デバイスをサポートすることを目指しているため、ネットワークリストに異なる画面アイコンが表示され、異なるデバイスブランドをグループ化し簡単に識別するのに役立ちます。

デバイスアイコンの例:

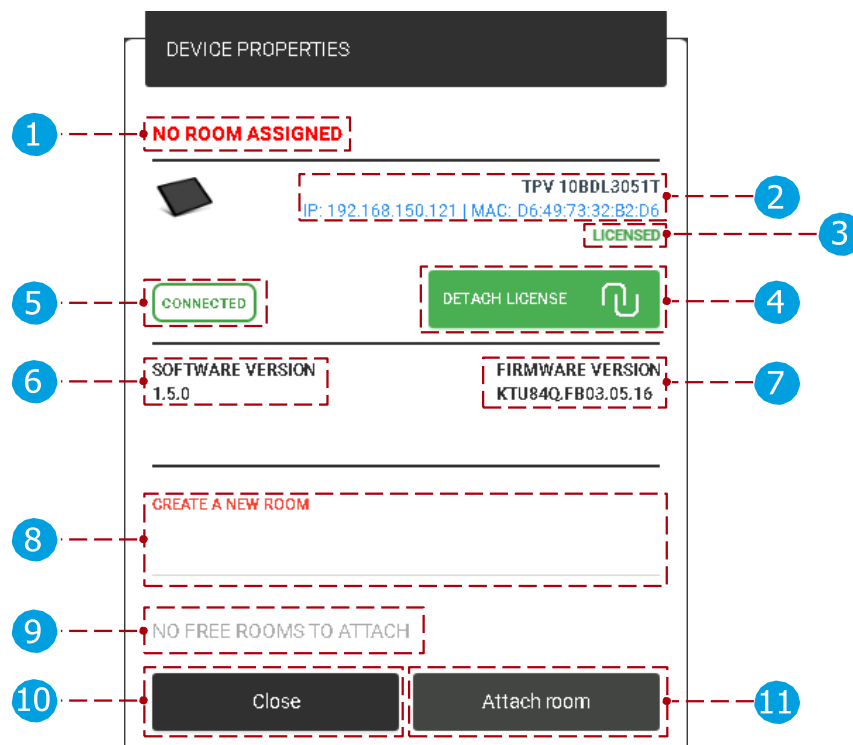


アイコンの上にマウスポインターを合わせると、デバイスのモデルが表示されます。



注: Tigermeeting 管理者はデバイスの設定時に管理時間の大部分をネットワークビューで過ごすため、Tigermeeting はこの機能の改善とカスタマイズに非常に熱心です。お客様のご提案を大歓迎します。

予約機器のプロパティ:部屋の接続前



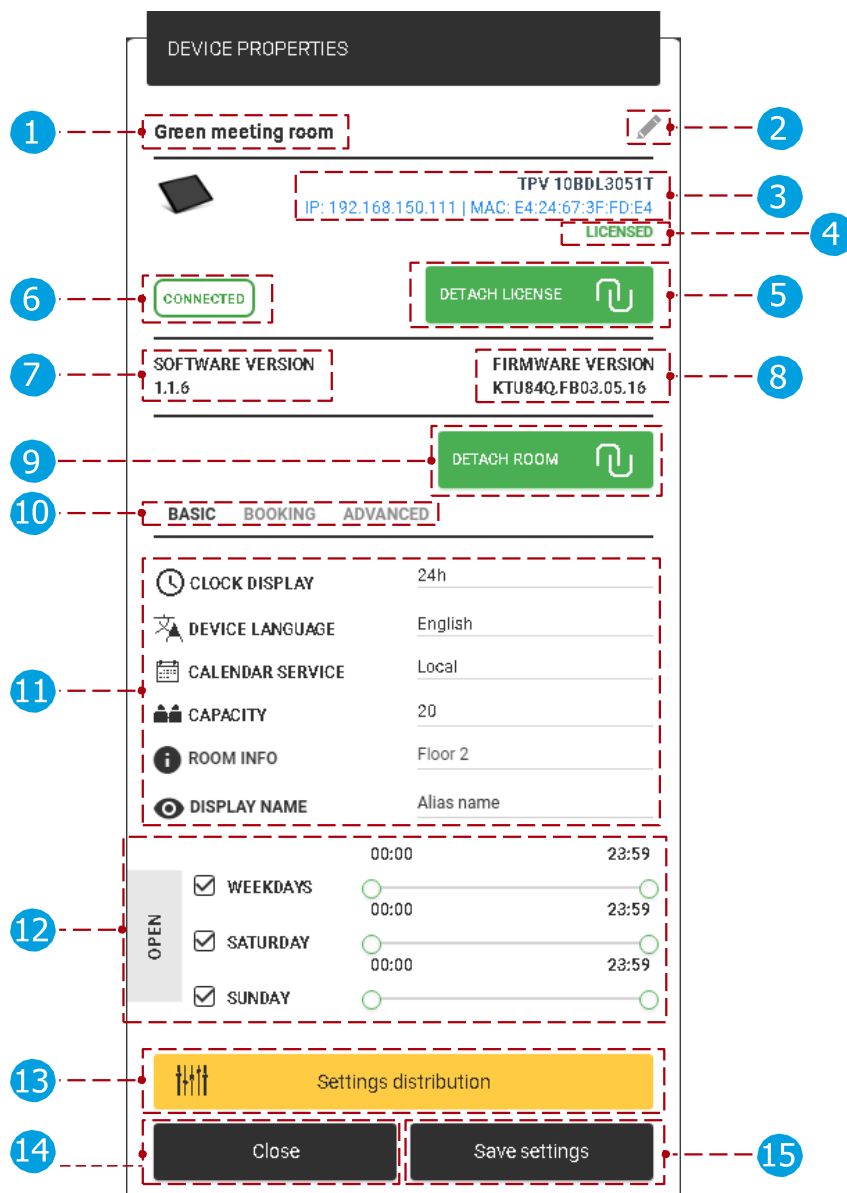
デバイス特性:

- 1 デバイスの部屋:現在接続されている部屋の名前。
- 2 予約デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます
- 3 。ライセンスステータス:選択したデバイスに紐づくライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンス済み(予約画面ライセンスのみを添付可能です))
- 4 デタッチライセンス:現在のライセンスを切り離します。デタッチメント後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。デタッチドライセンスは再度アタッチ可能です。
- 5 デバイス状態:選択したデバイスのステータス。(接続中または切断中)
- 6 ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- 7 ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- 8 新しい部屋を作成する:デバイスにライセンスがない場合、選択したデバイスに部屋を接続することはできません。新しい部屋の名前がアタッチメント()の後に追加されると、その部屋が作成され、選択したデバイスに接続されます。
- 9 アタッチャブルルームリスト:以前に作成された部屋があれば、リストから選択して選択したデバイスに取り付けることができます。
- 10 クローズ:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセットされます。
- 11 トされます。部屋を接続:選択したデバイスに部屋を接続します。

予約機器の特性:部屋の取り付け後

デバイスのプロパティは、基本プロパティ、ブッキングプロパティ、アドバンスプロパティに分けられます。

基本特性



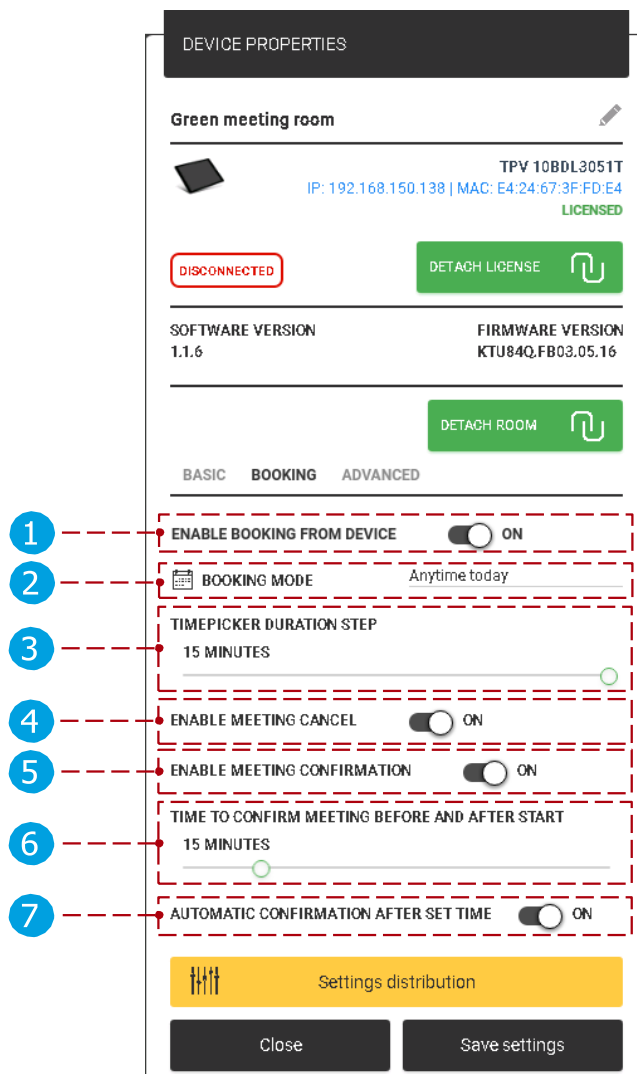
基本特性:

- 1 デバイスの部屋:現在接続されている部屋の名前。
「設定」メニュー、「部屋」タブ、「部屋プロパティの編集」、「表示名」に部屋エイリアスがない場合、元の部屋名が表示されます。エイリアスが追加されると、元の名前の代わりに表示されます。
- 2 添付された部屋名を編集:添付された部屋の名前は編集可能です。設定を保存すると名前が変更されます。Local、iCalendar、または Google カレンダーが接続されている場合にのみ部屋名を編集できます。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace、Lark/Feishu)でオンラインカレンダーの管理パネルでのみ編集できません。
- 3 デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。

ライセンスステータス:選択したデバイスに現在付与されているライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンスあり(予約画面ライセンスのみを添付可能))

- 5 デタッチライセンス:現在のライセンスを切り離します。デタッチメント後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。デタッチドライセンスは再度アタッチ可能です
- 6 デバイスステータス:選択したデバイスのステータス。(接続または切断)ソフトウェアバ
- 7 ージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- 8 ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示
- 9 されます。部屋を切り離す:現在接続されている部屋を選択したデバイスから切り離します。部屋が切り離されると、同期後にデフォルトの「会議室」が使用されます。
- 10 基本、予約、高度なプロパティ:選択すると、基本、予約、高度なパラメータが表示されます。
- 11 基本パラメータ:
 - 時計表示:デバイスの時計表示を変更する。(24 時間または 12 時間の形式)。
 - デバイス言語:デバイス上のテキストは選択した言語で表示されます。デフォルト言語は英語です。
 - カレンダーサービス:ローカルまたはオンラインカレンダーの接続が可能です。オンラインカレンダーが接続されている場合、デバイスはオンラインルームのみを使用できます。オンラインカレンダーが接続されていない場合はローカルルームのみを利用できます。
 - 収容人数:付属部屋の収容人数。
 - 部屋情報:部屋情報はデバイスの「利用可能な部屋」に表示されます。詳細は「設定、部屋タブ」にあります。
 - 表示名:Alias が使用され、部屋名として表示されます。追加されない場合は、部屋の元の名前が使われます。
- 12 オープンタイム:
 - 日:デバイスは選ばれた日の予約を行います。
 - 時間:デバイスは設定された時間の間に予約を取ります。
- 13 設定の分布:
 - すべてのデバイスに設定:チェックしたパラメータはすべてのデバイスに保存されます。
- 14 クローズ:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセットされ
- 15 ます。
- セーブ設定:デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

物件の予約

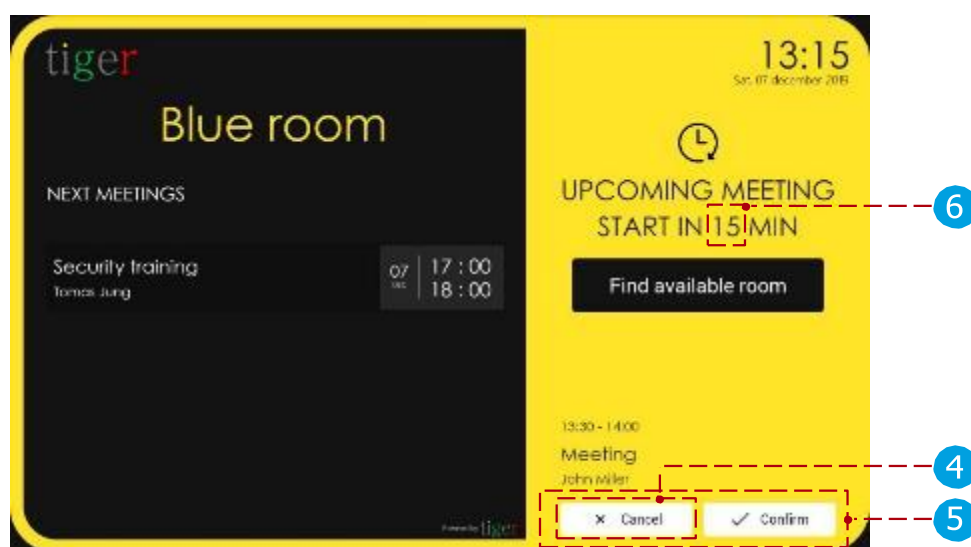


物件の予約:

- ① デバイスから予約を有効にする:パブリックスペースモード。オンにするとデバイスから会議を予約できます。それ以外はデバイス上で予約できません。(オンラインカレンダーが接続されている場合のみ)
- ② 予約モード:3 つの予約モードが利用可能です。
- ③ タイムピッカーの時間設定ステップ:会議予約のデフォルト時間です。時間ピッカーは設定値に合わせてキャリブレーションされます。(5 分、10 分、15 分、20 分の場合があります)
- ④ 会議キャンセルを有効にする:有効化すると、会議が近づいているときに「キャンセル」ボタンが表示され、無効にすると「キャンセル」ボタンは表示されません。
- ⑤ 会議確認を有効にする:会議開始前に、次の会議の確認が表示されます。会議が承認されると承認されます。キャンセルされると次の会議は削除されます。オフにすると確認ボタンが表示されず、設定された時間後に会議が確認されます。
(会議開始前後の確認時間())
- ⑥ 会議開始前後の確認時間:表示されるコントロール確認は、会議開始時間の前後に表示されます。
- ⑦ 自動確認時間:確認会議の時間が終了した時(定義)
点ごとに ⑥ 今後の会合が確定した、または現在の会合が確定した

自動的に。「会議確認を有効にする」がオフの場合、このオプションは表示されていません。

Android デバイスで:



- 5 オンラインカレンダーが添付されている場合、デバイス上の会議を確認する:会議が確定されていて開始されていない場合:
会議はキャンセル可能で、その会議は付属部屋のカレンダーから削除されます。
会議が確定し、会議が始まった場合:
会議はキャンセル可能で、会議は付属のカレンダー・ルームからは削除されません。会議終了時間がキャンセル時刻に変更されるのみです。

特定のデバイスでキャンセル確認を設定できる場合があります。



2 デバイスの予約モード:

1 この瞬間から:会議は現在の時間から予約可能で、今日のみ可能です。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

2 今日いつでも:会議は当日のいつでも予約可能です。

12.10.2019

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

3 いつでも:面談はいつでも、いつでも予約可能です。

< 12.10.2019 >

13:20	13:30	13:40	13:50	14:00	14:10	14:20	14:30	14:40	14:50
15:00	15:10	15:20	15:30	15:40	15:50	16:00	16:10	16:20	16:30
16:40	16:50	17:00	17:10	17:20	17:30	17:40	17:50	18:00	18:10

4 予約タイプはタイムピッカーの下部に表示されます。キャンセル:キャンセルしてメイン画面に戻る。

5
6 今すぐ予約:選んだ部屋に会議を確認。



4

5

6

高度な性質



高度な特性:

- ① デバイスのタイムゾーン: 選択したデバイスの時間は選択したタイムゾーンに設定され、デバイス上で予約された会議も同様に設定されます。
- ② 会議タイトル表示: オンにすると会議タイトルが表示されます(タイトルがなければ「Room busy」というテキストに置き換えられます)、オフにすると会議タイトルが「Room busy(話し中)」というテキストに置き換えられます。
- ③ 今後の会議を表示する: 会議開始前の時間が「近日中」と表示されます。(例えば、20分に設定されていて、会議が 14:00 に始まる場合、13:40 に「次回」と表示されます)
- ④ ビデオプレーヤーを有効にする: 有効にすると、追加のビデオ設定を設定できます。(会議がビデオ再生後に表示される場合は一時停止)
 - ⑤ ビデオプレーヤーのタイムアウト: 設定されたタイムアウト後にデバイス上でビデオが再生されます。ビデオ URL: 動画へのリンク。
 - ⑥ ビデオ要件: ファイル形式: MP4、最大サイズ: 200MB、解像度: 720p
 - ⑦ テスト動画: ボタンを押すと、管理アプリケーションのポップアップウィンドウで動画が表示されます。これはテスト目的です。

サンプルビデオ:

<https://tigermeeting.app/uploads/videos/Tiger-Full-HD-Animation.mp4>

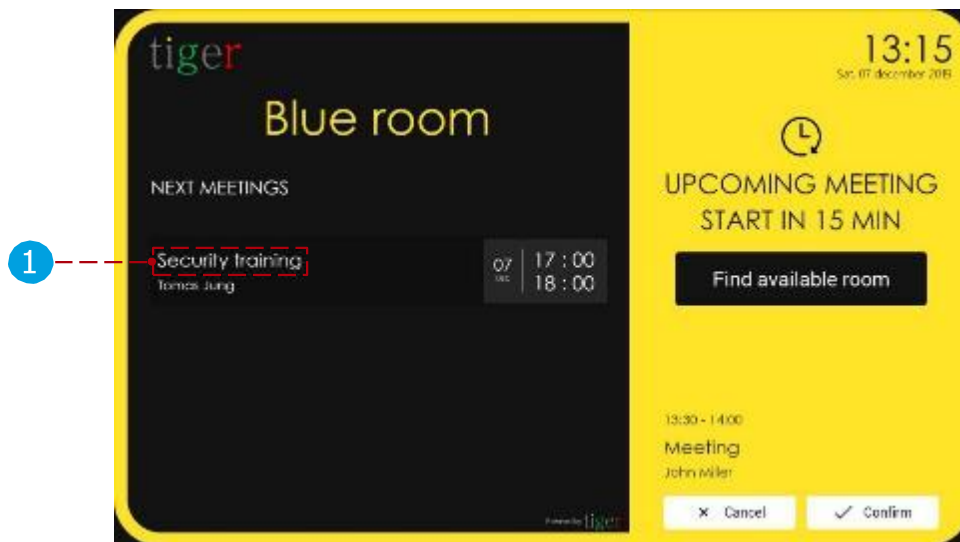
注: Tigermeeting は Android バージョン 5 から最新までをサポートしていますが、Android デバイ

スのローカルファイルへのアクセス権はバージョン間で大幅に変更されています。タイムアウト期間を過ぎても動画が再生されない場合は、メディアファイルとストレージへのアクセスがアプリケーションに許可されているか確認してください。詳細は Android セットアップマニュアルをお読みください。

注意:動画のフォームファクターと解像度は、画面の機能や向きに合わせて調整する必要があります。画面に縦方向のテーマがある場合、縦向きの動画よりも縦向きの動画に合い、逆も同様です。

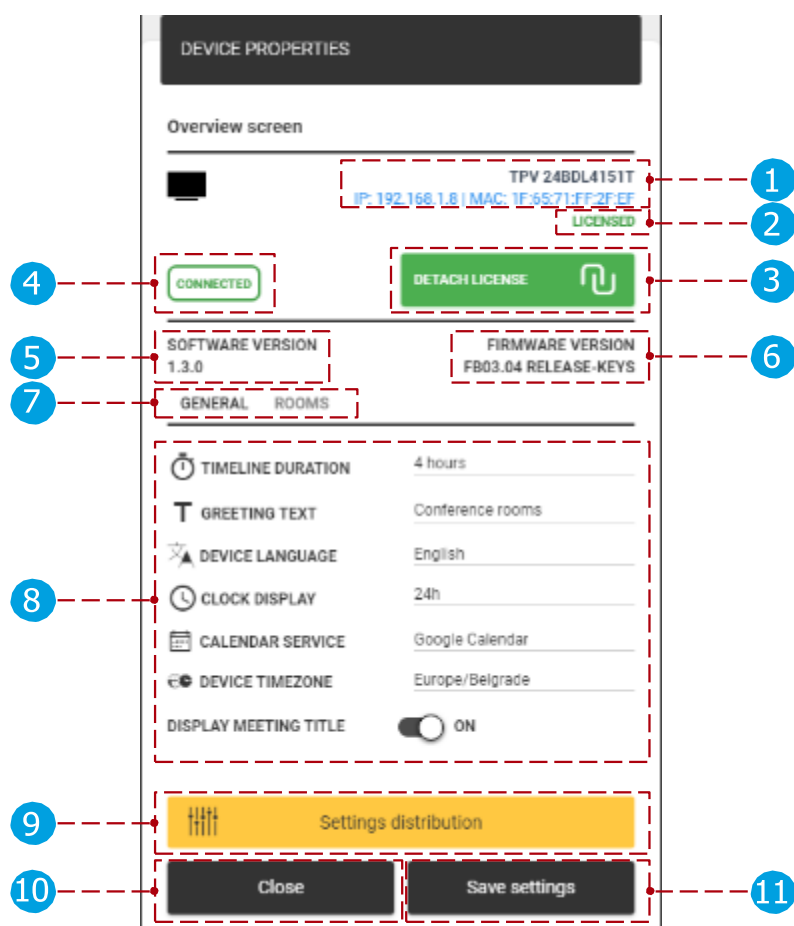
Android デバイスでは、次の会議の詳細はリクエスト通り「高度なプロパティ」に表示されます。

注意:非公開に設定された会議では、会議名は表示されません:



概要画面のプロパティ

一般的性質



一般的な性質:

- ① 概要画面 デバイス情報:選択したデバイスの IP アドレスと MAC アドレスが表示されます。
- ② ライセンスステータス:選択したデバイスに現在付与されているライセンスの種類。(ライセンスなしまたはライセンスあり(概要画面ライセンスのみを添付可能です))
- ③ デタッチライセンス:現在のライセンスを切り離します。デタッチメント後、選択したデバイスは「免許なし」に戻されます。デタッチドライセンスは再度アタッチ可能です。
- ④ デバイスステータス:選択したデバイスのステータス。(接続または切断)ソフトウェアバージョン:選択したデバイスの現在のバージョンが表示されます。
- ⑤ ファームウェアバージョン:選択したデバイスの現在のファームウェアバージョンが表示されます。
- ⑥ 一般およびルーム設定:選択すると、一般パラメータやルームパラメータが表示されます。
- ⑦ 一般的なパラメータ:
 - ① タイムラインの長さ:タイムラインは 4 時間または 8 時間のセクションで表示できます。(例えば、4 時間に設定されている場合、タイムラインは 09:00 から 13:00 まで表示されます)
 - ② 挨拶テキスト:タイムライン上部の挨拶テキスト。
- ⑧ デバイス言語:デバイス上のテキストは選択した言語で表示されます。デフォルト言語は英語です。
- ⑨ 時計表示:デバイスの時計表示を変更する。(24 時間または 12 時間の形式)。

- カレンダーサービス:ローカルでも、付随するオンラインカレンダーでも構いません
- カレンダーが添付されている場合、「部屋」設定は()。表示
- オンラインカレンダーが接続されていない場合は、地元の部屋のみが利用できます。
- デバイスタイムゾーン:概要画面 デバイスの時間は選択したタイムゾーンに設定され、会議予約も同様に設定されます。
- 会議タイトル表示:オンにすると会議タイトルが表示されます(タイトルがなければ「Room busy」というテキストに置き換えられます)、オフにすると会議タイトルが「Room busy(話し中)」というテキストに置き換えられます。

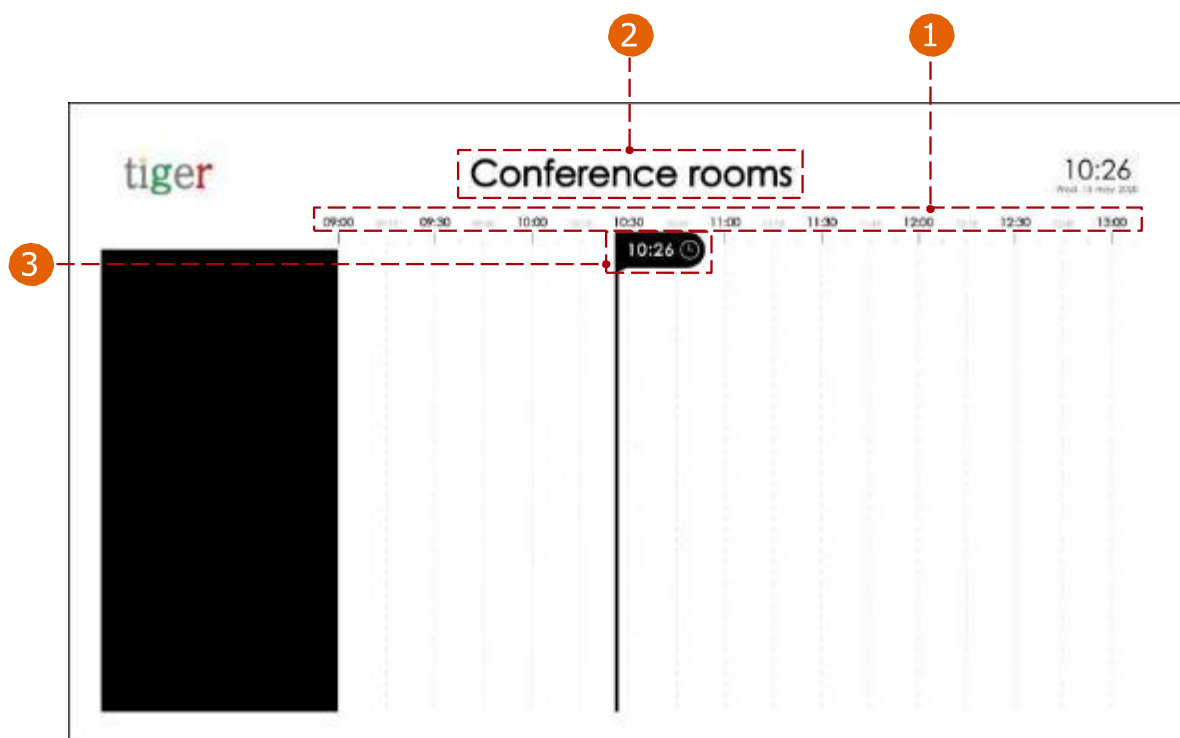
9 設定の分布:

すべてのデバイスに設定:チェックしたパラメータはすべてのデバイスに保存されます。

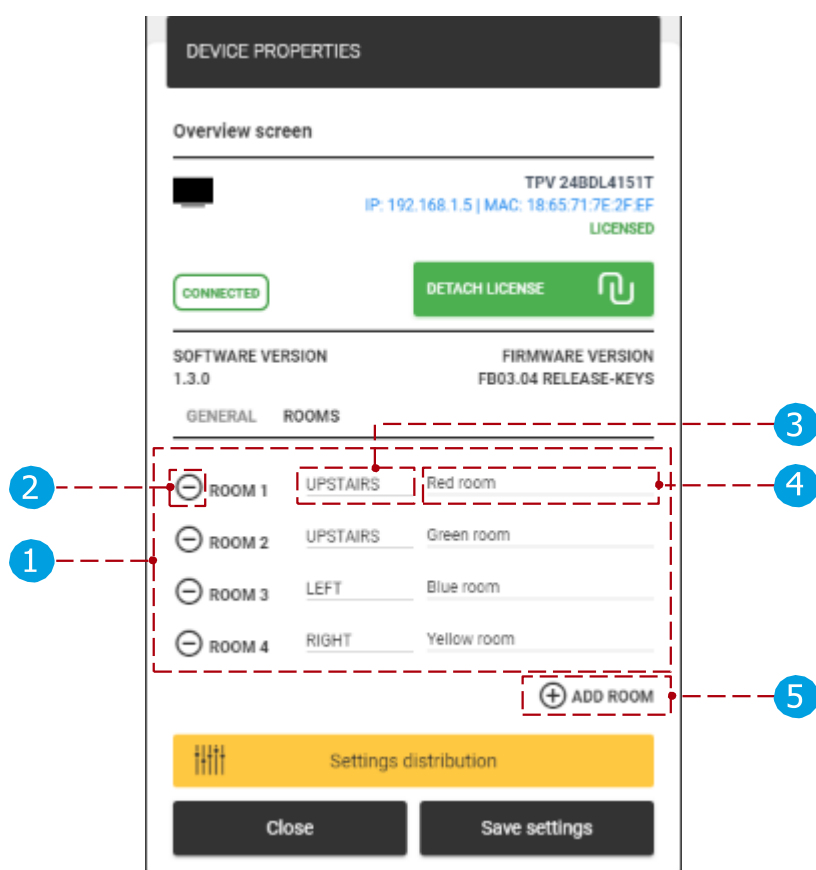
10 閉じる:アクションをキャンセルし、すべてのパラメータが前の状態にリセットさ

11 れます。設定を保存:デバイスのパラメータを保存し、ダイアログを閉じます。

概要画面では:



部屋の特徴



部屋の特徴:

- ① 部屋リスト:概要画面デバイスに付属している部屋が一覧表示されます。部屋を削除
- ② する:選択した部屋を部屋リストから削除します。
- ③ 位置情報:デバイスの位置情報アイコン(📍、📍 ← →)(上階、下階、左、右)があります。
- ④ 部屋:以前に作成された
部屋(ローカルまたは付随するオンラインカレンダー)は部屋リストに添付できます。
- ⑤ 部屋を追加する:リストに新しい部屋を追加します。
1つの概要画面でリストに追加できる部屋の数には限りがあります。1ページあたり10部屋の制限は、情報を提供しつつも詰め込みにくいために設定されています。
部屋リストはオーバービューデバイス専用であるため、方向は常にオフィス内のオーバービュー画面の物理的な位置と相対的に設定されます。

概要画面では:



概要画面(クラシックビュー)は、1 ページあたり 10 部屋を表示するのに対応しています。10 部屋以上追加されている場合、画面は自動的にページ分けを行い、リストの最初の 10 部屋を最初のページに、残りを他のページに表示します。リストで選ばれた順序は保持されます。

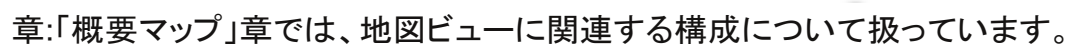
ENABLE OVERVIEW MAP ☐ OFF

OVERVIEW PAGINATION INTERVAL

15 SECONDS

ENABLE VIDEO PLAYER ☐ OFF

概要マップモード



Tigermeeting 管理アプリから Android APK をダウンロードしてください

Tigermeeting Android APK は、予約画面と概要画面の両方で Android 4.1 以降のほとんどのタブレット、スマートフォン、テレビデバイスに対応しています。

APK は管理者アプリからダウンロード可能です:

- Android 4.1 デバイス(4.x)をサポートする APK(4.x)
- Android 5.0 から最新の Android バージョン(5+)までのデバイスをサポートする APK

Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store のリリースは、管理者アプリの Android 5+バージョン APK と同一です。

デバイスにインストールするには、アイコンをクリックして対応する QR コードをスキャンしてください。



Tigermeeting は中国およびインドのデバイスメーカー向けの主要なアプリマーケットやスマートフォン・タブレットのアプリストアで認知・認証を受けています。

そのため、OPPO 開発者の間で受け入れられている Tigermeeting アプリは、OPPO ストアのユーザー向けに多くの極東諸国で利用可能で、ダウンロードやアップグレード機能を提供しています。



同様に、TigerMeeting は VIVO 開発者コミュニティのメンバーであり、香港、台湾、中国省、オーストラリア、バングラデシュ、インド、ネパール、スリランカ、ミャンマー、インドネシア、カンボジア、ラオス人民共和国、マレーシア、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム、ウクライナ、パキスタン、サウ

ジアラビア、ロシア連邦、アラブ首長国連邦など、世界中の VIVO スマートフォンやタブレットで特別許可を得て承認されています。

vivo Developers



GetApps Developers
Xiaomi Official App Market



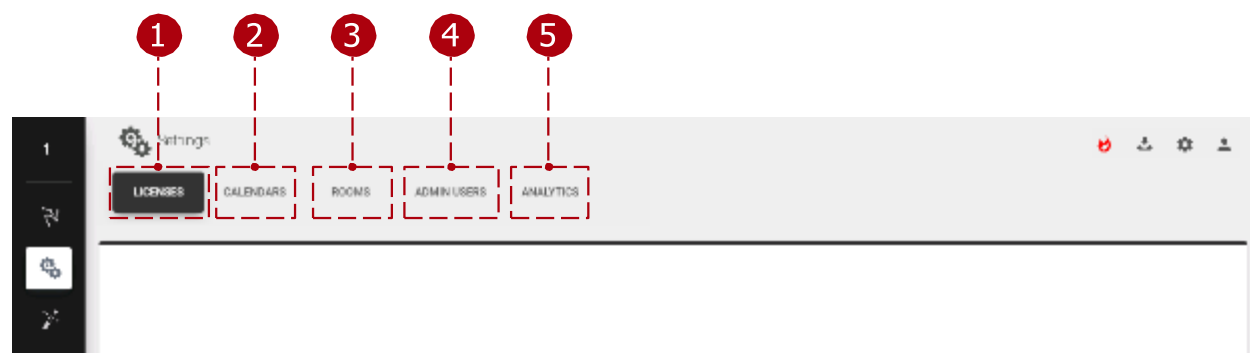
Tigermeeting は Xiaomi の公式 GetApps 市場で入手可能な Xiaomi デバイスでも認識・承認されており、Transsion Palmstore でも Dlightek Developer として利用されています。

Android の APK インストールは Android セットアップマニュアルで詳しく説明されています。

注: デバイスは緑のデフォルトテーマが表示される直後に完全に動作します。

舞台設定

舞台設定は 5 つのセクションに分かれています。

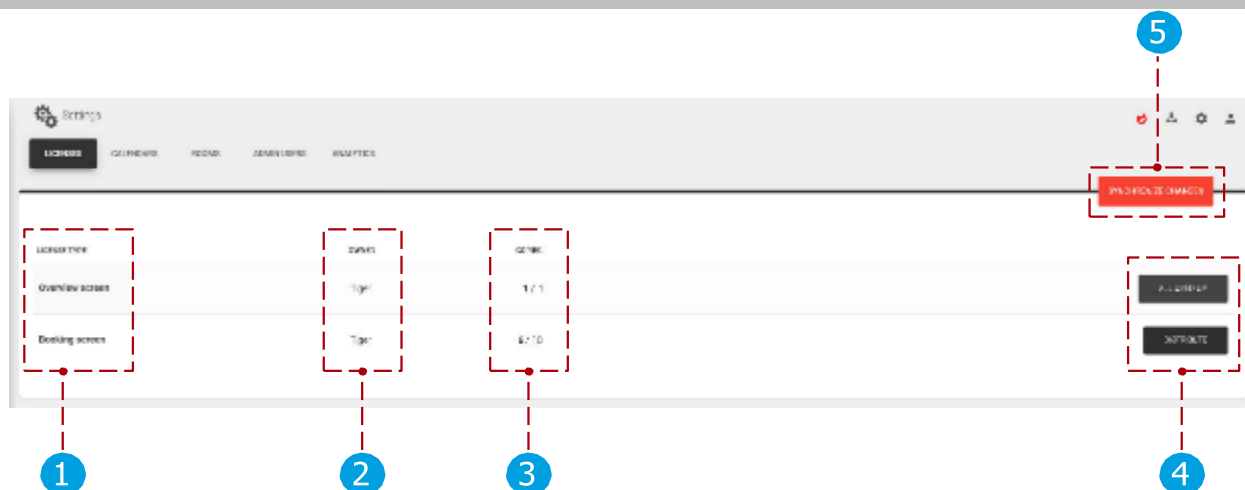


- ① ライセンスタブ: デバイスにライセンスを割り当てることができます。
- ② カレンダータブ: オンラインカレンダーは添付または切り離すことができます。部屋タブ: 部屋の作成、削除、編集が可能です。
- ③ 管理者ユーザータブ: 登録ユーザーが表示されます。
- ④ 分析: 収集されたデータは会議室の使用に関する貴重な情報を提供するために使用されます。明確な要請があれば、すべての累積イベントログを要求または永久削除することができます、これは GDPR、CCPA、LGPD、POPI の規則に準拠しています。

ライセンスタブ

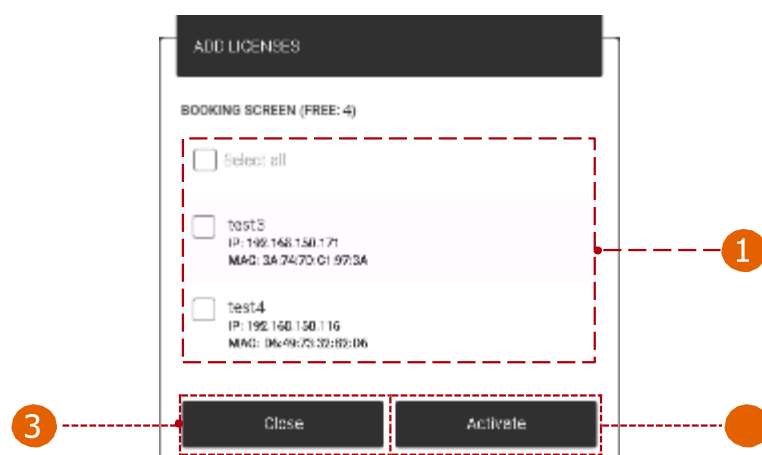
このセクションでライセンスを管理できます。会社コードには定義されたライセンスの数が含まれています。これらのライセンスはデバイス間で配布可能です。1 台のデバイスは 1 つのライセンスしか持ってません。ライセンスは一連の機能を定義します:

- **ライセンスなし:** ライセンスなしのデバイスはローカルカレンダーのみを使用でき、他の部屋での会議予約はできません。これはデモモードです。
- **予約画面ライセンス:** ライセンスは予約デバイスにのみ付与可能です。このデバイスは任意のオンラインカレンダーで使用可能で、設定すれば他の部屋での会議予約も可能です。
- **概要画面ライセンス:** ライセンスは概要デバイスにのみ付与可能です。デバイスは任意のオンラインカレンダーを使用できます。



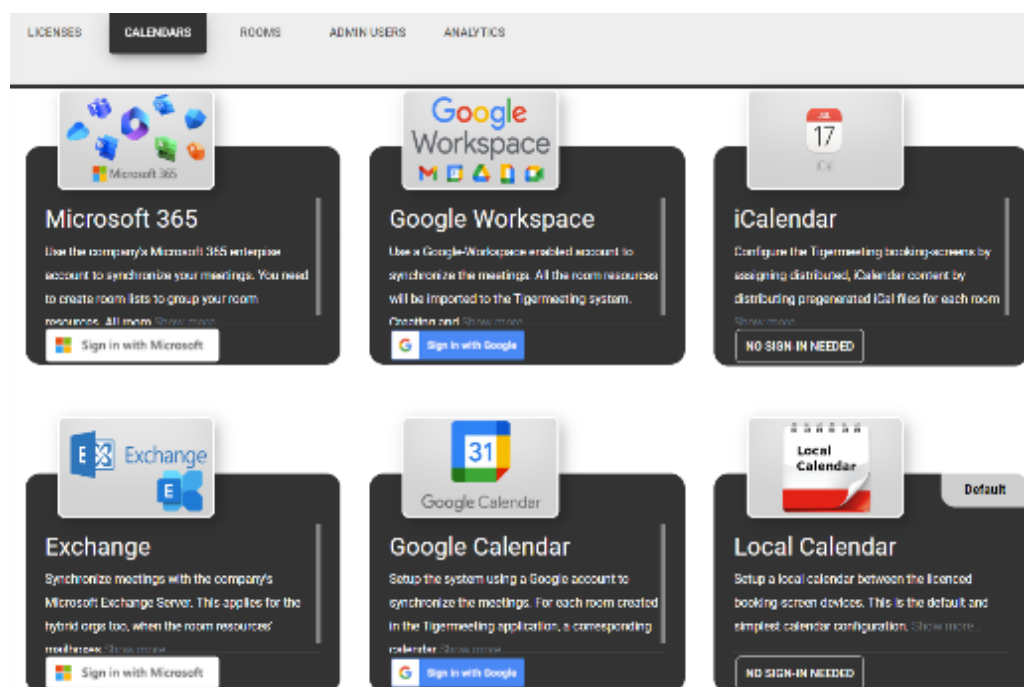
ライセンスタブ:

- 1 ライセンスタイプ: デバイス間で配布可能なライセンスの種類。(予約画面ライセンスは予約デバイスにのみ、オーバービュースクリーンライセンスはオーバービュースクリーンデバイスにのみ付与可能です。
- 2 オーナー: ライセンスのオーナー。
- 3 コピー数: 現在使用されているライセンス数と総ライセンス数。
最初の数字: 現在使用中のライセンス数。2 番目の番号: ライセンスの総数。
- 4 ライセンス配布: 選択したデバイスにライセンスを配布します。
すべて使い切られる: すべてのライセンスが配布された時点で。
- 5 変更の同期: ライセンスが配布される際には、デバイスと同期しなければなりません。
すべてのデバイスが切断されている場合は同期が許可されません。



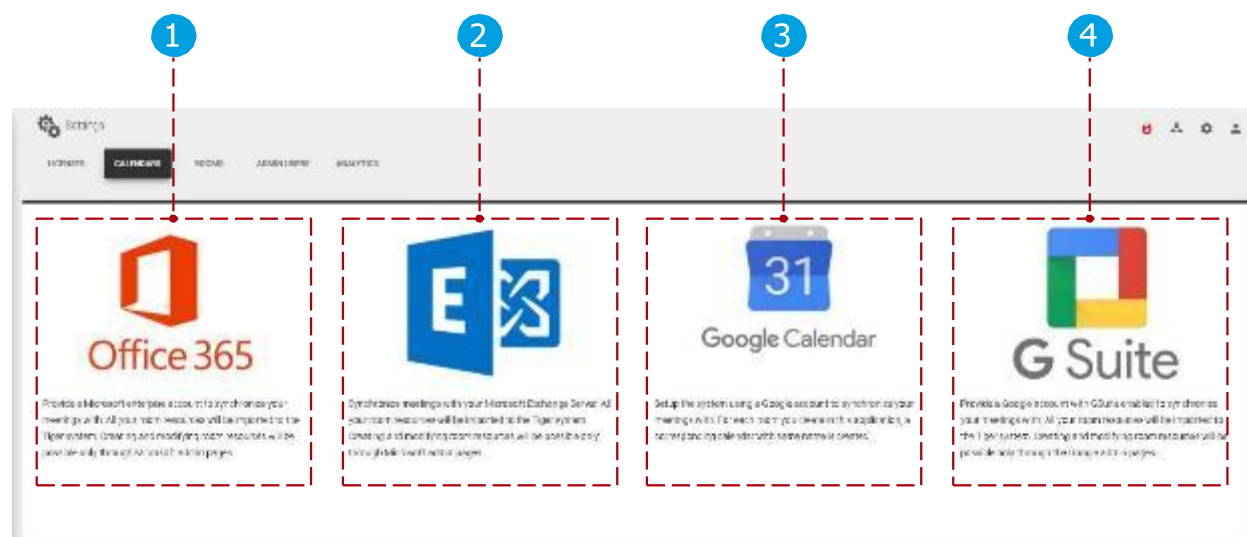
- 4 ライセンス配布:
 - 1 デバイス選択: ライセンス配布のために選択されたデバイス。アクティブ
 - 2 ート: 選択したデバイスのライセンスを有効化します。
 - 3 クローズ: 配布をキャンセルしてクローズします。

カレンダータブ



同時に 1 つのカレンダーしか添付できません:

- ① **Microsoft365 カレンダー:**会議を同期するための Microsoft エンタープライズアカウントを提供します。ルームリソースは Tigermeeting システムにインポートされますが、ルームリソースはオンラインで管理されます。
- ② **Exchange カレンダー:**Microsoft Exchange Server と会議を同期します。ルームリソースは TigerMeeting システムにインポートされます。
- ③ **Google カレンダー:**Google アカウントを使ってシステムをセットアップし、会議を同期させます。このアプリケーションで作成された各部屋ごとに、同じ名前の対応するカレンダーが作成されます。
- ④ **Google Workspace カレンダー:**会議を同期するための Google 管理者アカウントを提供します。ルームリソースは Tigermeeting システムにインポートされます。Google 管理ページを通じてルームリソースを作成・変更できます。



オンラインカレンダー以外にも、TigerMeeting は iCalendar とローカルカレンダーをサポートしています。

iCalendar:ウェブサーバー(HTTP または HTTPS プロトコル)を通じて、RFC 5545 仕様

に準拠した形式で事前に生成された iCal ファイルを公開し、そのサイズは 10Mb を超えません。
これらのファイルは利用可能な限りルームリソースとして扱われます。URL が変わらない限り、ファイルの置き換えは許可されています。

ラーク/フェイス:会議を同期させるためにラークまたはフェイスの管理者アカウントを提供します。ルームリソースはタイガーミーティングシステムにインポートされます。ラークまたはフェイスの管理ページを通じてルームリソースを作成・修正してください。

CalDAV: CalDAV サーバーで認証し、各部屋に CalDAV リソースを割り当てて Tigermeeting を設定します。CalDAV サーバーの URL、ユーザー名、パスワードが必要です。

ローカルカレンダー:他のカレンダーが設定されていない場合のデフォルト構成です。予約デバイスは画面上で予約することでのみ会議を同期します。これは主にデモ目的でのみ使用されます。

本環境では他のカレンダーをご利用ください。(個人アカウントで使う Google カレンダーが一番簡単です)

カレンダーを添付用にした場合:

5 ユーザーパラメータ:

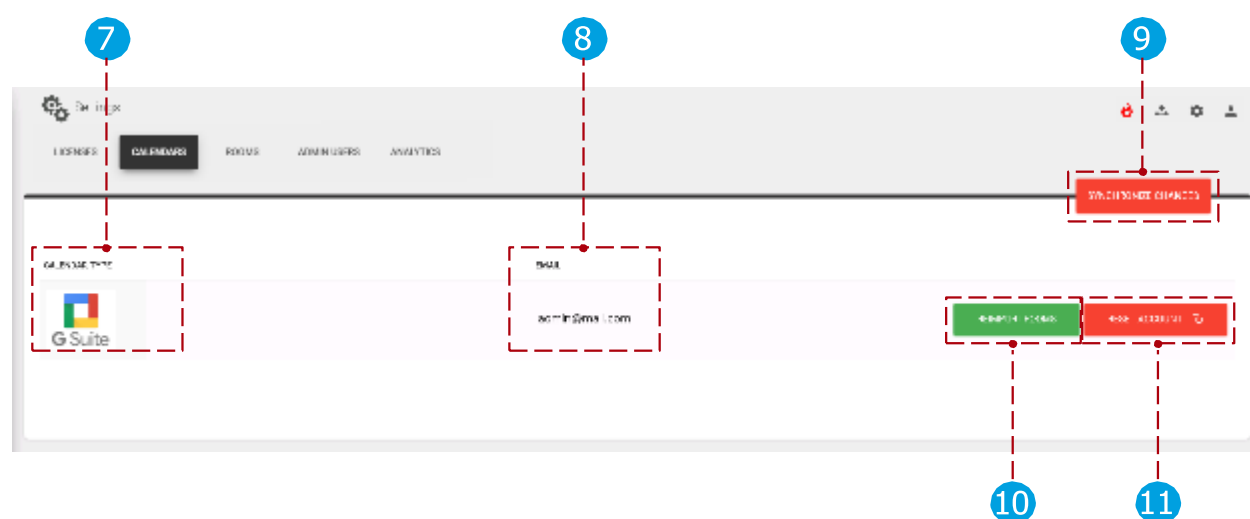
- Microsoft365 パラメータ:ユーザー名とパスワードを追加する必要があります。ルームリストを選択した後(ルームリストの詳細については「Microsoft365 カレンダーの設定」セクションをご覧ください)、添付処理を完了できます。
- Exchange パラメータ:ユーザー名、パスワード、Exchange サーバーの URL およびサーバーバージョンを追加し、ルームリストを選択した後(詳細は「Exchange カレンダーの設定」セクションをご覧ください)、添付処理を完了できます。
- Google および Google Workspace のパラメータ:カレンダーアカウントを登録した後、添付処理を完了できます。
- Lark および Feihu パラメータ:ユーザー名とパスワードは管理者のユーザー認証に使用されます
- iCalendar は認証を必要としません。
- CalDAV:CalDAV サーバーの URL が必要で、可能であればサーバータイプ (Carbonio、Google など)、ユーザー名、パスワードも記載してください。
- ローカルカレンダーは認証を必要としません。

6 コントロールを確認する:

- キャンセル:愛着のプロセスをキャンセルする。
- 提出:添付手続きを完了してください。

カレンダー添付後:

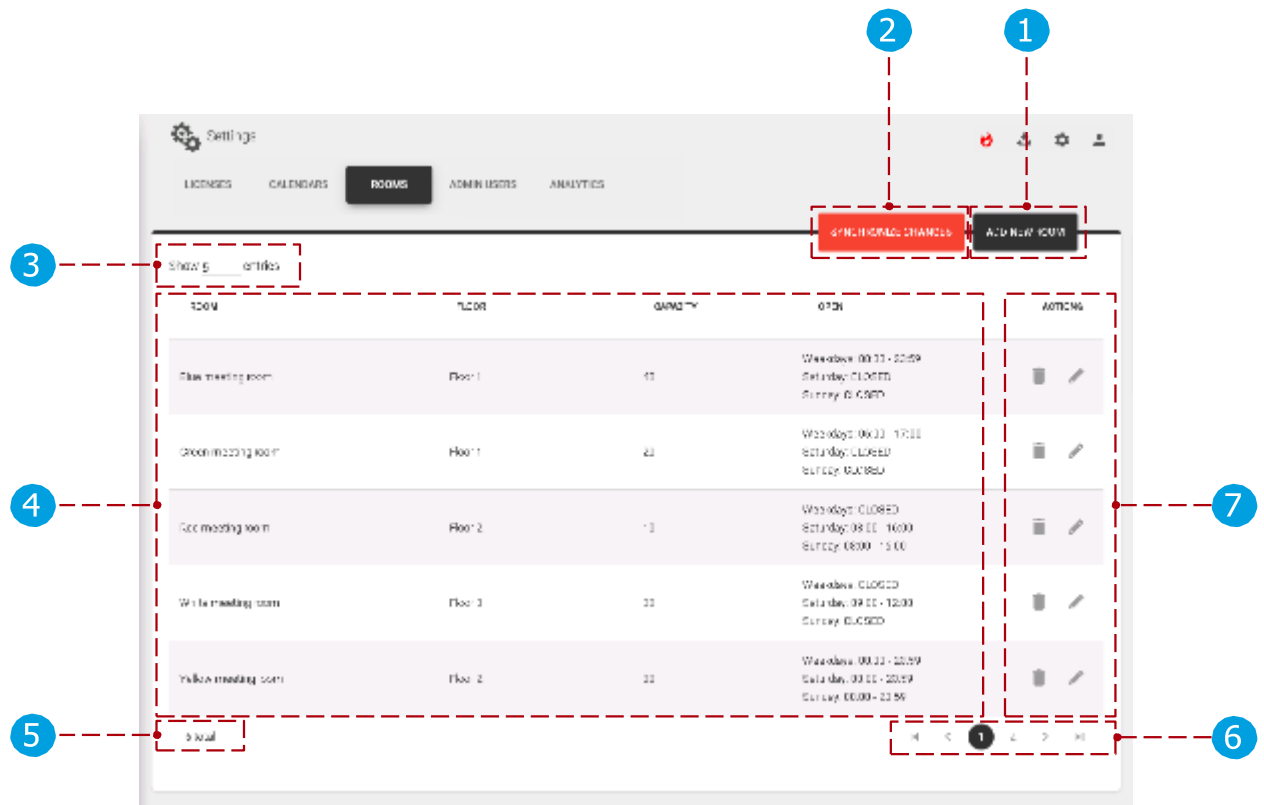
- 7 カレンダータイプ: 添付されたカレンダーの種類。
- 8 メール: 添付されたカレンダーユーザーのメールアドレス。
- 9 変更の同期: アタッチメント後は、変更をデバイスと同期しなければなりません。すべてのデバイスが切断されると同期は許可されません。
- 10 ルームの再インポート: ルームとそのパラメータを Tigermeeting 管理アプリケーションに再インポートできます。ルームの作成、削除、またはパラメータの変更(フロア、容量)をカレンダーの管理インターフェースで使います。Microsoft365、Exchange、Lark、Feihu、Google Workspace のカレンダーが接続されている場合も利用可能です。
- 11 アカウントをリセット: 選択したオンラインカレンダーを切り離しました。切り離した後、変更は自動的に同期されます。



Google Workspace カレンダーを Tigermeeting 管理アプリケーションに取り付ける方法の説明動画へのリンク:<https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OaIDwU>

部屋タブ

部屋の作成・削除、プロパティの編集が可能です。一度にデバイスに接続できる部屋は一つだけです。



部屋タブ:

- 1 新しい部屋を追加する:新しい部屋を作成する。カレンダーがない場合(デフォルトはローカルカレンダー)、Google カレンダーまたは i カレンダーが Tigermeeting 管理アプリケーションに紐付いている場合、新しい部屋を作成できます。
- 2 変更の同期:部屋が作成されたりプロパティを変更した後は、変更をデバイスと同期しなければなりません。すべてのデバイスが切断されている場合、同期は許可されません。
- 3 部屋数:1 ページあたりに表示される部屋数。
- 4 部屋一覧:作成または同期されたオンラインカレンダーの部屋一覧。
- 5 デバイス数:デバイスフィルターでフィルタリングされたデバイス数の合計数。(全て、フリー、接続済み、切断済み)
- 6 ページング:部屋が多ければ、他のページに表示されます。アクション:
- 7
 - ルーム削除:管理者アプリケーションから選択したルームを削除します。Microsoft365、Exchange、Google Workspace、または Lark/Feisu カレンダーが接続されている場合、ルームは削除できません。ローカル、Google、i カレンダーのカレンダールームのみが削除可能です。
 - 編集室:編集室のプロパティ。

オンラインカレンダーが接続されていない場合の部屋作成:

- オンラインカレンダーが接続されていなければ(ローカルカレンダーが使用)、部屋の作成、削除、編集は制限なく行えます。

Google カレンダーが接続されている場合の部屋作成:

- 部屋が作成されると、その部屋がすでに Google カレンダーに存在しているか確認されます。存在していれば、カレンダーの部屋と同期されます。もし存在していなければ、自動的に作成され、添付された Google カレンダーにも作成されます。部屋が削除された場合、管理者からのみ、またはカレンダーから管理者から削除することができます。

Microsoft365、Exchange、Google Workspace、または Lark/Feishu カレンダーが接続されている場合のルーム管理:

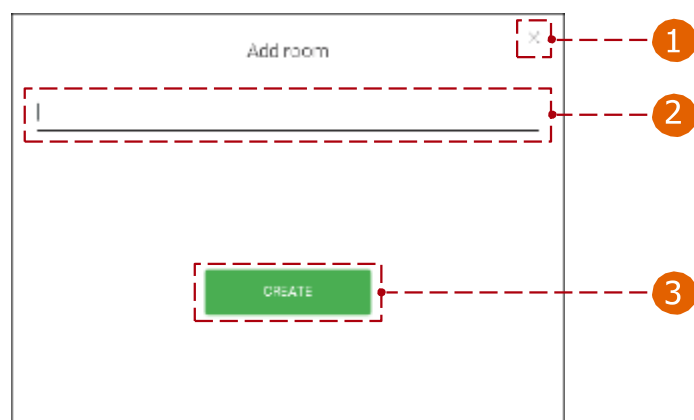
- 以前に定義された部屋があり、Microsoft365、Exchange、Google Workspace、または Lark/Feishu カレンダーが接続されている場合、以前に定義された部屋は削除され、オンラインカレンダーの部屋は管理アプリケーション内で同期・作成されます。

編集室のプロパティ:

- 部屋名: ルーム名はローカルカレンダーまたは Google カレンダーが接続されている場合のみ編集可能です。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace、Lark/Feishu)ではオンラインカレンダーの管理パネルからのみ編集できません。
- 容量: パラメータは Microsoft365、Exchange、Google Workspace から取得します。部屋情報: パラメータはすべてのカレンダーで編集可能です。
- 表示名: パラメーターはすべてのカレンダーで編集可能です。

1 新しい部屋の追加:

- 1 閉じる: 「部屋を追加」のポップアップウィンドウ
- 2 を閉じます。部屋名: 新しい部屋の名前。
- 3 作成: 新しい部屋を作成してください。同じ名前の部屋は許可されていません。



7 編集室のプロパティ:

- ① 部屋名:選ばれた部屋名。
- ② 編集名:部屋名は編集可能です。ルーム名はローカルカレンダーまたは Google カレンダーが接続されている場合のみ編集可能です。インポートした部屋の名前は、Tigermeeting 管理アプリケーション(Microsoft365、Exchange、Google Workspace、Lark/Feishu)ではオンラインカレンダーの管理パネルでのみ編集できません。
- ③ 容量:Exchange、Microsoft365 の容量は編集できません
- ④ 情報:部屋名の下に部屋情報が表示されます。
- ⑤ 表示名:Alias が使用され、部屋名として表示されます。追加されない場合は、部屋の元の名前が使われます。
- ⑥ 時間:デバイスは設定された時間帯の間に利用可能です。(例:06:00 から 17:00 の間)
- ⑦ 日:チェック済みの日があり、デバイスから予約が可能です。(例えば、平日は予約可能で、土曜日と日曜日は部屋が閉まって予約できません)
- ⑧ 閉鎖:部屋の物件をキャンセル・閉鎖する。
- ⑨ セーブ設定:部屋のプロパティを保存します。保存後は他のデバイスと同期しなければなりません。

The screenshot shows the 'ROOM PROPERTIES' dialog box with the following elements and callouts:

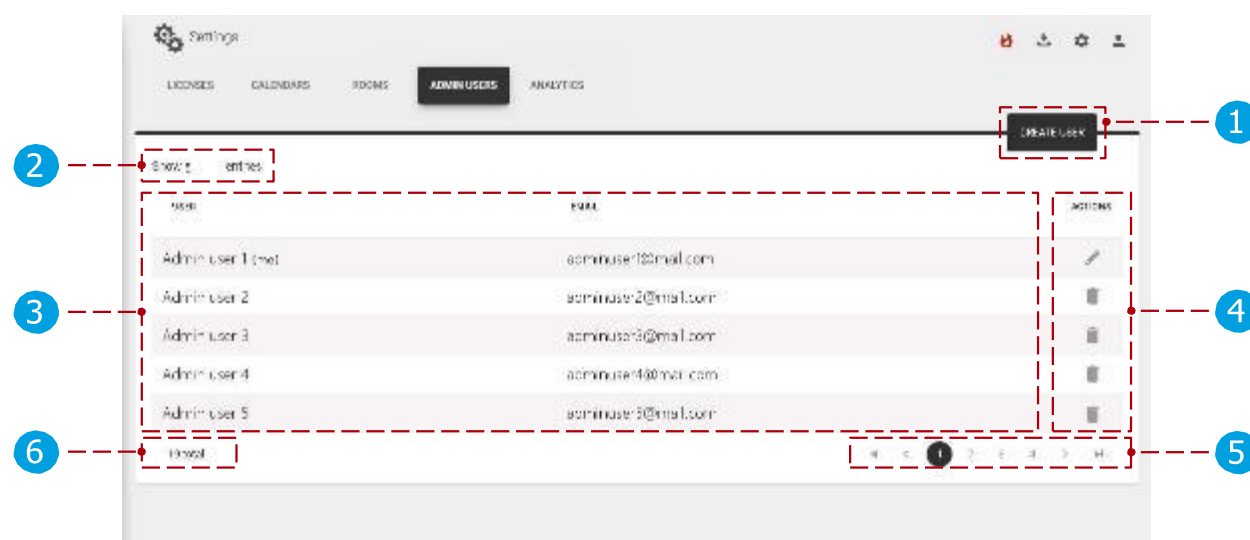
- 1**: Points to the room name input field containing 'Green meeting room'.
- 2**: Points to the edit icon (pencil) next to the room name.
- 3**: Points to the 'CAPACITY' field showing '20'.
- 4**: Points to the 'INFO' field showing 'Floor 1'.
- 5**: Points to the 'DISPLAY NAME' field showing 'Not set'.
- 6**: Points to the time range sliders for weekdays (06:00 to 17:00) and weekends (00:00 to 00:00).
- 7**: Points to the 'OPEN' section containing checkboxes for 'WEEKDAYS' (checked), 'SATURDAY', and 'SUNDAY'.
- 8**: Points to the 'Close' button.
- 9**: Points to the 'Save settings' button.

Android 端末では:



管理者ユーザータブ

Tigermeeting 管理アプリケーションの全ユーザー名はここに記載されています。



管理者ユーザータブ:

- ① ユーザー作成:新しい管理者ユーザーを作成します。
- ② 管理者数:ページごとに表示される管理者数。
- ③ 管理者一覧:管理者パラメータが表示されます。(アクティブな管理者ユーザーは「(私)」とマークされています)
- ④ アクション:
 - 追記:現在の管理者ユーザーのパラメータを編集しました。
 - 削除:Tigermeeting 管理者アプリケーションから選択した管理者ユーザーを削除します。
- ⑤ ページング:管理者が複数いれば、他のページに表示されます。管理者総
- ⑥ 数:アプリケーション内の管理者総数。

- ① 新しい管理者ユーザーを作成する:新しいユーザーが作成されると、登録メールが指定されたメールアドレスに送信され、ユーザーパスワードが記載されています。アクティベーションメールが迷惑フォルダに入っていないか必ず確認してください。

- ① ファーストネーム:管理者ユーザーのファーストネーム。
- ② 姓:管理者ユーザーの姓。
- ③ メールアドレス:管理者ユーザーのメールアドレスです。
- ④ キャンセル:アクションをキャンセルします。
- ⑤ 作成:ユーザーを作成し、アクティベーションメールを送信します。

The screenshot shows a 'Create user' dialog box with a close button (X) in the top right corner. Inside the dialog, there are three input fields: 'First Name...' with a person icon, 'Last Name...' with a person icon, and 'Email...' with an envelope icon. Below these fields are two buttons: a grey 'CANCEL' button and a green 'CREATE' button. Red dashed lines with numbered circles (1-5) point to specific elements: 1 points to the 'First Name' field, 2 points to the 'Last Name' field, 3 points to the 'Email' field, 4 points to the 'CANCEL' button, and 5 points to the 'CREATE' button.

- ④ 現在の管理者ユーザーを編集:

- ① ファーストネーム:管理者ユーザーのファーストネーム。
- ② 姓:管理者ユーザーの姓。
- ③ メールアドレス:管理者ユーザーのメールアドレスです。
- ④ パスワード変更:
 - 古いパスワード:古いパスワードがなければ新しいパスワードを作成することはできません。
 - 新しいパスワード:新しいパスワードは最低限の文字数でなければなりません。
 - 新しいパスワードを確認する:新しいパスワードとパスワードの確認はまったく同じでなければなりません。
- ⑤ 閉じる:ユーザープロパティのセクションを閉じます。
- ⑥ 変更を保存:現在の管理者ユーザーのパラメータを保存します。

USER PROPERTIES

Admin User

FIRST NAME Admin

LAST NAME User

EMAIL admin@mail.com

PASSWORD CHANGE

OLD PASSWORD

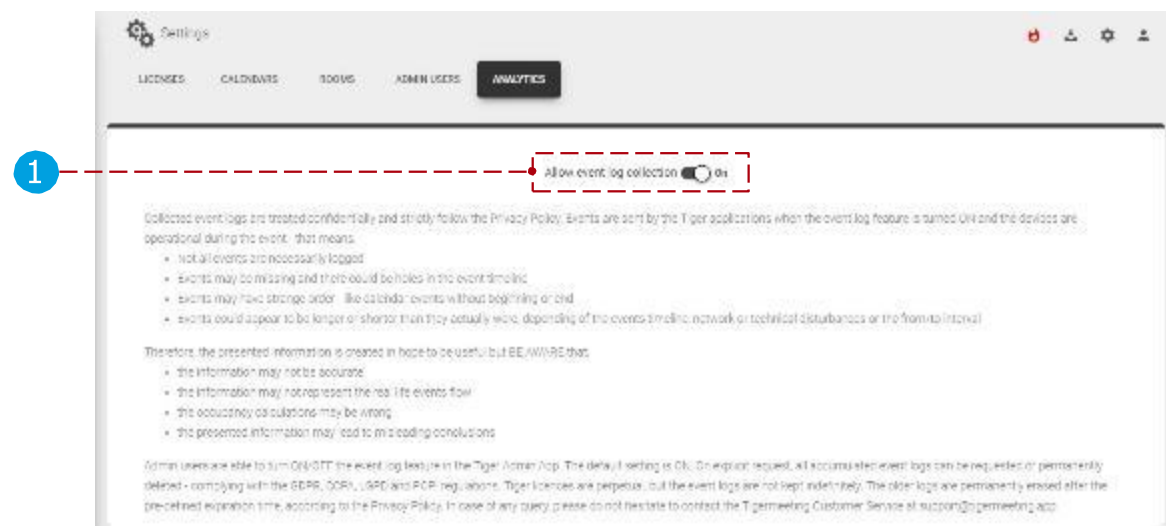
NEW PASSWORD

CONFIRM NEW PASSWORD

Close Save changes

アナリティクスタブ

収集されたデータは、会議室の利用状況、企業文化、イベント分析に関する有用かつ価値ある情報を提示するために活用されます。



分析タブ:

- 1 管理者ユーザーは Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。

収集されたイベントログは機密扱いされ、プライバシーポリシーを厳守します。イベントログ機能がオンになり、デバイスがイベント中に稼働している場合、Tigermeeting アプリケーションからイベントが送信されます。つまり:

- すべてのイベントが必ずしも記録されているわけではありません。
- イベントが欠落している可能性や、イベントのタイムラインに穴がある可能性があります。
- イベントは奇妙な順序を持つこともあります。例えば、始まりも終わりもないカレンダーイベントのように
- イベントは、イベントのタイムライン、ネットワーク、技術的な混乱、または来る間隔によって、実際よりも長く見えたり短くなったりすることがあります。

したがって、提示された情報は役に立つことを願って作成されますが、以下を注意してください:

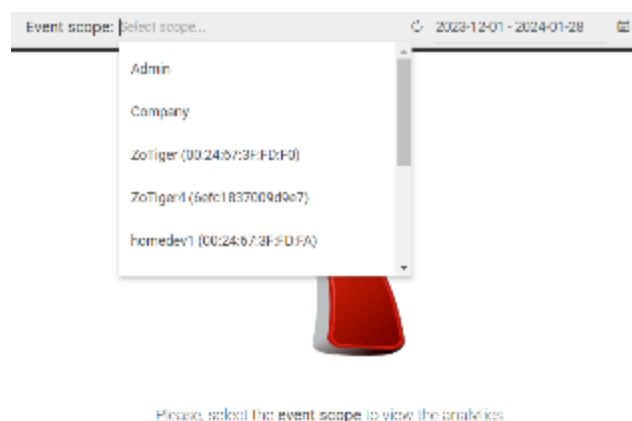
- 情報が正確でない場合もあります。
- 情報が実際の出来事の流れを反映していない場合や、占有率の計算が誤っている可能性があります。
- 提示された情報は誤解を招く結論を導く可能性があります。

管理者ユーザーは Tigermeeting 管理アプリのイベントログ機能をオン/オフできます。デフォルト設定は ON です。明示的なリクエストにより、蓄積されたすべてのイベントログを要求または永久削除することができ、これは GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、POPI の規則に準拠しています。

Tigermeeting のライセンスは永久的ですが、イベントログは無期限に保存されるわけではありません。古いログは、プライバシーポリシーに基づき、あらかじめ定められた有効期限を過ぎると永久に消去されます。ご質問がある場合は、どうぞ Tigermeeting カスタマーサービスまでお気軽にお問い合わせください:support@tigermeeting.app

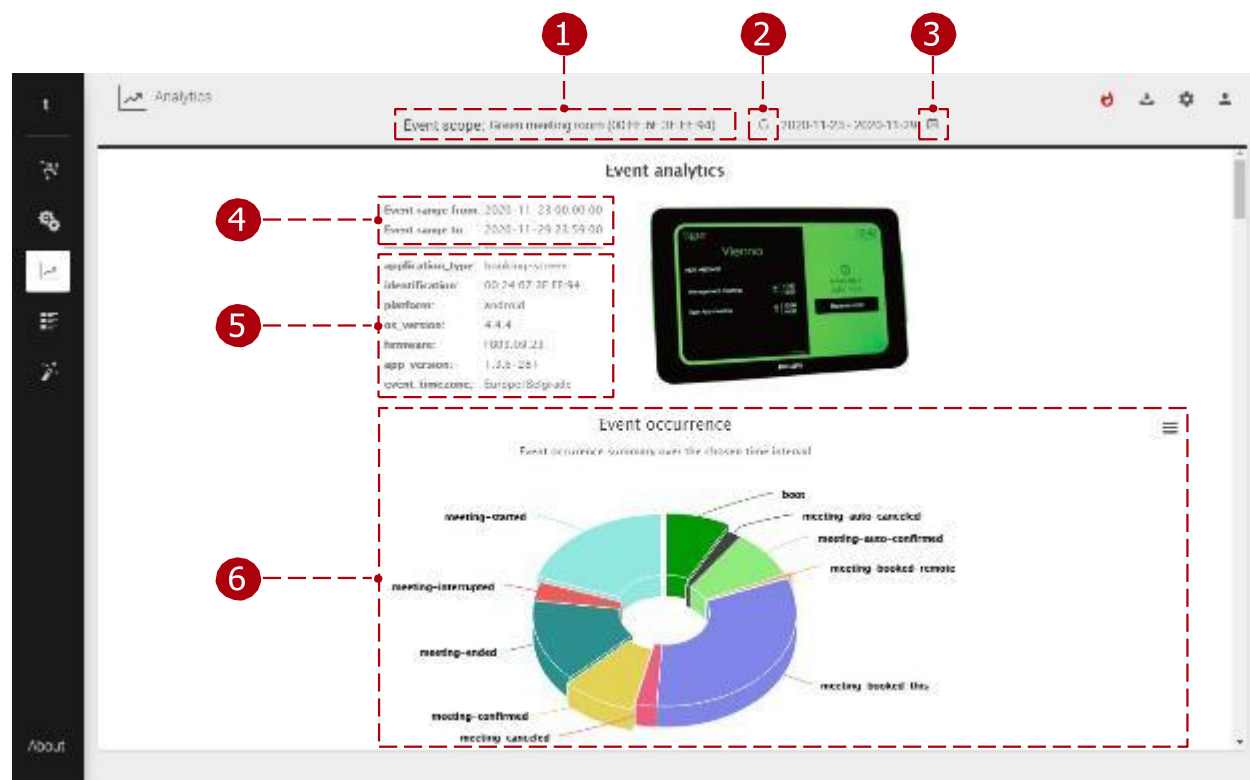
分析

指定された日付範囲内で、予約、概要デバイス、管理者、企業の分析を生成できます。



設定:

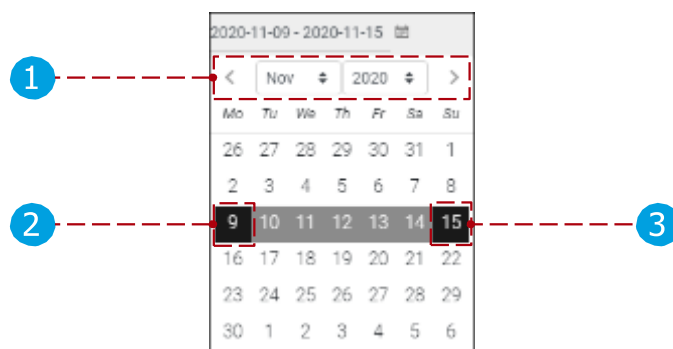
- ① デバイスリスト: 選択したデバイスに対して分析が生成されます。予約および概要、デバイス、管理アプリケーションおよび会社。
企業の分析には、会社が保有するすべての予約画面デバイスからのデータが含まれます。
- ② 解析データを選択したデバイスに再読み込みします。
- ③ 日付選択: 設定された日付間で分析が生成されます。
- ④ イベント分析の日付範囲。
- ⑤ デバイス情報。(種類、識別、プラットフォームなど)
- ⑥ 分析データはチャートで示されています。



3 日付選び:

- ① 年と月を選ぶ人たち。
- ② まず、開始日を選択しなければなりません。
- ③ 次に、停止日を選択しなければなりません。

月間の日付範囲を設定するには、年と月の選択器を使います。



6 チャート:

① チャートオプション:

チャートデータは印刷(チャート印刷)またはダウンロード(PNG、JPEG、PDF、SVG 画像、または CSV、XLS としてのデータをダウンロード)できます。データは表表示(データ表表示)で表示できます。

- ② イベント(予約デバイス、ブート、会議予約済み、会議確認済み、会議開始、終了など)はイベントタイムラインに表示されます。チャートはクリックしてドラッグすることでズーム可能です。タイムラインチャートと表のデータには最大 300 件のイベントが含まれます。他のチャートにはこの制限はありません。

- ③ イベントの上でカーソルを合わせると、イベントの詳細が表示されます。

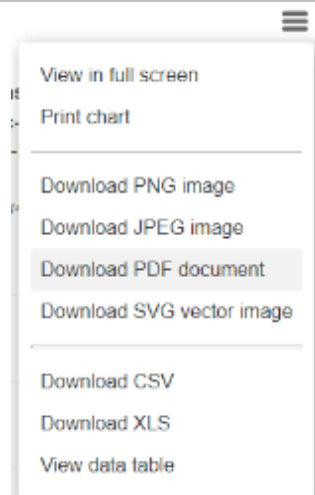
- ④ イベントタイムラインチャートフィルター。

イベントタイムラインフィルター。(チャートズームはこちらで変更可能です)

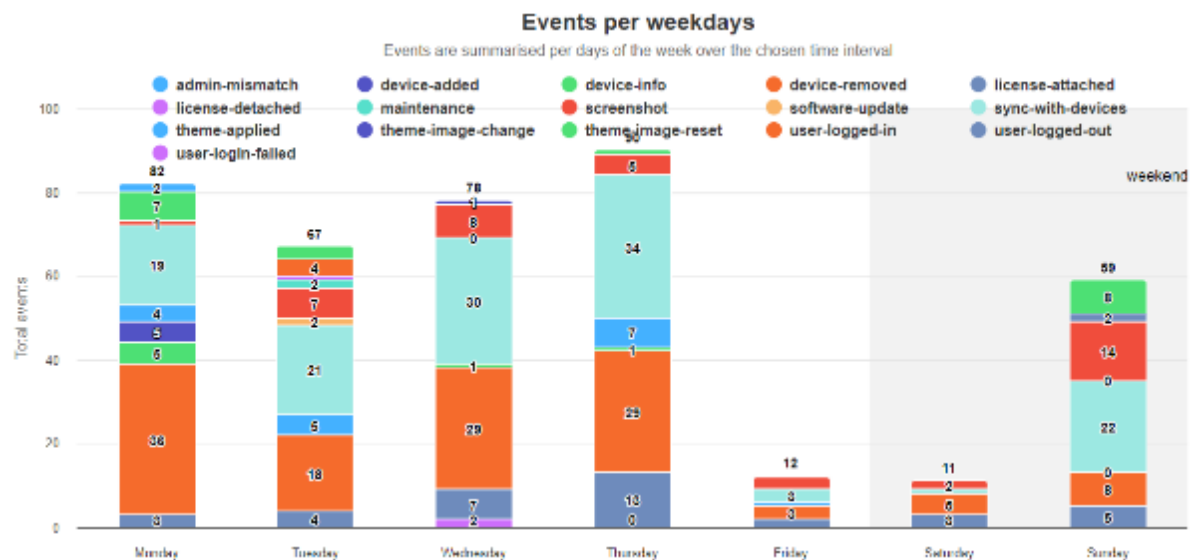
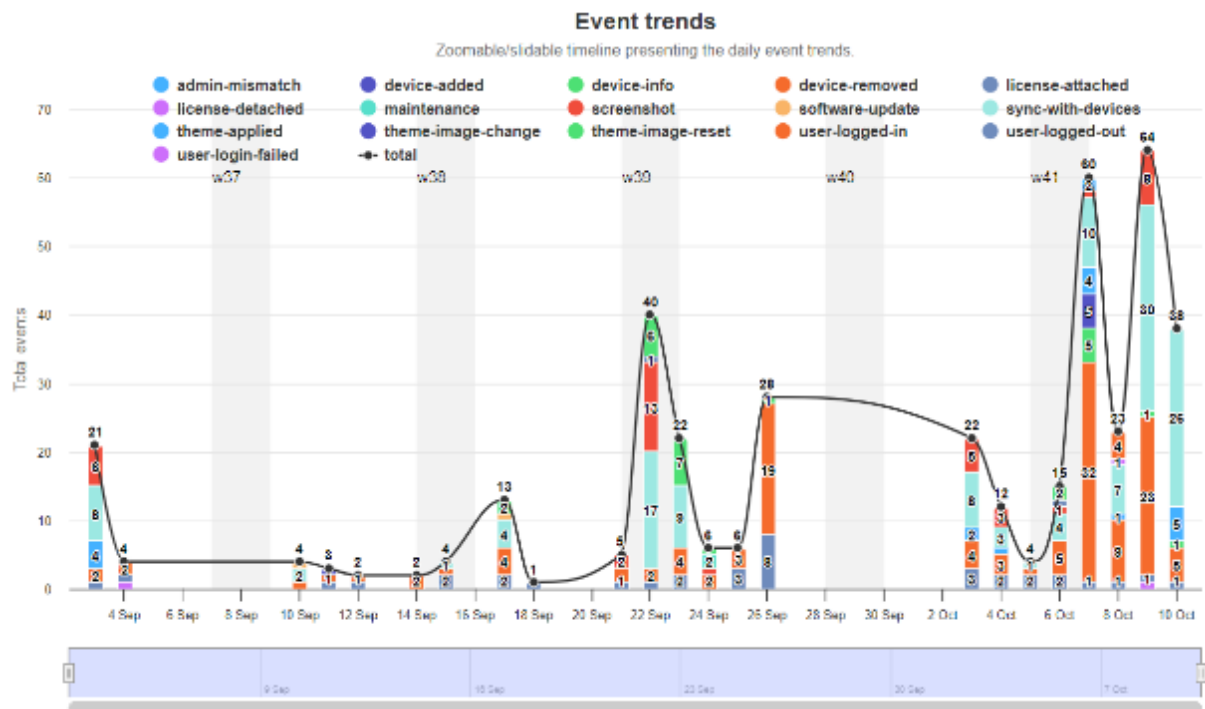


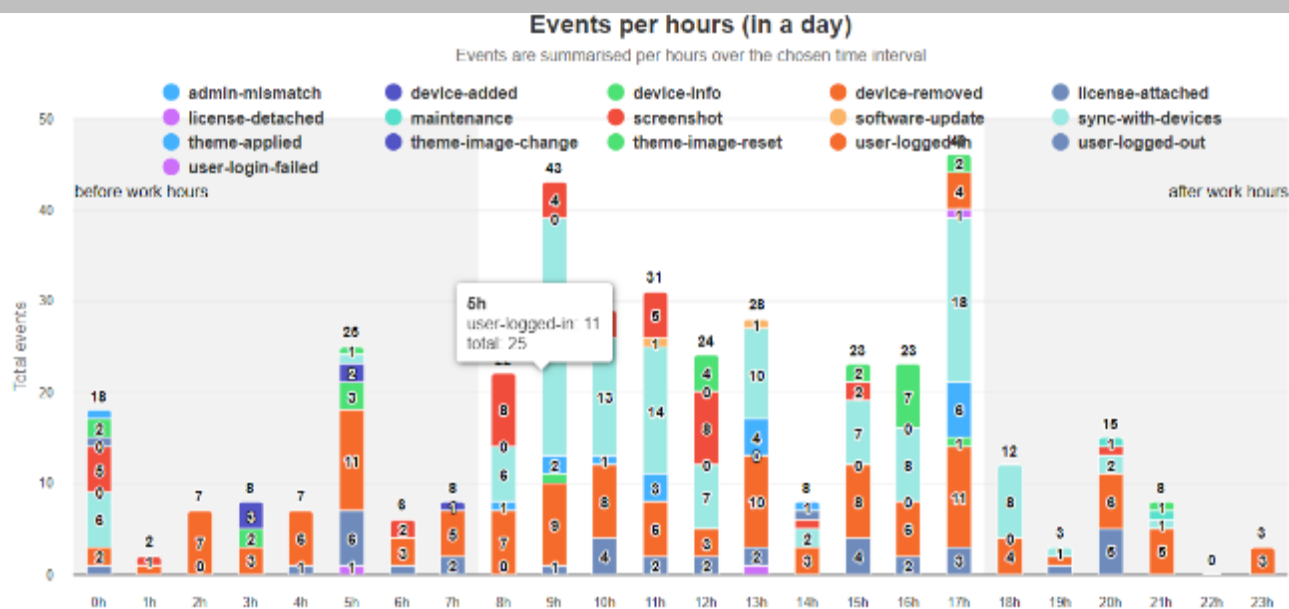
チャートやデータの可視化は、後のリリースで変更可能です。

データはチャートに表示したり、アナリティクスエクスポート機能を使って BI ツールにエクスポートしたりできます。

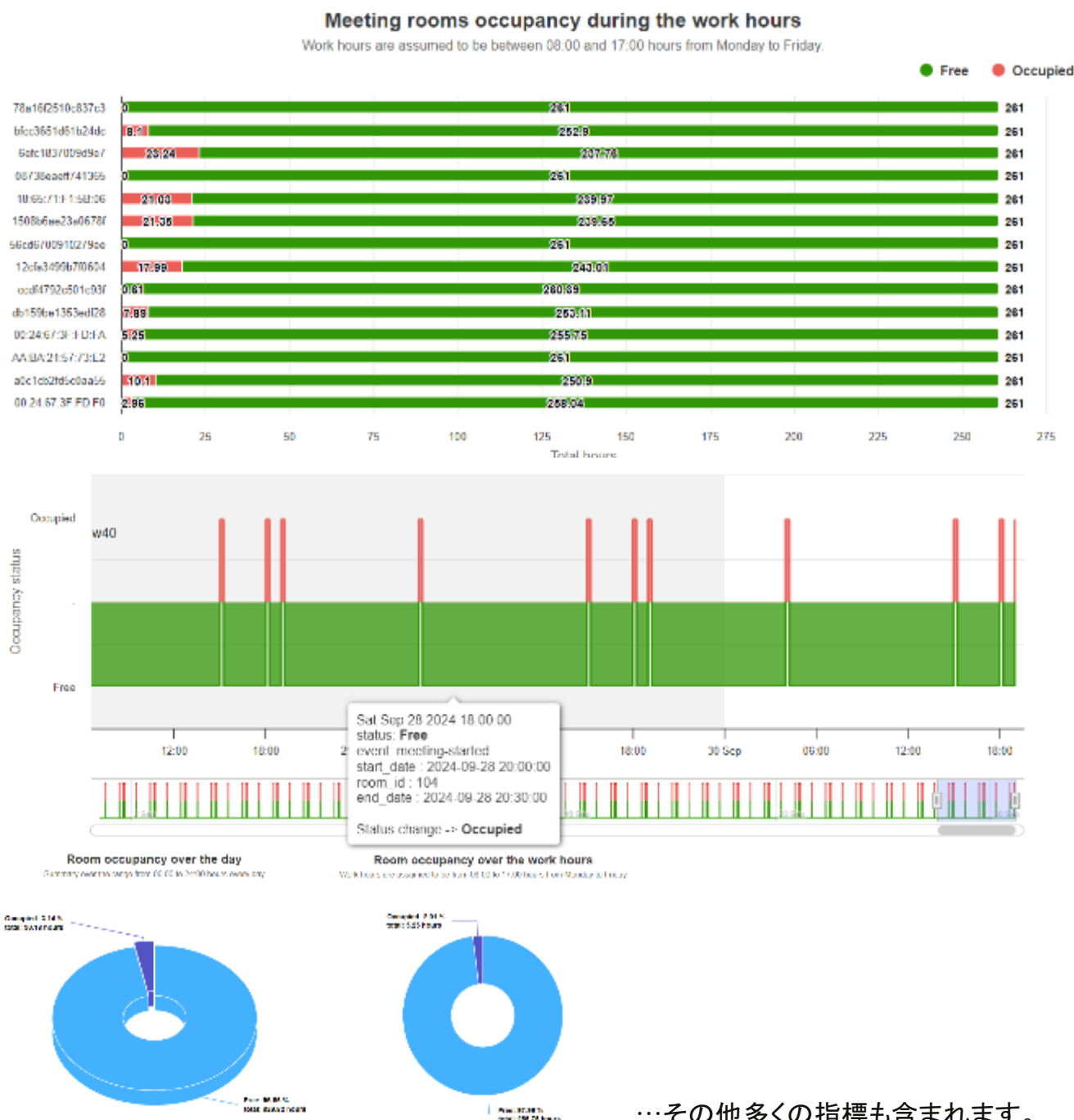


イベント関連グラフ





会議関連グラフ



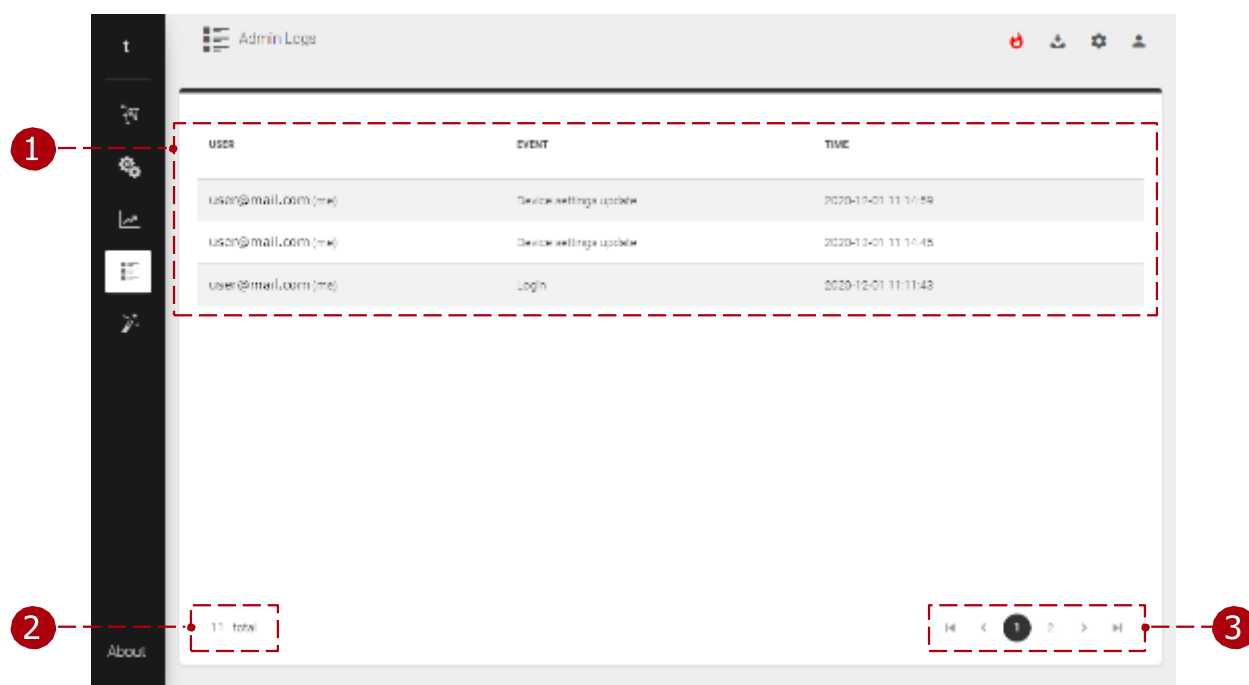
…その他多くの指標も含まれます。

管理者ログ

Tigermeeting 管理アプリケーションで実行されたすべてのイベントがイベントリストに表示されます。管理者のログイン、ログアウト、デバイス設定の更新、ソフトウェア更新、ライセンスの添付、切断、デバイス再起動などのイベントも一覧表示されます。

管理者ログ:

- ① 出来事、原因、日付と時間の一覧。出来事
の総数。
- ② ページング:出来事をページングして。
- ③



重要なイベントは赤色で示され、注目を集めます。

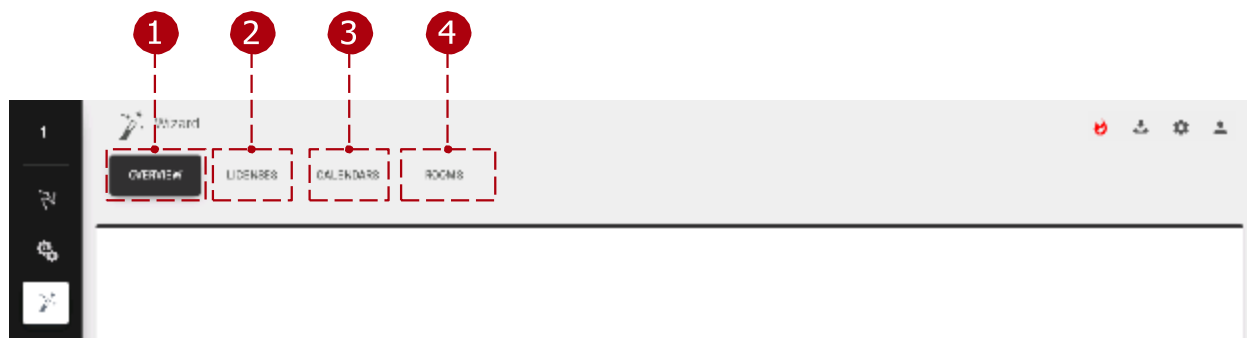
zoli@tigermeeting.app (me)	License attached (797259278f446f60)	2024-03-29 18:37:49	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Screenshot (797259278f446f60)	2024-03-29 18:18:08	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device settings sync	2024-03-29 18:17:57	83.251.235.241	Windows (3.3.5)
zoli@tigermeeting.app (me)	Theme applied (manufaktura)	2024-03-29 18:17:55	83.251.235.241	Windows (3.3.5)

管理者ログは直近 500 件のレコードのみを読み込みますが、顧客はプライバシーポリシーに従って利用可能なすべてのログの閲覧または削除をリクエストできます。

注意:管理者ログはオフにできません。

ウィザード

一般的に、Tigermeeting 管理アプリケーションを初めて起動した際に使われます。ユーザーはステップバイステップのウィザードによって案内されます。

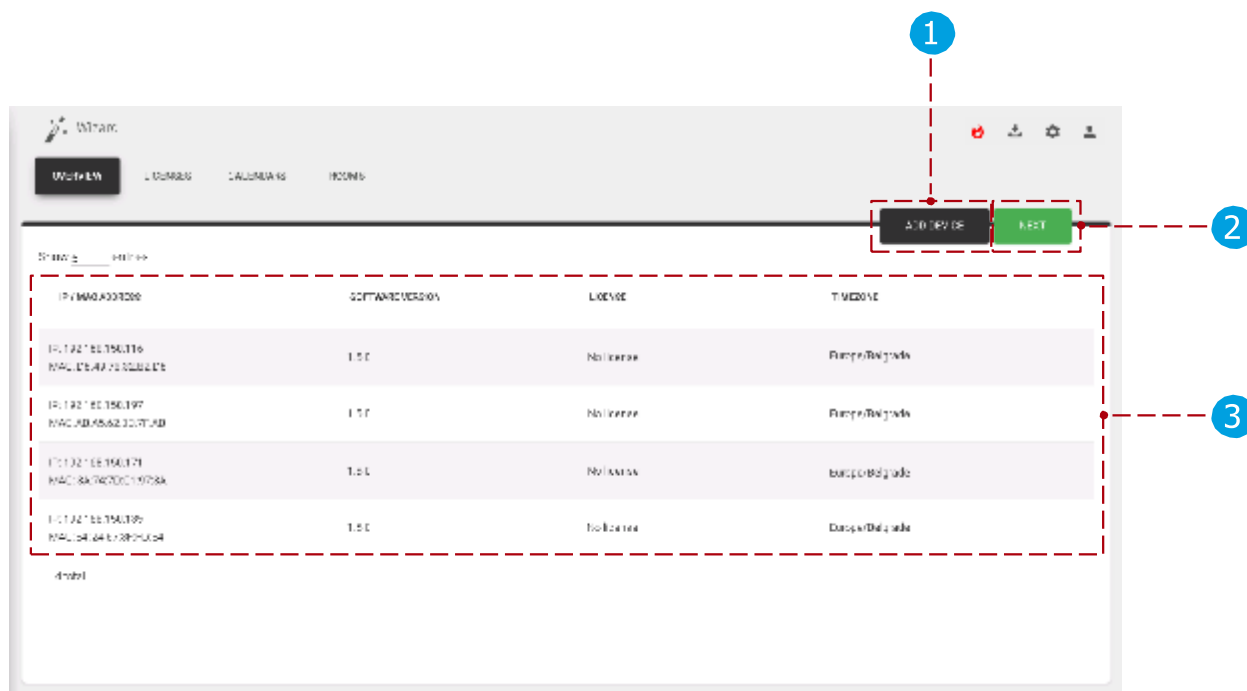


ウィザード:

- ① 概要タブ: デバイスの基本概要。
- ② ライセンスタブ: デバイス間で配布可能な利用可能なライセンス。カレンダータブ: 管理アプリケーションを接続するためのオンラインカレンダー。
- ③
- ④ ルームタブ: デバイスに割り当てられる利用可能な部屋。

概要

利用可能な機器の基本概要。

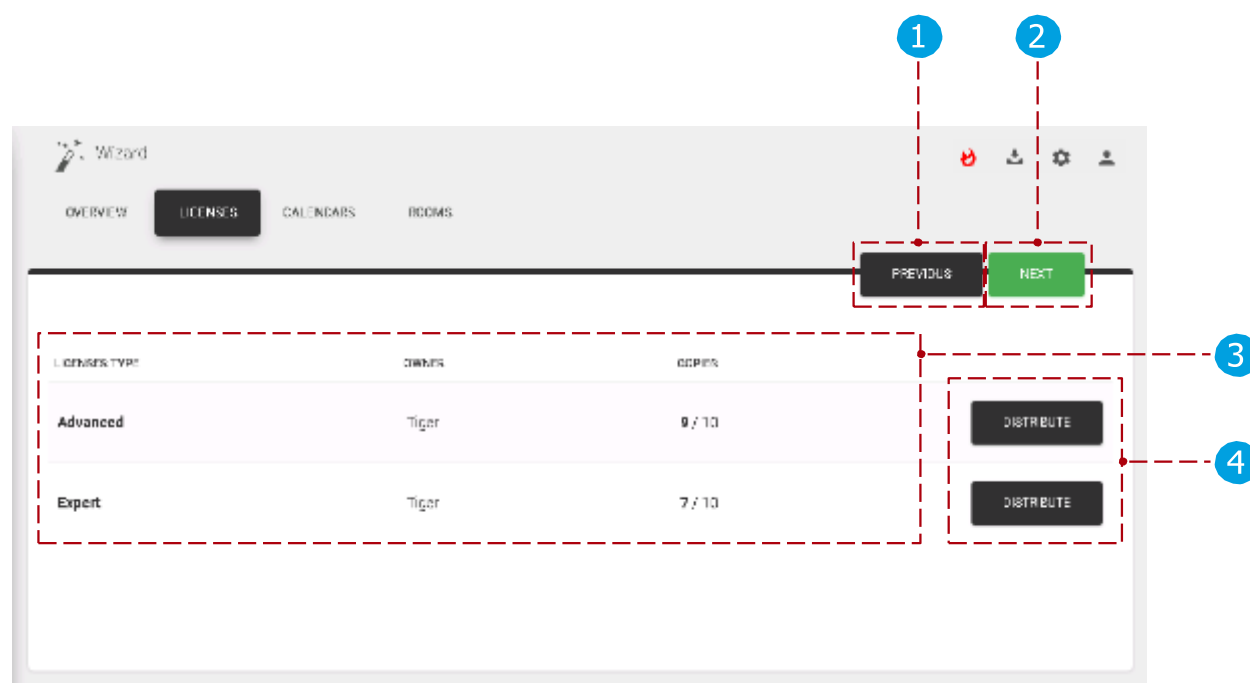


概要:

- ① デバイス追加:Tigermeeting 管理アプリケーションで検出されていない IP アドレスのデバイスを追加します。これは、デバイスが別のサブネットワークにある場合に使用されます。
- ② 次:ユーザーを次の設定「ライセンス」へと導きます。
- ③ デバイス一覧:接続可能なデバイスが表示されます。

ライセンス

ライセンスはデバイス間で配布可能です。詳細については、「設定」の「ライセンス」タブをご覧ください。

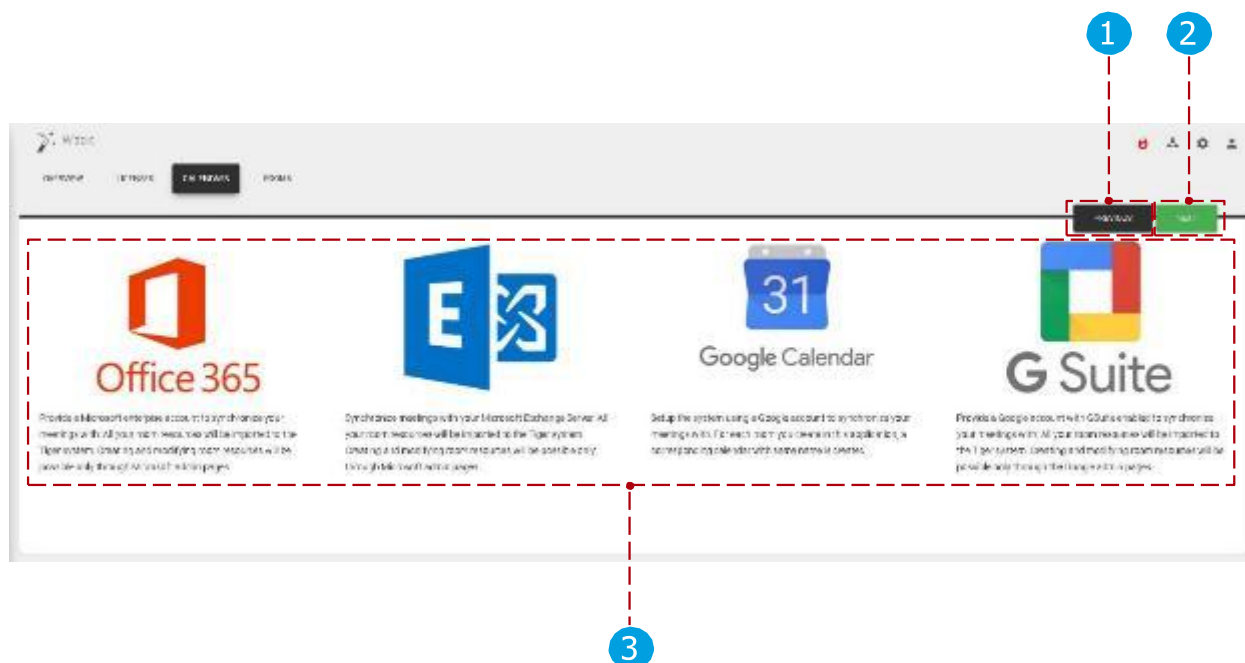


ライセンス:

- ① 前回:前の設定「概要」へ。次:次の設定「カレンダー」へ。
- ② ライセンス一覧:利用可能なライセンス一覧。
- ③ ライセンス配布:利用可能なデバイスにライセンスを配布します。

カレンダー

カレンダーは管理者アプリケーションにアタッチできます。詳細については、「設定」の「カレンダー」タブをご覧ください。



オンラインカレンダー:

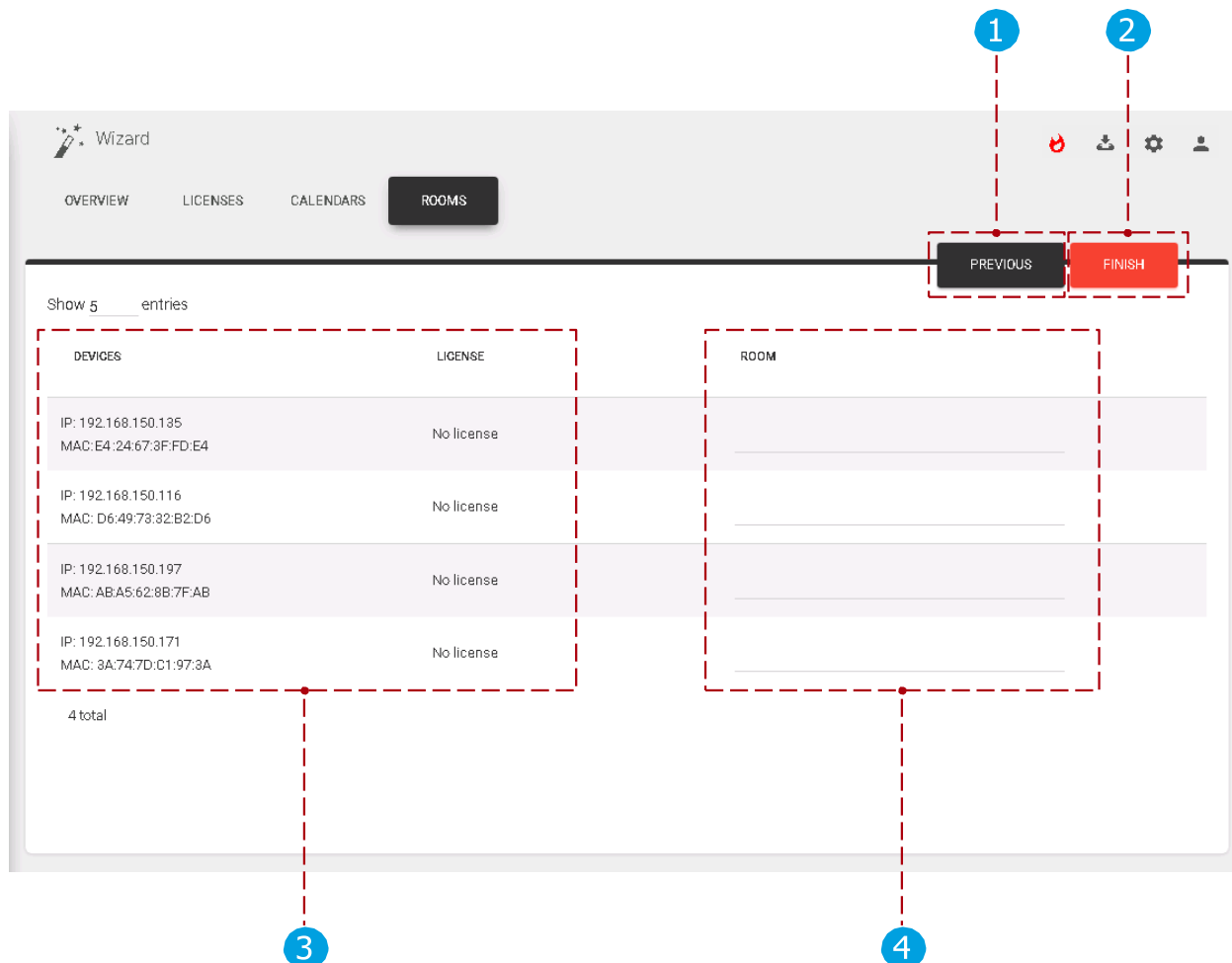
- 1 前回:前の設定「ライセンス」へ。次:次の設定「部屋」へ。
- 2 カレンダー一覧:アタッチャブルカレンダー一覧。(Microsoft365、Exchange、Google、Google Workspace、Lark または Feishu、CalDAV、iCalendar、ローカルカレンダー)
- 3

追加のカレンダー:

- iCalendar - iCal ファイル形式のファイルは、各部屋ごとに URL で公開されており、認証は不要です。これは読み取り専用カレンダーです。
- Webcal - iCalendar と同じですが URL が異なり、iCalendar の公式フォーマットに合わせてフォーマットする必要があります。
- CalDAV カレンダーは、iCalendar のデータ形式を使用した双方向オンラインカレンダーです。
- ローカルカレンダー - 予約画面間で予約を交換するデフォルトのカレンダーです。デモ使用のみを想定しています。

部屋

部屋はデバイスに接続可能です。詳細は「設定」の「部屋」タブをご覧ください。



部屋:

- ① 前回:前の設定「カレンダー」へ。
- ② 完了:ウィザードを完了(ライセンスの付与、カレンダーの付与、デバイスへの部屋の作成・接続)を完了し、デバイスと設定を同期させます。
- ③ デバイス一覧:デバイス一覧。部屋:
- ④
 - カレンダーや Google カレンダーは接続されていません:部屋名を追加でき、ウィザードが終わると部屋が作成されます。(Google カレンダー上でも)
 - Microsoft365、Exchange、Google Workspace、Lark/Feishu カレンダーが添付されています:インポートした部屋はドロップダウンから選択できます。

実用的なユースケース

管理者アプリケーションをインストールしてください

- 「<https://tigermeeting.app/en/downloads>」にアクセスし、希望するオペレーティングシステム用の最新の Tigermeeting 管理アプリケーションをダウンロードしてください。
- Tigermeeting の管理インストーラーを実行してください。
- 「このコンピュータを利用するすべてのユーザー」を選択します。「次へ」ボタンをクリックしてください。
- 宛先フォルダを選択してください。
- 「インストール」ボタンをクリックしてください。
- インストールが完了したら、「
- Tigermeeting-admin のチェックボックスを実行し、「Finish」ボタンをクリックしてください

装置を起動してください

- Android デバイスの電源を入れてください。
- Tigermeeting の Android アプリをインストールしてください。
- アプリの中から Tiger の Android アプリを検索してみてください。
- Tiger アプリケーションを実行してください。
- 「他のアプリを描画する」権限をオンにしてください。
- ストレージ権限を許可する
- (詳細は Tigermeeting の Android セットアップマニュアルをご覧ください)

管理者アプリケーションを起動します

- 管理アプリケーションを実行してください。
- 「register」タブを選択して新規ユーザー登録を行ってください。
- 必要なユーザー情報を記入してください。
- 会社のコードが利用可能なライセンスの数と種類を決定します。
- 登録を終えて。
- Tigermeeting 管理アプリケーションにログインしてください。
- 初めての設定する場合は「はい」ボタンを押してください。

管理者アプリケーションでウィザードを実行する

- すべての Android アプリとファームウェアが最新であることを確認してください。管理者アプリケーションがすべてのデバイスを検出するのを待ちましょう。
- すべてのデバイスが発見されたら、ライセンスの「次」ボタンを押してください。デバイスにライセンスを配布します。
- カレンダーの「次へ」ボタンを押してください。
- 希望するカレンダーを管理者アプリケーションに添付します。部屋の「次へ」ボタンを押してください。
- 選択したデバイスに部屋を接続します。
- ウィザードを「Finish」ボタンを押してクリアしてください。
- 同期後はすべてのデバイスが設定されるべきです。

Microsoft365 カレンダーの設定

このセクションは、Office、Office 365、Microsoft 365、Exchange Online など、すべての Microsoft Graph API ベースのカレンダーシステムに適用されます。

Tigermeeting 管理アプリケーションで Microsoft365 カレンダーを使用するには、Tigermeeting に事前設定が必要です。

ルームリソースは Microsoft365 の管理パネルやルームグループ(ルームリスト)および権限を Windows の PowerShell で作成する必要があります。

要件:

- 少なくとも Office 365 E1 ライセンス、または **Microsoft 365 Business Basic** のようなカレンダー権限を含むサブスクリプションを持つ管理者ユーザー
- 定義された部屋リソース(リソースはライセンスを必要としません)

画面とカレンダーの通信時に権限の問題を避けるために、ルームリストの作成や Microsoft 365 カレンダーの Tigermeeting Admin アプリケーションへの添付には、必ず同じ管理者ユーザーを使用してください。

Microsoft 認定の Tigermeeting Azure アプリは、以下の管理者権限を必要とします:

API / Permissions name	Type	Description	Admin consent req...	Status
▼ Microsoft Graph (8)				
Calendars.ReadWrite	Delegated	Have full access to user calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Calendars.ReadWrite.Share	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
offline_access	Delegated	Maintain access to data you have given it access to	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
openid	Delegated	Sign users in	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Application	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
profile	Delegated	View users' basic profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Sign in and read user profile	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
▼ Office 365 Exchange Online (3)				
Calendars.ReadWrite.All	Delegated	Read and write user and shared calendars	No	✔ Granted for tigermeetin... ***
Place.Read.All	Delegated	Read all company places	Yes	✔ Granted for tigermeetin... ***
User.Read	Delegated	Read user profiles	No	✔ Granted for tigermeetin... ***

これらの権限は Microsoft の安全な管理者ユーザー認証プロセスで受け入れられます。

Tigermeeting との Microsoft 365 統合を成功させるには、以下のステップに従ってください:

Microsoft365 管理パネル -> ルームリソースを作成

- <https://www.office.com> または <https://microsoftonline.com> にアクセスしてください。

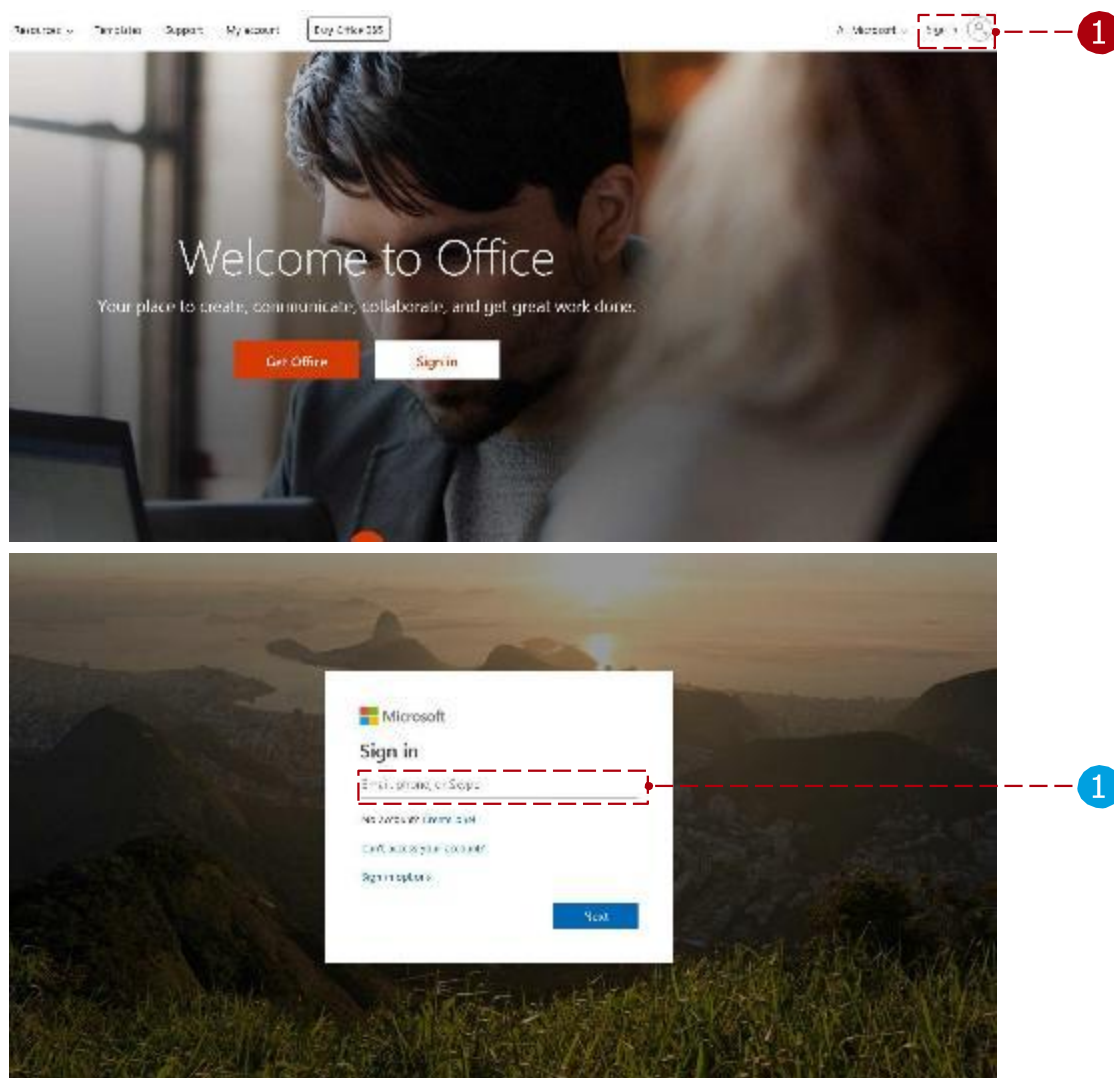
1

「サインイン」ボタンを押してください。

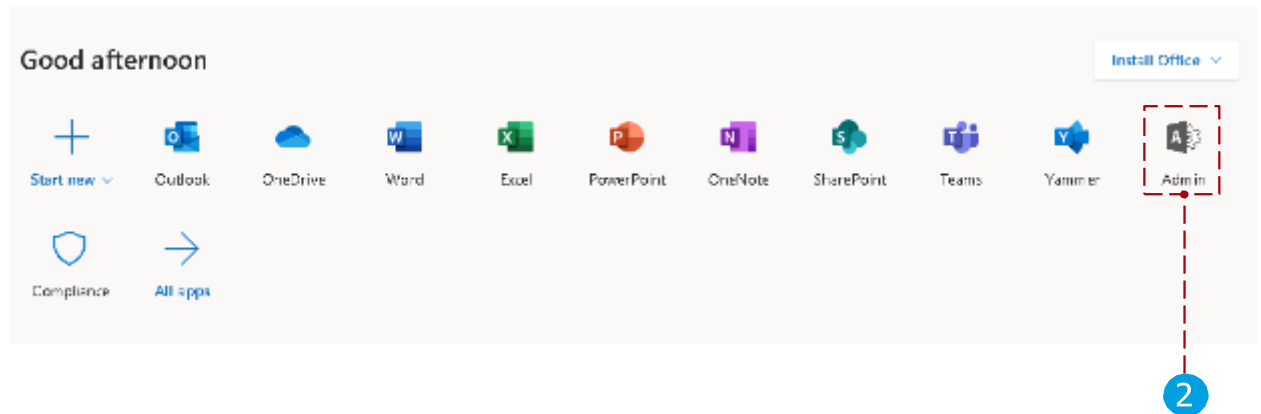
1

ユーザー名とパスワードを入力してください。

ユーザー名: admin@company.onmicrosoft.com パス
ワード:*****



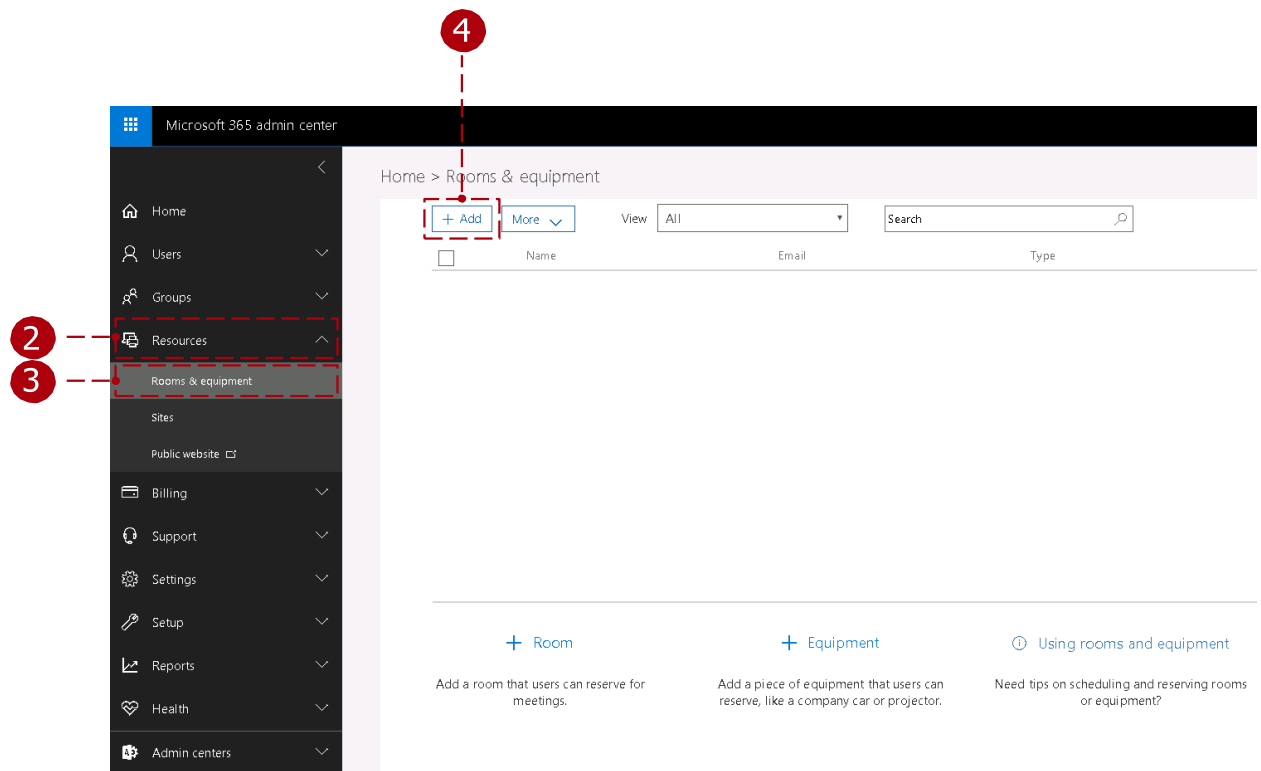
2 管理センターを選択してください。



すべてのルームリソースはここに一覧されており、後でルームグループに追加できます。定義されていない部屋はここで追加または編集できます。

管理センターを選択した後：

- 2 「リソース」メニューを選択してください。
- 3 「部屋と装備」サブメニューを選択してください。
- 4 「+ 追加」ボタンで新しいルームリソースを作成できます。



5 部屋のパラメータを追加:

- タイプは「Room」でなければなりません。
- 部屋名を追加(例:「greenroom」)、メール(例:「greenroom」)。
- 収容人数(会議室の座席数)場所
- 電話番号

部屋名とメールアドレスの条件は必須です。

5

部屋が増えた場合は繰り返します 4 および 。

Windows PowerShell を使った RoomList 設定

Microsoft Microsoft365 カレンダーームリストの設定方法は 2 つあります。

Microsoft365 ヘルパーズスクリプトを使っています(詳細は専用章をご覧ください):

このスクリプトは管理用 Windows Power Shell で実行する必要があります:

Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。

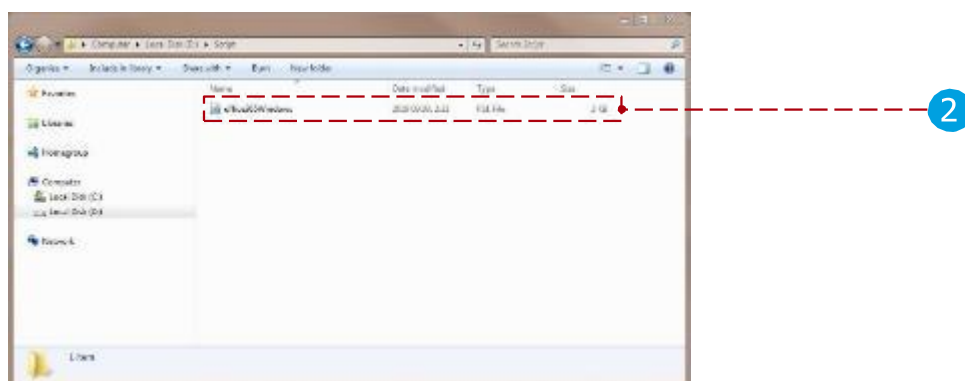
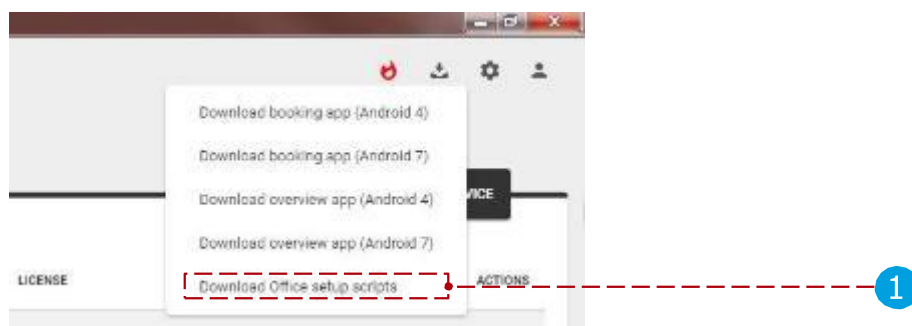
または手動で:

Microsoft365 カレンダーの設定は、「手動設定」の手順に従ってください。

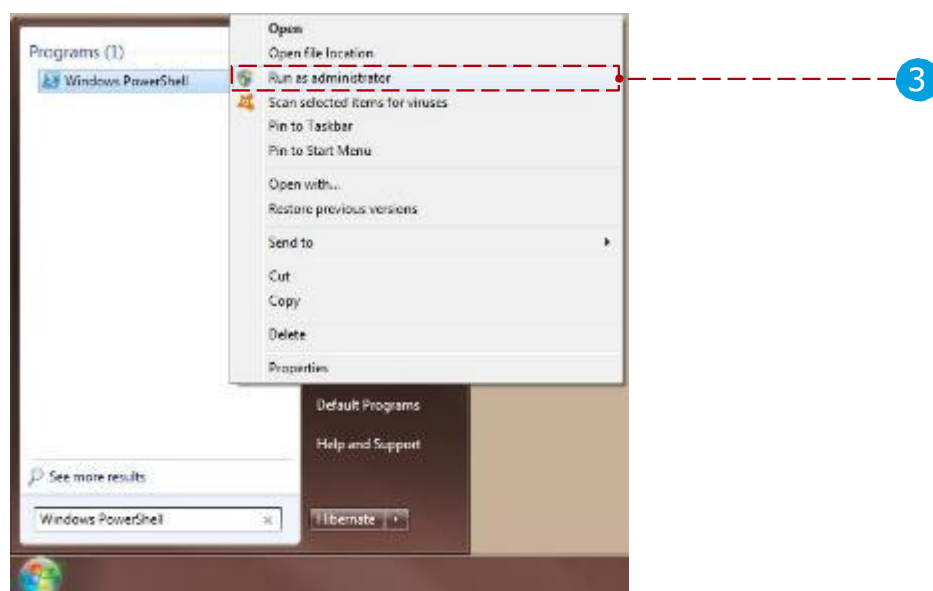
Microsoft 365 ヘルパースクリプトを用いた RoomList の設定

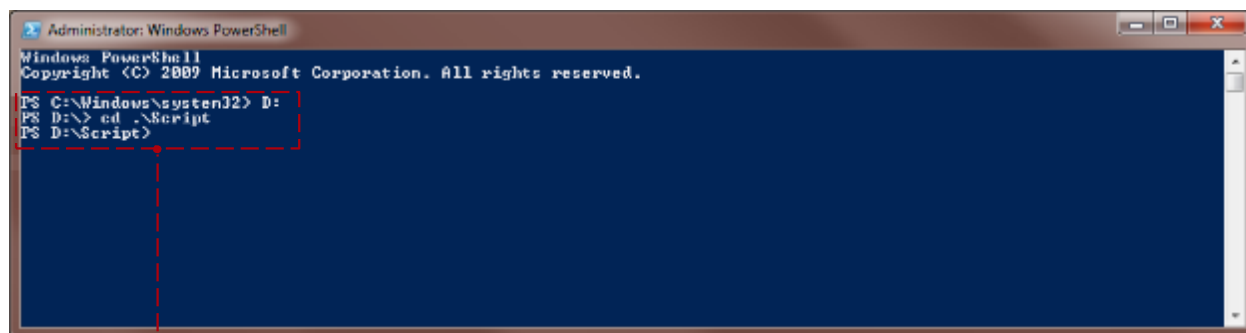
以下の手順に従ってください:

- 1 管理者アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。ダウンロードされたファイルでは、Linux、MacOS、Windows オペレーティングシステムで使用される Microsoft365、Exchange Online、オンプレミスの Exchange Server 設定に対応しています。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。(この例では Windows オペレーティングシステム用の Microsoft365 スクリプトを使用します)



- 3 Windows の PowerShell を管理者モードで実行してください。
- 4 Windows PowerShell 内で抽出したスクリプトファイルに移動します。





```

Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> D:
PS D:\> cd .\Script
PS D:\Script>

```

4

以下のコマンドを使ってください:

一. 実行ポリシーを実行スクリプトに変更する:

Set-ExecutionPolicy Unrestricted -Scope CurrentUser

ポリシータイプの変更を求められたら、「Y」と入力してエンターキーを押してください。

二. プロセスの「バイパス」ポリシーを設定する:

Set-ExecutionPolicy -Scope Process -ExecutionPolicy Bypass

ポリシータイプの変更を求められたら、「Y」と入力してエンターキーを押してください。

三. 実行ポリシーリストを表示する: Get-ExecutionPolicy -List



```

Administrator: Windows PowerShell
Windows PowerShell
Copyright (C) 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.

PS C:\Windows\system32> cd D:
PS D:\> cd .\Script
PS D:\Script> Set-ExecutionPolicy Unrestricted -Scope CurrentUser

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic. Do you want to change the execution
policy?
[Y] Yes [N] No [S] Suspend [?] Help (default is "Y"): Y
PS D:\Script> Set-ExecutionPolicy -Scope Process -ExecutionPolicy Bypass

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic. Do you want to change the execution
policy?
[Y] Yes [N] No [S] Suspend [?] Help (default is "Y"): Y
PS D:\Script> Get-ExecutionPolicy -List

Scope                                     ExecutionPolicy
-----
MachinePolicy                           Undefined
UserPolicy                             Undefined
Process                                Bypass
CurrentUser                            Unrestricted
LocalMachine                           RemoteSigned

PS D:\Script>

```

Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行

注意:これはルームリストの設定の推奨方法です。Microsoft 365 のヘルパースクリプト専用の章が丸ごとあります。以下の章に書かれています。より新しい手順に従ってください。

手動構成

混乱を避けるために手動設定の章は削除されました。

どうか Microsoft365 のヘルパースクリプトを使ってください。RoomList の設定については、下記の専用章で詳細な手順をご覧ください。

Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください

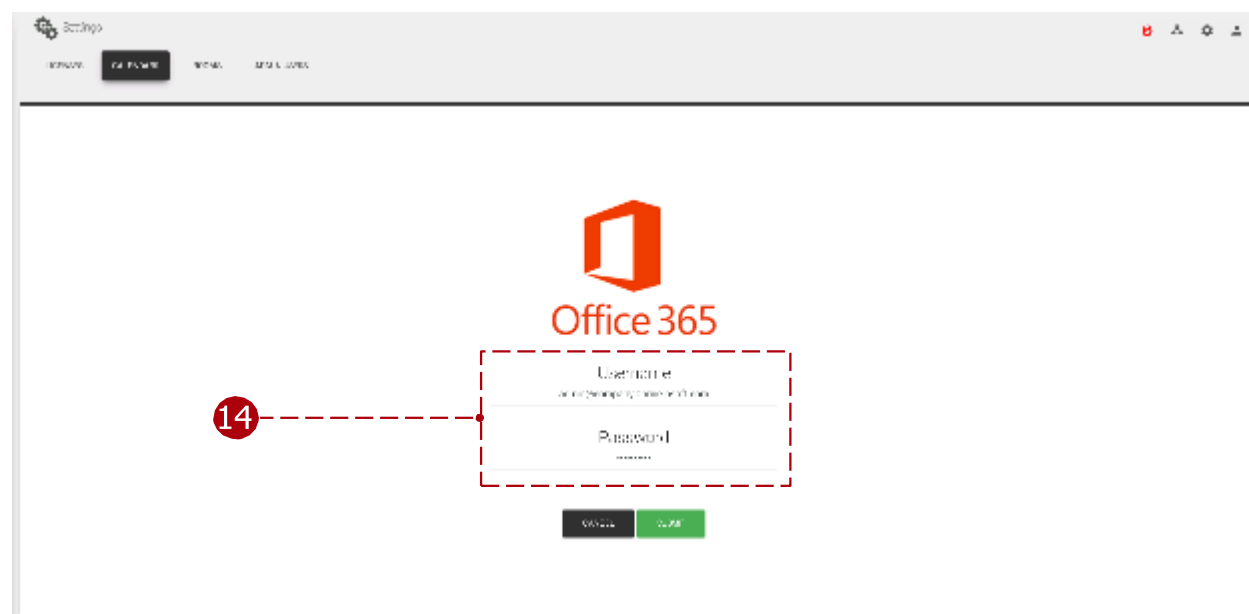
14 以下のユーザーパラメータで Microsoft365 カレンダーを添付してください:

ユーザー名

:admin@company.onmicrosoft.com パス

ワード:*****

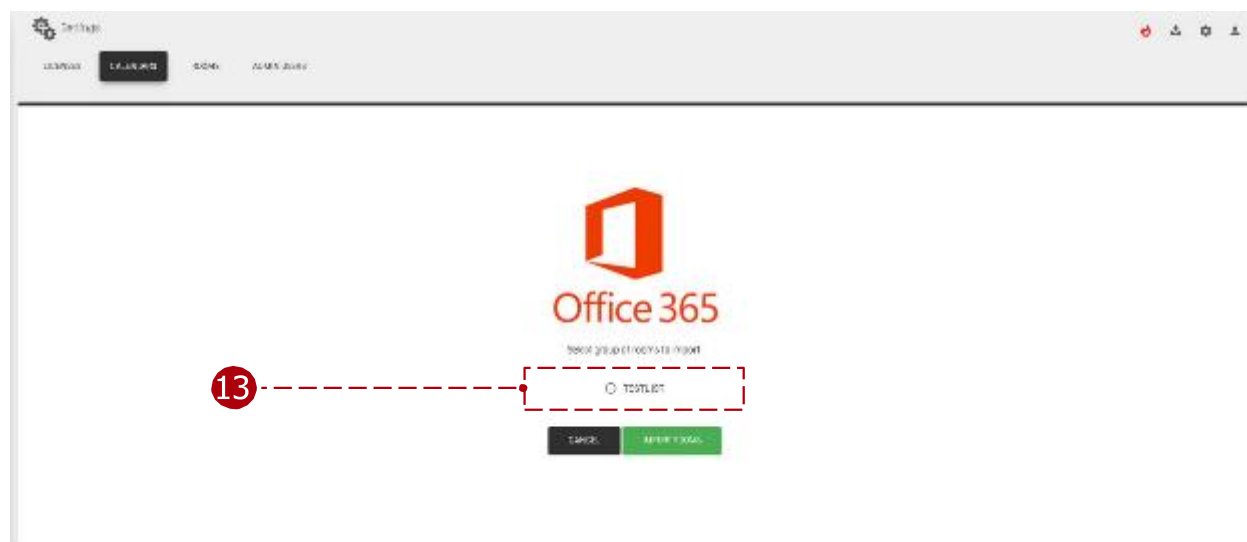
MFA はサポートされています



ローカルネットワークセグメントに関連する、先に設定された RoomList の中から 1 つを選択します。より複雑な環境では、複数の RoomList が存在する場合がありますが、Tigermeeting ネットワークで接続・使用できるのは 1 つだけです。

ご注意ください:RoomList が PowerShell(Microsoft 365 ヘルパースクリプトなど)で設定されている場合、Azure Apps で変更が利用可能になるまでに数時間、場合によっては 1 日かかることがあ

ります。



指導ビデオ:

<https://www.youtube.com/watch?v=tzfgVGXUHVo>

Exchange カレンダーの設定

TigerMeeting はオンプレミスの Exchange Server カレンダー統合を完全にサポートしています。

注意:Exchange Online は Microsoft の Graph API を使用する別のカレンダー製品です。設定手順については Microsoft 365 カレンダー関連の章をご参照ください。

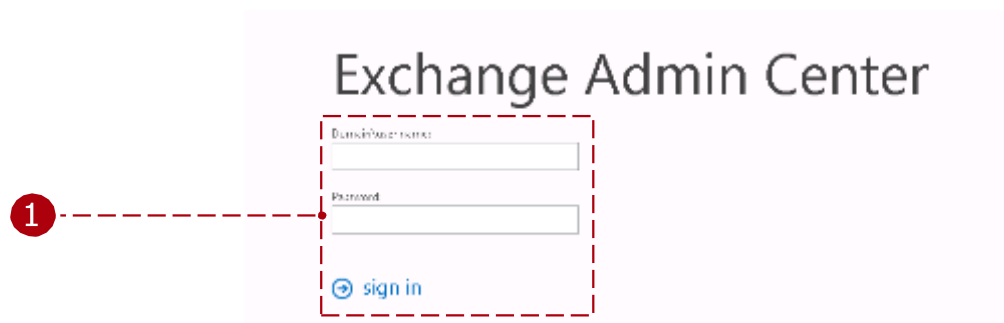
Tigermeeting 管理アプリケーションで Exchange カレンダー(Microsoft Exchange Server、オンプレミス)を使用するには、事前の設定が必要です。

部屋は Exchange 管理パネルから作成し、ルームグループや権限は Exchange 管理シェルで行う必要があります。これを実現するには、以下の手順に従ってください。

Exchange 管理パネル

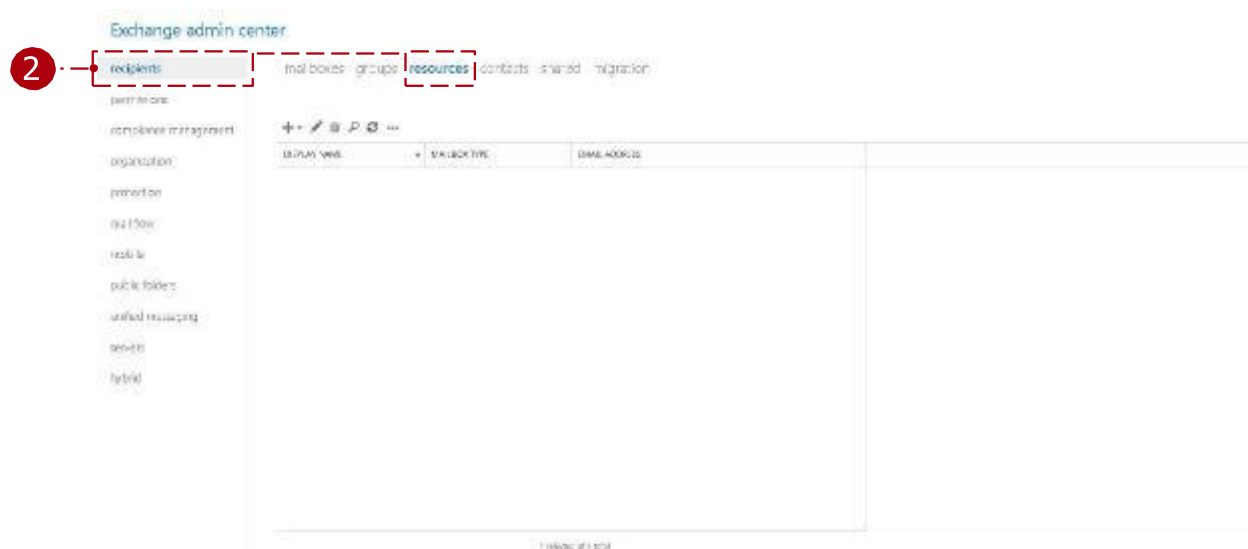
<https://exchange/ecp> に行け。

- ① ユーザー名とパスワードを入力してください。
 - ユーザー名:admin
 - パスワード:*****

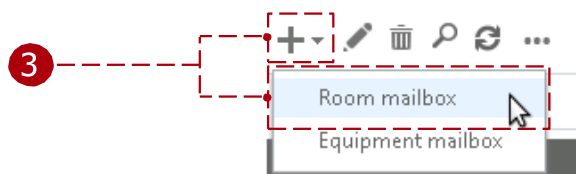


ログイン後:

- ② 受信者を選択し、リソースタブにしてください。(すべての部屋リソースはここに一覧表示されており、これらのリソースは後でルームグループに追加できます。部屋が定義されていなければ、ここで追加または編集できます。)



- ③ 「新設(プラス)」アイコンを押し、ドロップダウンリストから「ルームメールボックス」を選択してください。



- ④ 部屋のパラメータを追加:

- 部屋名を追加してください(例:「redroom」など)
- エイリアス(メールニックネームとも呼ばれる)(例:「レッドルーム」)
- 所在地
- 電話
- ☐ 収容人数(会議室の座席数)

部屋名と別名の条件は必須です。

new room mailbox

A room mailbox is a resource mailbox that's assigned to a physical location. Users can easily reserve rooms by including room mailboxes in meeting requests. Just select the room mailbox from the list and edit properties, such as booking requests or mailbox delegation. [Learn more](#)

*Room name:
redroom

*Alias:
redroom

Organizational unit:
 Browse...

Location:

Phone:

Capacity:

[More options...](#)

Save Cancel

This name will appear in the address book. To make it easier for users to find rooms, use a consistent naming convention.

部屋が増えた場合は繰り返します ③ および ④ .

Exchange Management Shell を通じた設定

Microsoft Exchange カレンダーの設定方法は 2 つあります:

Microsoft Helper スクリプトを通じて:

このスクリプトは Windows Exchange 管理シェルで実行する必要があります
:Tigermeeting 管理アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。以下の指示をお読みください

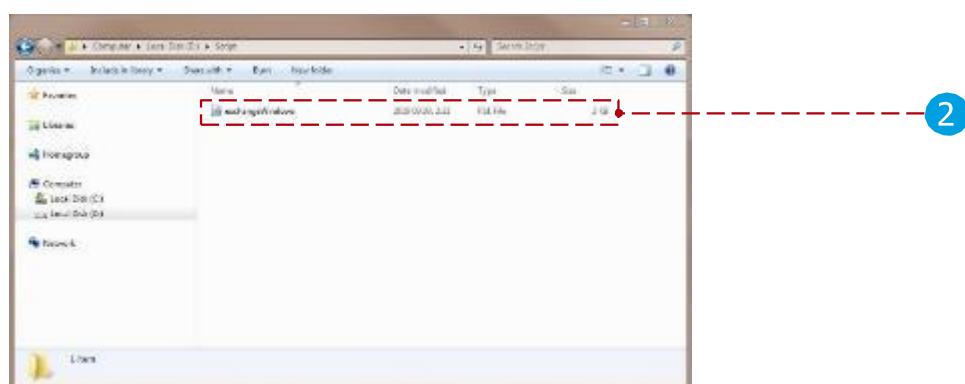
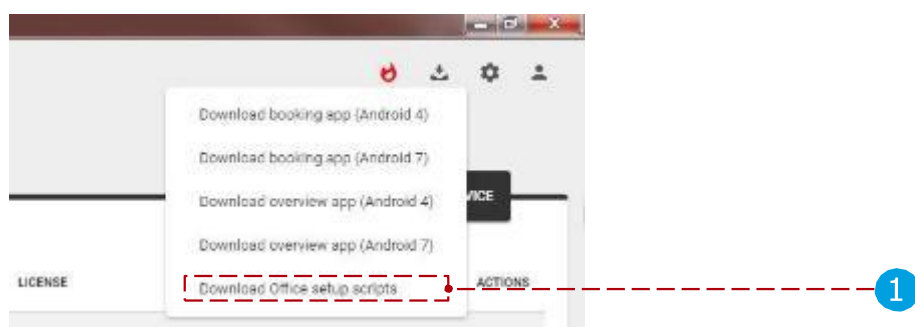
または手動で:

Microsoft Exchange カレンダーの設定は、「手動設定」の手順に従ってください。

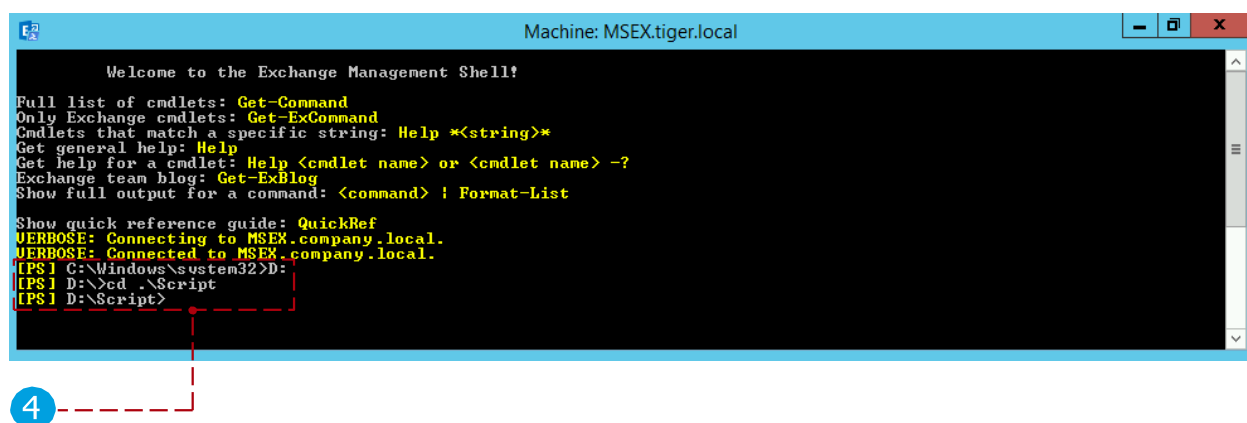
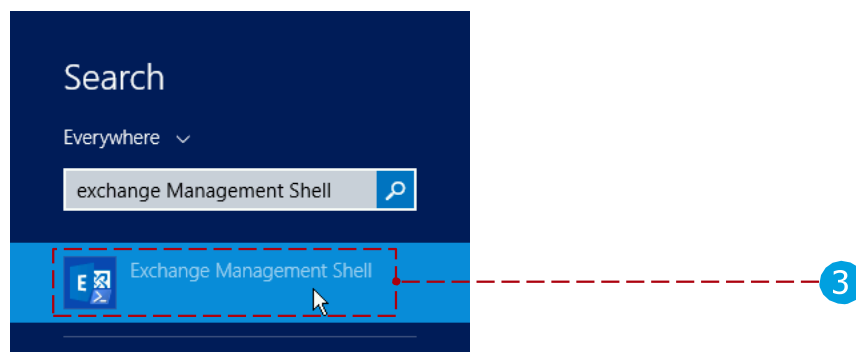
Microsoft ヘルパースクリプトによる設定

Microsoft365 ヘルパースクリプトをダウンロードするには、以下の手順に従ってください:

- 1 管理者アプリケーションからセットアップスクリプトをダウンロードしてください。ダウンロードされたファイルには、Microsoft365 および Exchange の設定、Linux、Mac、Windows の各 OS 用のスクリプトが含まれています。
- 2 ダウンロードしたファイルを解凍します。(この例では Windows オペレーティングシステム用に Exchange スクリプトを使用します)



- 3 Exchange 管理シェルを実行してください。
- 4 Exchange 管理シェル内で抽出したスクリプトファイルに移動します。



Microsoft365 ヘルパースクリプトの実行

注意: これはルームリストの設定の推奨方法です。Microsoft 365 のヘルパースクリプトに関する章が丸ごとあります。以下の章に書かれています。そこにある指示に従ってください。

手動構成

混乱を避けるために手動設定の章は削除されました。

どうか Microsoft365 のヘルパースクリプトを使ってください。RoomList の設定については、下記の専用章で詳細な手順をご覧ください。

Tigermeeting 管理アプリケーションにカレンダーを添付してください

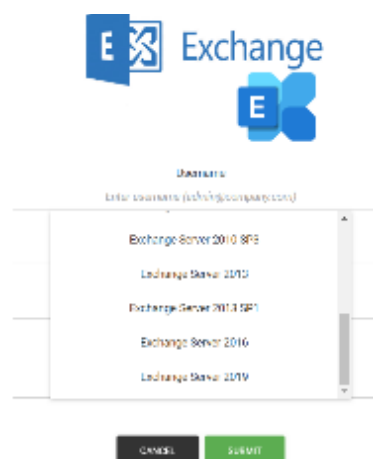
部屋が適切に設定されたら、部屋リストが作成され、それぞれの部屋リストに割り当てられます。管理者アプリケーションを使って Exchange カレンダーを Tigermeeting 環境に紐付けてください。

12 以下のユーザーパラメータで取引カレンダーを添付してください:

- ユーザー名: admin@mail.local (メールアドレスを正式に使用) パスワード:*****
- ホスト:https://exchange.url.local(サーバーが「http」または「https」プロトコルを使用している場合は、サーバーが期待するものを使ってください)
- サーバーバージョン:例:「Exchange 2016」

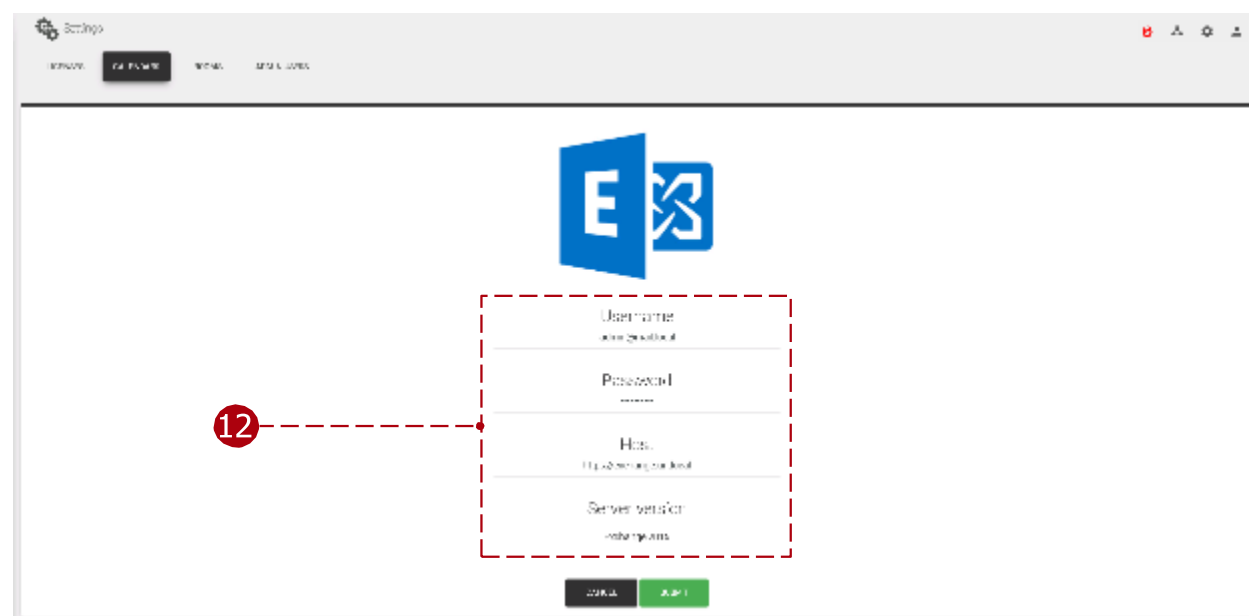
注: TigerMeeting は 2007 年から 2019 年の Microsoft Exchange サーバーに対応しており、ある程度 Exchange SE とも互換性があります(将来のスキーマ変更はテストできません)。

API スキーマが異なり、サーバーバージョンに依存しているため、実際に使用されている Exchange サーバーのバージョンを設定することが重要です。



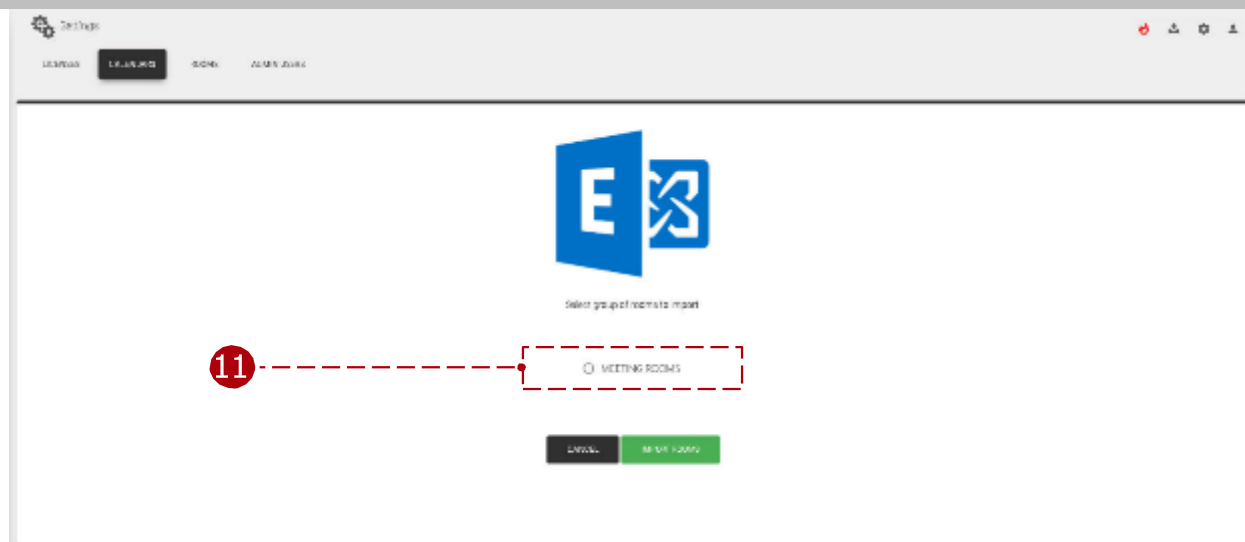
要件: Exchange サーバー は NTLM を有効にしている必要があります。

詳細については、Windows Server および Exchange Server のドキュメントを必ずご覧ください。



認証が成功すれば、設定済みの部屋リストが表示されます。

意図するオフィスや学校環境に適した教室資源を含む部屋リストを選択してください。



エクスチェンジカレンダーは現在添付されています。

ネットワークタブに記載されているデバイスにオンラインルームリソースを割り当て続けることができます。

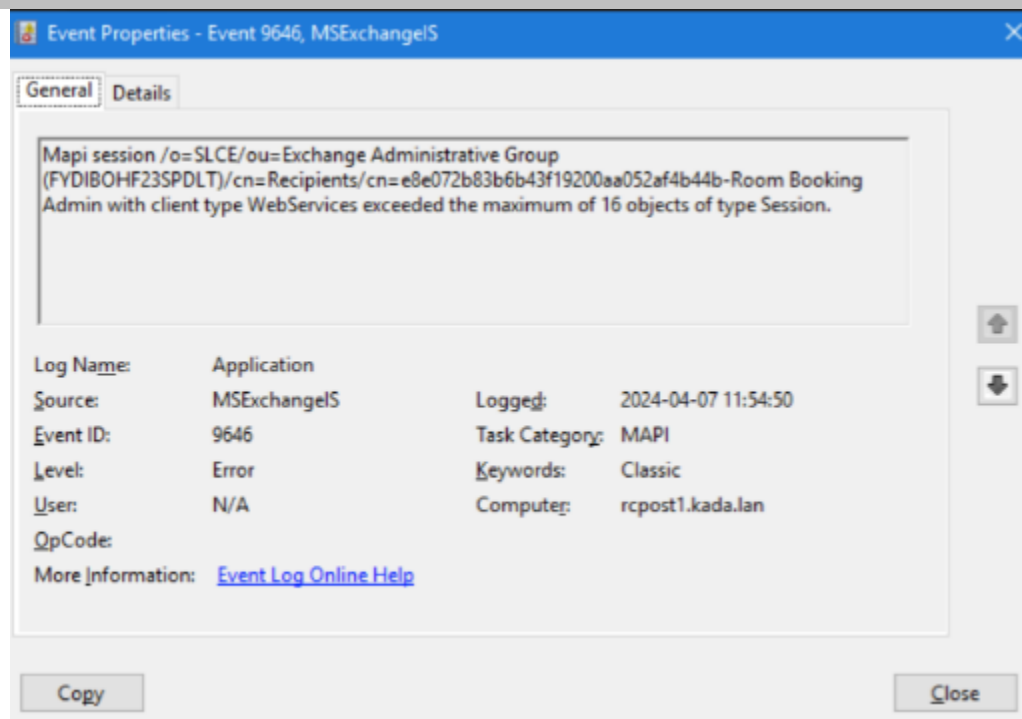
重要な注意事項

Tigermeeting Android アプリケーションを実行しているデバイスは通常の動作中に独自のセッションを維持する独立した存在であるため、大規模なインストールは Exchange Server のデフォルトのセッション制限の一部に達することがあります。

要件: 管理者ユーザーの Tigermeeting を実行するデバイスごとに 1 セッションを許可してください。

誤差は以下のように現れるかもしれません:

- Tigermeeting を運営している一部のスクリーンでは、部屋の予約が取得できない場合があります
- Tigermeeting のデバイスログには次のように表示されます:アクション :
[ACTION_GET_RESERVATION] : エラー : [リクエストが失敗しました。サーバーは現在このリクエストを処理できません。後で再度試してください。]
- Exchange Server イベントログ(MSExchangeIS)では、「クライアントタイプの WebServices が最大 16 個を超えた「セッション」タイプのオブジェクトが発生します。



解決策は Exchange サーバーの制限を引き上げることです

ユーザーごとの最大許可セッション数

Microsoft のドキュメント(<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/managed-store-limits-exchange-2013-help> など)に記載されているユーザーあたりの最大許可セッション数の制限

最大セッション数を増やすには、Exchange Server の Windows レジストリで以下の値を調整する必要があります。この例では、同時セッション数の最大が 128 セッション(80 の 16 進数)に増加しています:

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/MExchangeIS/ParametersSystem]

「ユーザーあたりの最大許容セッション数」=dword:00000080

その後、「Microsoft Exchange Information Store」サービスを再起動する必要があります。

NSPI セッション制限

NSPI のセッション制限で、デフォルトでユーザーとドメインコントローラーあたり最大 50 セッションまで可能です。

この制限を増やすには、各ドメインコントローラーの Windows レジストリで以下の値を設定する必要があります:

[HKEY_LOCAL_MACHINE/SYSTEM/CurrentControlSet/Services/NTDS/パラメータ]
「NSPI max session per user」=dword:00000200
その後、ドメインコントローラーを再起動してください。

詳細は <https://support.microsoft.com/en-us/topic/error-trying-to-connect-to-microsoft-exchange-server-results-in-mapi-e-logon-failed-7d322bd7-0dce-1fe9-b446-90f153000286> をご覧ください。

スロットリングポリシー

Exchange は、次のようなメッセージでカレンダー管理者ユーザーをしばらくロックアウトすることがあります:「ユーザーの予算は[一定期間]までロックされます。」最大バースト:480000、リチャージレート:1800000、カットオフ残高:-600000

Exchange Server は、単一ユーザーやアプリケーションが消費できるサーバーリソースの量を制限します。

インストール内のすべての画面を担当するカレンダー管理者ユーザー向けに、より多くのリソースを許可してください。

詳細はこちらをご覧ください:

<https://learn.microsoft.com/en-us/exchange/client-developer/exchange-web-services/ews-throttling-in-exchange>

専門的な支援が必要な場合は、マイクロソフトサポートまでお問い合わせください。

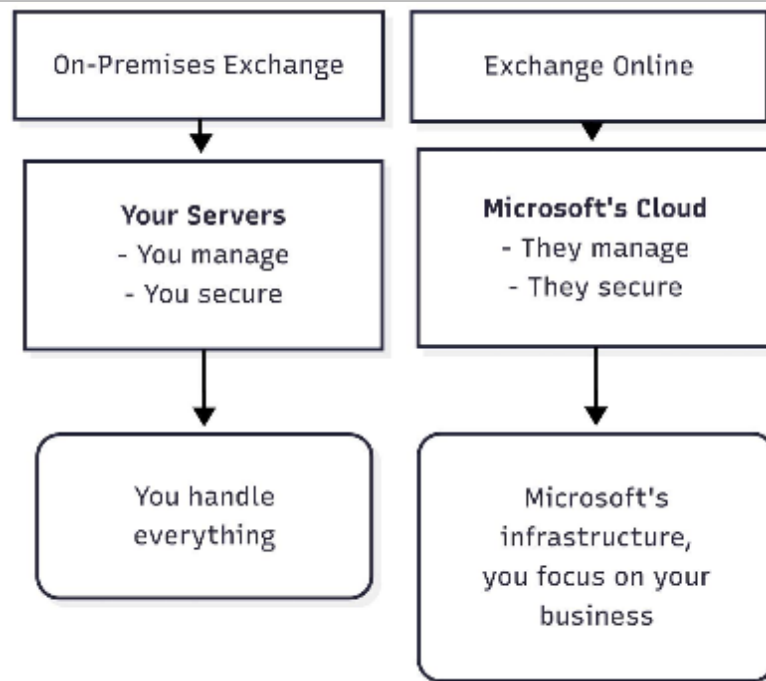
オンプレミス Exchange Server または Exchange Online

Microsoft Exchange Server(オンプレミス版 Exchange)と Microsoft Exchange Online は、名前や目的は非常に似ているものの異なる製品であり、基盤となる技術スタックは根本的に異なります。

Exchange Online は、Microsoft 365 スイートの一部である Microsoft のクラウドベースのメールおよびカレンダーサービスです。

また、Exchange Online は Graph API を使用しており、オンプレミスの Exchange Server とのハイブリッドアーキテクチャ構築が可能です。

以下のグラフィック比較をご覧ください:



重要:Tigermeeting の視点から見ると、最も重要な違いはカレンダー通信に使用される API プロトコルです。

- Exchange Server は EWS を使用しています。
- Exchange Online は Graph API を使用しています

したがって、Exchange Online のカレンダーを設定するには、Microsoft 365 のセットアップガイドをご利用ください。

Microsoft365 helper script

はじめに

Microsoft365、Exchange Online、Exchange Server は非常に高度なカレンダーで、さまざまな環境で利用できます。

巨大企業は多くの大陸に広がり、多くの都市にオフィスを持ち、多数の建物を持っていますが、すべては単一のカレンダーにまとめられています。

リソースを整理するために、Microsoft は「ルームリスト」という用語を使って、例えば 1 つのオフィスに属する部屋をグループ化します。

ルームリストの管理は管理者パネルや PowerShell コマンドで行うことができますが、Tigermeeting の顧客は自分で設定に苦労したため、開発者はルームリスト管理を支援するシンプルなメニューベースのツールを作成しました。

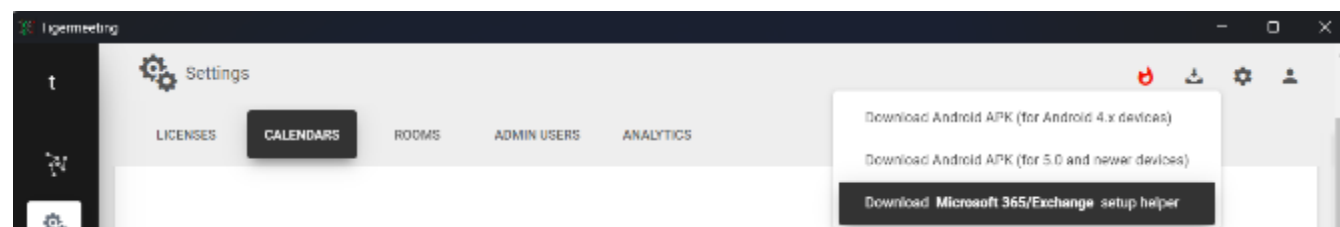
Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online の設定ヘルパースクリプトは軽量な PowerShell スクリプトで、複雑なスクリプト技術を使わずに意図的に作成され、人間が読みやすいように作られています。

このヘルパースクリプトを使用する予定のすべての顧客管理者には、RoomList 関連のすべての操作を確認し、理解し、確認することを推奨します。

このスクリプトは顧客にとって役立つように書かれていますが、すべての操作は行ごとに実行するか、Microsoft365 管理セットアップコンソールや Exchange 管理シェルを通じて実行可能です。

ダウンロードとインストール

管理者アプリから Microsoft ヘルパースクリプトをダウンロードしてください



zip ファイルをディレクトリでアンパックします。

スクリプトは管理者 PowerShell または Exchange 管理シェルから実行する必要があります

異なるオペレーティングシステムでの PowerShell インストール

MacOS PowerShell インストール

Brew Cask Install Powershell

\$pwsh

Ubuntu PowerShell インストール

Snap Install PowerShell ---classic

\$powershell

OpenSuSE のインストール

フォローしてください <https://snapcraft.io/install/powershell/opensuse>

フェド라의設置

フォローしてください <https://snapcraft.io/install/powershell/fedora>

Windows PowerShell

Start->Windows PowerShell -> Administrator として実行

部屋の資源を準備しろ

注意:このスクリプトは RoomLists のみで動作します!

注意:ルームリソースの作成と削除は、スクリプトを実行する前に行うべき管理タスクで、Microsoft365 管理者または Exchange 管理センターを通じて行います。

Microsoft365 または Exchange Online でのルームリソース管理

- Microsoft365 アカウントにログインしてください。
- 左上のメニューアイコンをクリックしてください
- すべてのアプリを選択します。->管理->すべて表示。->リソース。->部屋と機器を選択します。
- ルームリソースの追加、削除、編集

Exchange Server でルームリソースを管理するために

- Exchange 管理センターにログインしてください
- 左メニュー:受取者 -資源>
- ルームリソースの追加、削除、編集

RoomList 関連の操作では、このスクリプトを実行するには Global Admin、Power User が必要です。

カレンダー操作については、Office365 E1 のユーザー権限/ライセンスで十分です。カレンダー操作を Tigermeeting 管理アプリケーションから接続し、動作確認した後は、グローバル管理者権限を削除することが推奨されます。

スクリプトの実行(例)

- 一. 管理者として PowerShell を開始する
- 二. スクリプトがあるディレクトリに変更する:
cd Tigermeeting-Microsoft-helper

スクリプトを実行する前に実行ポリシーを設定する必要があります:

Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy Unrestricted

```

Administrator: Windows PowerShell (x86)
PS C:\WINDOWS\system32> cd ../../Users/Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> Set-ExecutionPolicy -ExecutionPolicy Unrestricted

Execution Policy Change
The execution policy helps protect you from scripts that you do not trust. Changing the execution policy might expose
you to the security risks described in the about_Execution_Policies help topic at
https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=135170. Do you want to change the execution policy?
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "N"): Yes
PS C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts> .\tigermeeting_microsoft365.ps1

Tigermeeting Microsoft365/Exchange Online config helper

Setting the ExecutionPolicy - please answer YES to accept.

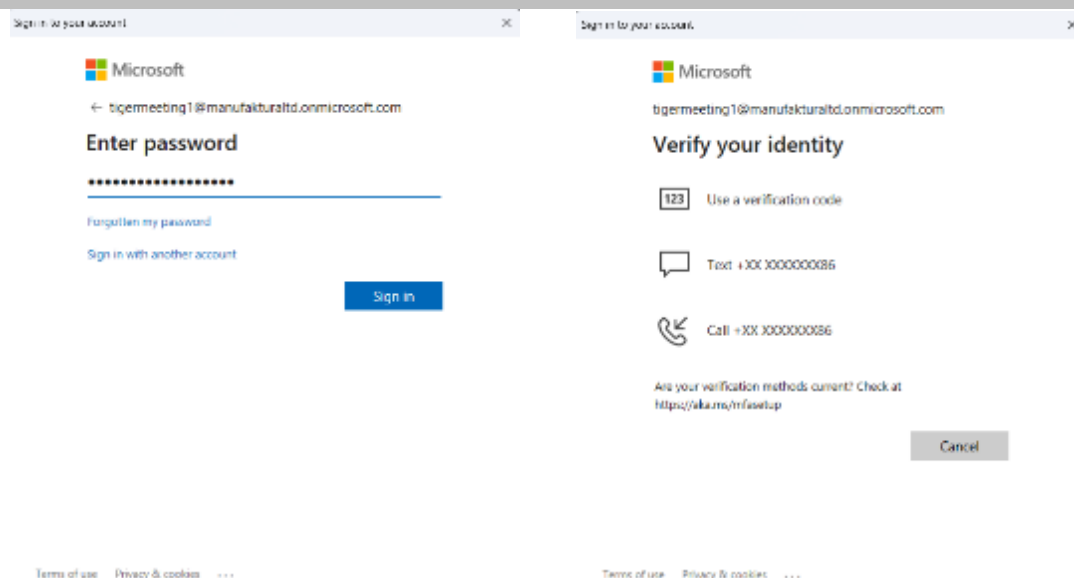
Set-ExecutionPolicy : Windows PowerShell updated your execution policy successfully, but the setting is overridden by
a policy defined at a more specific scope. Due to the override, your shell will retain its current effective
execution policy of Unrestricted. Type "Get-ExecutionPolicy -List" to view your execution policy settings. For more
information please see "Get-Help Set-ExecutionPolicy".
At C:\Users\Zoli\Work\tigermeeting-github\meetingroom_setup_scripts\tigermeeting_microsoft365.ps1:42 char:1
+ Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
+ ~~~~~
+ CategoryInfo          : PermissionDenied: (:) [Set-ExecutionPolicy], SecurityException
+ FullyQualifiedErrorId : ExecutionPolicyOverride,Microsoft.PowerShell.Commands.SetExecutionPolicyCommand

If the ExecutionPolicy is accepted - the errors above can be safely ignored.
...but please make sure that the ExecutionPolicy is Unrestricted below.

The current ExecutionPolicy is: Unrestricted
  
```

管理者を認証する。認証やカレンダー操作に使うルームリストが管理者ユーザーにとってアクセス可能であることを保証するために、最善の方法は同じ管理者認証情報を使用することです。

注意:認証は MFA(多要素認証)にも対応しています。



認証に成功すると、以下のメニューが表示されます。

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

-----
This V3 EXO PowerShell module contains new REST API backed Exchange Online cmdlets which doesn't require WinRM for Client-Server communication. You can now run these cmdlets after turning off WinRM Basic Auth in your client machine thus making it more secure.

Unlike the EXO* prefixed cmdlets, the cmdlets in this module support full functional parity with the RPS (V1) cmdlets.

V3 cmdlets in the downloaded module are resilient to transient failures, handling retries and throttling errors inherently.

However, REST backed EOP and SCC cmdlets are not available yet. To use those, you will need to enable WinRM Basic Auth.

For more information check https://aka.ms/exov3-module

The latest EXO V3.7 module is released which includes significant memory improvements. You're currently using an older version and we recommend upgrading to V3.7 for enhanced performance.
-----

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
-----

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):
```

ROOMLIST の操作メニューは非常に直感的でわかりやすいです:

- 1 部屋付きの新しい RoomList を作成する
- 既存の RoomList に 2 つの ADD 部屋
- RoomList 内の 3 つのリストルーム
- 4 すべてのルームリスト一覧
- 5 すべての部屋をリスト
- 6 ルームリストを削除
- 7 既存の RoomList から部屋を削除する
- 8 出口

重要な使用注意事項

ご注意ください:

- このスクリプトはルームリストのみを扱っています:作成、リスト、削除。
- 1つの部屋やリソースは複数のルームリストに含めることができます。
- ルームリストを削除しても、ルームリソースは削除されません
- 部屋は RoomList 関連の操作の影響を受けません。

重要:変更は恒久的で、Azure/Exchange リポジトリ上で直接行われます。**ロールバックオプションはありません**

RoomList やルームアイデンティティは Microsoft365/Azure/Exchange のリポジトリ内のメールアドレスであり、ディスプレイ名は制限なく任意に設定できます。

このスクリプトは、RoomList の識別が一語で、メール識別に適した特別なユニコード文字を使わない場合にうまく動作します。そうでなければ、Microsoft はあなたのルームリスト名から一意でないメールを作成し、一意でなかったり識別が難しい場合があります。」

部屋および RoomList の識別については、PrimarySmtpAddress の「ユーザー」部分を使用してください

Name	PrimarySmtpAddress
----	-----
p_Stockholm	p_Stockholm@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_Berlin	p_Berlin@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_กรุงเทพฯ	p_Bangkok@manufakturaltd.onmicrosoft.com
p_上海	p_Shanghai@manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård	kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

この例では、部屋識別子 p_กรุงเทพฯ または p_上海はルームリソースとして識別されません。

P_Bangkok と **p_Shanghai** を使う必要があります。

同様に、「SE-Conf-VHG Kylskåpet(4p 室)– Väderholmens Gård」または kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com も同様です。この部屋資源の正しい識別は **kylskap** です

一般的なユースケース

必要なルームリソースがすべて Microsoft365/Exchange 管理パネルで作成されているか確認してください

5 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)
Enter your choice (1 to 8): 5
~~~~~
List all rooms
~~~~~

Name                PrimarySmtpAddress                ProhibitSendQuota
-----
tigermeeting2       tigermeeting2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev1           zoli-dev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel2           zoli-rel2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel1           zoli-rel1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev2           zoli-dev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-dev3           zoli-dev3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev2           homedev2@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
homedev1           homedev1@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1room2  tigermeeting1room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1room1  tigermeeting1room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room2  tigermeeting1Room2@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room3  tigermeeting1Room3@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room1  tigermeeting1Room1@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tigermeeting1Room4  tigermeeting1Room4@manufakturaltd.onmicrosoft.com 49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-rel3           zoli-rel3@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger            zotigerlist@manufakturaltd.onmicrosoft.com   49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger2           zotigerlist2@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger3           zotigerlist3@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
ZoTiger4           zotigerlist4@manufakturaltd.onmicrosoft.com  49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
tiger1             tiger1@manufakturaltd.onmicrosoft.com        49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest           roomTest@manufakturaltd.onmicrosoft.com      49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
roomTest2          roomTest2@manufakturaltd.onmicrosoft.com     49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
zoli-prod1         zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com    49.5 GB (53,150,220,288 bytes)
```

リストに載せられた部屋は部屋リストにまとめることができます。
必要に応じて部屋名をコピー&ペーストできます。

現在定義されているルームリストをリストしてください:4 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

Name                PrimarySmtpAddress                DisplayName
-----
roomroom            roomroom@manufakturaltd.onmicrosoft.com    roomroom
zoli-testlab        zoli-testlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-testlab
homedev             homedev@manufakturaltd.onmicrosoft.com     homedev
TigerMeeting1RoomList3 TigerMeeting1RoomList3@manufakturaltd.onmicrosoft.com TigerMeeting1RoomList3
DelgateGroupList20210924091817 delgategroupList@manufakturaltd.onmicrosoft.com DelgateGroupList
ZolTiger List 1     ZolTigerList@manufakturaltd.onmicrosoft.com ZolTiger List 1
zoli-prodlab        zoli-prodlab@manufakturaltd.onmicrosoft.com zoli-prodlab

~~~~~
The operation has completeted
~~~~~

ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT
Enter your choice (1 to 8):
```

同じように、新しいルームリストを作成したり、既存のルームリストに部屋を追加したり、ルームリストから部屋を削除したり、ルームリストの内容を確認したり、ルームリストを削除したりすること

も可能です。

最終結果を見るには、Microsoft365 や Exchange サーバーカレンダーを接続した際に Tigermeeting Admin アプリにインポートされるルームリストを、 3 を押してください

```
Administrator: Windows PowerShell (x86)

List rooms in a RoomList
~~~~~
Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : zoli-prodlab

DisplayName PrimarySmtpAddress OrganizationalUnitRoot
-----
zoli-prod1 zoli-prod1@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod2 zoli-prod2@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod3 zoli-prod3@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com
zoli-prod4 zoli-prod4@manufakturaltd.onmicrosoft.com manufakturaltd.onmicrosoft.com

~~~~~
The operation has completeted

~~~~~
ROOMLIST OPERATIONS MENU
~~~~~

1 Create a new RoomList with rooms
2 Add rooms to an existing RoomList
3 List rooms in a RoomList
4 List all RoomLists
5 List all rooms
6 Delete a RoomList
7 Delete a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8):
```

ルームリストから部屋を削除するには 7 を押してください

この場合、ルームリソースの完全なメールアドレス/PrimarySmtpAddress が必要です。例えば、
kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com(以下の例参照)

また、確認も必要です。

[Y] はいか[A] すべて答えて、手術を確認してください

```
~~~~~
ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
~~~~~

1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList

8 EXIT

Enter your choice (1 to 8): 7

~~~~~
Delete a room from an existing RoomList
~~~~~

Please enter the RoomList name where the room resides in: VaderholmensGard
Please, enter the EMAIL of the room you want to remove from the VaderholmensGard RoomList : kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com

Confirm
Are you sure you want to perform this action?
Removing distribution group member "EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted
Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård" from distribution group
Identity:"EURP193A004.PROD.OUTLOOK.COM/Microsoft Exchange Hosted Organizations/manufakturaltd.onmicrosoft.com/VaderholmensGard".
[Y] Yes [A] Yes to All [N] No [L] No to All [S] Suspend [?] Help (default is "Y"):
```

すべての RoomList が作成され、すべての RoomList に属するはずのすべてのリソースが含まれている場合、各 RoomList の内容を確認するために、オプション 4(すべての RoomList をリスト)および 3(RoomList 内の LIST rooms)で結果を確認してください

```

ROOMLIST OPERATIONS MENU v2.1.2
1 CREATE a new RoomList with rooms
2 ADD rooms to an existing RoomList
3 LIST rooms in a RoomList
4 LIST all RoomLists
5 LIST all rooms
6 DELETE a RoomList
7 DELETE a room from an existing RoomList
8 EXIT
Enter your choice (1 to 8): 3

List rooms in a RoomList
Please, enter an existing RoomList identity. (example: myroomlist) : VaderholmensGard

Display Name                                     Primary SmtP Address                             Organizational Unit Root
-----
SE-Conf-VHG Kylskåpet (Room 4p) - Väderholmens Gård  kylskap@manufakturaltd.onmicrosoft.com          manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Björken (TeamsRoom 10p) - Väderholmens Gård bjorken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com  manufakturaltd.onmicrosoft.com
SE-Conf-VHG Eken (TeamsRoom 8) - Väderholmens Gård  eken.hagvillan@manufakturaltd.onmicrosoft.com      manufakturaltd.onmicrosoft.com

The operation has completeted

```

ヘルパースクリプトを EXIT するには**オプション 8**を使ってください。
スクリプトを終了することで認証済みセッションが切り離され、ユーザーは PowerShell または Exchange 管理シェルの移行します。

重要な注意事項

場合によっては、Microsoft365 のセットアップを同期するのに時間(時には数時間)かかることもあります。

スクリプト操作の結果は Microsoft365 や Exchange Online Admin コンソールで即座に確認できますが、Azure アプリ利用者とインターフェースするために使われる Azure アプリ(例えば Tigermeeting 管理者アプリ)は、アップデートをすぐには見逃します。

Azure アプリが PowerShell で行われた変更の反映に遅延が生じるのは、おそらく Azure サービス内のキャッシュメカニズムによるものです。PowerShell を通じての変更が行われた場合、同じインターフェースからクエリされた際に直接適用され、確認できます。しかし、Azure アプリごとに同期間隔やキャッシュのリフレッシュレートが異なる場合があり、これらの変更の反映に遅れが生じる可能性があります。

これは Microsoft 側で既知の問題であり、カレンダーを添付すると新しく作成された部屋リストの変更が管理者アプリに表示されるまでに時間がかかります。

症状は以下の通りです:

- 新たに作成されたルームリストは、認証に成功した後、Tigermeeting 管理者アプリに表示されません。
- 部屋リストに新たに追加された部屋は、認証や再ロードの操作後にリストに表示されません。

今のところ、唯一の回避策は、ルームリストを数時間後、あるいは 1 日後に Tigermeeting 管理アプリにインポートすることです。

ご注意ください: オンプレミスの Exchange サーバー(同じスクリプトを使ってルームリスト管理を行う)は、この「同期遅延」バグの影響を受けません。

PowerShell の問題のトラブルシューティング

よくある問題と解決策のリストは以下の通りです:

1. PSGallery が欠落しているか、信用されていない

多くの Windows Server イメージ(特に古いもの)では PowerShell ギャラリーが削除または無効化されています。

2. Windows **PowerShell 5.1** と古い **PowerShellGet(1.0.0.1)** の使用

このバージョンは悪名高く壊れており、最新のモジュールをインストールできません。

3. **TLS 1.2 は無効化されています**

PowerShell Gallery には TLS 1.2 が必要です。それがなければ、モジュールのインストールは静かに失敗します。

解決策:

以下は 99% の確率で問題を解決する手順です。

ステップ 1 — TLS 1.2 を有効にする

パワーシェルの

```
[Net.ServicePointManager]::SecurityProtocol = [Net.SecurityProtocolType]::Tls12
```

ステップ 2 — PowerShell ギャラリーを再登録する

持っているものを確認してください:

パワーシェルの

```
Get-PSRepository
```

PSGallery が欠落しているか信頼できない場合は、以下を実行します。

パワーシェル

Register-PSRepository -Default

Set-PSRepository -name "PSGallery" -InstallationPolicy Trusted

もしすでに存在しているが壊れている場合:

パワーシェル

Unregister-PSRepository -Name PSGallery

Register-PSRepository -Default

ステップ 3 — PowerShellGet を更新する(重要!)

あなたのシステムは以下のことを使っています:

PowerShellGet 1.0.0.1

このバージョンでは最新の Microsoft モジュールをインストールできません。

新しいバージョンをインストールする:

パワーシェル

Install-Module PowerShellGet -Force

その後 PowerShell を再起動してください。

Google Workspace の設定

Google-Workspace 対応のアカウントを使って会議を同期してください。

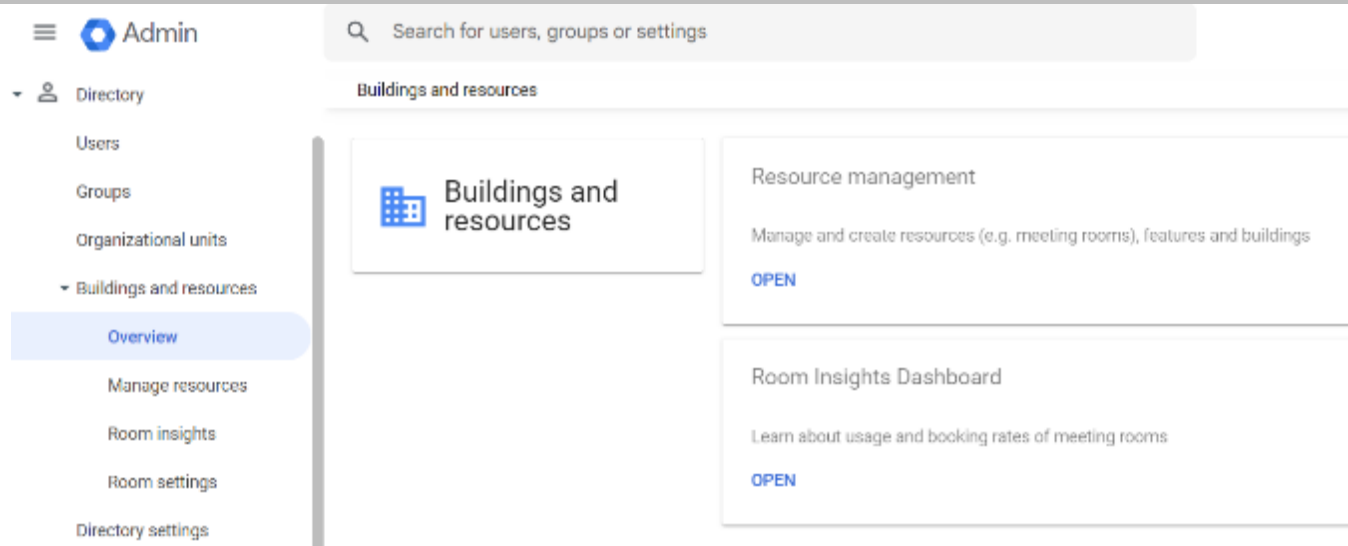
部屋の構成

ルームリソースの作成や変更は Google-Workspace の管理ページを通じてのみ可能です。

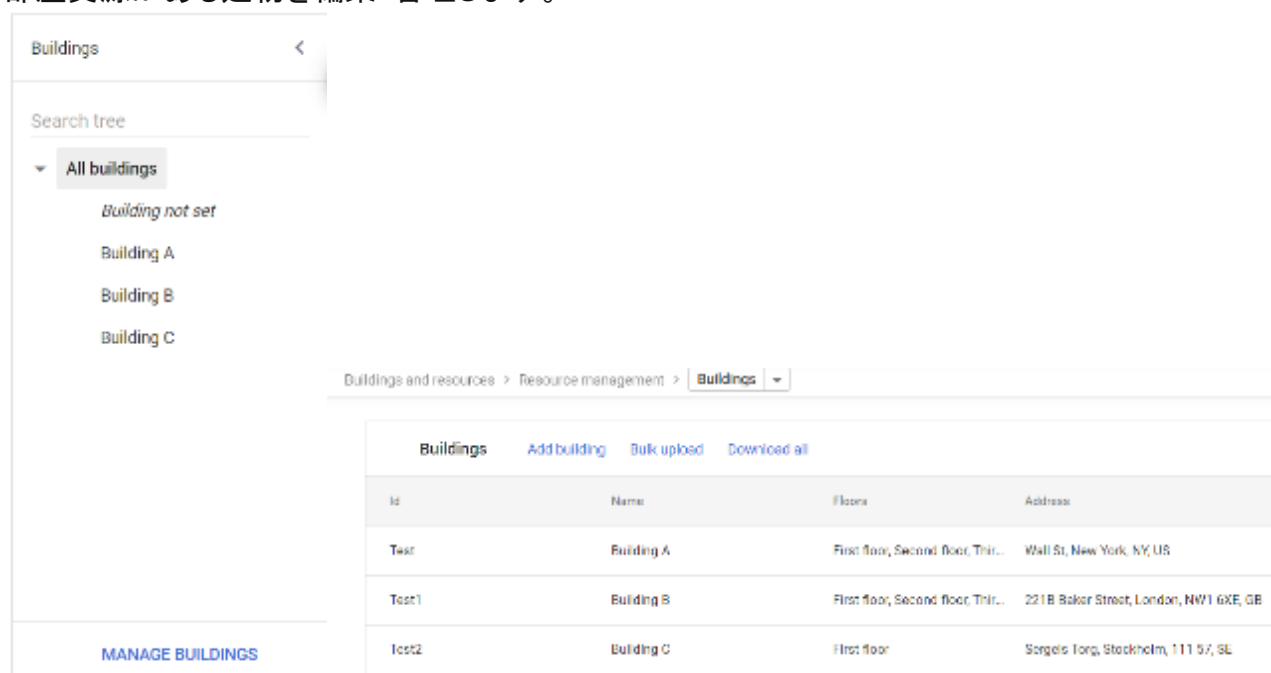
Tigermeeting はルームリソースを変更しないため、「ルーム情報」や「容量」は管理者アプリケーション内で編集できません。

ブラウザを操作して <https://admin.google.com/u/2/ac/calendarresources/resources>

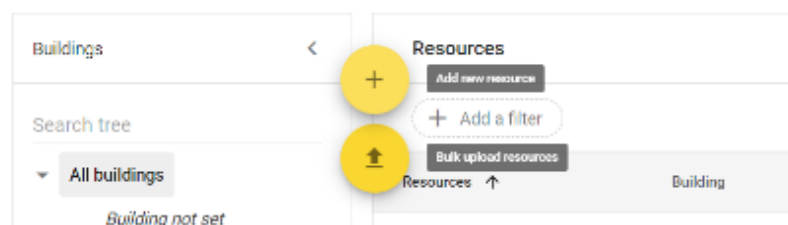
オープンリソース管理



部屋資源がある建物を編集・管理します。



新しい部屋リソースを追加



Add resource

Auto-generated resource name
Building C-First floor-Los Angeles (30)

Category * ⓘ
Meeting space (room, phone booth,...)

Type
e.g. phone booth, mother's room, bike etc.

Building *
Building C

Floor *
First floor

Floor section

Resource name *
Los Angeles

Capacity *
30

Features

Search features

User visible description

[Add description \(internal\)](#)

* indicates a required field

CANCEL ADD RESOURCE

すべての部屋資源を追加した後、リストは埋められるはずです。

Buildings and resources > Resource management > Resources

Buildings < Resources

Search tree

- All buildings
 - Building not set
 - Building A
 - Building B
 - Building C

MANAGE BUILDINGS

+ Add a filter

Resources ↑	Building	Floor	Type
Szeged	Building A	First floor	-
New York	Building B	Second floor	-
Pécs	Building C	First floor	-
Stockholm	Building B	Third floor	-
Budapest	Building B	First floor	-
Berlin city	Building A	First floor	-
Rome	Building A	First floor	-
Madrid	Building A	First floor	Huge room

Rows per page: 200

Page 1 of 1

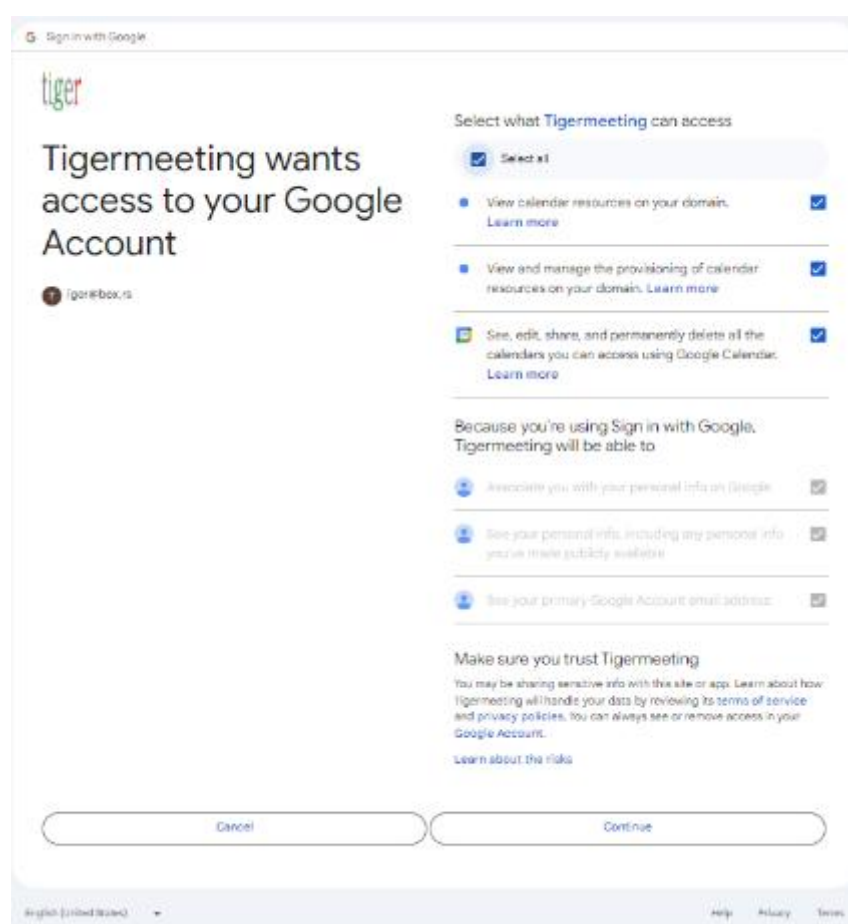
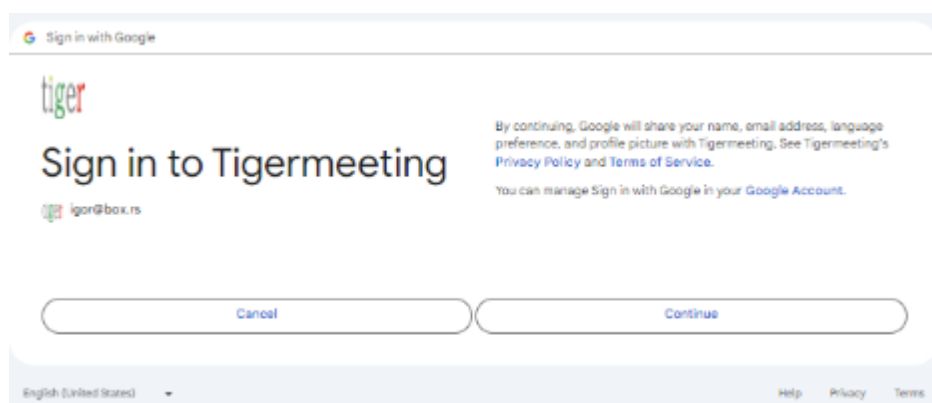
カレンダーが管理者アプリに紐づけられると、すべてのルームリソースが Tigermeeting システムにインポートされ、ライセンスされた画面デバイスへの接続が可能になります。

必要に応じて、会社のポリシーで必要なら Google 認定の Tigermeeting アプリをホワイトリストに登録してください。企業アカウントの Google Workspace 管理者は、ユーザーがアクセスできるアプリケーションを管理できます。

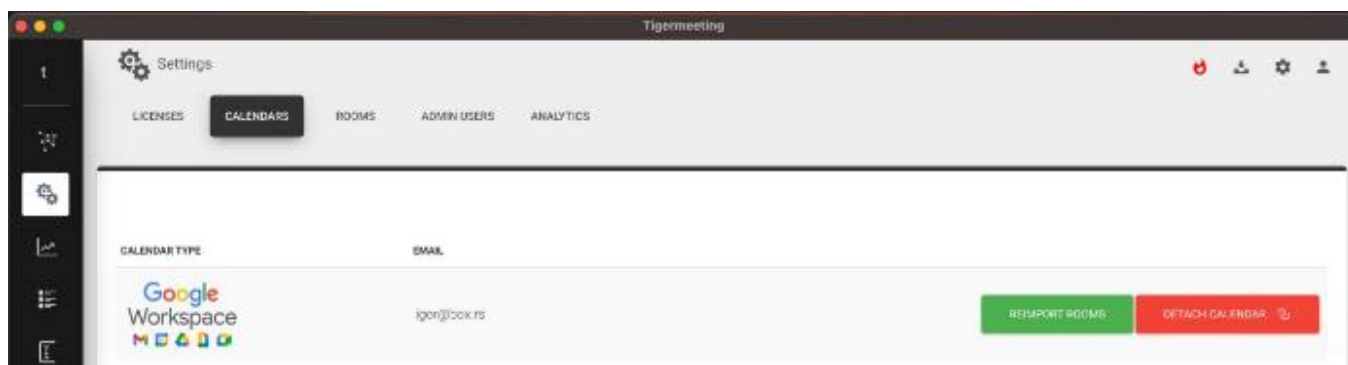
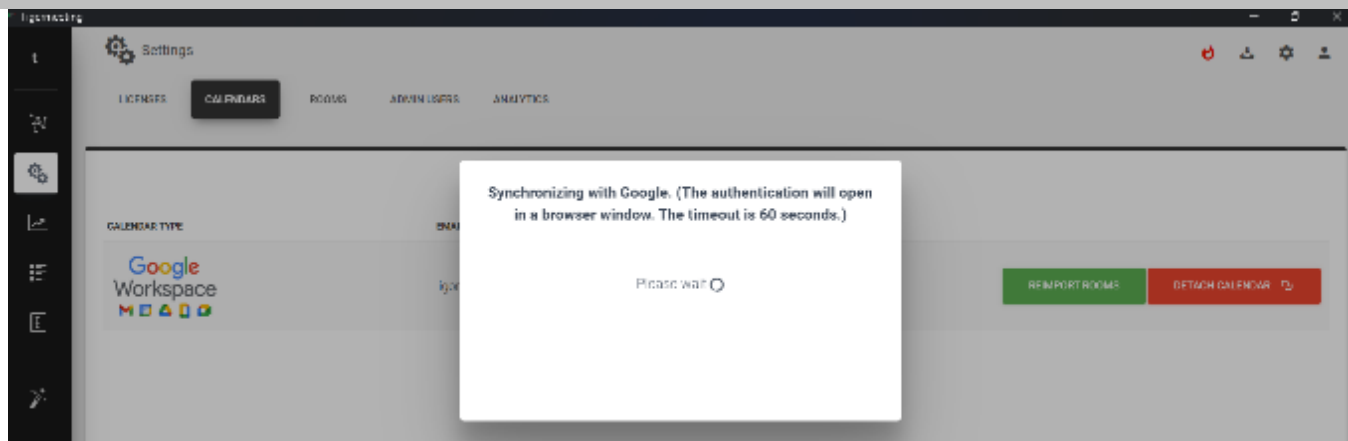
注意: 認証には、カレンダー対応の管理者アカウントを管理者権限付きで使用する必要があり、カレンダー関連の読み書き・削除操作を処理する必要があります

管理者アプリでカレンダーを添付する方法

認証:Tigermeeting アプリケーションを通常の運用に許可するために、すべてのオプションを選択し、承認してください。

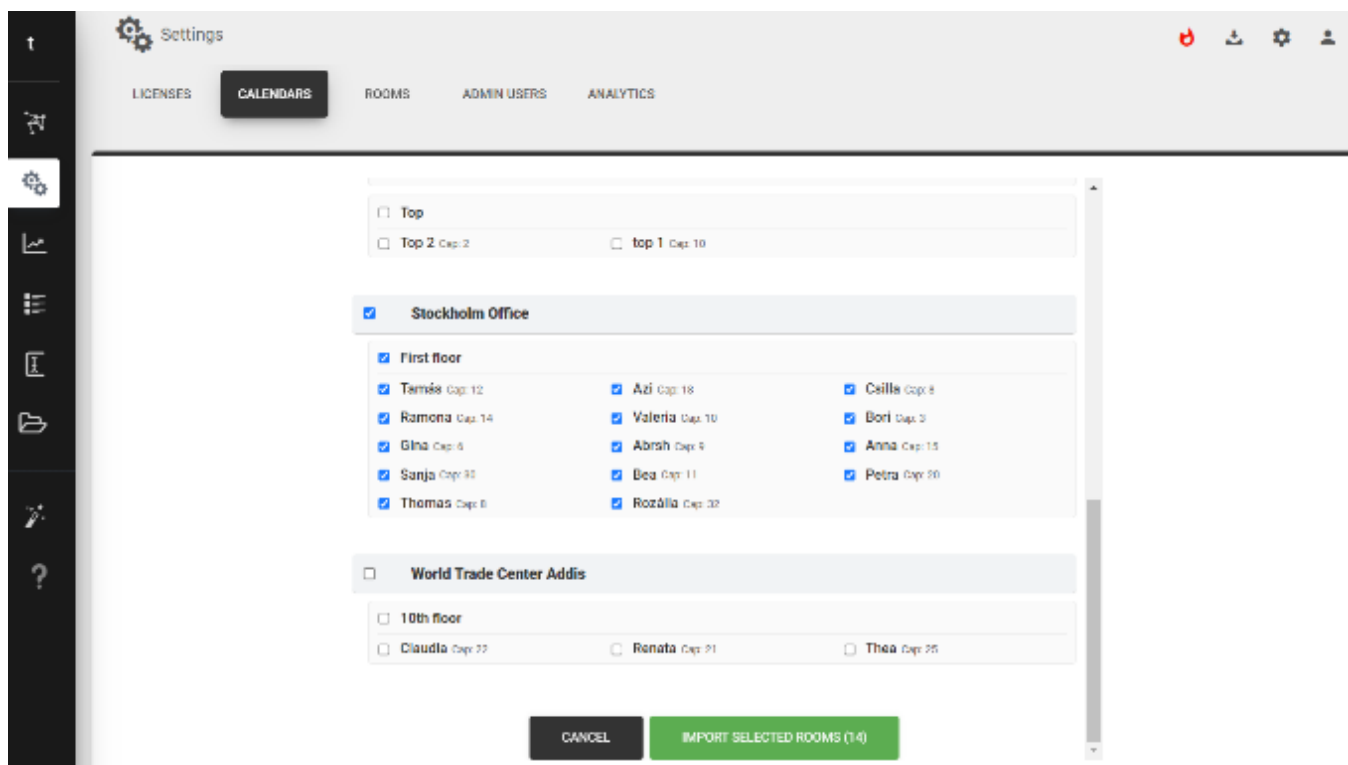


認証は 60 秒以内に行う必要があります。



部屋資源のインポート/再インポート

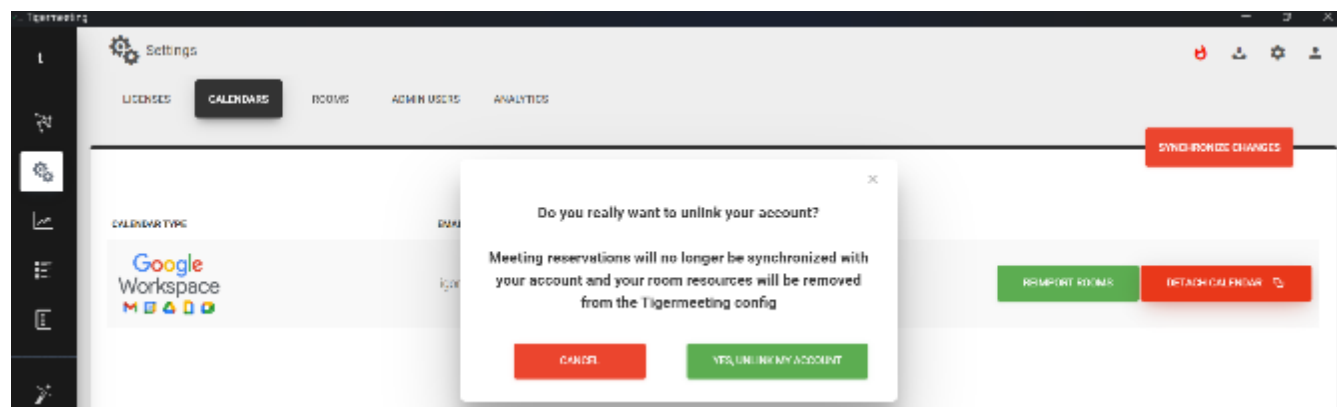
ルームリソースは Google の管理コンソールで管理されます。Tigermeeting Admin App は、認証済み管理者ユーザーが権限を持つ部屋をインポートします。



すでにデバイスに紐づいているルームリソースの変更は許可されません。

カレンダーの切り離し

カレンダーを切り離すと、Tiger Admin アプリで設定されたすべてのルーム設定が失われますが、以前のバックアップを復元するとルーム設定は復元できます。



重要な注意事項

- 一. すべての権限は認証時に付与する必要があります。(次のページの Google カレンダー -> 認証の図を参照してください)
- 二. 認証プロセスには 60 秒の猶予があり、その後認証プロセスは期限切れとなり、再実施が必要です。

指導ビデオ

<https://www.youtube.com/watch?v=j1cN9OaIDwU>

Google カレンダーの設定

Google アカウントを使って、通常の Google アカウントで会議を同期させるシステムを設定します。

TigerMeeting 管理アプリはルームリソースを管理します。Tigermeeting アプリで作成された各ルームごとに、同名の対応するカレンダーリソースが自動的に Google カレンダーに作成されます。

Google カレンダーのリソースは Google 管理ページを通じて管理可能です。会議、定期的な会議の追加、i カレンダーのインポートなどは、会議室のリソースに割り当てられたデバイスを通じて透明に管理されます。
デバイスで予約した会議は、対応するリソースカレンダーに実際に予約されます。

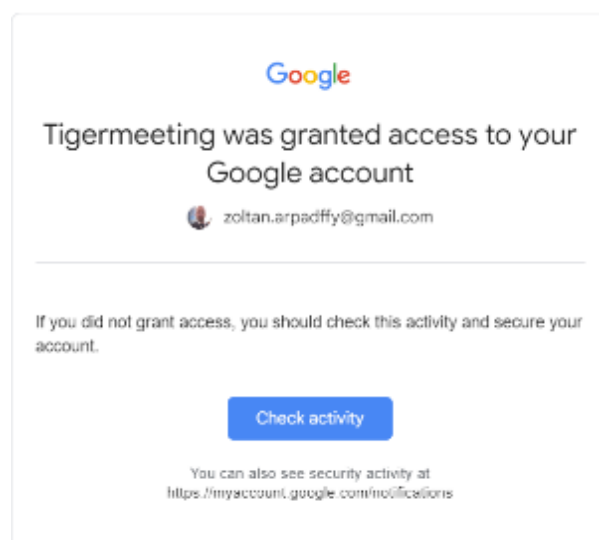
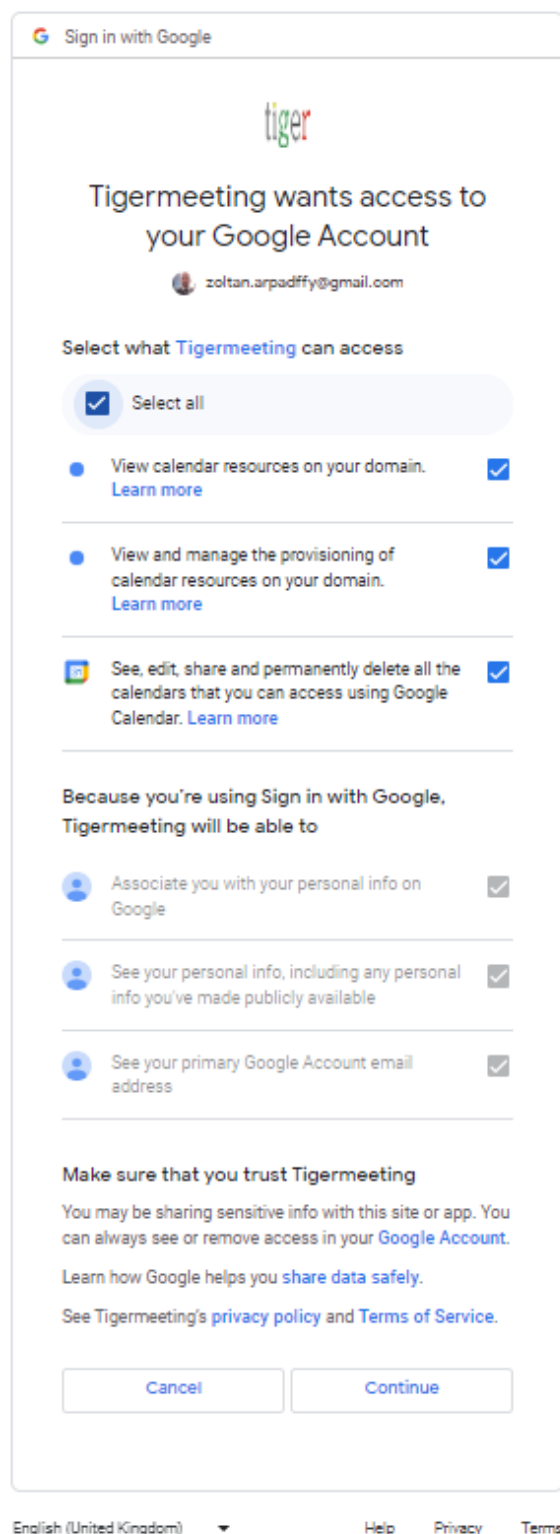
Google カレンダーが切り離されている場合、管理者は Tigermeeting 管理アプリで作成されたカレンダーリソースを保持するか削除するかを選択できます。

認証

すべてを選択して Google リソースへのアクセスを許可してください。これは通常の運用に必要です。

Tigermeeting Google 認証アプリ - 認証に使用され、カレンダー操作に必要な最低限の権限のみを使用します。Google 仕様にに基づき、多要素認証をネイティブにサポートしています。

Tigermeeting の Google アプリケーションは Google の厳格な認証プロセスを通過しているため、すべての選択肢を選択し Tigermeeting を信頼することは安全な選択と考えられています。



Google カレンダーを接続すれば、部屋管理が可能になります。

CALENDAR TYPE	EMAIL	
 Google Calendar	zoltan.arpadffy@gmail.com	REIMPORT ROOMS DETACH CALENDAR 

既存の部屋を再インポート

TigerMeeting は、既存の Google カレンダーリソースを再インポートできます。


Google Calendar
 Select calendars to import as room resources

☐ Select All
6 of 12 selected

☐ Week Numbers	☐ Phases of the Moon	☐ Családi kalendárium
☐ iCalendar testing	☐ MBS homework	☐ Holidays in Israel
☒ ALLNET	☒ AllSee	☒ ELC SMT101
☒ Philips 8	☒ TQ2	☒ GOGET2

CANCEL

IMPORT SELECTED (6)

インポートしたカレンダーは Tigermeeting 管理者にインポートされ、すぐにデバイスに割り当てられる状態です。

The screenshot displays the Tigermeeting Network management interface. The main panel shows a table of connected devices with columns for Device, Room, IP/MAC Address, Status, Software Version, Firmware Version, License, Device Uptime, and Actions. The right sidebar shows 'Device Properties' for a selected device, including 'NO ROOM ASSIGNED', 'CONNECTED' status, and details for 'UUGET 00 ONE'. Below this is a 'CREATE A NEW ROOM' section with a 'PICK EXISTING' dropdown menu showing options like ALLNET, AllSee, EUC-SMT101, GOGET2, Philips 8, and Tivi.

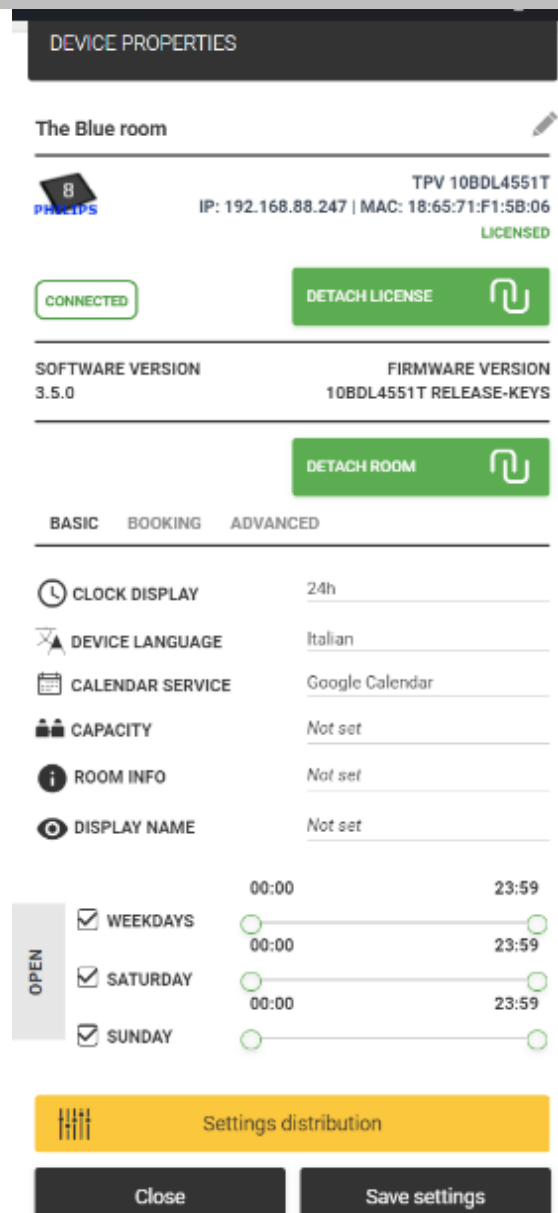
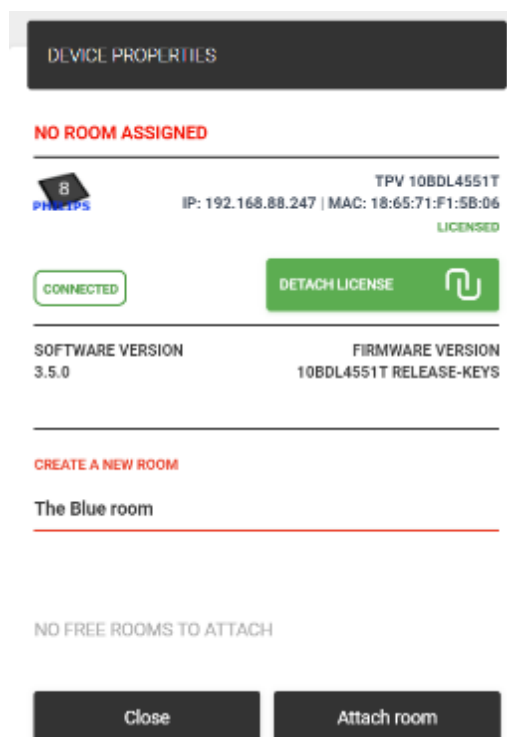
注意:Google カレンダーで見えない部屋はインポート時に提供されません。

- AllSpeech S10 
- AllSpeech S20 
- ALLNET
- AllSee

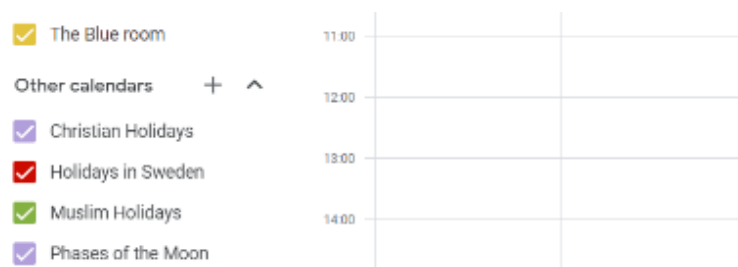
- ここで AllSpeech S10 はインポートから除外されます。

新しい部屋を作成する

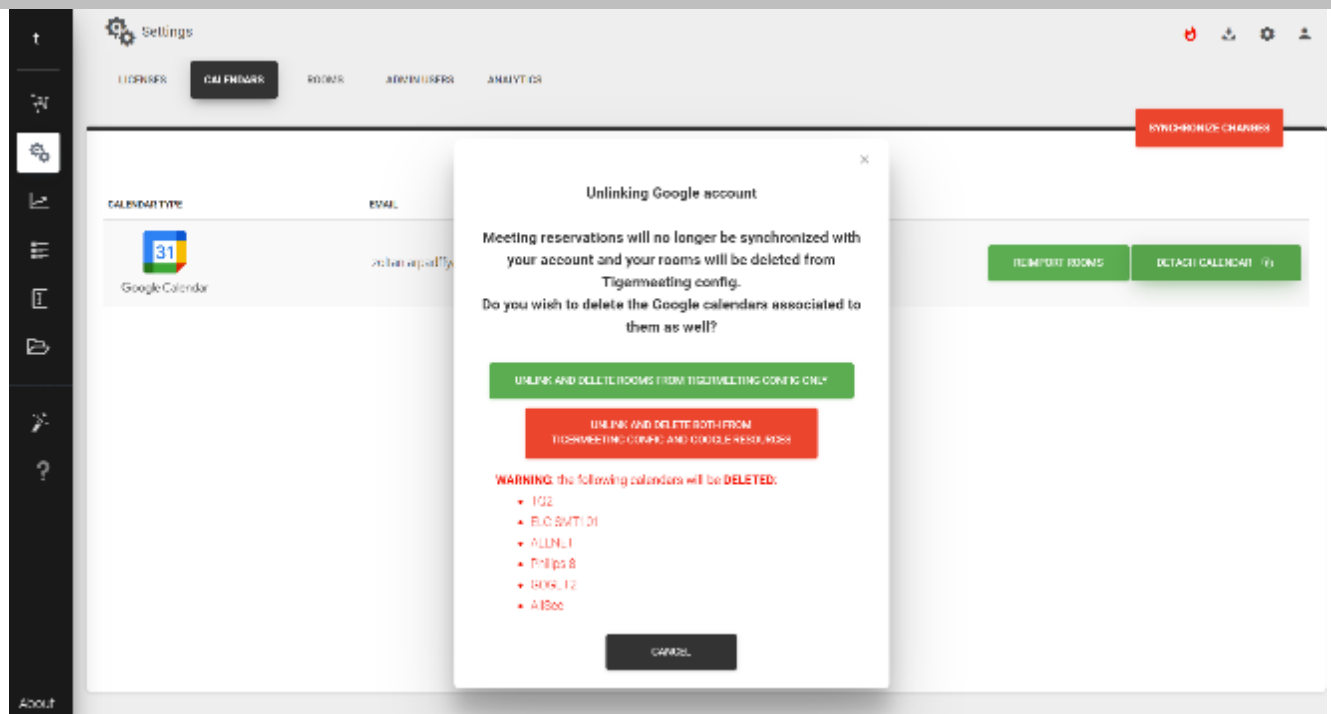
デバイスのプロパティを編集するだけで新しい部屋を作成できます:



カレンダーはすぐに Google カレンダーで作成されます



作成されたカレンダーのコンテンツやイベント(例:「The Blue room」)は、Google カレンダーのオンラインや予約デバイスから編集できます。概要画面は他のカレンダーと同様にステータスを表示します。Google カレンダーを切り離した後、Tigermeeting 管理者は管理者アプリでインポートまたは作成されたこれらのカレンダーリソースを削除するか、保持するかを選択できます。



選択肢は以下の通りです:

- TigerMeeting の設定(緑色)から**ルームのリンクを解除・削除**すると、ユーザーの Google カレンダーに変更は起こりません。管理者アプリケーションではカレンダーのみが切り離されており、TigerMeeting の設定はデバイスから削除されます。
- もう一方の場合(赤色) – 管理者アプリはユーザーの Google カレンダーから「ルーム作成」プロセスで作成されたカレンダー、または「再インポート」でインポートされたカレンダーをクリーンアップ・削除します。その他のカレンダーはそのまま残されます。(この方法はカレンダー削除を伴うためより「暴力的」ですが、管理者アプリはユーザーのカレンダーを整理するために作成したカレンダーだけを削除するため、重複した部屋名やその他の混乱を避けるため安全に操作できます。)また、インポートされたカレンダーも削除されます。

警告:この変更は恒久的なものであり、取り消すことはできません。掲載されているカレンダーリソースは永久に削除されます。

- キャンセル – 何もしないでカレンダーの切り離し作業をキャンセルする。

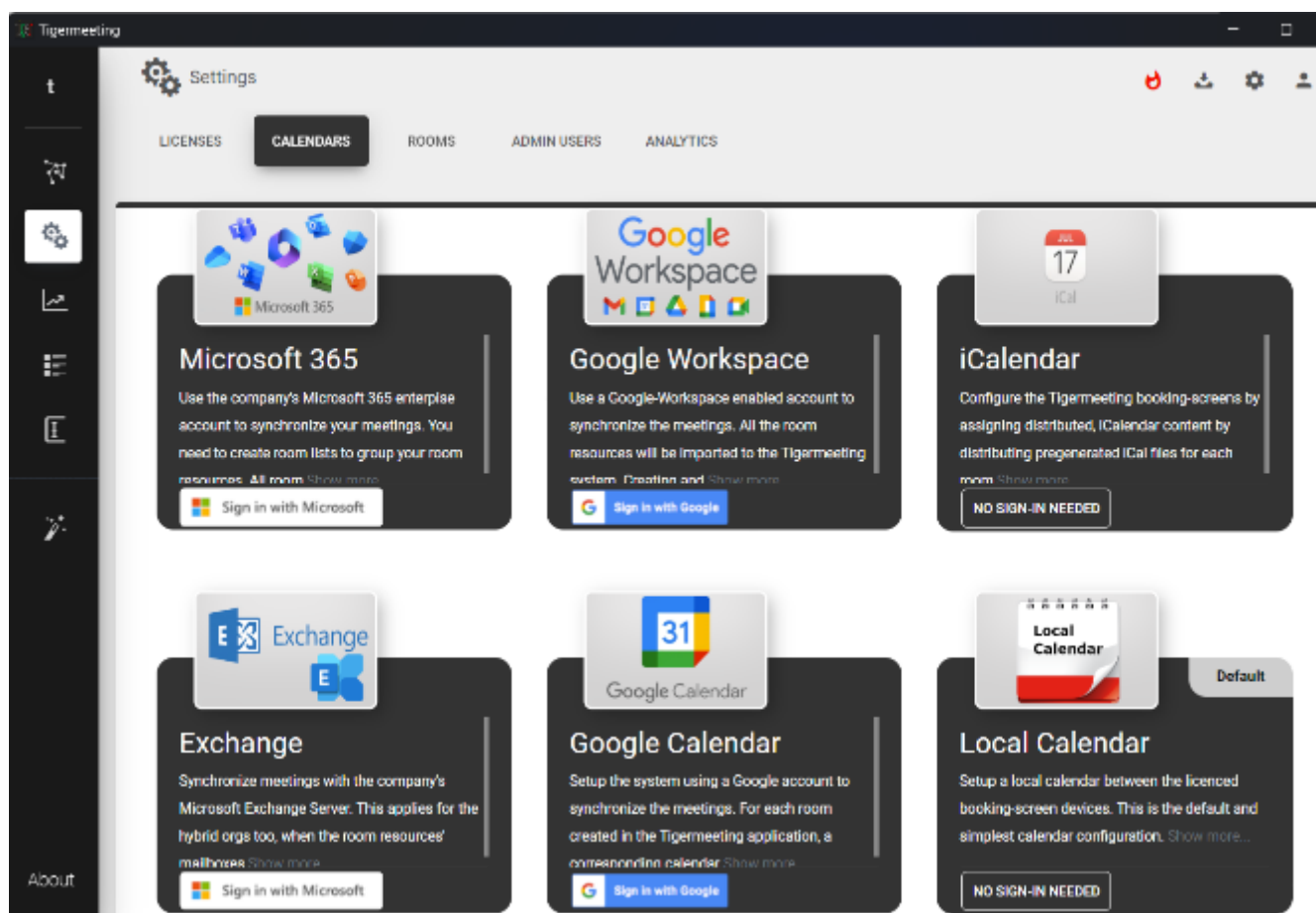
iCalendar カレンダーの設定

これは、通常のウェブサーバーを通じて RFC 5545 仕様に準拠した形式で事前生成された iCal ファイルを公開するシンプルかつ便利な方法です。これは、学校や大学の運用ケースに適した、比較的静的な多数のカレンダーを非常に効率的かつコスト効率よく配布する方法です。

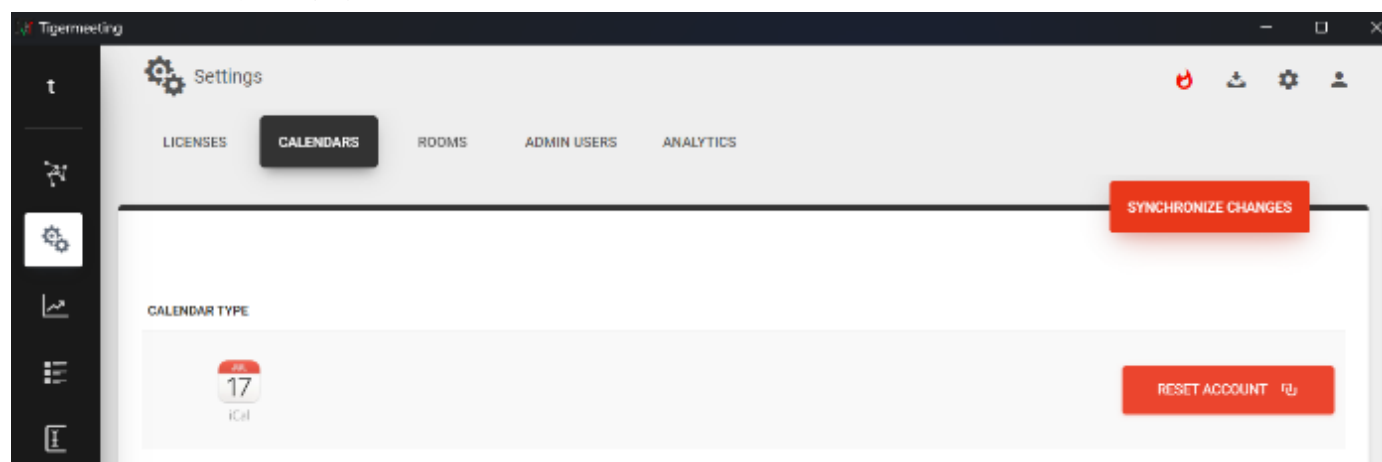
iCalendar ファイルは、広く利用されている iCalendar ジェネレータープログラムのいずれかによって最もよく作成されます。Tigermeeting の柔軟な設計により、iCal ファイルの置き換えや更新が可能です。ファイル指向の URL が変わらなければ、部屋の設定を変更する必要はありません。

この機能は、Google や Microsoft のような商用オンラインカレンダーサービスを利用できない、ある

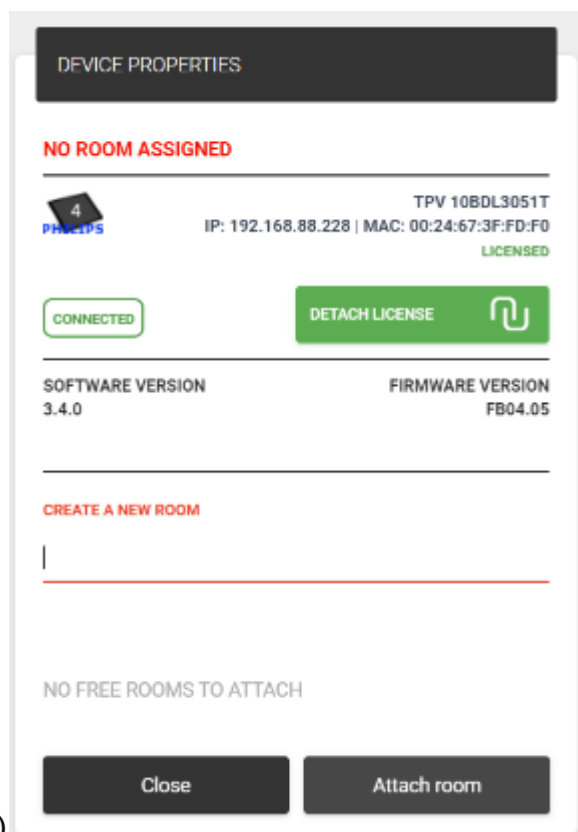
いは高額な料金を支払う気のない顧客にとって、コスト効率の良い会議室管理の新時代を開きます



iCalendar を選択し、変更を同期してください。



ネットワークメニューでデバイスを選択し、プロパティを編集します



a)



--> b)

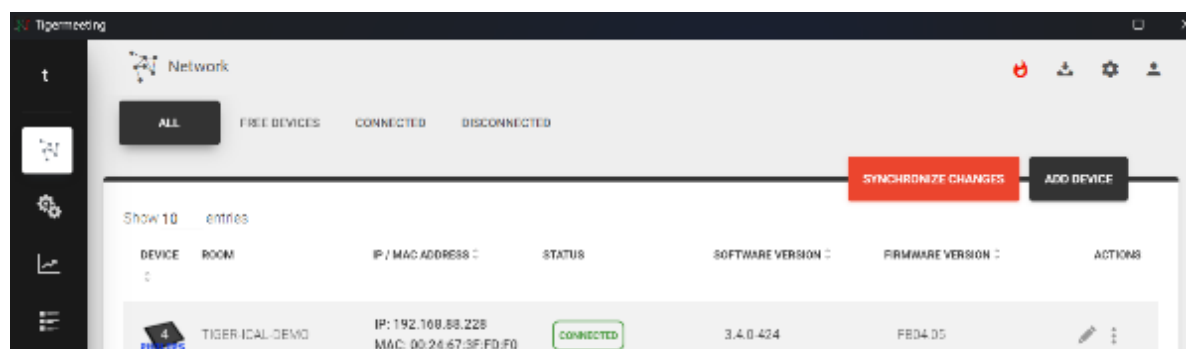
a) 部屋の名前を入力して新しい部屋を作成します。

b) この部屋のカレンダーイベントを提供する iCal ファイルを指す URL を入力することが可能です。URL の有効性とアクセシビリティを TEST URL ボタンを押してテストしてください。

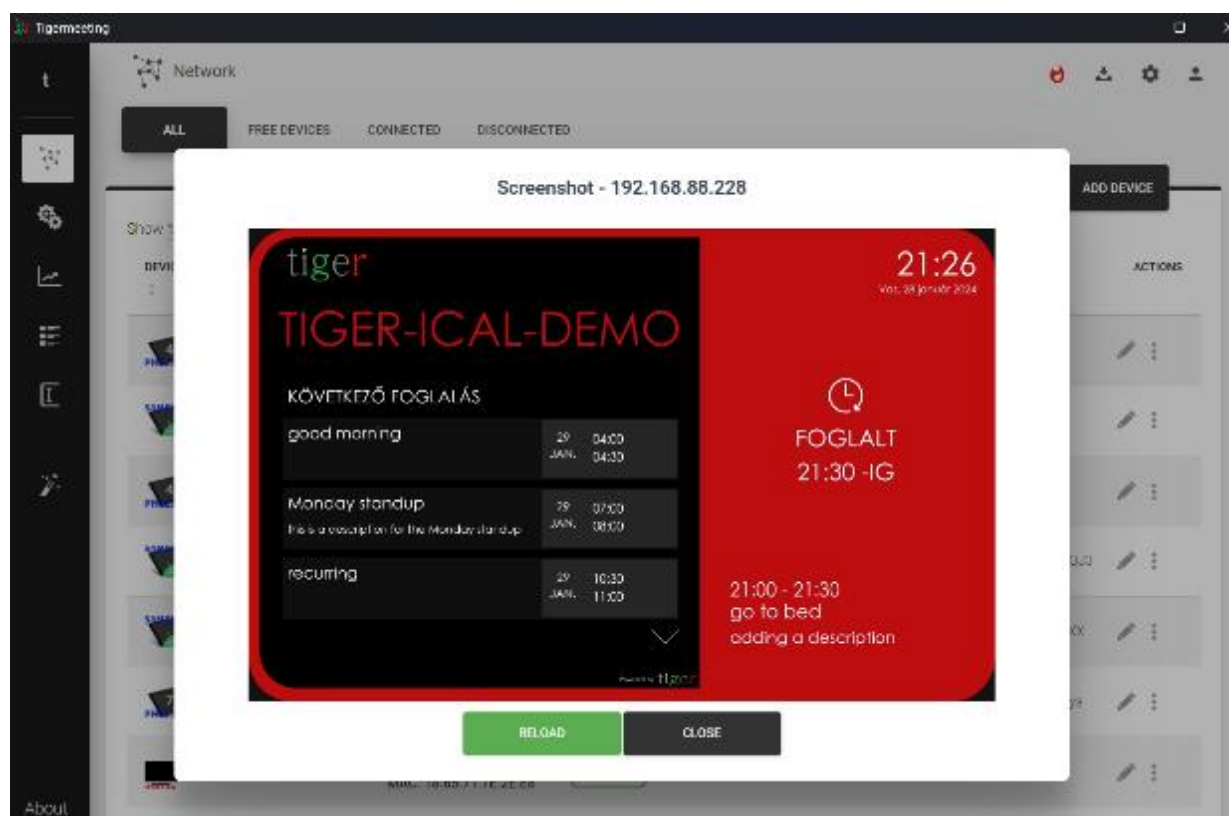
注意:iCal ファイルの最大サイズは 10Mb ですが、変更は可能です。Tigermeeting の予約や概要画面は、設定済みの URL がアクセス可能であれば新しいファイルの内容後に問題なく動作します。



変更を同期させて、デバイスに設定を展開します



デバイスのスクリーンショット(または近くにデバイス画面があれば)を変更して設定をテストしてください。



統合 – ICS を通じたスケジュールの公開

概要

TigerMeeting は、ICS(iCalendar)フィードを利用することで、ほぼすべてのカレンダーシステムから会議室のスケジュールを表示できます。

これは「プル」連携です。TigerMeeting はカレンダーシステムが提供する公開アクセス可能な(または秘密の)URL を定期的にチェックし、それに応じて部屋の表示を更新します。

この方法は以下の場合に理想的です:

- 複雑な API 連携は避けたいです。
- 直接 API アクセスが制限されているオンプレミスの Zimbra や IceWarp のようなセキュリティ強化環境を使っています。
- 企業のメールアドレスと一緒に、Skedda のような専用の予約ツールを使っています。

対応プラットフォームと構成

TigerMeeting は対応システムを 3 つのグループに分類しています:主要クラウドプロバイダー、エンタープライズコラボレーションプラットフォーム(オンプレミス/プライベートクラウド)、およびスタンドアロン予約システム。

主要なクラウドプロバイダー

組織が Microsoft 365 や Google Workspace を使用している場合、これらは通常、組織内で「真実の情報源」として脅かされます。

Microsoft Exchange / Office 365

- 機能:「リソースメールボックス」(ミーティングルーム)を設定し、カレンダーを一意的 URL で公開できます。
- 有効化方法:管理者は PowerShell または Exchange 管理センターを使って、そのリソースカレンダーに対して PublishEnable を \$true に設定する必要があります。
- 結果:.ics で終わる隠れた URL(多くの場合 reachcalendar.ics)。
- セキュリティ注意:この URL は技術的には公開ですが、「難解」です(推測が難しいです)。

Google Workspace と Google カレンダー

- 機能:Google は特定のリソースカレンダーを「シークレットアドレス」でアクセス可能にできます。
- 有効化方法:
 - 一. 特定の部屋リソースについては Google カレンダー設定に行ってください。
 - 二. 「カレンダーの統合」セクションまでスクロールしてください。
 - 三. 結果:「iCal 形式のシークレットアドレス」をコピーしてください。
 - 四. 注意:「パブリックアドレス」は、カレンダーを世界中に明示的に公開している場合を除き、使用しないでください。

Public address in iCal format

<https://calendar.google.com/calendar/ical/f2fd55d03da5fe65bb700c3068e36b9f85f9a73db>

Use this address to access this calendar from other applications.

Warning: The address won't work unless this calendar is public.

Secret address in iCal format



Use this address to access this calendar from other applications without making it public.

Warning: You should not give the secret address to other people. [Learn more](#)

You can reset this address and make the current one invalid.

エンタープライズコラボレーションプラットフォーム(Zimbra、Carbonio、IceWarp)

これらのプラットフォームは政府、ISP、そして厳しく規制された業界で一般的です。標準的な ICS フィードを公開することに優れており、多くの場合、サードパーティのプラグインを必要としません。

ジimbra・コラボレーション

Zimbra はユーザーが「ヒットリスト」URL を生成し、カレンダーなどのフォルダデータを様々な形式で公開できます。ICS も含まれます。

方法 1: UI の使い方(モダン UI)

- 一. Zimbra のウェブクライアントにログインしてください。
- 二. カレンダータブに行ってください。
- 三. 公開したい特定のルームカレンダーやユーザーカレンダーを右クリックしてください。
- 四. カレンダーの共有を選択してください。
- 五. 「公開(閲覧のみ)」を選択してください。
- 六. Zimbra は URL を表示します。ICS または iCal とラベル付けされたリンクを必ずコピーしてください。

方法 2: REST API 方式(直接構築)

管理者が共有メニューにアクセスできない場合、アカウントのメールアドレスとサーバーアドレスが分かっている場合は手動でリンクを作成できます:
`https://mail.yourdomain.com/home/room-email@domain.com/Calendar?fmt=ics`

カレンダーがデフォルトのカレンダーでない場合は、特定のフォルダ名に置き換えてください。

ザクストラス・カルボニオ

Carbonio(および Carbonio CE)は Zimbra と似たアーキテクチャで構築されていますが、クリーンなリンクを生成する専用の「シェア」インターフェースを提供しています。

有効化方法:

- 一. カレンダータブに移動します。
- 二. 部屋の表示に使うにはカレンダーを右クリックしてください。
- 三. カレンダーの編集と共有を選択してください。
- 四. 「公開」(閲覧のみ、パスワード不要)を選択してください。
- 五. システムが ICS の URL を生成します。このリンクをコピーしてください。
- 六. 注意: Carbonio 管理者がサービスクラス(COS)レベルで「公開共有」を無効にしていないか確認してください。

CalDAV のセットアップ章の前の手順を参照してください

アイスワープ

IceWarp は標準的な WebDAV および ICS の公開をサポートしていますが、正しい URL を見つけるには特定の統合設定で確認する必要があります。

有効化方法:

- 一. ルームカレンダーの所有者アカウントとして IceWarp WebClient にログインしてください。
- 二. プロフィール写真(右上)をクリックし、設定(またはオプション)を選択してください。
- 三. 統合タブ(時には「カレンダー」>「シェアリング」の下にあることもあります)にアクセスしてください。
- 四. 「インターネットカレンダー」または「パブリックカレンダーリンク」とラベル付けされたセクションを探してください。
- 五. .ics で終わる URL をコピーしてください。

代替案として、デスクトップクライアントを使用している場合は、カレンダーフォルダ>共有>「インターネットで公開」を有効にするとリンクを生成できます。

スタンドアロン予約システム

これらのシステムは独自のデータベースを管理し、コワーキングスペースや共有施設に最適です。

スケッダ

仕組み:Skedda はこの分野で非常に高い能力を持っています。「会場レベル」フィード(すべての予約)や「スペースレベル」フィード(特定の部屋)を生成できます。

機能:管理者は統合設定ページから直接読み取り専用の iCal リンクを取得できます。このリンクは外部カレンダーや表示ソフトでスケジュールを表示するために使用できます。

最適な用途:コワーキングスペース、スポーツ施設、IT インフラに依存しない柔軟なシステムを必要とするオフィス。

有効化方法:

- 一. 設定>統合へ。
- 二. iCal / Webcal を選択してください。
- 三. 「会場レベル」フィード(すべての予約)や「スペースレベル」フィード(特定の部屋)を生成することができます。
- 四. 提供された HTTPS リンクをコピーしてください。

ヤルームズ

仕組み:Yarooms はカレンダーエクスポートの細かい管理を提供します。

機能:個別の部屋やリソースごとに iCal フィードを提供しています。サポートドキュメントには Outlook や Mac カレンダーなどの外部アプリケーションからこれらのフィードを購読する方法が明記されています。

最適な用途:デスクとルームの両方の予約が必要なハイブリッド職場で、簡単にエクスポートできる場合。

有効化方法:

Yarooms は個別の部屋向けに詳細な iCal フィードを提供しています。

ダッシュボードの特定のルーム設定に移動し、「エクスポート」または「統合」タブを探してサブスクリプションの URL を見つけてください。

SuperSaaS

仕組み:高度にカスタマイズ可能な汎用予約エンジン。

特徴:アクセシブルスケジュールの概念に基づいて構築されています。作成するすべてのスケジュールには「購読」オプションがあり、標準的な ICS/Webcal リンクを提供します。

最適な用途:データフィードを完全にコントロールしたい複雑なスケジューリングのニーズで、「光鮮」な企業インターフェースは必要ありません。

有効化方法:

- 一. 特定のスケジュールについては「設定」へ行ってください。
- 二. アクセスタブを選択してください。
- 三. 「Outlook、Google、または Apple カレンダーで購読」のセクションを探してください。
- 四. 提供された webcal/ICS リンクをコピーしてください。

セルフホスト/オープンソース

Linux/PHP スタック上で自社のインフラをホストしている組織向けです。

Nextcloud / OwnCloud

有効化方法:

- 一. カレンダーアプリを開きます。
- 二. カレンダー名の横にある 3 つの点(...)をクリックしてください。
- 三. 「プライベートリンクのコピー」(安全)または「リンクの共有」(公開)を選択してください。
- 四. この URL を Tigermeeting に貼り付けてください。
- 五. ヒント:URL が/html で終わる場合は、/export に変更するか、共有メニューで特定の「サブスクリプションリンク」を探して生の ICS データを確実に取得してください。

URL が暴露した ICS と Webcal リンクの混乱

Tigermeeting が Webcal リンクをサポートしているかどうか、混乱が生じることがあります。技術的にはデータにほとんど違いはありませんが、ソフトウェアがリンクを扱う方法には大きな違いがあります。

Tigermeeting のようなシステムでは、この区別が設定上非常に重要です。

HTTPS リンク(<https://.../calendar.ics>)

- それは何か:ファイルを指す標準的なウェブアドレスです。
- 挙動:これをブラウザに貼り付けると、.ics ファイルが「ダウンロード」フォルダにダウンロードされる可能性が高いです。
- ユースケース:これが Tigermeeting に必要なものです。ファイルを定期的に「取得」するために直接アドレスが必要です。

Webcal リンク(webcal:.../calendar.ics)

- それは何か:Apple が考案したが現在標準となっている非公式の URI 方式で、「トリガー」として機能します。
- 動作:このリンクをクリックすると、パソコンはファイルをダウンロードしません。代わりに、すぐにデフォルトのカレンダーアプリ(Outlook、Apple Calendar、Thunderbird など)を起動し、そのカレンダーを購読するかどうかを尋ねます。
- ユースケース:人間の利便性。

統合の「コツ」

99%の場合、webcal:// と https:// は接頭辞を入れ替えば交換可能です。

もしプロバイダー(SuperSaaS や Apple iCloud のような)が webcal:// で始まるリンクを提供した場合、Tigermeeting はサーバー/アプリケーションであり、デスクトップカレンダーアプリではないため認識しません。

やるべきことは:URL を Tigermeeting 管理パネルに貼り付けるときに、webcal:// を https:// に置き換えるだけです。

例:

- 一. カレンダーには以下の webcal://www.mysite.com/schedule.ics
- 二. 管理者が Tigermeeting に貼り付け:https://www.mysite.com/schedule.ics

トラブルシューティングとベストプラクティス

- リフレッシュレート(キャッシュ):ICS はパッシブプロトコルです。TigerMeeting は数秒ごとにデータを「プル」します(デフォルトは通常 30 秒から 2 分です)。ICS カレンダー (Zimbra/Exchange)に変更が加えられても、会議室の画面に即座に表示されることはありません。
- 緩和策:即時更新が必要な場合は、プランでサポートされている場合は直接 API 統合への移行を検討してください。
- タイムゾーン:ICS ファイルは浮動タイムゾーンを許可しています。カレンダーサーバー(例:IceWarp)と Tigermeeting ディスプレイが正しいローカルタイムゾーンに設定されていることを

確認してください。不一致すると会議が 1～2 時間ずれているように見えることがあります。

- データプライバシー:生成された ICS リンクの多くは「公開されているが隠されている」(難名性によるセキュリティ)です。URL を推測した人はスケジュールを閲覧できます。
- ベストプラクティス:会議室の予約の「件名」や「説明」にパスワード、患者名、財務情報などの機密情報を記載しないでください。部屋のカレンダーには「内部同期」や「クライアント会議」などの一般的なタイトルを使いましょう。

Webcal カレンダーの設定

Webcal および iCalendar(.ics)フィードの設定

TigerMeeting はネイティブに iCalendar(.ics)ファイル形式をサポートしており、読み取り専用のサブスクリプションフィードを使って外部カレンダープロバイダーからのルームスケジュールをシームレスに同期できます。

この統合の仕組みを理解するには、実際のカレンダーデータ形式(iCalendar)と、それを配信する仕組み(Webcal)を区別することが役立ちます。

歴史と標準:iCalendar と Webcal の違い

iCalendar は、カレンダーデータの交換に関する公式かつ世界的に受け入れられている標準です。もともとは 1998 年にインターネット工学タスクフォース(IETF)によって RFC 2445 の下で定義され、その後 2009 年に RFC 5545 で更新・定着されました。このプレーンテキスト形式は、イベント、時間、ルールの構造を正確に決定します。ファイルが.ics で終わる場合、それは RFC 5545 の厳格なルールに従ってフォーマットされたテキストファイルに過ぎません。

iCalendar とは異なり、webcal:// は公式の IETF インターネット標準ではなく、独自の RFC もありません。これは 2000 年代初頭に Apple が「iCal」アプリケーションと同時に導入しました。

Webcal は技術的には「擬似プロトコル」または非公式の統一リソース識別子(URI)方式です。その唯一の目的は、オペレーティングシステムのフラグとして機能することです。ユーザーが webcal:// リンクをクリックすると、オペレーティングシステムはそのリンクをブラウザでウェブページとして開こうとするのではなく、直接ローカルカレンダーアプリケーション(Apple Calendar や Microsoft Outlook など)に渡すことを知っています。

webcal は OS のローカルトリガーに過ぎないため、Tigermeeting のようなサーバーアプリケーションはネットワーク経由で生の.ics データを取得するために標準的なウェブプロトコル(HTTP/HTTPS)を必要とします。

構成ステップ

カレンダーフィードをうまく接続するには、以下の正確な設定手順に従ってください:

1. カレンダーモードを選択する

Tigermeeting アプリケーションで設定>カレンダーへ移動してください。カレンダー統合オプションで、指定されたカレンダーとして iCalendar を選択してください。

2. プロトコルを HTTPS に変換する

カレンダーシステムが提供するサブスクリプション URL をコピーしてください。URL が webcal:// 擬似プロトコルで始まる場合は、Tigermeeting が標準的なネットワークリクエストを実行できるように、その接頭辞を https:// に手動で置き換える必要があります。

変換例

オリジナル:webcal://server.domain.com/path/to/calendar

必須条件:https://server.domain.com/path/to/calendar

3. .ics 拡張を付け加える

Tigermeeting では URL が iCalendar ファイルに明示的に指し示されている必要があります。URL の末尾を確認してください。生成されたリンクに正しい拡張子が含まれていない場合は、ファイルフォーマットの基準に準拠するために文字列の最後尾に手動で.ics を追加してください。

変換例:

https://server.domain.com/path/to/calendar

必須条件:https://server.domain.com/path/to/calendar.ics

セットアップの検証

設定を保存する前に、各部屋の最終 URL 文字列が以下の正確な構造に従っていることを確認してください。

https://<calendar-server-address>/<path>/<filename>.ics



Tigermeeting はファイル認証を提供し、アクセスを検証します

適切なフォーマットの URL が保存されると、Tigermeeting は標準的な HTTP リクエストを実行し、RFC 5545 準拠の.ics ペイロードを解析し、自動的に次の部屋スケジュールをディスプレイに表示します。

CalDAV カレンダーの設定

CalDAV(Calendar Extensions to WebDAV)は、クライアントアプリケーションがリモートサーバー上のスケジューリングデータにアクセスし、管理し、同期することを可能にするインターネット標準です。これは WebDAV(Web Distributed Authoring and Versioning)プロトコルを拡張しており、WebDAV 自体が HTTP/1.1 を拡張しています。

仕様および RFC 規格

相互運用性を確保するため、Tigermeeting プラットフォームはインターネット工学タスクフォース (IETF)が定めた基礎標準に準拠しています:

- RFC 4791(CalDAV):カレンダーイベントのスケジューリング、ToDo 項目の管理、カレンダーコンポーネントのクエリを可能にする WebDAV のコア拡張を定義しています。
- RFC 5545(iCalendar):カレンダースケールオブジェクト(イベント、タスク、ジャーナルエントリ)を表現するための標準データフォーマットを規定しています。Tigermeeting とサーバー間で交換されるすべてのイベントペイロードはこの.ics 形式を使用します。
- RFC 2518 / RFC 4918(WebDAV):アクセス制御、ロック、プロパティ操作を含むリモートリソース管理に必要な基盤となる HTTP メソッドを提供します。
- RFC 6638(CalDAV スケジューリング拡張):サーバーが内部および外部ユーザー間の招待のスケジューリングや空忙中検索をどのように扱うかを定義しています。

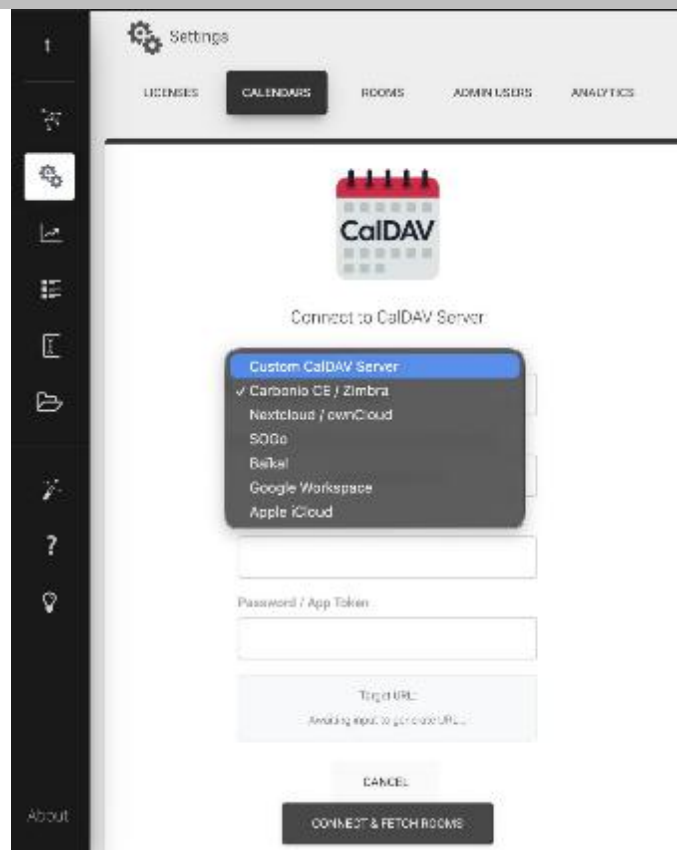
アーキテクチャワークフロー

Tigermeeting は CalDAV クライアントとして機能します。特定の WebDAV 動詞を使って、ターゲットの CalDAV サーバーに構造化された HTTP リクエストを送信します。

- PROPFIND:カレンダーコレクションやルームリソースプロパティを発見します。
- レポート:特定の時間ウィンドウ内でイベントを取得するなど、特定の時間ウィンドウ内でのターゲットを絞ったクエリを実行します。
- PUT / DELETE:会議室の予約をパネルから直接作成、更新、または削除します。

CalDAV カレンダーの添付

カレンダーサーバーを統合するには、Tigermeeting 管理パネルとディレクトリサービスやカレンダーバックエンド間で安全なハンドシェイクを初期化する必要があります。



Tigermeeting 管理アプリケーション内の CALENDARS>設定へ移動してください。プラットフォームにはベンダー固有の実装に基づいてパストラバーサル動作を自動的に調整する複数の事前設定プロファイルが含まれています:

- カスタム CalDAV サーバー:標準準拠サーバー(例:Radicale、SabreDAV)向けの汎用プロファイル。
- Carbonio CE / Zimbra:ZAD(Zimbra Collaboration)および Carbonio エンドポイント向けに調整されています。
- Nextcloud / ownCloud:同期頻度を最適化し、組み込みのリソース予約構造に対応します。
- SOGo / BaiKal:軽量で標準準拠の実装。
- Enterprise SaaS(Google Workspace / Apple iCloud):トークンベースおよびアプリ固有のセキュリティ制約に対応するように設定されています。

重要: 本番環境では、ネットワーク経路上の基本的な認証ハンドシェイク時の認証スニффینگを防ぐために TLS(HTTPS)を強制することが強く推奨されます。

使用される証明書や、CA、発行者などの証明書チェーン全体が有効である必要があります。自己署名証明書を持つサーバーへの接続は失敗します。

Settings

LICENSES CALENDARS ROOMS ADMIN USERS ANALYTICS

CalDAV

Connect to CalDAV Server

Server Type / Provider
Custom CalDAV Server

Full Server URL
http://192.168.88.55:5232/tiger/

Username (Usually Email)
tiger

Password / App Token
...

CANCEL

CONNECT & FETCH ROOMS

フィールドが入力されたら、CONNECT & FETCH ROOMS をクリックしてルートコレクション URL に対して PROPFIND リクエストを発動します。

認証情報のハンドシェイクが成功すると、サーバーはそのアカウントディレクトリにリンクされた利用可能なカレンダーをマッピングした XML 応答を返します。

Select CalDAV Calendars to import

☒ Select All

☒ Tiger Team 6
http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

☒ Tiger Team 1
http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

☒ Tiger Team 2
http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

☒ Tiger Team 4
http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

☒ Tiger Team
http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

CANCEL IMPORT SELECTED (5)

選択マトリックス:アプリケーションはマルチセレクトインターフェースをコンパイルし、発見された各カレンダーの記述的な名称と正確なリソースパスを表示します。

例:http://192.168.88.55:5232/tiger/DevCalendar1/

リソース隔離:会議スペースのハードウェアにマッピングしたい物理資産や共有チームスケジュールに限定したチェックボックスにチェックを入れましょう。

データコミット:IMPORT SELECT をクリックします。この操作によりエンドポイントはローカルの Tigermeeting アプリケーションデータベースにログ登録されます。

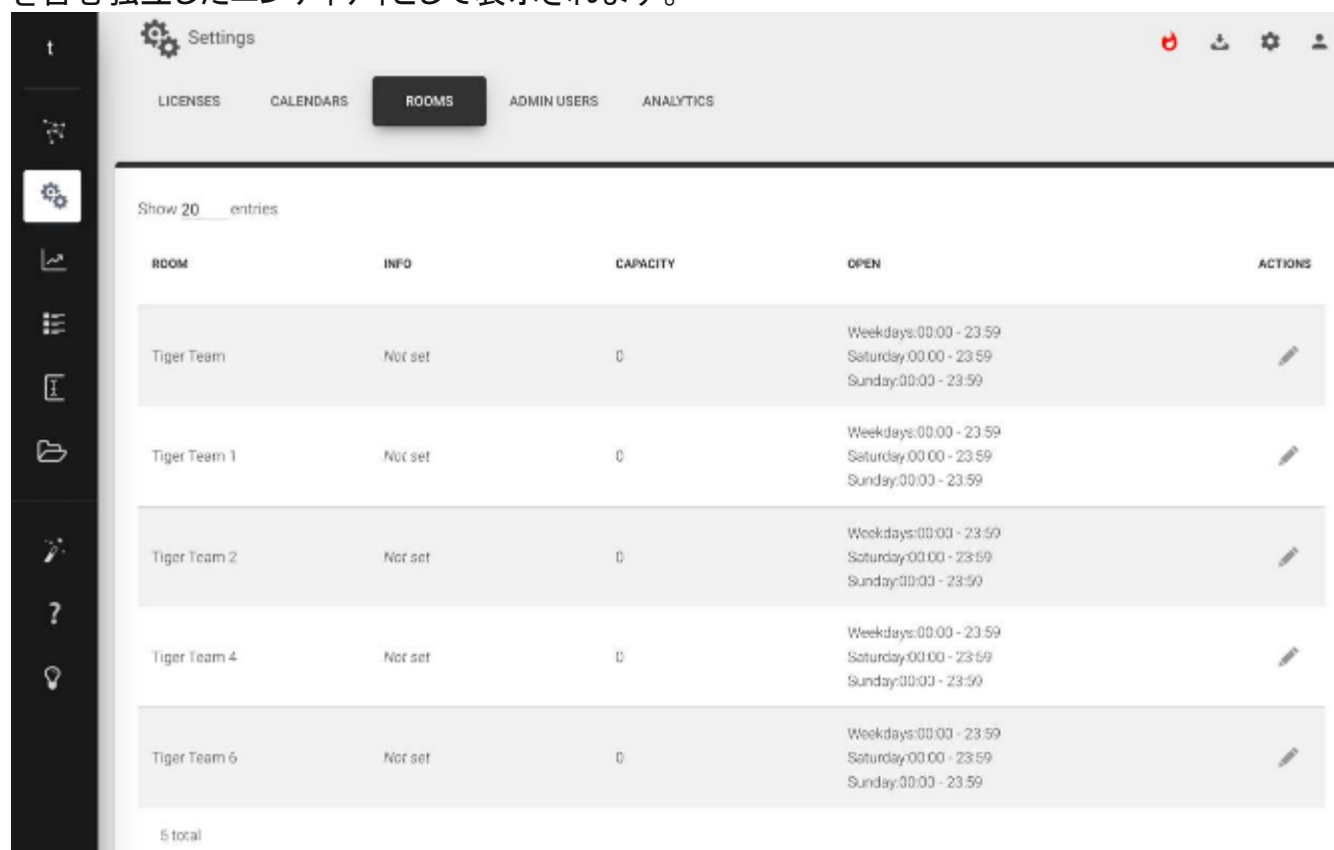


カレンダーパスをインポートすると段階的な構成が作成されます。これらのレコードをアクティブシステムルーティングにコミットするには、アプリケーション状態を最終化する必要があります。

カレンダータイプレイアウトダッシュボードの下で接続されたエンドポイントを確認してください。「変更の同期」をクリックします。

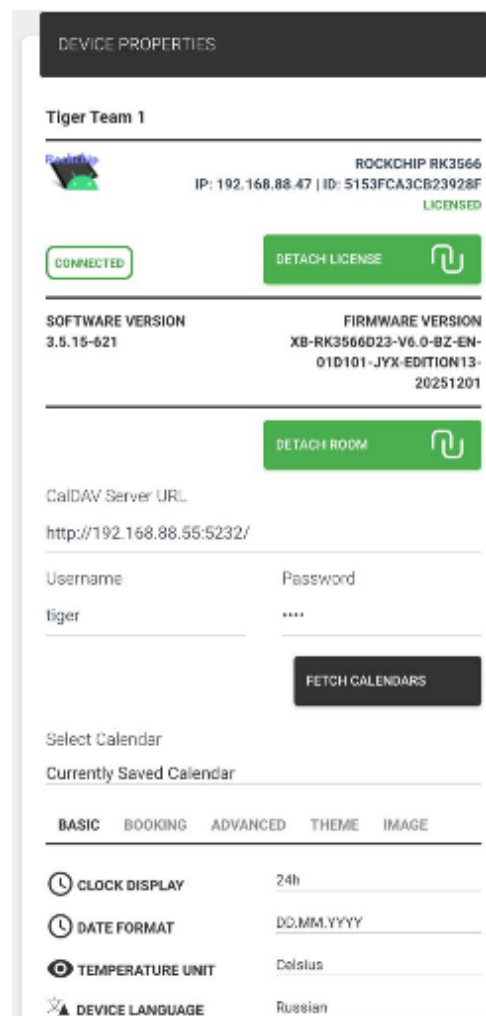
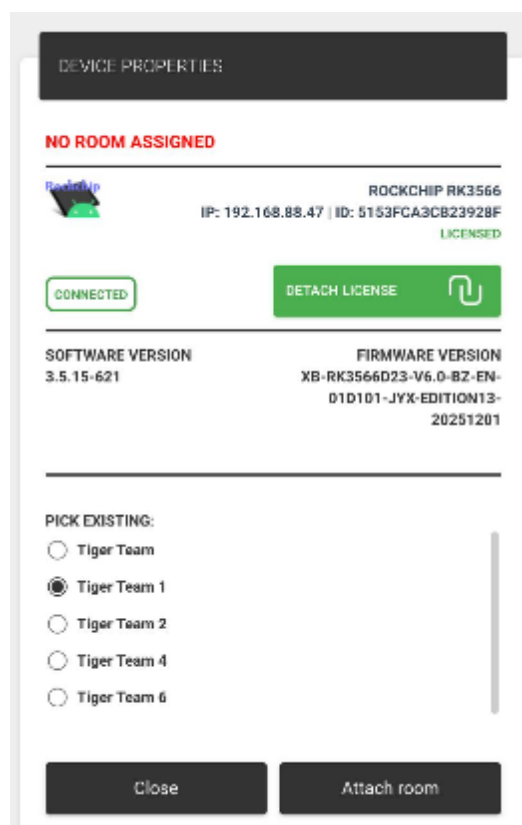
プラットフォームはこれらの URI をグローバルに登録し、物理パネル配列の更新を担当するポーリングワーカーを開始します。

データベースのシリアルライズが成功しているかを確認するには、ROOMS タブに切り替えてください。インポートされたパスは、営業時間、予約容量、カスタムメタデータなどのカスタマイズ可能なパラメータを含む独立したエンティティとして表示されます。



新しい Tigermeeting クライアントノードがチェックインすると、その状態は DEVICE PROPERTIES コンソール内でデフォルトで「NO ROOM ASSIGNED」になります。

- ターゲット端末は固有の IP アドレスとシステム ID で識別します。
- 「PICK EXISTLY」スクロールコンテナを見つけてください。このエリアは先に確認したアクティブな部屋リストを動的に読みます。
- 希望するカレンダーインスタンス(例:タイガーチーム 1)を選択します。
- 「部屋をアタッチ」ボタンをクリックしてください。



接続後、インターフェースは再読み込みされ、そのノードの包括的な診断プロファイルを表示します。
下流 URL 検証:パネルはアクティブな CalDAV ベースサーバーパスを表示します。

インタラクティブコントロール:インターフェースは手動の FETCH CALENDARS アクションを公開し、即時キャッシュ無効化とデルタ同期を強制します。

SAVE SETTINGS - Save the configuration and SYNCHRONIZE CHANGES を経て、デバイスは設定済みの CalDAV カレンダーリソースを使用し始めます。

Zextras Carbonio および Carbonio CE の設定

カレンダーを共有する方法は 2 つあります

一) サービスアカウント経由

サービスアカウントを作成してください。CalDAV のカレンダー管理専用アカウントです。
 注意:このユーザーは管理者権限を持つ必要はありません。

The screenshot shows the Carbonio Admin Panel. On the left, the 'Accounts' menu is selected. The main area displays the 'Accounts List' with a table containing three accounts. The first account, 'caldav.manager@tigermeeting.app', is selected. To the right, the 'GENERAL' tab of the account details is shown. The account name is 'caldav.manager', the email is 'caldav.manager@tigermeeting.app', and the display name is 'CalDAV Manager'. The account is created on 11 Jul 2026 at 08:22:47 PM and has never been logged in. There are buttons for 'DELETE' and 'VIEW MAIL' at the top right of the details panel.

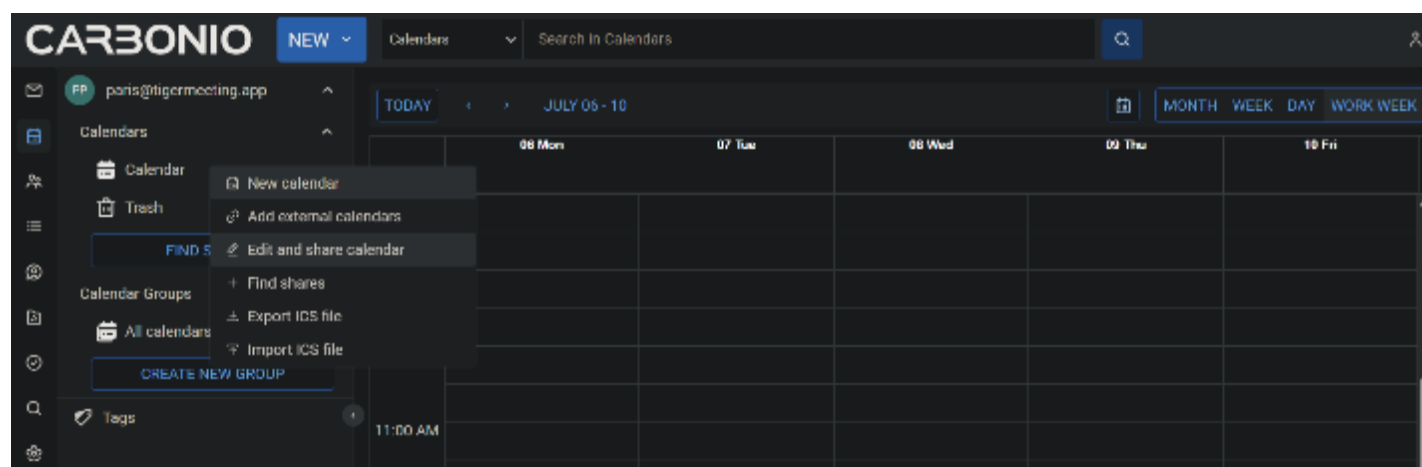
リソースを選択し、設定を確認してください。

The screenshot shows the Carbonio Admin Panel. On the left, the 'Resources' menu is selected. The main area displays the 'Resources' list with a table containing six resources. The first resource, 'Paris', is selected. To the right, the details for the 'paris@tigermeeting.app' resource are shown. The resource name is 'Paris', the email is 'paris@tigermeeting.app', and the server is 'carbonio.polarhome.com'. The status is 'Active' and the class of service is 'Auto'. The resource is created on 11 Jul 2026 at 08:18:03 PM. There are buttons for 'VIEW MAIL' and 'DELETE' at the top right of the details panel.

カレンダー委任はメールボックスレベルの機能なので、管理パネルの設定からは設定できません。右上近くの「メールを見る」ボタンを使う必要があります。

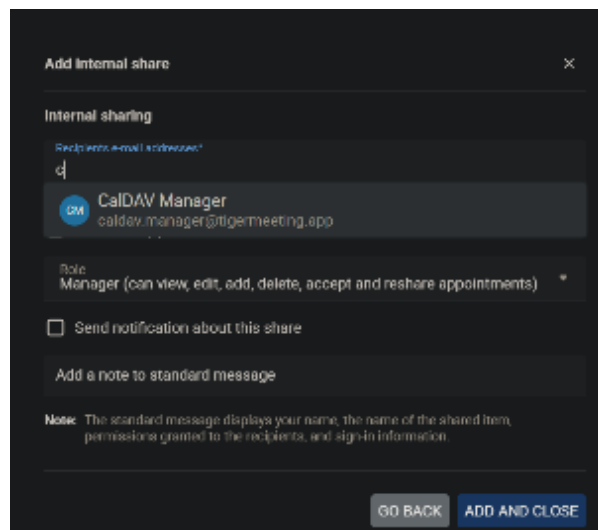
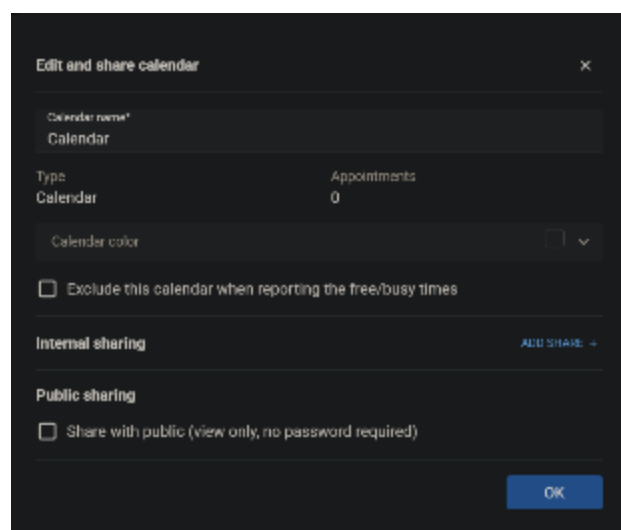
リソースとしてログイン:VIEW MAIL をクリックすると、ルームリソースの代わりに実際のウェブメールインターフェースが開きます。

注意:これは多くの場合必要です。なぜなら、新しいリソースメールボックスは最初のログインや最初のメール受信まで完全に初期化されないためです。



リソースのウェブメール内に移動したら、「カレンダー」タブに移動します。左パネルの「カレンダー」を右クリックし、「カレンダーの編集と共有」を選びます。

「内部共有」を選びました -> ADD SHARE を選びました そして、サービスアカウントをマネージャーロールに割り当てることができます。



二) リソース認証パスワードを設定してください

外部クライアントが直接部屋にログインできるようにするには、リソースアカウントにパスワードを割り当てる必要があります。

これを Carbonio サーバー上で root として実行し、部屋のメールアドレスと希望するパスワードを置き換えます:

```
su - zextras -c "zmpov sp room_address@domain.com 'YourSecurePassword'"
```

パスワード設定後、外部アプリケーションは CalDAV の URL に対して、ユーザー名として完全なリソースメールアドレスとパスワードを割り当てて認証できます。

パスワードは Carbonio 管理インターフェースからリソースプロパティを編集することで設定できます

The screenshot displays the Carbonio Admin Panel interface. The left sidebar lists various management options, with 'Resources' currently selected. The main panel shows a table of resources, including details for 'napoli@tigermeeting.app' such as its email address, server, status, and specific configuration settings. A password field is visible at the bottom of the resource details, indicating where the password can be set or updated.

重要:

Carbonio はカレンダーリソース共有方法に応じて異なるアクセスパスを公開します:

- CalDAV: <https://<server>/dav/<resource@domian.com>/カレンダー>
- iCal: <https://<server>/home/<resource@domian.com>/Calendar.ics>
- webcal: <webcals://<server>/<resource@domian.com>/カレンダー>
- CalDAV リソースディスカバリーパス <https://<server>/dav/<resource@domian.com>/>

…デフォルトの/カレンダー名は会社の好みに応じて変更・編集可能です。

OX カレンダーの設定

openDesk ワークスペーススイートは、Open-Xchange App Suite <https://ox.io/> の OX カレンダーをコアなデジタルカレンダーコンポーネントとして使用しています。

統合: OpenDesk(<https://www.opendesk.eu/en/product>)プラットフォーム内の OX メールおよび OX 連絡先とシームレスに連携し、スケジューリング、リソース調整、可用性管理を担当します。

機能: 共有カレンダー、定期的な予定、タスクの期限表示、カスタマイズされた日次・週次・月次ビューに対応しています。もしよければ、Nextcloud(ファイルストレージ)や Element(チャット)など他のコンポーネントが openDesk とどのように統合されるかについて、さらに詳しくご案内できます。

Tigermeeting を OX Calendar(Open-Xchange)と統合するには、CalDAV を利用する必要があります。Tigermeeting には Open-Xchange 専用のネイティブプラグインは搭載されていませんが、Open CalDAV 標準を完全にサポートしています。

統合の設定方法は以下の通りです:

ステップ 1: OX カレンダーの取得 CalDAV

Tigermeeting を設定する前に、Open-Xchange カレンダーの接続情報が必要です。

openDesk / OX App Suite アカウントにログインしてください。

カレンダーアプリに移動します。

会議室で使いたいカレンダーを見つけましょう。

設定またはプロパティアイコンをクリックすると、CalDAV の URL が確認できます。

ログイン時のユーザー名(通常は完全なメールアドレス)とパスワードとともに、完全な URL をメモしてください。

ステップ 2: TigerMeeting での統合設定

Tigermeeting 管理アプリを使ってカレンダーをリンクできます。Tigermeeting

Tigermeeting 管理アプリケーションを開いてください。

カレンダーまたはインフラストラクチャの添付ウィザードに移動してください。

対応カレンダープロバイダーのリストから CalDAV を選択してください。

OX サーバーの URL(ステップ 1 で取得した CalDAV リンク)を入力してください。

OX アカウントの認証情報(ユーザー名とパスワード)を入力してください。

セットアップウィザードを完了して、Tigermeeting を現在のセットアップに接続してください。

ステップ 3: 会議室にカレンダーを割り当てる

CalDAV の一般的なアカウントが連携したら、OX のカレンダールームに対応する Tigermeeting の物理ディスプレイにマッピングできます:

各部屋ごとに正しいインポートされたカレンダーリソースを選択してください。

TigerMeeting は自動的にローカルネットワークのディスプレイ間でイベントの同期を開始します。

注意:ネットワークのファイアウォールが Tigermeeting ハードウェアから OX カレンダーサーバーURL への送信トラフィックを許可していることを確認してください

Lark と Feishu 飛書の設定

Feishu は中国本土で使われている優れたオフィスフレームワークで、サーバーやすべてのデータが中国に保管されています。Lark(しばしば Lark Suite と呼ばれる)は、データを中国国外、主にシンガポールや日本に保存する Feishu のグローバル版です。

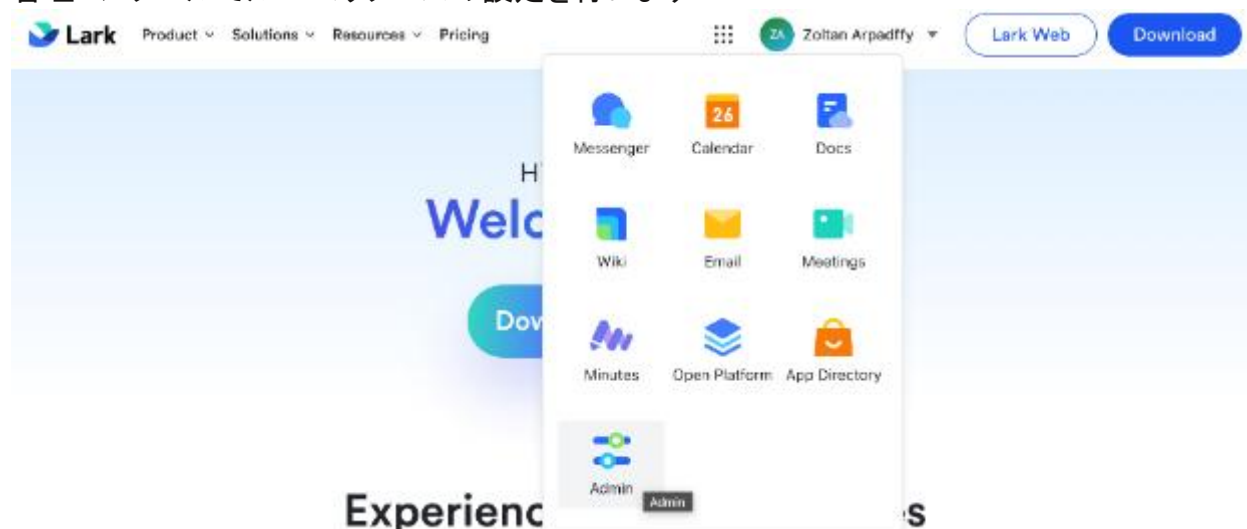
要件: Lark/Feishu カレンダーには最大 20 ユーザー向けの無料「スターター」プランがありますが、会議室管理の API 通話は通常、月間 10000 回の API 通話制限を超えます(単一部屋でも)。したがって、TigerMeeting アプリを会議室管理に利用するには少なくとも「Pro」サブスクリプションが必要です。ご確認ください https://www.larksuite.com/en_us/plans

ルームリソースの作成

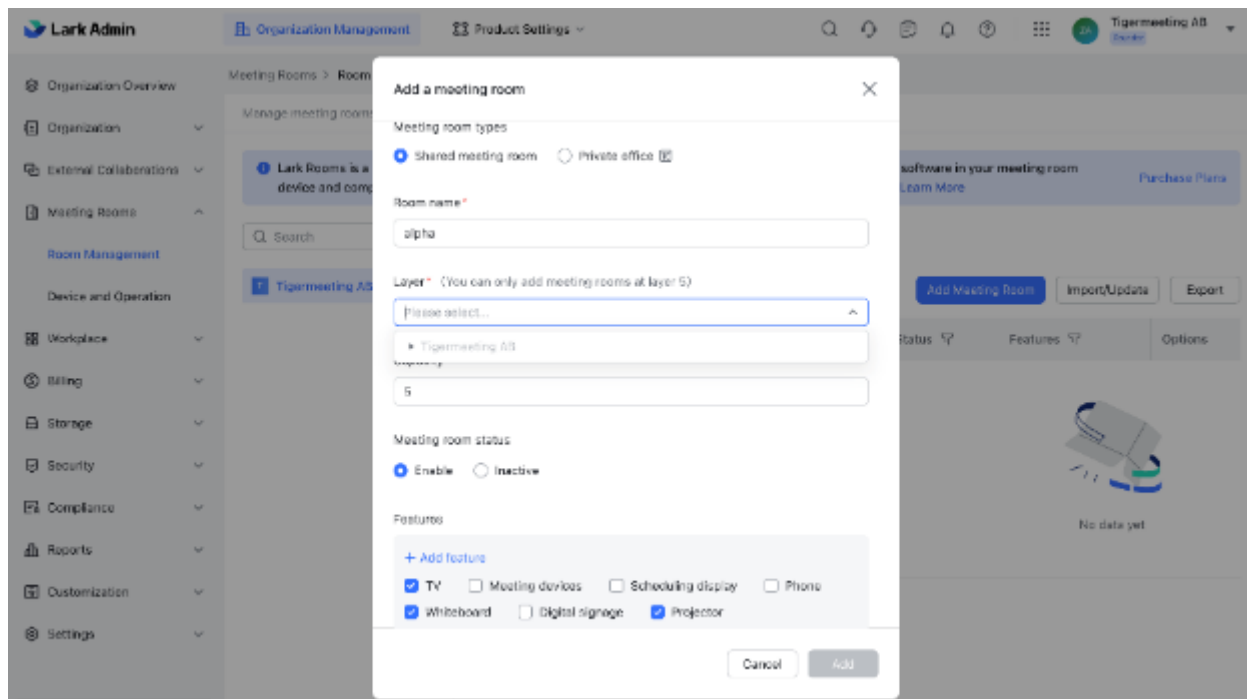
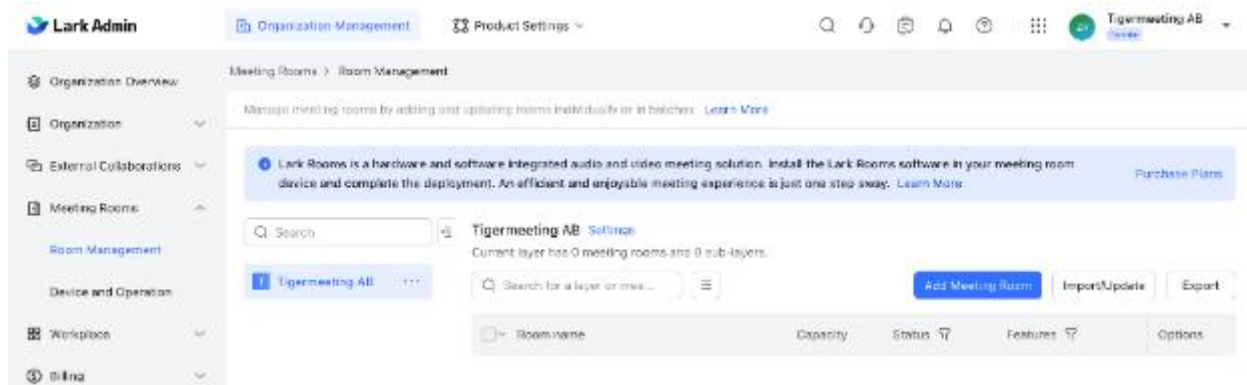
部屋リソースの作成や変更は、Lark/Feishu の管理ページを通じてのみ可能です。Tigermeeting は部屋のリソースを変更しないため、「ルーム情報」や「容量」は管理者アプリケーションで編集できません。

Feishu を使う場合はブラウザを <https://open.feishu.cn/>、Lark を使う場合は <https://open.larksuite.com/> に切り替えてください。

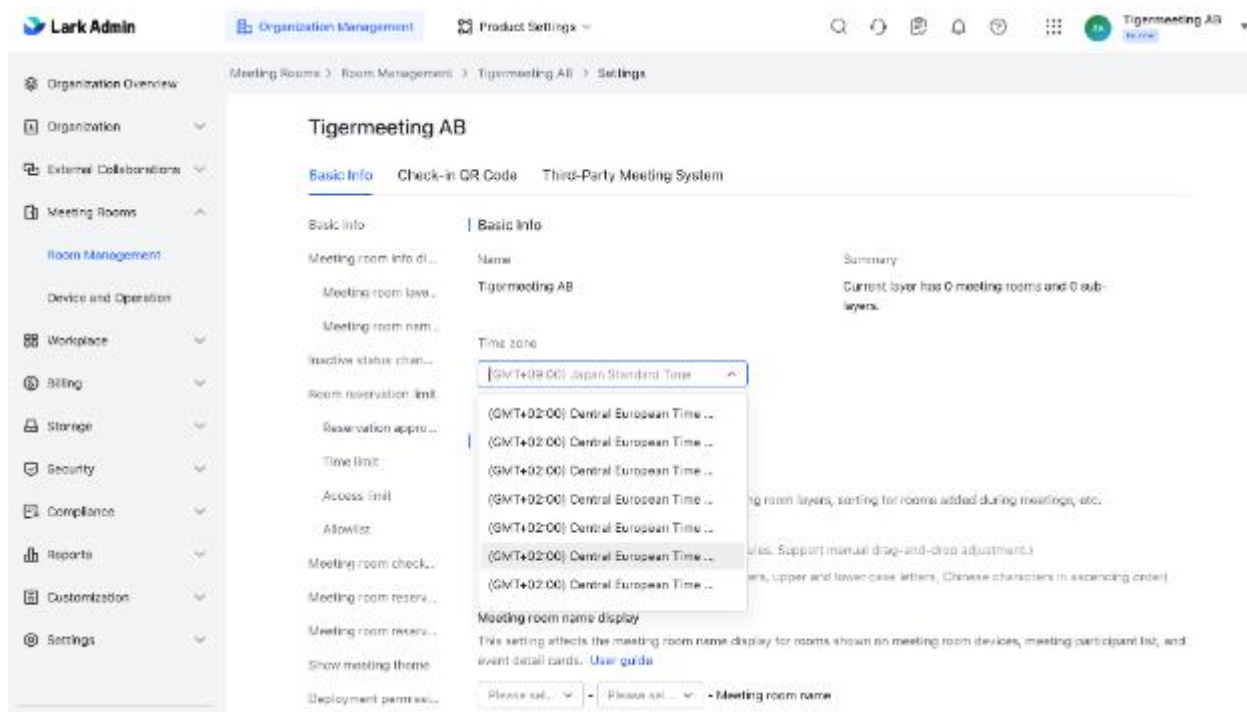
管理コンソールでルームリソースの設定を行います

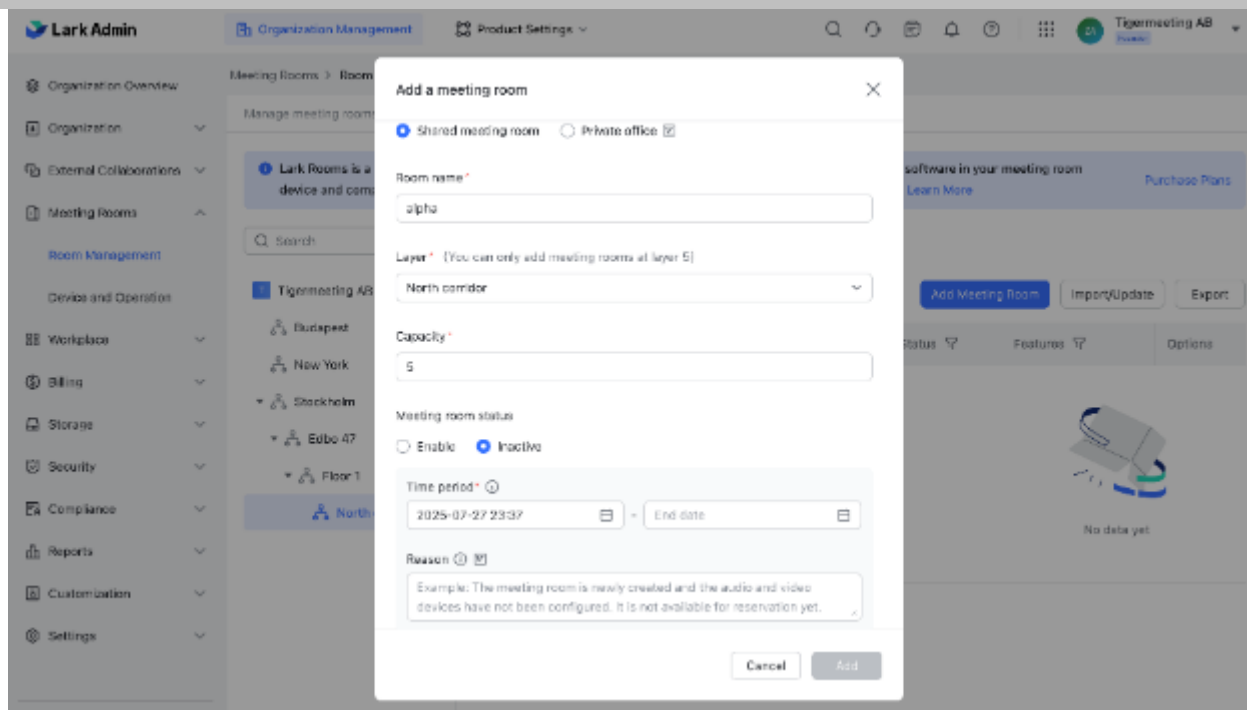


会議室>ルーム管理で部屋リソースを構成してください



会議室のタイムゾーンが正しいことを確認してください





Feishu/Lark のカレンダールームリソースはツリーディレクトリ構造の 5 レベル目にのみ許可されています。
 したがって、典型的な部屋資源構造は次のようになります。
 カントリー・シティ・オフィス・ビル・ルーム名 (...もちろん他のディレクトリ構造も許容されますが、最終条件として 5 階の部屋を満たす必要があります)

Room name *

alpha

Layer * (You can only add meeting rooms at layer 5)

North corridor

Capacity *

5

Meeting room status

☒ Enable ☐ Inactive

Features

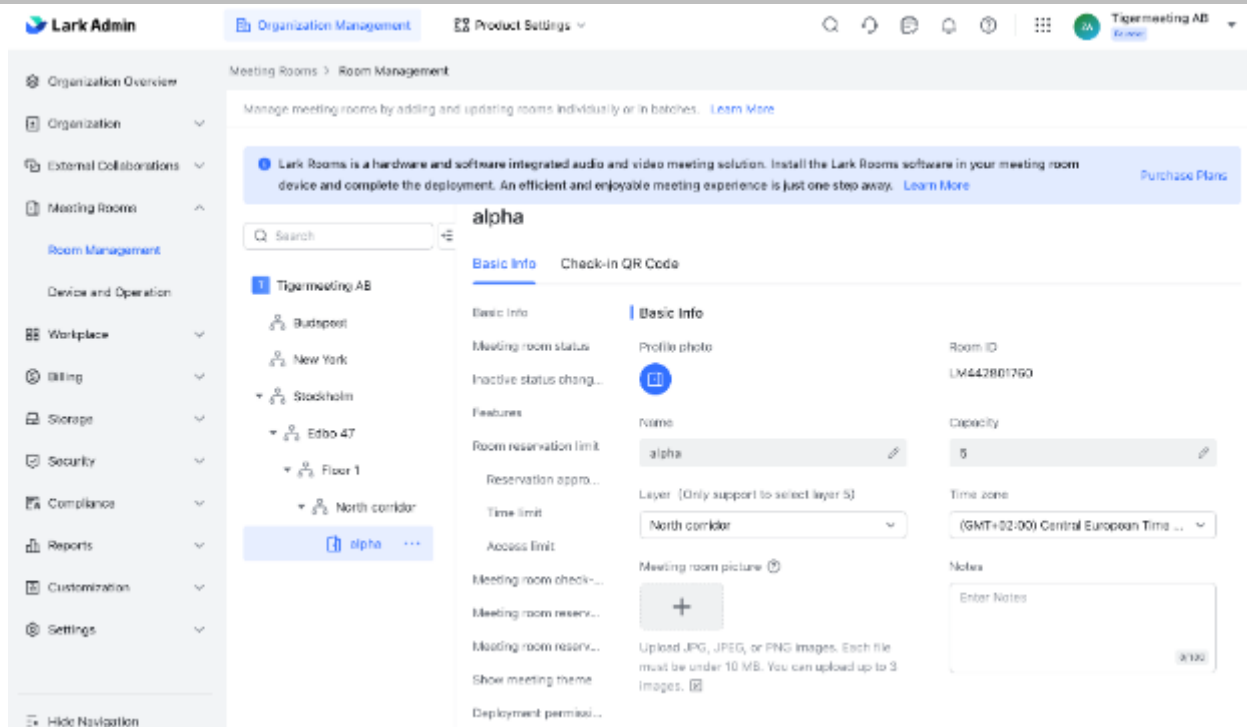
+ Add feature

☒ TV ☐ Meeting devices ☒ Scheduling display ☐ Phone

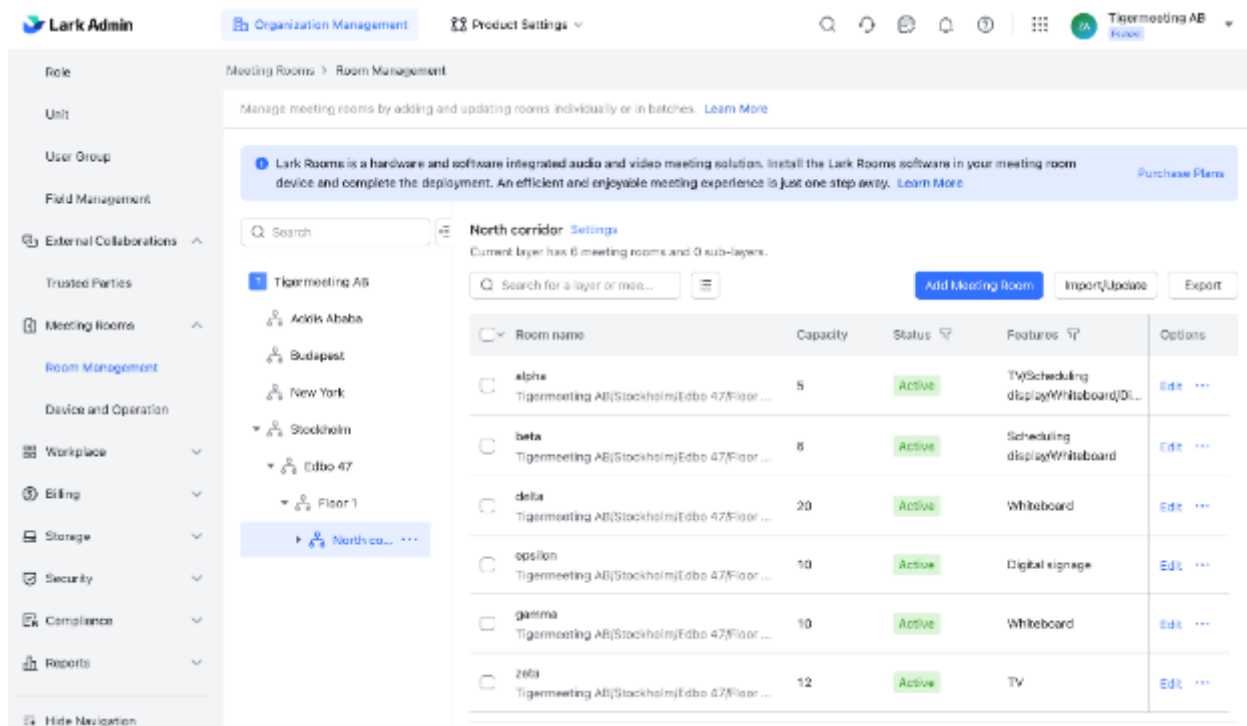
☒ Whiteboard ☒ Digital signage ☐ Projector

Cancel Add

適切に追加された部屋は、与えられたオプションとパラメータとともにリストに表示されます。



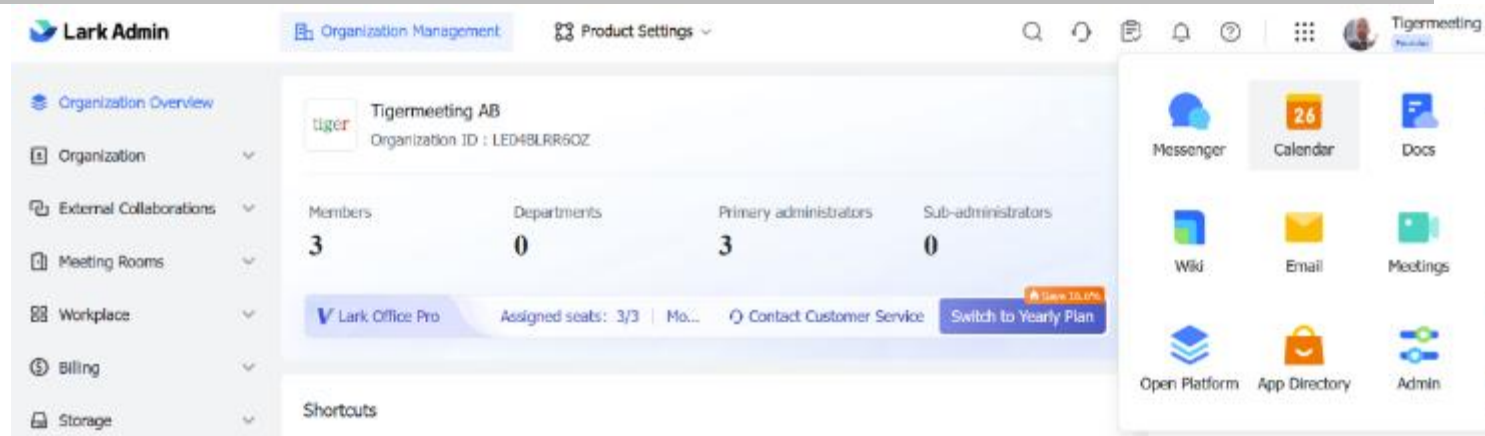
部屋構成の例



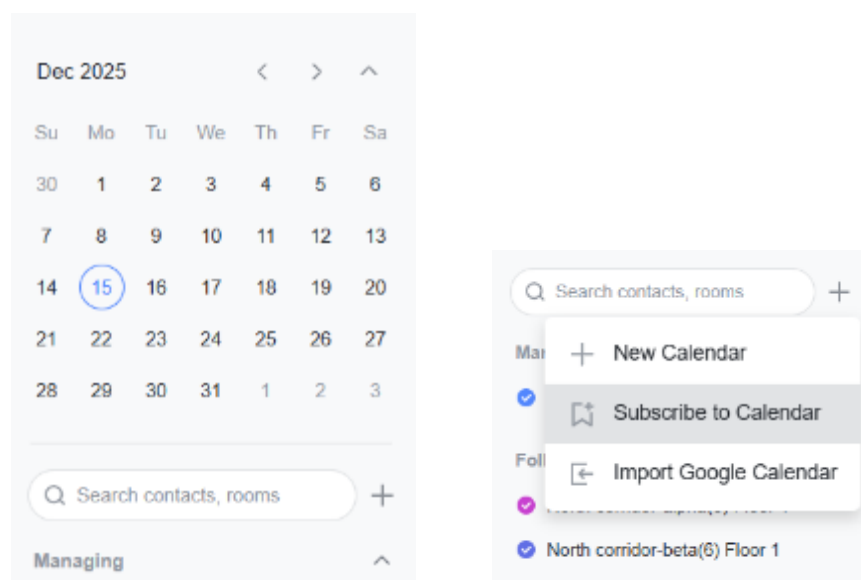
管理者ユーザーをルームリソースに購読してください

Lark/Feishu カレンダーを Tigermeeting スイートにアタッチし認証を行う管理者ユーザーは、会議室のサブスクリプションに登録して、ルームリソース管理に必要な権限を得る必要があります。

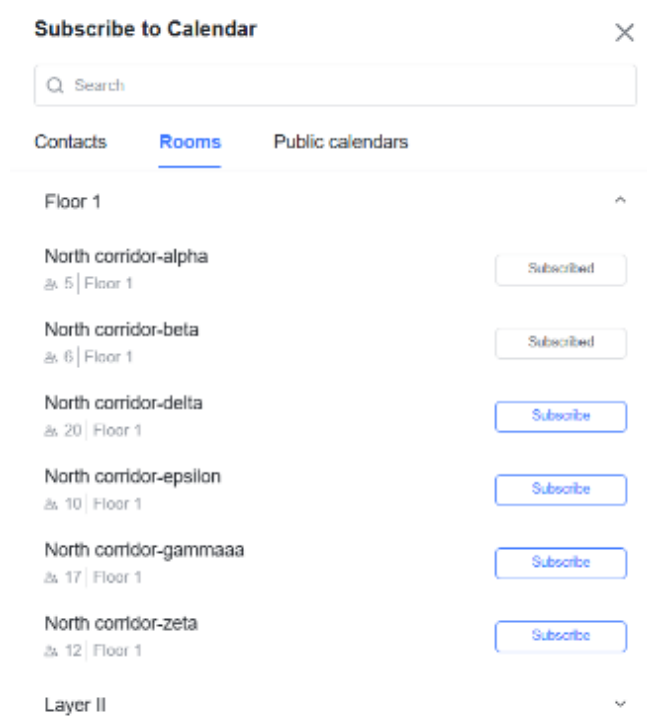
Lark の管理者を管理者としてログインし、「カレンダー」へ移動してください。



左側(連絡先、部屋の検索)で「+」ボタンを押して「カレンダーに購読」をしてください。

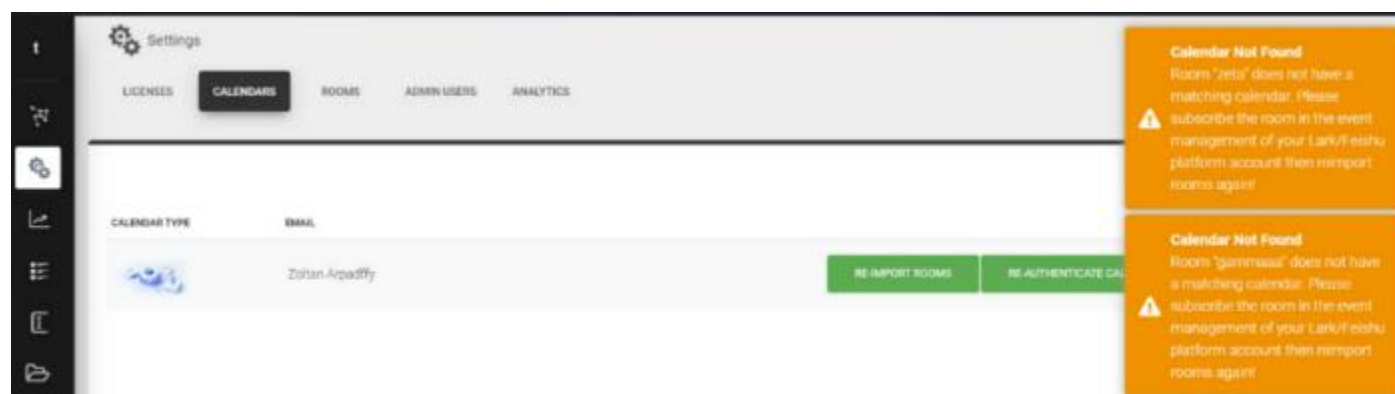


…そして、Tigermeeting room 管理で使用するすべてのカレンダーへの「購読」機能。



なお、Tigermeeting は管理者ユーザーがサブスクリプションをしている部屋のみを使用可能です。有効な

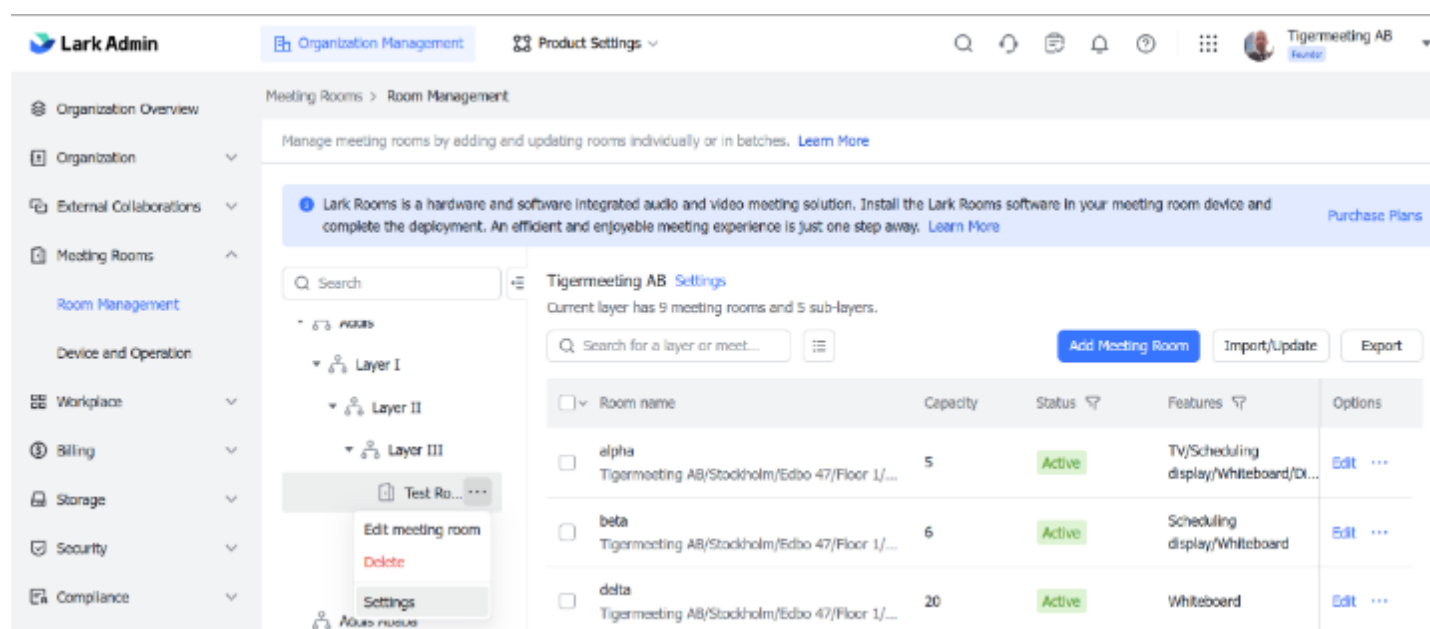
サブスクリプションがない場合、管理者アプリは選択した場合、そのルームに対して警告を表示します。



管理者ユーザー権限およびルーム管理者権限

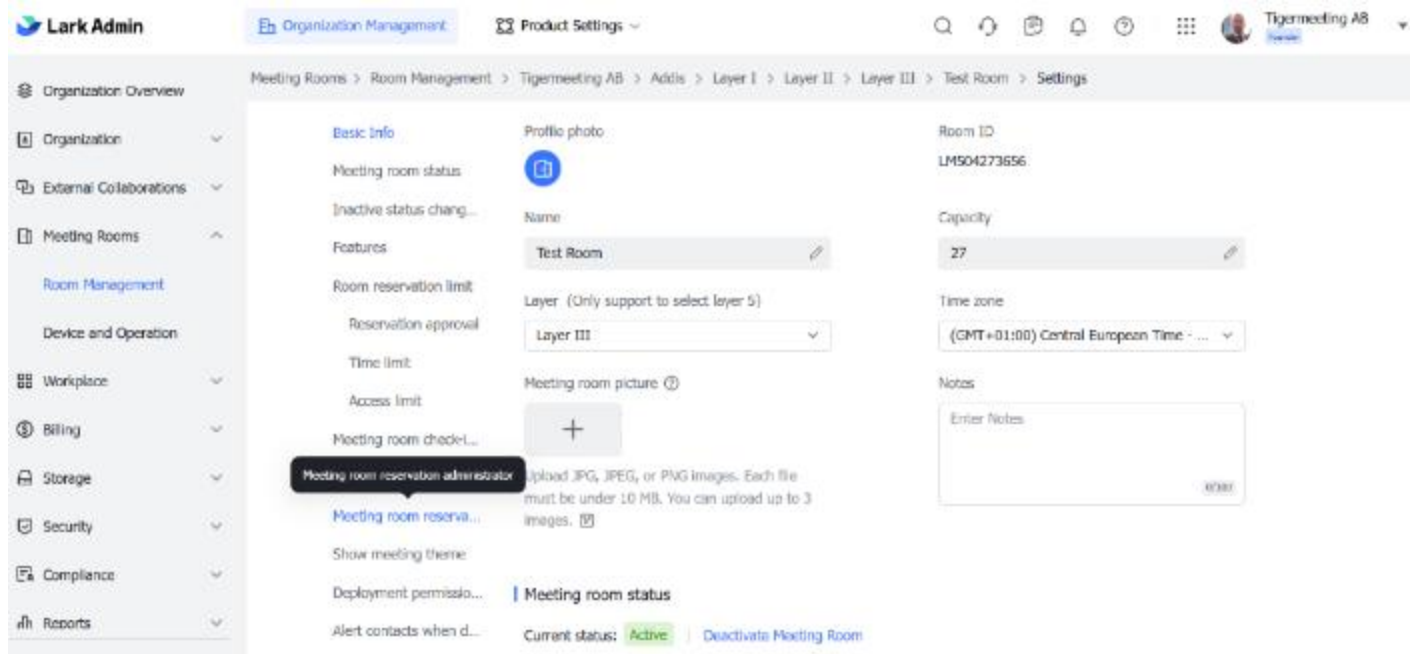
Lark/Feishu は非常に厳しい部屋権限を持っています。管理者ユーザーが他の企業ユーザーが予約した会議を作成、短縮、延長、削除するためには、ルーム管理者権限が必要です。

Lark/Feishu 管理コンソールで会議室 -> ルーム管理に移動し、各部屋の設定を開きます

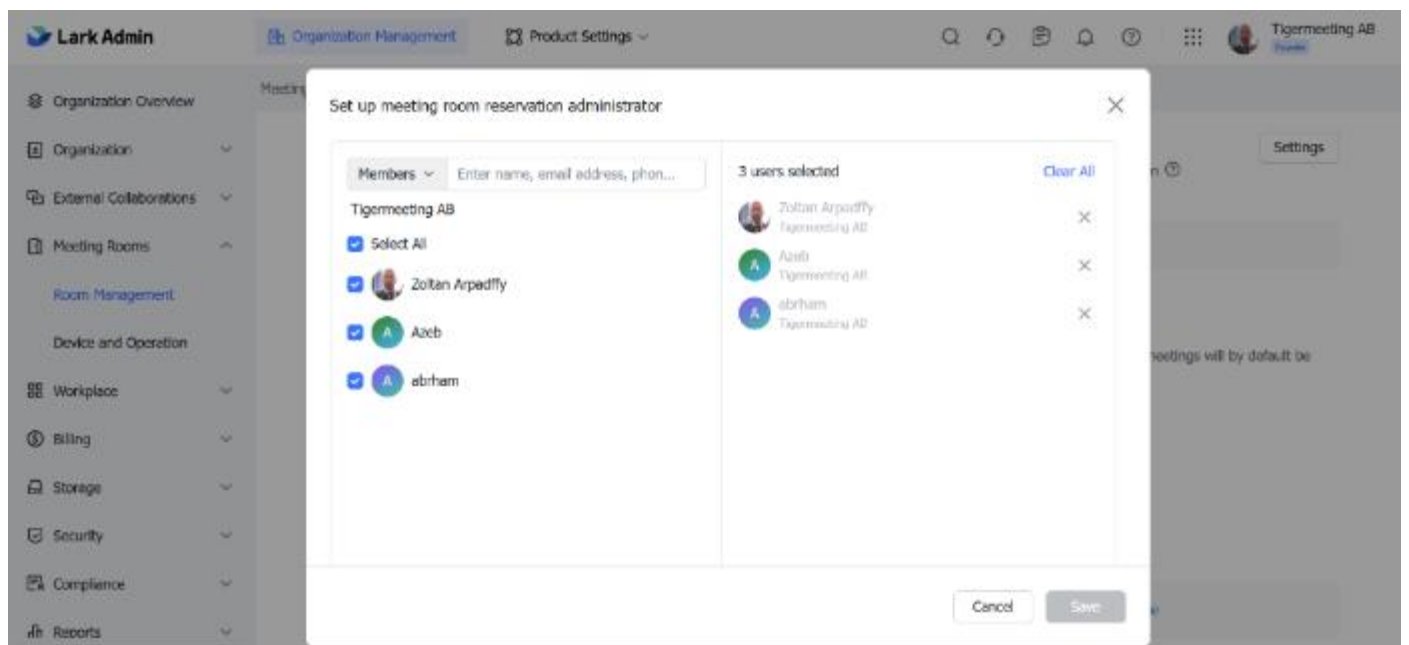


複数の会議室を設定するレイヤーを選択します

ページ左側のリストで、右側の部屋レイヤーをクリックして詳細を開き、レイヤー名の右側にある設定をクリックしてください。



基本情報の中から「会議室予約管理者」を選択し、「設定」をクリックします。
すべての部屋に管理者ユーザーを追加してください。



詳細な説明については、公式のラーク/フェイス書文書を参照してください

<https://www.larksuite.com/hc/en-US/articles/360048488450-admin-assign-room-reservation-administrators-and-manage-rooms>

タイガーミーティング ラーク/フェイスアプリ

Tigermeeting は、それぞれ Lark Suite と Feishu によって認証された 2 つのグローバルアプリケーションを使用しています。

非常に似た方法で、管理者ユーザーに Tigermeeting アプリの権限を受け入れるよう求められ、

Tigermeeting デバイスと Lark/Feihu カレンダー間の会議室関連の予約通信を橋渡しし、有効化します。

要求されるスコープおよび権限の一覧は以下の通りです:

「contact:contact.base:readonly」

「連絡先:連絡先」

「カレンダー:部屋:閲覧のみ」

「カレンダー:カレンダー」

「カレンダー:カレンダー:読み取り専用」

「カレンダー:カレンダー:更新」

「カレンダー:カレンダー:作成」

「カレンダー:カレンダー:既読」

「VC:room」

「vc:room:readonly」

「カレンダー:カレンダー.イベント:作成」

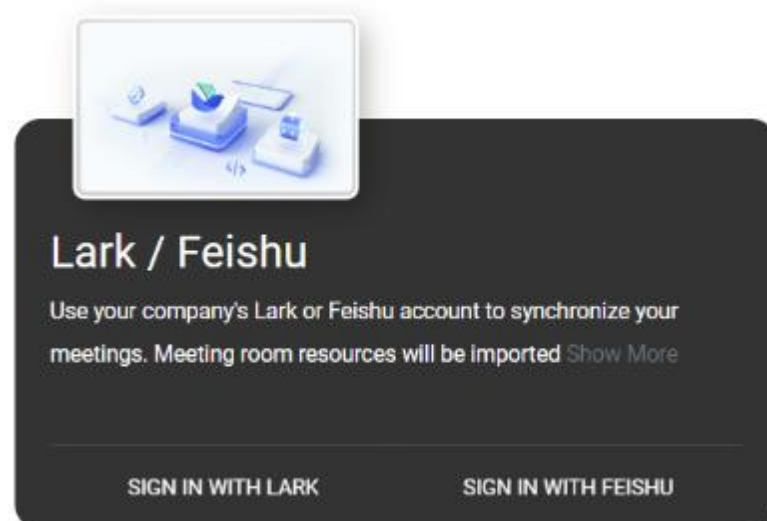
「カレンダー:カレンダー.イベント:削除」

「カレンダー:カレンダー.イベント:読まれた」

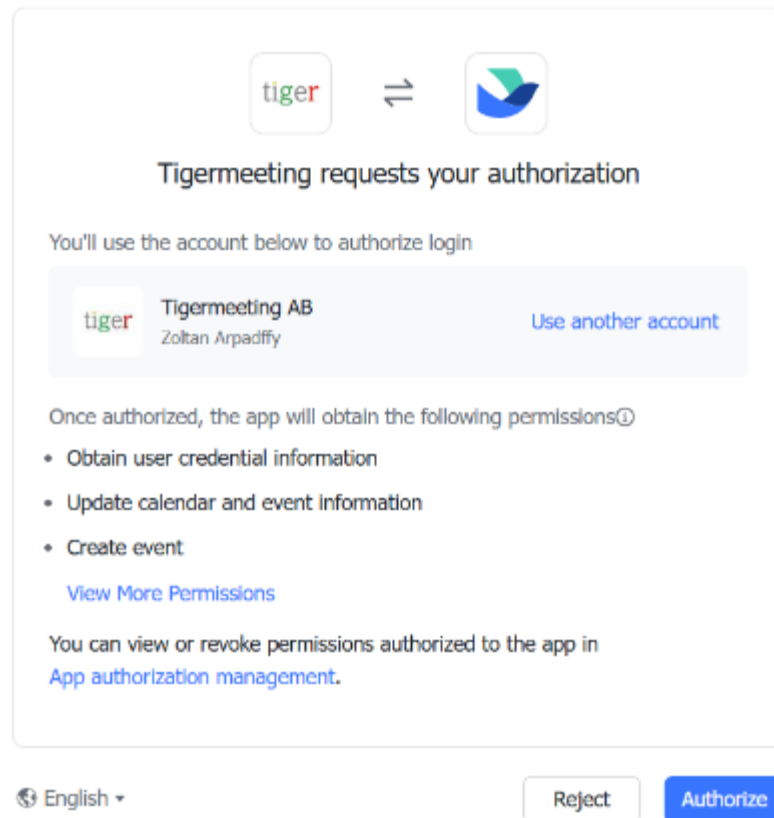
「カレンダー:カレンダー.イベント:更新」

管理者アプリでカレンダーを添付する方法

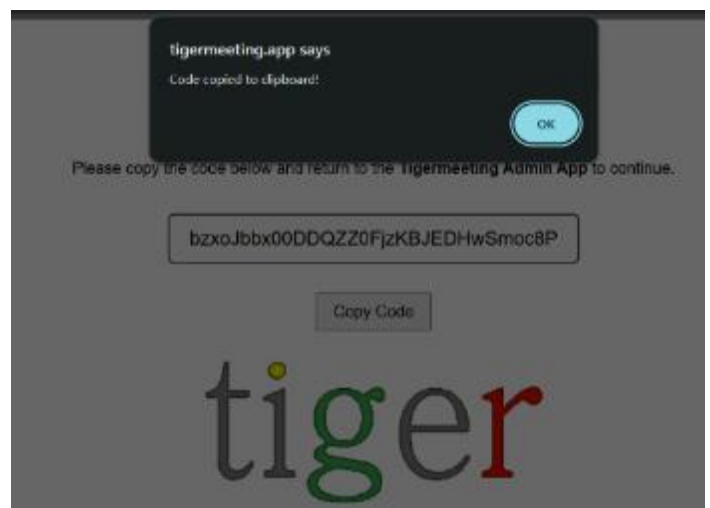
Lark と Feishu はまったく同じカレンダーですが、データのセキュリティと地域の違いが異なります。管理者のユーザー認証が使用するサーバーエンドポイントやカレンダーを決定します。



Lark または Feihu のサインインオプションを選択すると、管理者が Tigermeeting アプリの承認を提示されます



認証が成功すると、クリップボードにコピーされるトークンが提供されます。



認可トークンは管理者アプリに貼り付ける必要があります。



認証が成功すると、ラーク・フェイスの暦が添付されます。

会議室リソースの構造は非常に複雑ですが、Lark-Feishu は Microsoft365、Exchange Server、Exchange Online のような RoomList の原則をサポートしていません。Tigermeeting 管理アプリは、Tigermeeting インストールインスタンスで管理するルームリソースを選択するための高度なインターフェースを提供します。

原則は Microsoft365、Exchange Server、Exchange Online RoomLists と同じで、ローカルネットワークのインフラに関連する部屋を選んでください。



Select rooms to import

☐ Select All

☐ Tigermeeting AB > Stockholm > Edbo 47 > Floor 1 > North corridor

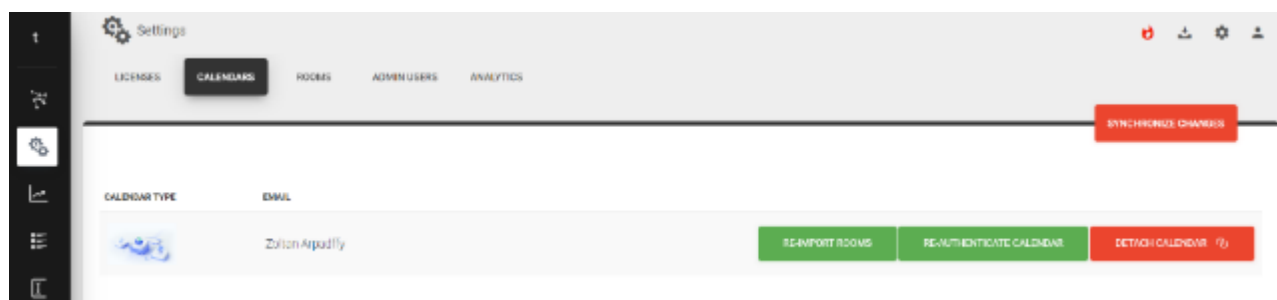
☐ alpha Capacity: 5	☐ beta Capacity: 6	☐ delta Capacity: 20
☐ epsilon Capacity: 10	☐ gammaaa Capacity: 17	☐ zeta Capacity: 12

☐ Tigermeeting AB > Addis > Layer I > Layer II > Layer III

☐ abraham office (unique) Capacity: 1	☐ Test Room Capacity: 27	☐ Test Room 2 Capacity: 33
--	---	---

部屋選択が完了したら、「選択した部屋をインポート」を押すと、カレンダーがタイガーミーティングスイ

ートに紐付けられます。



部屋の選択は「RE-IMPORT ROOMS」で変更可能です。

承認トークンが期限切れの場合は再認証が必要になる場合がありますのでご注意ください。

Odoo ERP カレンダーの設定

Odoo は、ネイティブのカレンダー機能とスケジューリング機能を備えた包括的なオープンソースのエンタープライズリソースプランニング(ERP)スイートです。

Tigermeeting は Odoo のネイティブ JSON-RPC 外部 API を用いて、Odoo コミュニティ版と Odoo Enterprise 版の両方と直接統合します。この双方向直接接続により、サードパーティの CalDAV プラグインやミドルウェアサーバーの必要がなくなり、会議室パネルがスケジュールを読み込み、アドホック会議をネイティブに Odoo データベースに設定できるようにします。

Odoo での会議室リソースの作成

Tigermeeting は Odoo の基盤となる res.partner データベースモデルを利用してカレンダー参加者をマッピングしているため、会議室は Odoo システム内で標準的な連絡先として作成する必要があります。

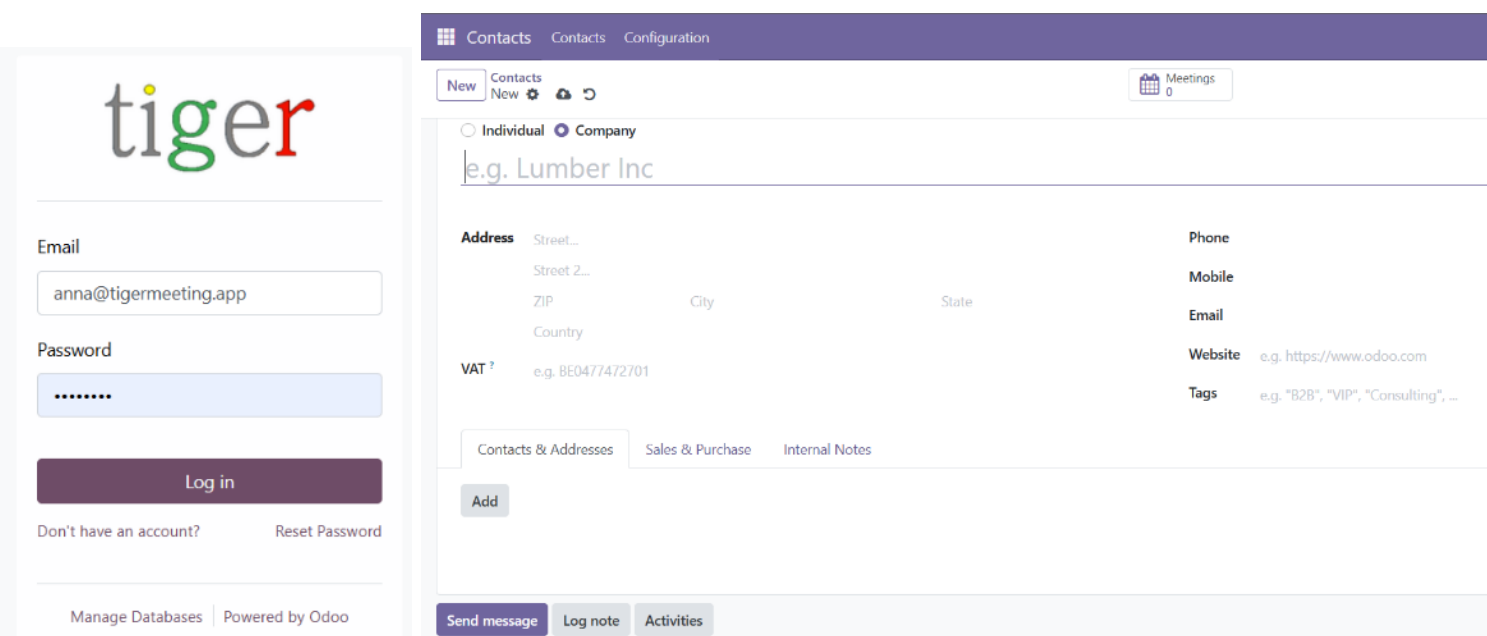
- 一. Odoo のウェブインターフェース(<http://<your-server-ip>:8069>)に管理者アカウントでログインしてください。
- 二. メインの Odoo アプリダッシュボードから連絡先アプリに移動します。
- 三. 左上の「新設(または作成)」ボタンをクリックしてください。

部屋の詳細設定:

- 名前:部屋の表示名(例:Boardroom A)を入力してください。これはまさに Tigermeeting の画面に表示される方法です。
- 会社タイプ:個人(または会社)として残してください。API は両方を平等に扱います。
- メール:部屋ごとに固有のメールアドレス(例:boardroom-a@yourdomain.com)を用意しましょう。オプションですが、メールアドレスを割り当てることでインポート段階で正しいリソースを特定するのがずっと容易になります。

- 四. 連絡先カードの上部にある保存アイコン(クラウド/ディスクアイコン)をクリックしてください。

五. このプロセスを施設内のすべての物理的な会議室で繰り返してください。



The image shows two side-by-side screenshots. The left screenshot is the Tigermeeting login page, featuring the 'tiger' logo, an email field with 'anna@tigermeeting.app', a password field with masked characters, a 'Log in' button, and links for 'Don't have an account?' and 'Reset Password'. The right screenshot is the Odoo 'Contacts' form. It has a purple header with 'Contacts' and 'Configuration' tabs. Below the header, there's a 'New' button and a 'Meetings' counter showing '0'. The form is for a 'Company' and has a search bar with 'e.g. Lumber Inc'. It includes fields for 'Address' (Street, Street 2, ZIP, City, State, Country), 'VAT' (e.g. BE0477472701), 'Phone', 'Mobile', 'Email', 'Website' (e.g. https://www.odoo.com), and 'Tags' (e.g. 'B2B', 'VIP', 'Consulting', ...). At the bottom, there are tabs for 'Contacts & Addresses', 'Sales & Purchase', and 'Internal Notes', along with an 'Add' button and a 'Send message' button.

管理アプリケーションでの Odoo の設定

Odoo に部屋ができたなら、Tigermeeting 管理者アプリケーションを ERP データベースに連携できます。



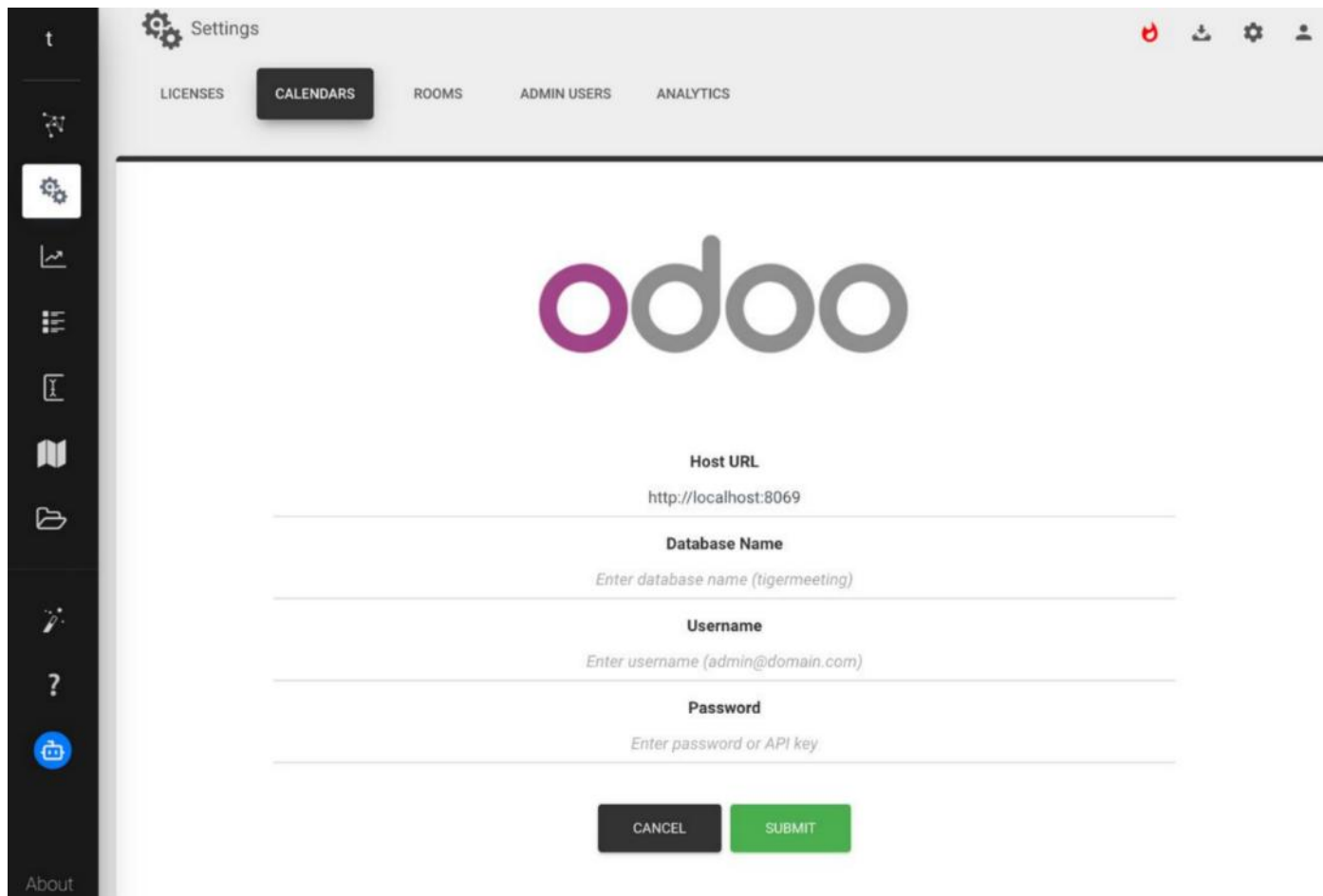
Tigermeeting 管理アプリケーションを開き、メインサイドバーからカレンダーセクションに移動します。Odoo の ERP カレンダーカードを見つけて、「Odoo の設定」をクリックしてください。

認証フォームに、Odoo サーバー環境の詳細を入力してください:

- ホスト URL: Odoo サーバーのネットワークアドレス全体で、プロトコルやポート(例: `http://192.168.10.48:8069` や `https://odoo.yourdomain.com`)が含まれます。
- データベース名: Odoo データベースの正確な内部名(例: `tigermeeting_production`)。
- ログイン ユーザー名 / メール: Odoo 管理者またはカレンダーや連絡先アプリの読み書き権限を持つ専用サービスアカウントのメールアドレスです。
- パスワード/API キー: 提供されたユーザーアカウントのパスワードまたは生成された API キーです。

「送信」をクリックして認証し、部屋を取得してください。

管理者アプリは JSON-RPC を通じて安全に認証し、データベースからすべてのアクティブな連絡先を取得します。



The screenshot shows the Odoo web interface. On the left is a dark sidebar with various icons. The top navigation bar includes 'Settings' and tabs for 'LICENSES', 'CALENDARS' (which is selected), 'ROOMS', 'ADMIN USERS', and 'ANALYTICS'. The main content area displays the Odoo logo and a form for authentication. The form fields are:

- Host URL**: Pre-filled with 'http://localhost:8069'.
- Database Name**: Placeholder text 'Enter database name (tigermeeting)'.
- Username**: Placeholder text 'Enter username (admin@domain.com)'.
- Password**: Placeholder text 'Enter password or API key'.

At the bottom of the form are two buttons: 'CANCEL' (grey) and 'SUBMIT' (green).

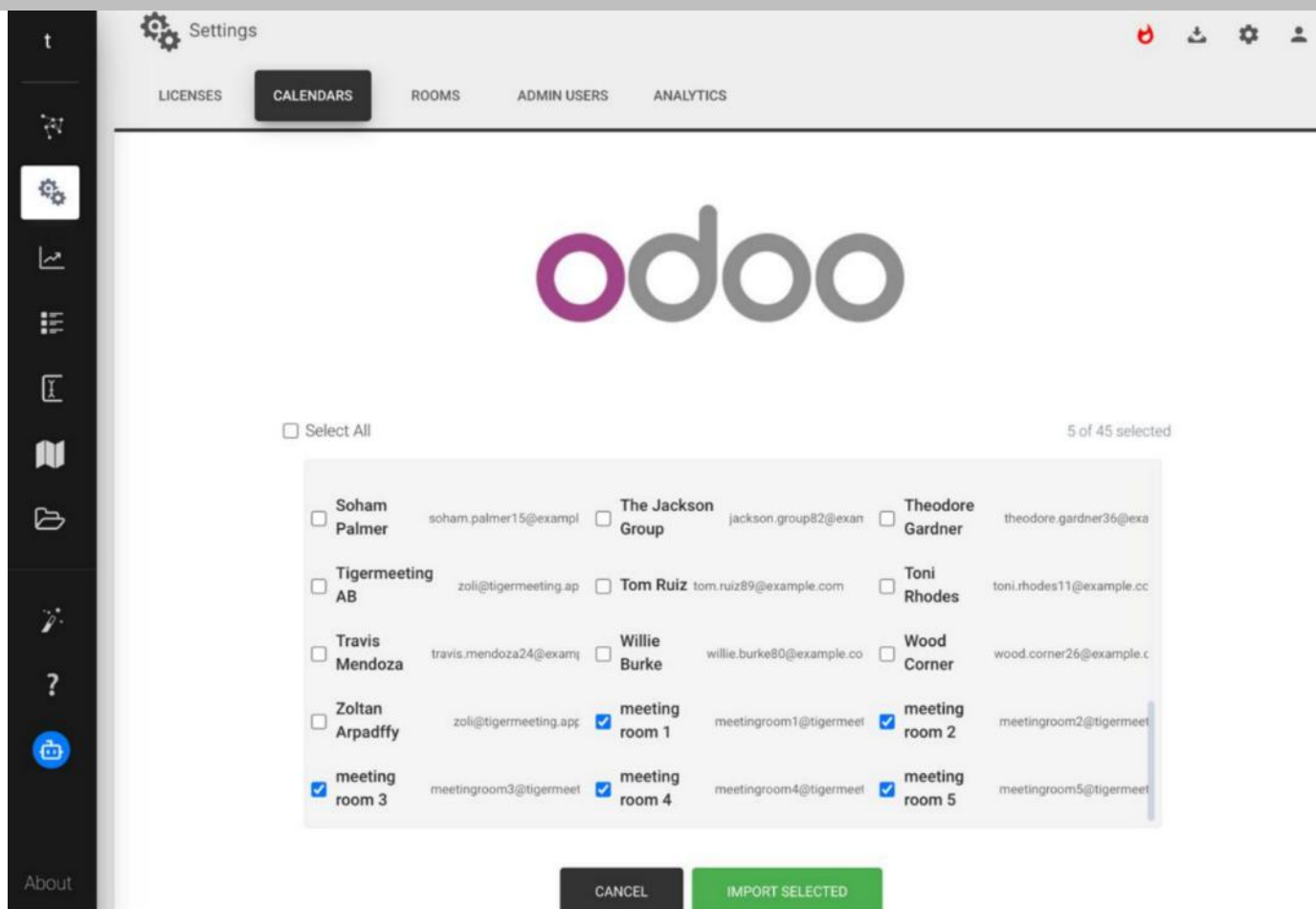
TigerMeeting へのルームインポート

認証が成功すると、インターフェースは部屋選択画面に切り替わります。

取得した Odoo 連絡先のリストを確認してください。リストには連絡先名とメールアドレス、社内の Odoo パートナーID が表示されます。

ステップ 1 で作成した特定の会議室の横のチェックボックスにチェックを入れてください。会議室専用の Odoo データベースを使っている場合は、「全取り決め」チェックボックスを使うことができます。

「インポート選択」をクリックします。



選ばれた部屋は現在同期しています。

管理者アプリの設定の「ルーム」セクションから容量を確認し、物理的な Android ディスプレイパネルに割り当てることができます。

Odoo カレンダーアプリで予約された会議で、その部屋が参加者として含まれる場合、自動的にディスプレイにプッシュされ、パネルタッチスクリーン上で直接予約されたアドホック会議は、Odoo 内で新しいカレンダーイベントを即座に生成します。

Zoho ワークスペースの設定

Zoho カレンダーを接続することで、TigerMeeting は会議室と個人カレンダーを自動的に同期させます。接続後、ルーム予約画面には Zoho から直接取得されたライブの空き状況が表示され、デバイスや管理アプリで行われた予約はリアルタイムで Zoho に書き戻されます。

Zoho は 2 種類のスケジュールを公開しており、Tigermeeting はそれぞれを自動的に処理します。

- 会議室 は Zoho Bookings で予約可能なリソースとして管理されています。Tigermeeting は Zoho Bookings API を通じて会議室の空き状況を読み書きします。
- 個人カレンダー (個人の Zoho カレンダー) は標準の Zoho カレンダーAPI を通じて読み書きされます。

どちらかを選ぶ必要はありません。カレンダーをインポートすると、Tigermeeting はどの種類かを検出し、

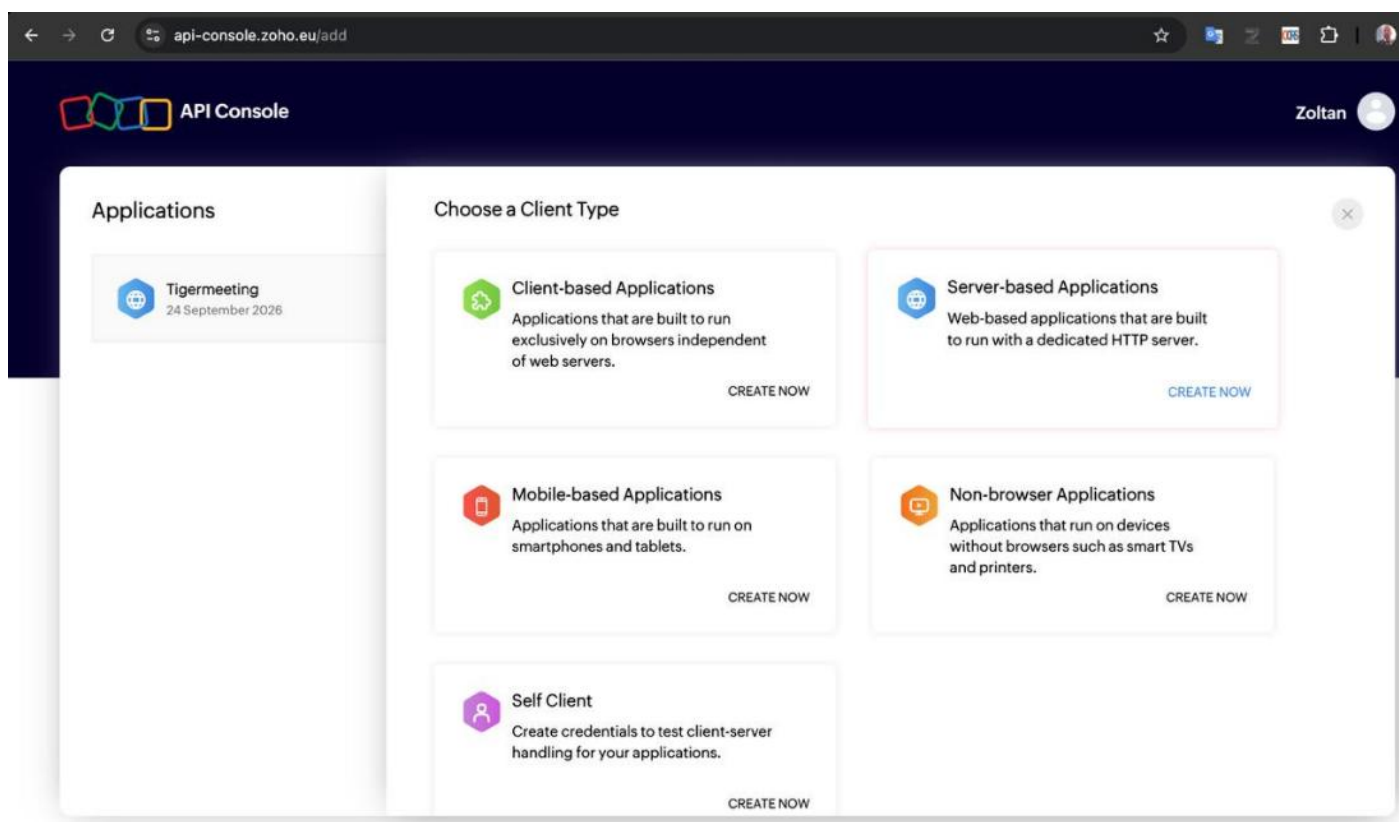
今後のすべての同期を正しくルーティングします。

始める前に、以下のことを必ず確認してください:

- **Zoho API アプリケーションアカウント**で、接続したい組織のカレンダーや会議室の管理者権限を持っています。
- **Zoho Bookings** は、インポート予定の会議室ごとに設定し、各部屋をブランチの下にリソースとして追加します。Tigermeeting はすでに Bookings リソースとして存在する部屋のみをインポートでき、Zoho 内で自動的に作成することはありません。
- **Tigermeeting 管理アプリへのアクセス** 権があり、カレンダー統合を管理する権限があります。
- **カレンダー同期を含む有効な Tigermeeting ライセンス**(Advanced 以上で利用可能)。

Create Zoho API application

- 一. ブラウザで <https://api-console.zoho.eu> にアクセスしてください(Zoho データセンターのドメインを使用)
- 二. Tigermeeting のようなサーバーベースのアプリケーションを一つ作りましょう



クライアントの詳細を設定する:

クライアント名:Tigermeeting

ホームページ URL:<https://tigermeeting.app>

認可リダイレクト URI: <https://tigermeeting.app/site/calendar/success-zoho.php>



Tigermeeting
24 September 2026

Client Details
Client Secret
Settings

Client Name
Tigermeeting

Homepage URL
https://tigermeeting.app

Authorized Redirect URIs
https://tigermeeting.app/site/calendar/success-...

UPDATE



Tigermeeting
24 September 2026

Client Details
Client Secret
Settings

Client ID
1000.ZR9MT4S1 [REDACTED] Y3W57...

Client Secret
4c1e52115c [REDACTED] 6235ba...

クライアント ID とクライアントシークレットを取得してください。これらは管理者のユーザー認証に使用されます。

Zoho アカountの連携

- 一. Tigermeeting 管理アプリで、カレンダー>設定に行ってください
- 二. クリックして **Zoho Workplace** を選択してください
- 三. Zoho データセンターの地域(例:.com、.eu、.in)を選択してください。これは Zoho 組織がホストされている地域と一致しなければ接続ができません。
- 四. クライアント ID とクライアントシークレットを入力してください



Workplace

Zoho Client ID
Enter Zoho Client ID

Data Center Region
Europe (.eu)

Zoho Client Secret
Enter Zoho Client Secret

CANCEL
AUTHENTICATE

- 五. 認証をクリックして Zoho サインインウィンドウを開きます。
- 六. Zoho 組織の管理者アカウントでサインインし、Tigermeeting が要求している権限を確認してから「**Accept**」をクリックします。



Tigermeeting

Tigermeeting would like to access the following information.



Calendar

- Get, Add, Create or Delete calendar details
- Get, Add, Update or Delete events
- To get, add, update or delete resource details
- To get branch details
- To get, add, update or delete bookings details



Accounts

- Read your basic profile informations

☒ I allow Tigermeeting to access the above data from my Zoho account.

Accept

Reject

© 2026, Zoho Corporation Pvt. Ltd. All Rights Reserved.

七. リダイレクト URL から認証コードをキャプチャします

Authorization Successful



Workplace

Your request has been completed successfully.

Please, copy the code below and return to the **Admin Application** to continue.

1000.7c2329cee752611624f0f3d59c8b81e9.cfbc705ef09d6707c27f0e21d0001065

Region : eu

Copy Code



八. …そして管理アプリに貼り付けます



Workplace

Action Required in Browser

Your default web browser has opened. Please log in to Zoho and click "Accept".

After accepting, your browser will redirect to a Zoho authentication success page. Copy the code from your browser and paste it below.

Paste Code

1000.7c2329cee752611624f0f3d59c8b81e9.cfbc705ef09d6707c27f0e21d0001065

PASTE

CANCEL

VERIFY

九. 認証をクリックすると、認証が成功すればルームリソースがインポートのために読み込まれます

十. Tigermeeting にリダイレクトされ、統合は「接続済み」と表示されます。

- 一. もし再接続が必要になった場合、例えば Zoho のパスワードを変更したりアクセスを取り消したりした後など、これらの手順を繰り返してください。再接続すると、すでにインポートした部屋やカレンダーに影響を与えずに Tigermeeting のアクセスが更新されます。

カレンダーと会議室のインポート

Zoho アカウントが接続されたら:

一. TigerMeeting は、あなたの Zoho 組織で利用可能なすべての情報を以下のようにまとめています:

- 一. 会議室 — 支店ごとに整理された Zoho Bookings のリソース。
- 二. 個人カレンダー — 個々のユーザーの Zoho カレンダー。

二. TigerMeeting に取り入りたい部屋やカレンダーを選択し、「選択をインポート」をクリックします。



Workplace

Select rooms to import

☐ Select All 0 of 6 selected

☐ **Stockholm > Edbo**

☐ **1st floor**

☐ **meet 2** Capacity: 4

☐ **meet 3** Capacity: 3

☐ **meet 1** Capacity: 5

☐ **2nd floor**

☐ **conf 1** Capacity: 10

☐ **conf 2** Capacity: 10

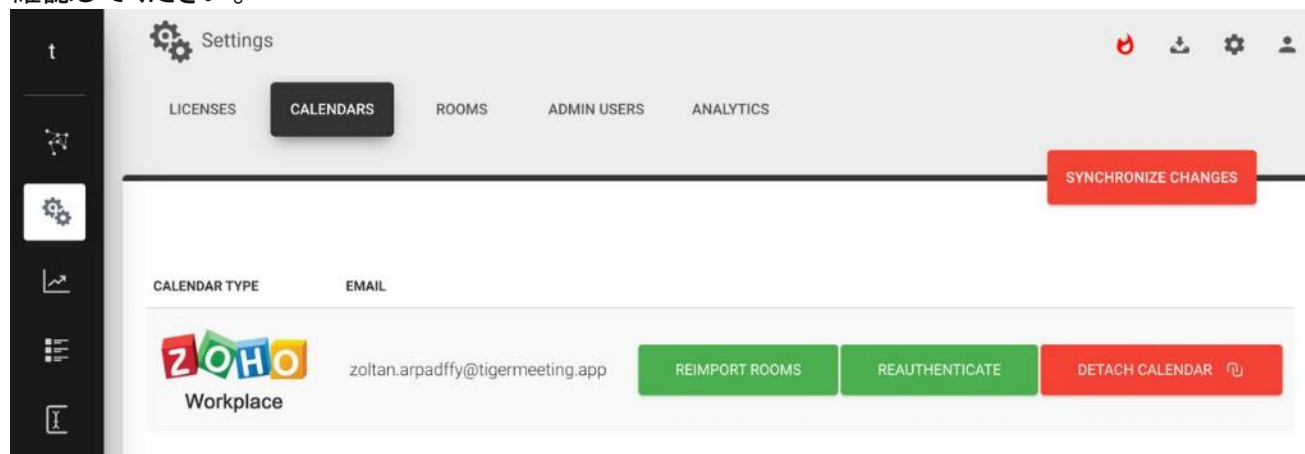
☐ **User Calendars**

☐ **Unassigned sub-location**
☐ **zoli**

CANCEL

IMPORT SELECTED

三. 入力を促されたら確認してください。これにより、別のプロバイダー (Office 365、Exchange など) で現在設定されている部屋が置き換えられます。別のカレンダーシステムからの移行をする前に、選択を必ず確認してください。



四. インポート後、各部屋やカレンダーは Zoho ソースが表示され、すぐに Tigermeeting デバイスに割り当てることができます。

日々の同期の仕組み

- デバイスや管理アプリで行われた予約は即座に Zoho に送信され、数秒以内に部屋の Zoho カレンダーに表示されます。
- Zoho で直接 (またはその Zoho カレンダーにアクセスできる誰でも) 予約は、Tigermeeting デバイスが次回投票した際に、部屋の同期間隔に基づいて表示されます。
- キャンセルは 両方向で同じ仕組みで、デバイス内または Zoho でキャンセルし、次の同期時に更新します。
- Zoho で作成された繰り返しの会議はデバイス上で個別のイベントとして表示されます。各イベントはチェックイン、延長、キャンセルを独立して行ってもシリーズ全体に影響を与えません。

もし予約がないことが分かっているのに一時的に「予約なし」と表示された場合は、次の同期サイクルを待ってから何か問題があると考えてください。ネットワーク状況や Zoho のレート制限による 1 回のミスポールは自動的に解決し、あなたの対応は不要です。

ヤンデックス 360 カレンダー

Tigermeeting は、Yandex 360 の会議室をルームパネルに表示し、組織独自の Yandex カレンダーを使って予約を受け付けることができます。

Yandex 360 で部屋を作成・管理します。TigerMeeting はそれらをオフィス、フロア、収容人数と一緒にインポートし、各部屋パネルに空いているか混雑しているかを示します。パネルでの予約は部屋を添付したまま Yandex カレンダーに書き込まれます。

Yandex を管理者アプリで一度だけ自分の Yandex OAuth アプリケーションに接続します。パネルは誰もサインインしなくても動作します。

パネルが示す内容。 自由時間と忙しい時間のみ。会議のタイトルや主催者は表示されません。忙しい時間帯は「混雑中」として表示されます(制限参照)。

要件

Yandex 360 for Business の組織には、専用ドメイン、すでに作成された会議室、そして接続できる適切な従業員アカウントが必要です。

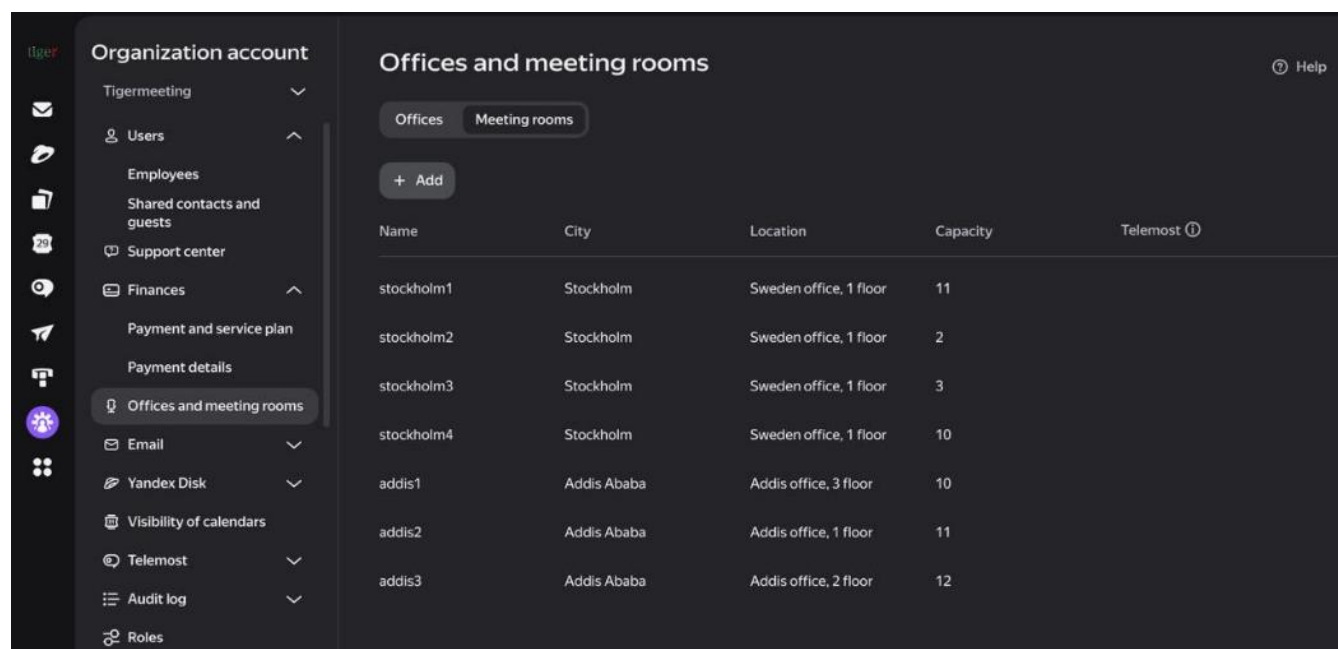
要件	詳細
ビジネス組織のための Yandex 360	例えば、従業員はあなたのドメイン、例えば name@company.com のドメインに住所を持っています。
認証済み企業ドメイン	会社のドメインは正しく認証プロセスを通過する必要があります。
Yandex 360 の会議室	Yandex 360 管理のオフィスおよび会議室の項目で作成。Yandex は最適プランとアドバンスプランの中に「カレンダー内の会議室予約」をリストアップしています。Yandex でプランの現在の機能を確認してください。
接続アカウント	組織のドメインにメールボックスを持つ管理者。所有者の個人 Yandex ID(@yandex アドレス) は使用できません。Yandex はその ID からの部屋予約を拒否します。
Yandex OAuth アプリケーション	ステップ 2 に記載された権限で oauth.yandex.ru に登録しています。クライアント ID とクライアントシークレットが必要です。
管理者コンピュータのブラウザ	一度、ヤンデックスにサインインするために使

要件	詳細
	われました。
ネットワークアクセス、管理用コンピュータ	oauth.yandex.ru、login.yandex.ru、api360.yandex.net、cloud-api.yandex.net は HTTPS(ポート 443)で対応しています。
ネットワークアクセス、ルームパネル	caldav.yandex.ru HTTPS(ポート 443)経由で接続します。
タイガーミーティング	管理者アプリと、少なくとも 1 つのルームパネルがすでにネットワークとペアリングされています。設定はデバイスが存在するまで保存されません。

Yandex 360 を準備してください

まず Yandex 360 でオフィスと部屋を作成し、どのアカウントを接続するか決めます。Tigermeeting は既存のアカウントのみを読み取ります。

- 一. admin.yandex.ru で Yandex 360 の管理機能を開き、オフィスや会議室に行ってください。
- 二. オフィスタブで、各オフィスの名前と都市名を追加してください。TigerMeeting は、都市ごとに部屋をグループ化し、次にオフィス、フロアへと順に分類します。
- 三. ミーティングルームタブで「追加」を選択し、部屋名、オフィス、フロア、容量を入力します。
Yandex は各部屋に専用の技術メールアドレス(例えば stockholm1@company.com)を付与します。TigerMeeting はそのアドレスを使って部屋を識別します。
- 四. 利用したい部屋ごとに予約を有効にしておきましょう。予約が無効な部屋はインポートリストでフラグが立てられます。
- 五. 接続するアカウントを選択してください。例えば rooms@company.com 専用の従業員アカウントを推奨します。パネルでの予約は実際の人物に帰属されないようにするためです。Yandex 360 のシートが必要です。

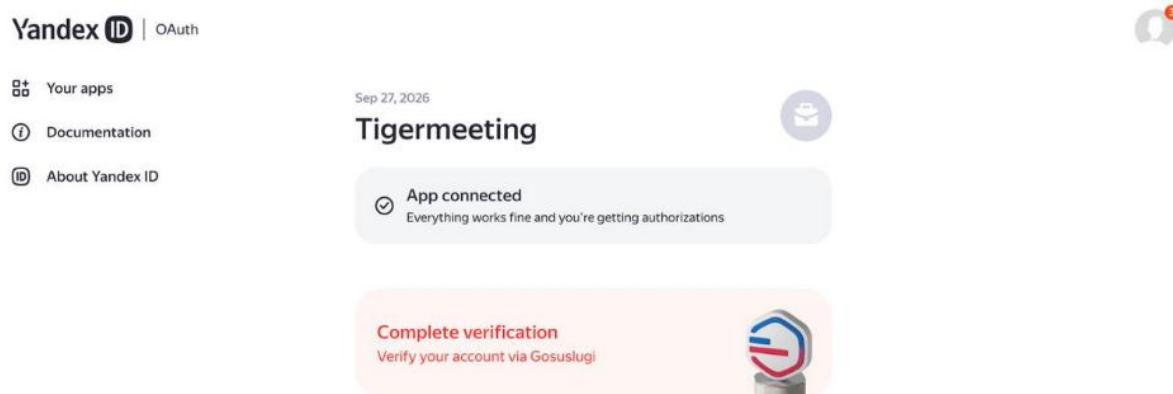


接続されたアカウントはパネルから行われるすべての予約の主催者となります。

Yandex OAuth アプリケーションを作成する

oauth.yandex.ru でアプリケーションを登録し、接続前に以下の権限を入力してください。自分のアプリケーションを持参するので、TigerMeeting が組織内で何をするかを正確にコントロールできます。

- 一. oauth.yandex.ru でサインインして新しいアプリケーションを作成します。後で認識できるように名前を付けておきましょう。例えば「Tigermeeting」などです。



- 二. Yandex がアプリケーションにトークンの受け取り方法を尋ねたら、Yandex が自身の確認ページに結果を表示するオプションを選択してください。そのページは https://oauth.yandex.ru/verification_code Yandex によって修正されており、変更できません。
- 三. データアクセスの項目に以下の権限を追加してください:
- 四. アプリケーションを保存し、クライアント ID とクライアントシークレットをコピーします。

許可を	Tigermeeting が使う用途
ディレクトリ:read_organization	自動的にあなたの組織を見つけます
ディレクトリ:read_offices	オフィス名や都市名を読み、グループルームまで
ディレクトリ:read_rooms	会議室のリストを読む
ディレクトリ:read_users	従業員情報を読む
カレンダー:カレンダーズ.read	予約が住むカレンダーを開く
カレンダー:free_busy.読書	部屋が空いているか混んでいるか(パネルに表示されているか)を読みます。
カレンダー:イベント。読めます	予約を読み返す
カレンダー:イベント.write。	パネルからの予約の作成およびキャンセル
カレンダー:read_all	カレンダー内のデータを読み取る
カレンダー:write_all	カレンダーにデータを書き込む
カレンダー:カレンダーズ.read	カレンダーとその設定のリストを読む

許可を	Tigermeeting が使う用途
カレンダー:カレンダー。書きましょう	カレンダーの作成、編集、削除、アクセス管理
calendar:resources.read	カレンダーで組織の利用可能なオフィスや会議室を読む
カレンダー:全て	カレンダーややることリストの内容を読んで変更しましょう
ya360_security:service_applications_write	サービスアプリの一覧管理
パスポート:ビジネス	Yandex ID 組織との協働

Requested permissions

Yandex.Calendar

- Reading any data in Calendar
- Writing any data in Calendar
- Reading events in Calendar
- Creating, editing, and deleting events in Calendar
- Reading the list of calendars and their settings
- Creating, editing, deleting calendars and managing their access
- Reading user and meeting room availability in Calendar
- Reading available offices and meeting rooms of the organization in Calendar
- Read and change the contents of calendars and to-do lists

Yandex 360 Directory API

- Read employee information
- Read offices
- Read meeting rooms
- Read information about users in organization

Yandex 360 Security API

- Managing the list of service apps

Yandex ID

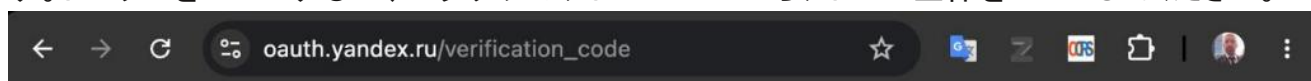
- Working with Yandex ID organizations

接続前に権限を追加してください。トークンは発行時にアプリケーションが持っていた権限のみを持ちます。後で権限を追加した場合は、再度接続して新しいトークンを取得します。

管理者アプリで接続

接続はブラウザでのサインイン 1 回と、管理者アプリにコピー＆ペーストするだけです。

- 一. 管理者アプリで設定を開き、次に**カレンダーを選んで** Yandex 360 カードをクリックします。
- 二. 以下の 3 つの項目を入力してください:
 - **ヤンデックスクライアント ID**
 - **あなたの Yandex メール:** サインインするアカウントの正確なアドレスです。パネルから行われるすべての予約のオーガナイザーになるので、ここでのタイプミスが予約を破ります。
 - **ヤンデックスクライアントの秘密**
- 三. 認証をクリックします。このボタンは 3 つのフィールドすべてが入力され、メールが有効に見えるまで無効のままです。デフォルトのブラウザが Yandex のサインインページを開きます。
- 四. 入力したメールアドレスと同じアカウントでサインインしてください。ブラウザがすでに別の Yandex アカウントにサインインしている場合は、プライベートウィンドウを使うか、先にサインアウトしてください。間違ったアカウントに発行されたトークンは正しいカレンダーに届きません。
- 五. Yandex がリストアップしている権限を確認してから確認してください。
- 六. Yandex は `oauth.yandex.ru/verification_code` にアクセストークン付きの確認ページを表示します。トークンをコピーするか、ブラウザのアドレスバーからアドレス全体をコピーしてください。



y0__wgBEMKY5 [redacted] n0Y6o--5sjAbGtaFi_ZtX8iG

- 七. 管理者アプリに戻って、ブラウザの「必要なアクション」画面で「貼り付け」(またはフィールドに貼り付け)をクリックし、「**VERIFY**」を選びます。
- 八. 管理者アプリは自動的に組織を検索します。Yandex の検索で返答しなければ、代わりに組織 ID を求められます。Yandex 360 の管理者の一般設定から「**会社プロフィール**」で見つけます。
- 九. 入力して「**続け**」をクリックします。後で記憶します。

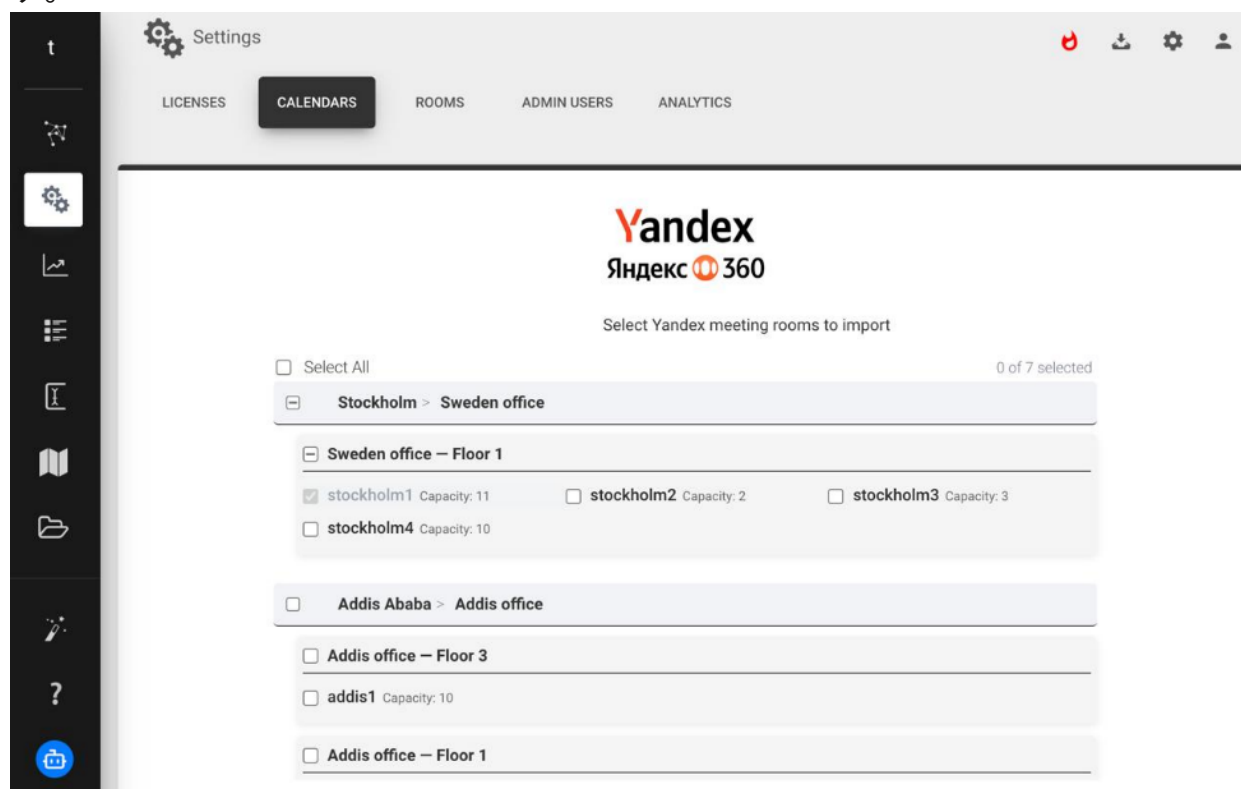
アクセストークンはそのアカウントのカレンダーのパスワードのように機能します。チャットやチケットに共有したり貼り付けたりしないでください。

ルームのインポートと同期

パネルは部屋をインポートしてネットワークを同期させるまで Yandex を読み取れません。

- 一. 部屋リストは都市、オフィス、フロアごとにグループ化されています。シングルルーム、フロア全体またはオフィス、または「**すべて選択**」にチェックを入れます。パネルに既に割り当てられた部屋はロックされ、選択されたままです。

- 二. 「選択済みインポート」をクリックします。追加された部屋の数を確認するメッセージが表示されます。各部屋の名前と収容人数は Yandex から取られており、階は「Office – Floor N」として作成されます。



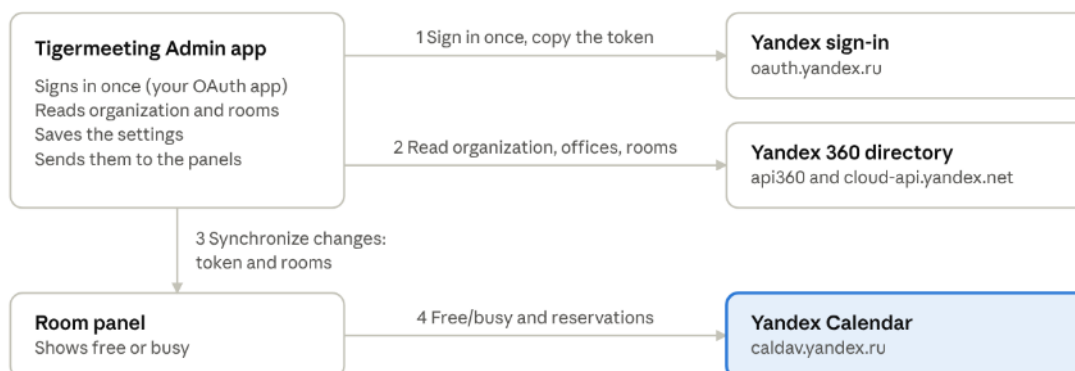
- 三. 設定ページの上部で「変更の同期」をクリックしてください。これにより接続情報と部屋がパネルに送信されます。
- 四. 他のカレンダータイプと同様に、各パネルを部屋に割り当ててください。

同期後、パネルは次の更新時にその部屋の空いている状態または話し中の状態を表示します。

仕組み

あなたは一度ヤンデックスにサインインします。その後、パネルはあなたが取得したトークンを使って自分たちでヤンデックスカレンダーを読み書きします。

Sign-in happens once; the panels then talk to Yandex Calendar directly



サインイン時に管理者アプリが Yandex から組織、オフィス、部屋を読み取り、同期時にトークンと部屋をパネルに送信します。各パネルは Yandex カレンダーに自分の部屋が混んでいるかどうかを尋ね、接続されたアカウントとして予約を作成またはキャンセルします。

サインインは Yandex のトークンフローを使い、確認ページにトークンを表示するため、手作業でコピーします。クライアントシークレットは接続と共に保存されますが、サインイン時に Yandex に送信されることはありません。

予約とは、接続されたアカウントのカレンダーに入ったイベントで、その部屋が参加者として追加されたことです。Yandex はイベントが保存された後にその部屋が付与されるかどうかを判断します。例えば、誰かが少し前にスロットを取った場合、そのイベントはその部屋なしで存在します。

制限と機能の現状

パネルのルームインポートや空き・混雑は今日は動作しています。Yandex の会議タイトル、主案、ルームリストの更新はできません。

特徴	現状	注記
市室、オフィス室、階数、収容人数を含む輸入室	利用可能	インポートリストでは都市、オフィス、階ごとにグループ化しています。
部屋パネルの空き状態または混雑状態	利用可能	パネルの次の更新時の更新はすぐにではない。
パネルでの予約	利用可能	ヤンデックスはセーブ後に部屋を確認します。スロットが同じ瞬間に使われていれば、その部屋がなくてもイベントは存在します。
会議の名称とパネルの主催者	利用できません	パネルには「忙しい」と表示されています。Yandex は部屋の混雑時間のみを報告します。タイトルやオーガナイザーは各従業員のカレンダーにアクセスする必要があり、これはサポートされていません。
再インポートルーム	利用可能	Yandex の「ルーム再インポート」ボタンを使ってください
部屋を失わずに接続を更新する方法	まだ利用できません	詳細はメンテナンスを参照してください。

計画すべきこと:

- 部屋は Yandex 360 でのみ管理されます。そこで作成、名前変更、削除してください。
Tigermeeting は Yandex の部屋を編集できません。
- 1 つの接続されたアカウントです。パネルからの予約はすべてそのパネルによって整理され、各パネルはトークンを使用します。
- ネットワークごとにカレンダータイプは 1 つだけです。Yandex は同じネットワーク内の他のカレンダープロバイダーと並行して動作できません。
- トークンの有効期限は約 1 年で、自動的に更新されることはありません。

- パネルは定期的に Yandex をチェックします。Yandex は通知を送らないため、Yandex の変更は次のチェックで表示されます。
- 組織検索は、Yandex が非推奨とマークした Yandex サービスに依存します。応答が止まった場合、管理者アプリは代わりに組織 ID を求め、それを記憶します。
- 要件に記載された Yandex アドレスへのネットワークアクセスが必要です。一部のネットワークでは Yandex サービスへのアクセスが制限されています。

メンテナンス

年に一度くらい再接続する計画を立て、部屋やパネル割り当てを解除するために再接続することを想定してください。

- **トークンの有効期限。** Yandex はトークンを約 1 年間発行します。期限切れやアカウントのアクセスが取り消されると、パネルは Yandex のデータの表示を停止します。接続日を書き留めて、1 か月前にリマインダーを設定しましょう。
- **再接続中。** 設定を開き、次にカレンダーを開き、「カレンダーの分離」をクリックし、認証プロセスを繰り返します。切断すると保存された認証情報が消去され、部屋がネットワークから外れ、パネルは部屋割り当てを失います。切り離す前にどのパネルがどの部屋に属しているかを確認し、再度割り当てできるようにしてください。
- **部屋は後で Yandex に追加されます。** 現在は同じ手順が適用されます。部屋 の再インポート は有効ではないためです。
- **接続されたアカウント、クライアント ID、またはクライアントシークレットを変更すること。** 新しい値で再接続します。
- **OAuth アプリケーションでの権限の追加または削除。** 再接続して、新しいトークンで変更を伝えます。
- **Yandex で名前を変更したり削除したりする部屋。** ネットワークを一步に合わせるために、再度切り離してインポートしてください。

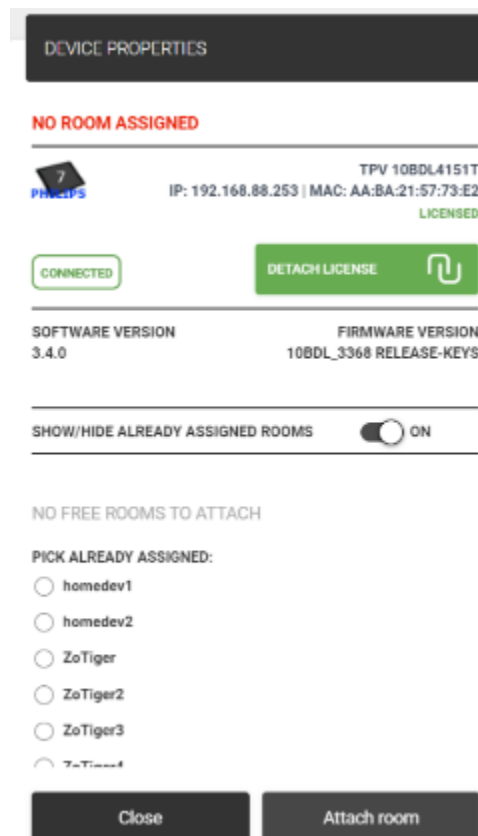
一般的な暦機能

TigerMeeting は主要なすべてのカレンダーに対応しています。カレンダーには特定の機能がある場合もありますが、Tigermeeting は常にすべてのカレンダーでできるだけ共通の機能や機能を提供するよう努めています。

複数の入口を持つ部屋

部屋に複数の入口がある場合もあります。複数のデバイスで同じ部屋の状態を表示したいのです。TigerMeeting はすべてのカレンダーでこの機能をサポートしています。

まだ部屋が接続されていないデバイスでは「割り当てられた部屋を表示」を選択してください。その後、すでに割り当てられたデバイスがある部屋を任意の部屋で選ぶことができます。これにより、必要なだけ多くのデバイスを 1 つの部屋(カレンダーリソース)に接続できるようになります



複数のデバイスを同じカレンダーリソースに割り当てると、すべてのデバイスが同じステータスや次の会議などを表示します

注記: どちらのデバイスでもキャンセルまたは未確認の会議は、企業カレンダーを含むすべてのデバイスで会議をキャンセルまたは終了します。

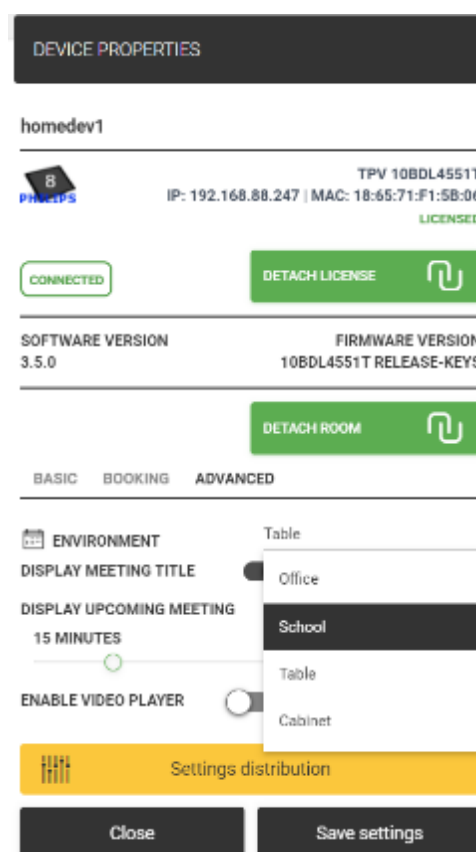
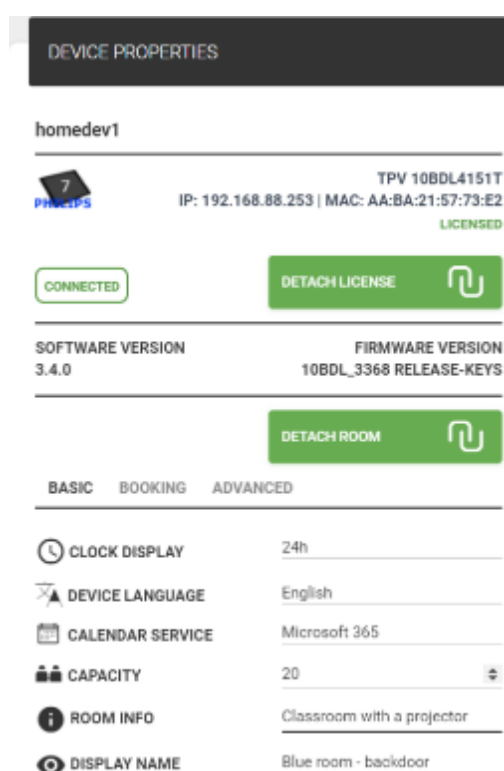
部屋の「表示名」

カレンダーリソース名は、組織の LDAP やディレクトリサービスの命名規則に従い、非常に難解で一般的な組織名を持つことがあります。

デフォルト名は部屋の別名や表示名を追加することで簡単に上書きできます。

編集可能で説明的な「部屋情報」

追加の部屋説明情報を加えることで、予約時に適切な部屋を特定したり選んだりするのに役立ちます。
部屋情報も概要画面に表示されます。



環境選択

異なる環境や混合環境でも同じソリューションを使いましょう。 オフィスでは会議室を予約し、学校では 教室の時間割を表示し、必要に応じてテーブルや机、キャビネットを予約してください。異なる画面サイズの異なるデバイスを自由に組み合わせ、環境や目的に最適なものを選びましょう。

環境パラメータは、教師用の会議室、生徒用の教室、特別クラス用の予約可能な机など、混合環境を作る可能性のある装置に割り当てられます。

専用画面のサポート

市場には多くの専用スクリーン、会議室用のディスプレイがあります

Tigermeeting は、Philips TPV 10 インチシリーズ画面、ProDVX スクリーン、Aurora マルチメディアデバイス、IAdea、ALLNET、Qbic 技術画面など、いくつかのデバイスに対してネイティブサポートがあります。

対応機器はほとんどの操作をこなせますが、供給元やモデルによって異なる場合があります。

- スクリーンショット
- リブート
- LED サイドライトとバックライト(色の変化、LED のオン/オフ、LED の輝度調整)
- Tigermeeting ソフトウェア (APK) アップグレード
- ファームウェアのアップグレード

LED バックライトの色

LED のバックライトとテーマカラーが部屋の状態を把握するのに役立ちます。

緑信号は部屋が空いていることを意味します。

黄色:部屋が埋まろうとしています(管理アプリケーションで時間制限を設定可能)。

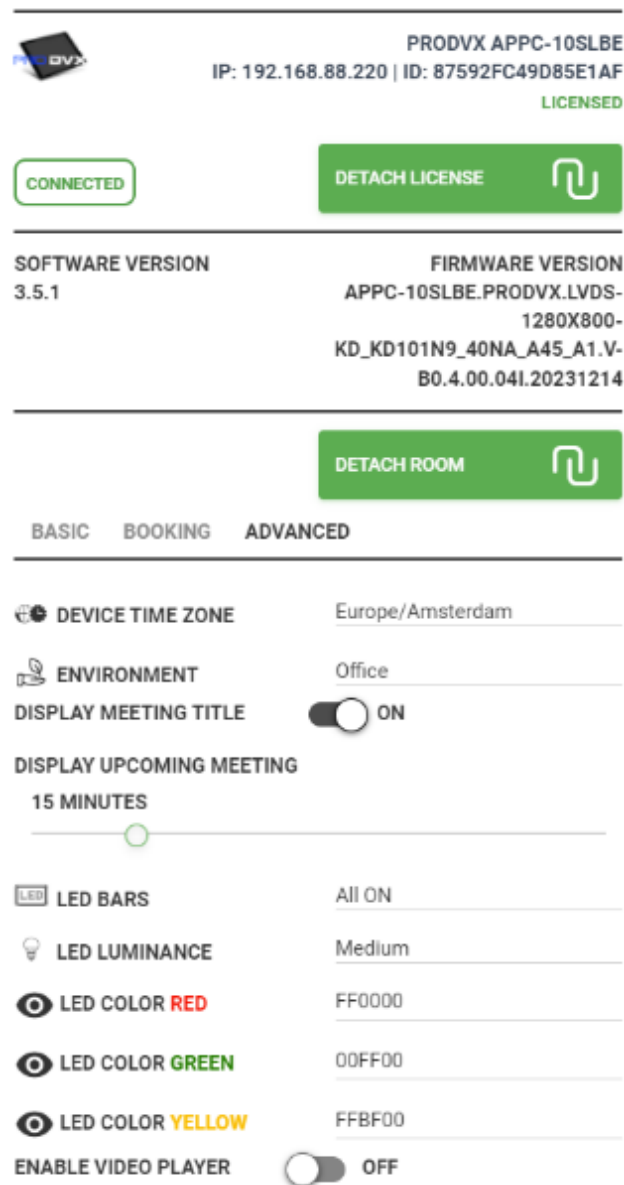
赤は会議室が混み合い、予約できないことを示します。しかし、各予約画面で他の利用可能な部屋のリストを見つけたり、簡単にリモートで会議を予約したりできます。

使用されているデフォルトの LED バックライトカラーコードは以下の通りです:

- **レッド**:0xFF0000
- **グリーン**:0x00FF00
- **黄色**:0xFFDF00

これらの色は、フル RGB レンジに対応しているデバイス向けに管理者アプリから変更可能です。

色入力の下の子の赤いバーは、入力値が正しい RGB 値かどうかを示しています。入力が誤った場合は、デフォルトの色が使われます。



PRODVX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PRODVX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

LED BARS All ON

LED LUMINANCE Medium

LED COLOR RED FF0000

LED COLOR GREEN 00FF00

LED COLOR YELLOW FFBF00

ENABLE VIDEO PLAYER OFF

LED 輝度

LED バーの輝度は低、中、高の間に設定可能です。

LED ライトの位置

タイガーミーティングは以下の LED ライトのポジションをサポートしています：

- 全ての OFF です – すべての LED が消灯しています
- 全てオン – 利用可能な LED はすべて点灯します
- 画面の左右だけが点灯します
- 上部のみ – 画面上部の LED ストラップのみが使用されています
- 画面は前面のみ – 画面には前面の LED ストラップやボタンのみ (QBic や IAdea のように)
- 画面下部のみ – 画面下部の LED ストラップのみが使われています
- 画面の角だけが点灯します

これらすべての LED 状態を扱えるデバイスは非常に限られており、良い例として ProDVX APPC-10SLBE、S シリーズ、そして新しい ProDVX スクリーンがあります。

PRODVX APPC-10SLBE
IP: 192.168.88.220 | ID: 87592FC49D85E1AF
LICENSED

CONNECTED DETACH LICENSE

SOFTWARE VERSION 3.5.1 FIRMWARE VERSION APPC-10SLBE.PRODVX.LVDS-1280X800-KD_KD101N9_40NA_A45_A1.V-B0.4.00.04I.20231214

DETACH ROOM

BASIC BOOKING ADVANCED

🌐 DEVICE TIME ZONE Europe/Amsterdam

🏢 ENVIRONMENT Office

DISPLAY MEETING TITLE ☒ ON

DISPLAY UPCOMING MEETING 15 MINUTES

LED LED BARS All ON

💡 LED LUMINANCE All ON

🔴 LED COLOR RED All OFF

🟢 LED COLOR GREEN Only sides

🟡 LED COLOR YELLOW Only top

ENABLE VIDEO PLAYER ☐ Only bottom

Settings display Only corners

Close Save settings

重要な注意点: デバイスに要求されたすべての LED バーが揃っていなかったり、LED バーをエリアに分割する機能がない場合、デバイスの LED バーが期待通りに動作しない可能性があります。その場合は、安全なバックアップとして All ON を使用してください。

LEAD ON インターバル

LED が点灯している間隔を選べますが、この間隔外は LED ライトが消灯します。

オフィスが空いている夜中、LED ライトが点灯しておく必要はないかもしれません。

エネルギー節約のために、日中は光度を下げるか、使わない時間は電源を切ることを検討してください

。

 LED BARS	All ON
 LED LUMINANCE	High
 LED COLOR RED	FF0000
 LED COLOR GREEN	00FF00
 LED COLOR YELLOW	FFDF00
 LED ON INTERVAL	00:00-23:59

これはスケジューラーではなく、日々の間隔選択器です。
この時間帯外は LED ライトが消灯します。

注意:Tigermeeting Android アプリケーションで画面モデルが完全にサポートされていない場合、LED バーは機能しません。

LED ライトがデバイスでサポートされているかは、Tigermeeting カスタマーサポートにお問い合わせください。

画面オン間隔

画面 ON 間隔は通常の動作時間枠を指定します。
画面 ON の間隔を過ぎると画面は消えます。

 LED ON INTERVAL	07:00-21:00
SCREEN ON INTERVAL	05:00-20:00
SHOW PRODUCT BRANDING	 ON

注意:会議関連のイベントや画面へのタッチは短時間画面を起動させます。

この機能は LED と ON の間隔とは完全に独立しており、LED が点灯している、画面が消えているなどの重なり合いも可能にしています。

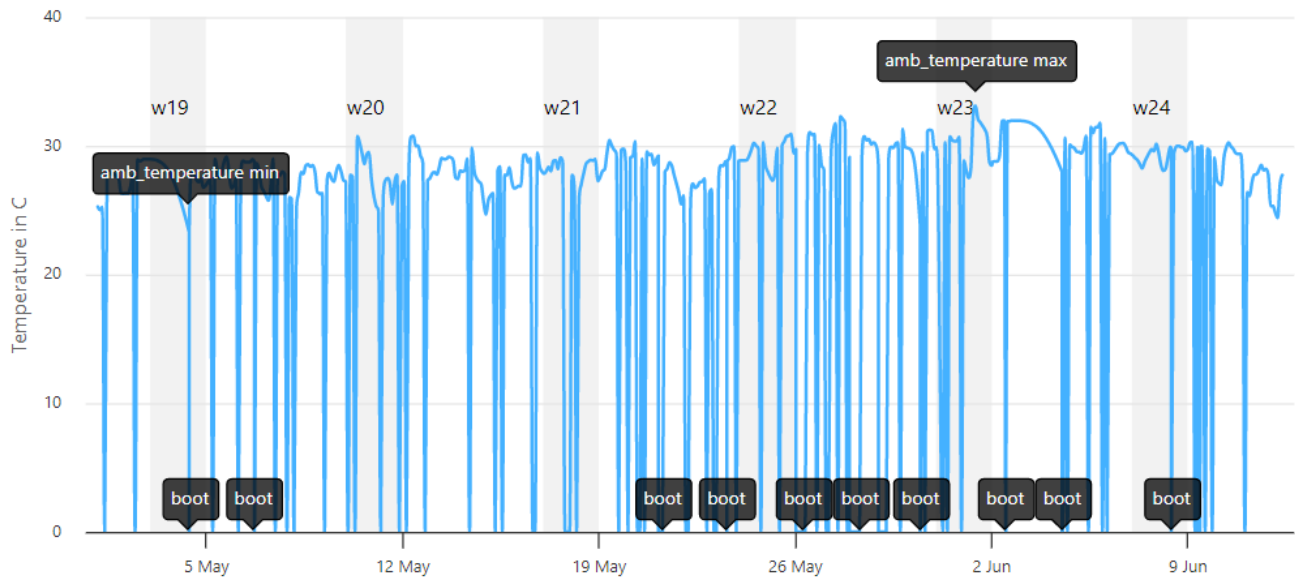
これはスケジューラ機能ではなく、毎日間隔を空けた ON/OFF サービスです。

周囲の温度と湿度

周囲温度、湿度、その他のセンサーをサポートするデバイス上で、Tiger アプリケーションはこれらのデータを読み取り、提示し、プレゼンテーションや分析目的で収集することが可能です。

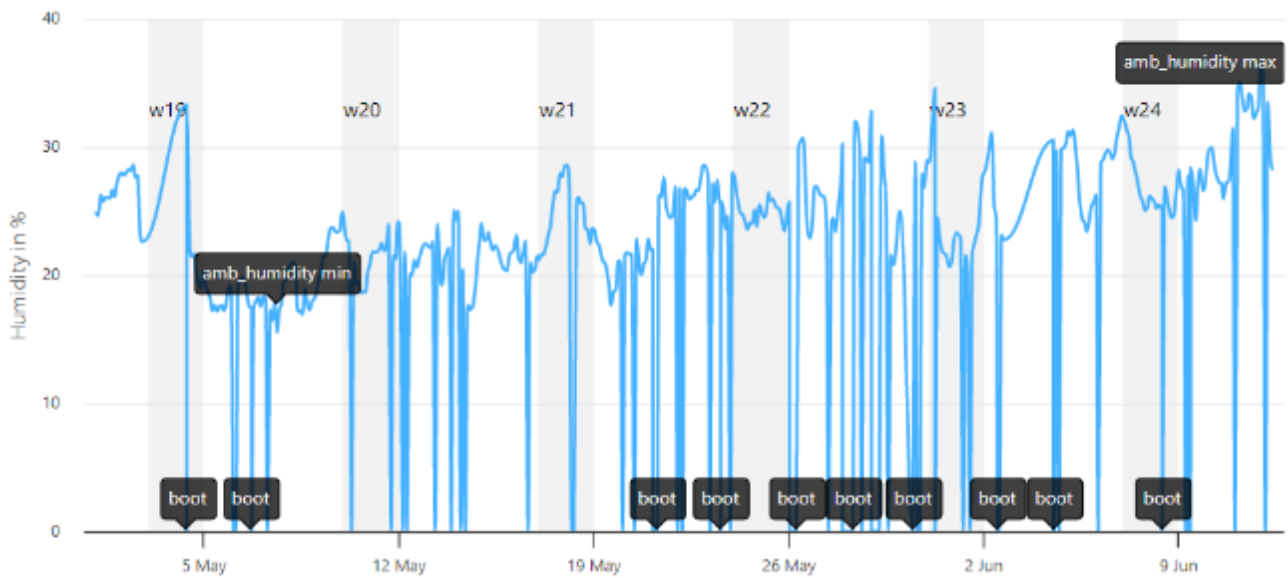
Ambient temperature

Click and drag in the plot area to zoom in



Ambient humidity

Click and drag in the plot area to zoom in



天候情報

周囲温度機能は周囲センサーを搭載したデバイスに限定されますが、天気情報はすべてのデバイスで利用可能です。

この機能は Tigermeeting クラウドへのアクセスを必要としますが、他の外部リソースは使用されません。

「天候値表示」オプションを有効にすることで、デバイス(または分布全体)の緯度と経度の設定が可能です

SHOW WEATHER VALUES



ON



LATITUDE [-90,90]

59.3327



LONGITUDE [-180,180]

18.0656

緯度と経度の座標は、数字を使って地球上の任意の場所を特定するのに役立ちます。
緯度とは、赤道(緯度 0 度)からどれだけ北または南にどれだけ離れているかを測ります。

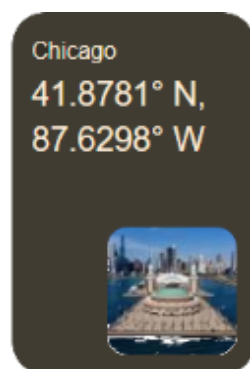
- 正の数値(例えば+45°)は北半球にすることを意味します。
- 負の数(例えば-30°)は南半球に位置します。

経度とは、本初子午線(経度 0 度)からどれだけ東または西に位置しているかを測るものです。

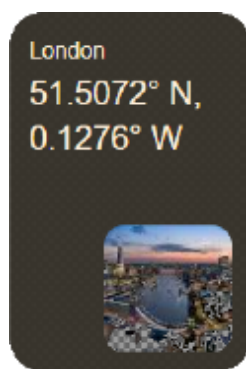
- 正の数値(例えば+120°)は東半球にすることを意味します。
- 負の数(例えば-75°)は西半球に位置します。

ですので、「北緯 45 度、西経 75 度」と書く代わりに、単に 45、-75 と書くだけです。

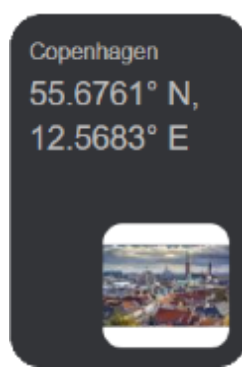
例:



緯度: 41.8781
ロン:-87.6298



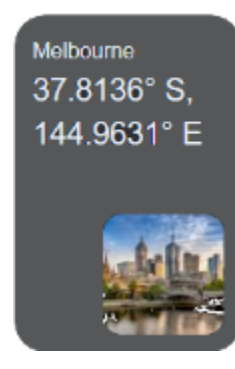
緯度: 51.5072
ロン:-0.1276



緯度: 55.6761
Lon:12.5683



緯度: -35.6037
ロン:-58.3821



緯度: -37.8136
距離:144.9631

温度(選択した温度単位)と相対湿度(パーセンテージ)は、テーマの使用に依存せずデバイス上で表示されます。

プレゼンテーションモードでは、主要な温度単位(基本設定)に対応しています:



画面上には温度と湿度のアイコンが表示されます。すべてのテーマに対応しています。



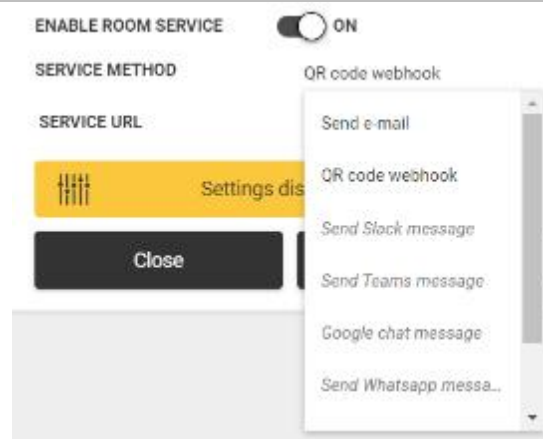
注意:天気サービスはインターネット接続が必要なキャッシュされたオンラインサービスです。キャッシュの有効期間は約 15 分なので、天候の値や温度単位の変化(摂氏から華氏、ケルビンへの変化など)は、画面上で更新されるまでに約 15 分かかります。

ルームサービスの構成

会議室、机、教室のメンテナンス、ルームサービス、その他の対応が必要な場合もあります。TigerMeeting ルームサービスは、適切な対応が可能な企業のコミュニケーションチャネルとの連携を可能にすることで、この要件を満たしています。

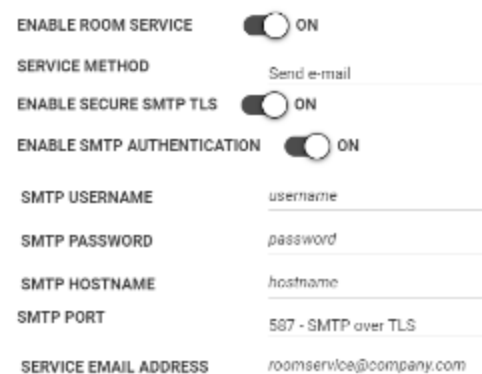
現在サポートされている通信チャネルは以下の通りです:

- メール送信
- スキャン QR コードを
- Slack メッセージ(まだ統合されていません)
- Teams メッセージ(まだ統合されていません)
- Google チャットメッセージ(まだ統合されていません)
- WhatsApp メッセージ(まだ統合されていません)
- Telegram メッセージ(まだ統合されていません)
- WeChat のメッセージ(まだ統合されていません)

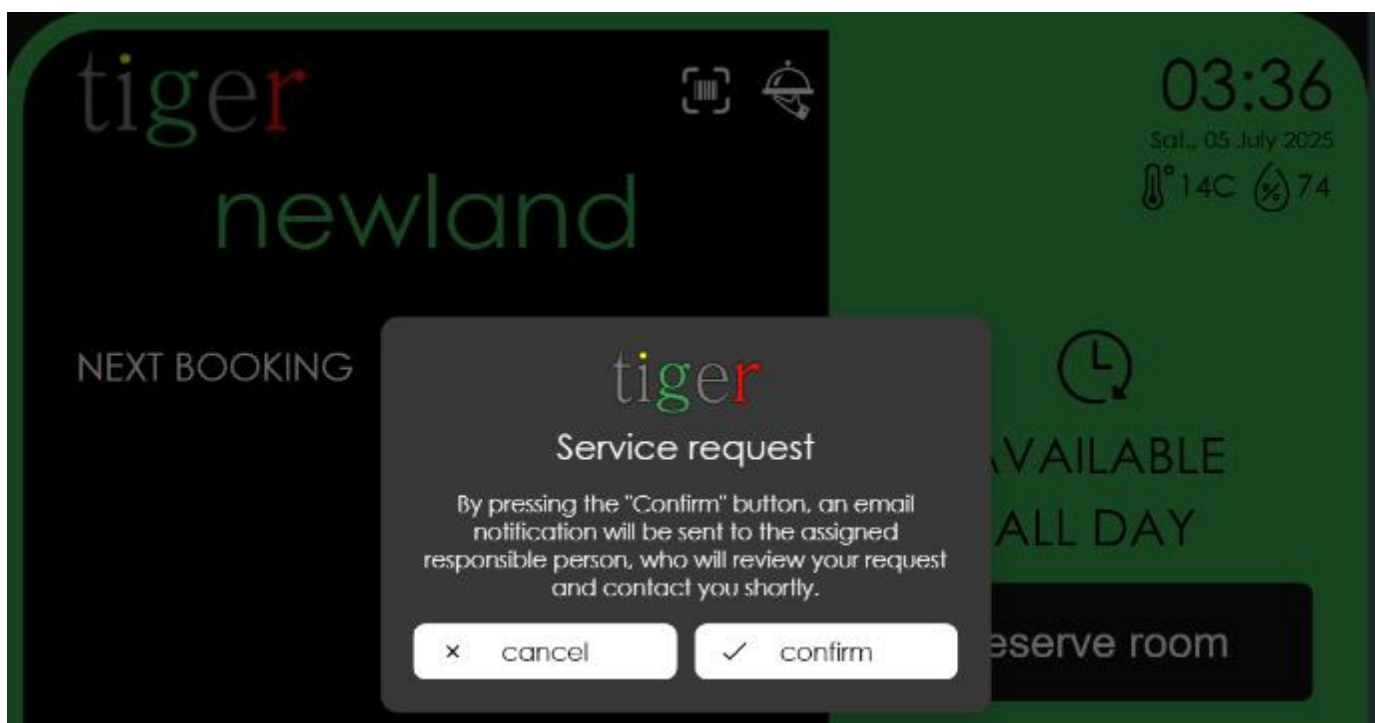


メール送信

カレンダーリソース(教室、教室、机)から設定済みのメールアドレスへメールを送信します。
このサービスには SMTP サーバーパラメータの設定が必要です。



画面に「ルームサービス」アイコンを押すとダイアログが表示されます。



ルームサービスの機能は、サービスの悪用を避けるために NFC-SERVICE-AUTH および NFC-SCANNER-AUTH の認証パラメータに紐づけることができます。

QR コードウェブフック

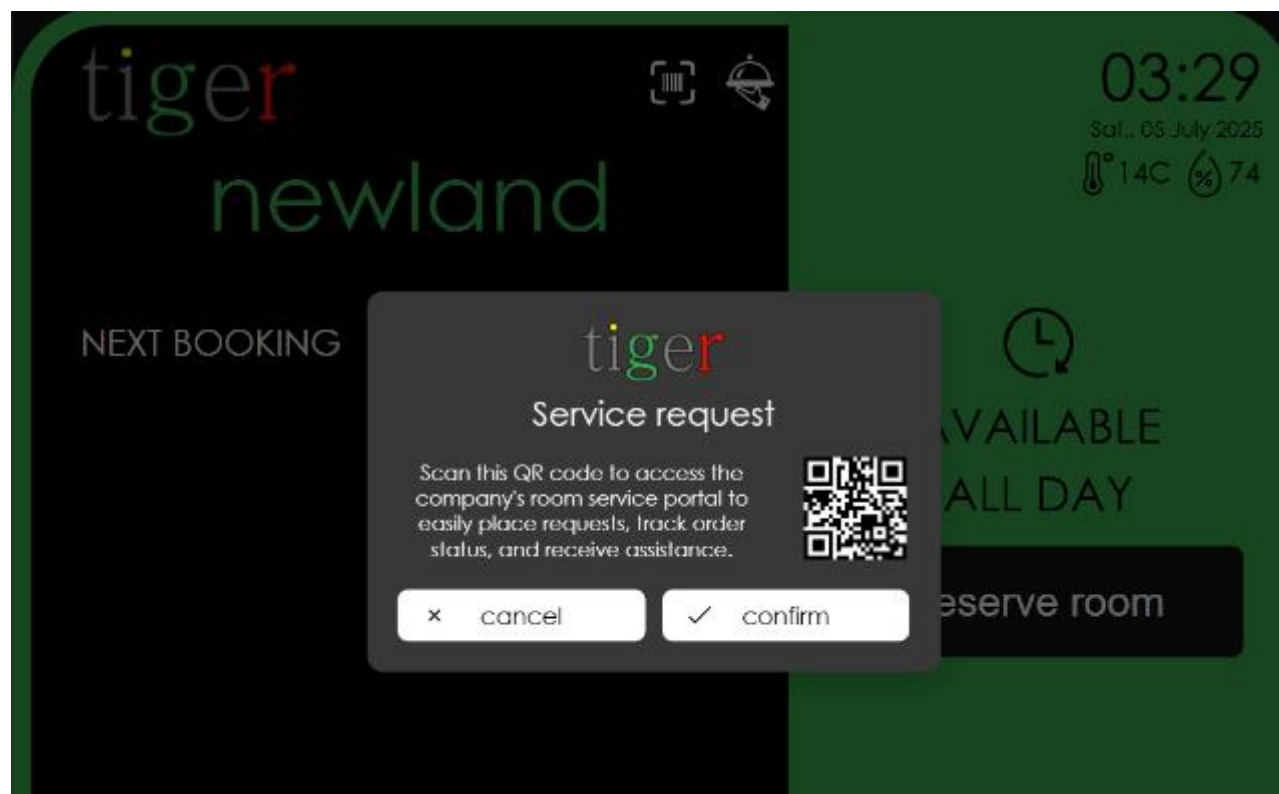
画面に QR コードが表示され、その URL は会社のウェブフックリソースを指し示します。これがルームサービス機能の好ましい理由であり、会社のポータルがユーザーの認証や各リソースに関連するサービス提供を適切に処理できるからです。



注:Tigermeeting は、会社固有のサービス URL にカレンダーリソース識別をパラメータとして追加します。

例:https://company.com/roomservice/?resource="STHLM-P-Jupiter"

画面上で「ルームサービス」アイコンを押すと、指示付きのダイアログが表示されます。



NFC

NFC(近距離無線通信)は、2つのデバイスが非常に近い距離(通常は4センチメートル以内)でデータを交換できる短距離無線技術です。

NFC 技術は広く使われており、以下のようなものがあります。

- 非接触決済(Apple Pay、Google Pay、Samsung Pay など)
- ヘッドホンやスピーカーとペアリングするためにスマホをタップする
- トランジットカードやアクセスバッジのスキャン
- ポスター、パッケージ、博物館展示のスマートタグを読む

NFC は電磁場を利用して、電源機器(例えば電話)と他の NFC 対応デバイスやパッシブタグ間の通信を可能にします。NFC は RFID と同じ技術に基づいていますが、より安全でインタラクティブです。

TigerMeeting による NFC 認証の実装

NFC リーダーを搭載したデバイスで、デバイス設定で NFC 機能がオン/許可されている場合、Tiger アプリケーションは以下の技術タグをフィルタリングし読み込みます。

- **Ndef**:これは NFC データ交換フォーマット(NDEF)メッセージを交換するための標準プロトコルです。市販のほとんどの NFC タグは NDEF タグとして事前フォーマットされており、多くの用途で非常に一般的です。
- **NfcA**(ISO/IEC 14443 タイプ A):非接触通信の分野で広く使われている技術で、多くの公共交通カード、アクセスコントロールバッジ、決済システムに搭載されています。ほとんどの MIFARE タグ(Mifare Classic や Mifare Ultralight など)はこの技術を基盤としています。
- **IsoDex** (ISO/IEC 14443-4):カードエミュレーションや安全な取引でよく使われ、NfcA や NfcB の上に上位通信プロトコルを提供します。安全な決済アプリケーションや多くの安全な身分証明書で一般的です。
- **MifareClassic** および **MifareUltralight**:これらは NXP の独自実装で、アクセス制御、ロイヤルティカード、公共交通機関に一般的に使用されています。通常は NfcA の傘下で動作しますが、メモリセグメンテーションやセキュリティ機能などの追加機能も備えています。
- **NfcF** (FeliCa):主に日本などの地域で使われており、FeliCa ベースのシステムをサポートしています。特定の市場の交通・決済システムで一般的です。
- **NfcB** (ISO/IEC 14443 タイプ B):多くの用途で NfcA ほど頻繁には見られませんが、NfcB は様々な非接触カードシステムで使用されており、この標準に準拠したタグを期待する場合に追加することも可能です。

NFC の使用

NFC はさまざまな方法で使えます。

以下のリストは最も一般的なユースケースです：

- 認証された人のために(会議室の)ドアを開けてください
- 会議主催者の認証
- ルームサービスの注文前に認証してください
- 記録の出席率
- 管理者のメンテナンスを許可する

なお、NFC 認証は直感的ではなく、自動的に行われるものではありません。この機能は顧客側の設定と Tigermeeting のバックエンドサービスとのより緊密な統合を必要とします。

NFC 検証サービス

TigerMeeting はオンプレミスサービスであり、通常のカレンダー運用には外部アクセスを必要としませんが、NFC 認証はオンプレミスまたはクラウド上の認証サービスとの統合が必要です。

TigerMeeting は Tiger クラウド上でホストされたマルチテナント検証サービスを持ち、企業認証リソースと同期できます。

- アクティブディレクトリ
- LDAP サービス
- CSV ファイル
- 顧客独自の API REST 検証サービス

検証サービスが Tiger クラウド上でホストされている場合、初期設定を行う必要があり、デバイスが Tiger クラウドにアクセスできる必要があります。

場合によっては、顧客が Tigermeeting NFC 検証サービスを自社ネットワーク上でホストすることを選択しました。検証サービスは軽量で、安全なコンテナ内または任意のウェブサーバー上でサービスとして実行できるため、制限はありません。

注意:NFC タグ、値、カード ID は自然な順序と 16 進形式で読み取られます。

一部の画面では、NFC リーダーに 10 進形式の数字を表示したり、文字列の文字順序を逆に表示したりすることができます。この場合、検証文字列はその形式の文字列を正確に含む必要があります。タグ検証は常に文字列比較操作です。

Active Directory/LDAP 統合の手順

組織の Active Directory / LDAP サービスと Tigermeeting 検証システム間の同期を有効にするに

は、以下の設定手順に従い、ご希望の情報をご提供ください。

このプロセスにより、Tigermeeting 検証サービスシステムは顧客のディレクトリからユーザー、タグ、権限データを安全に直接読み取ることができます。

ステップ 1:読み取り専用のサービスアカウントを作成する

セキュリティのため、AD/LDAP に読み取り専用アクセス権のあるサービスアカウントが必要です。このアカウントは同期作業専用に使使されます。書き込み権限は不要です。

ステップ 2:許可グループの定義

Tigermeeting システムは、NFC/RFID 操作のユーザー権限を管理するために AD/LDAP グループメンバーシップを使用しています。正確なフォーマットに従った名前特定のセキュリティグループを作成する必要があります。

グループ命名規則:各グループ名は以下の構造に従わなければなりません:

接頭辞 Context_Name ACTION_NAME

- プレフィックス:このサービスに関連するグループを識別するために選ぶ一意のプレフィックス(例:nfc-access-)。
- コンテキスト名:場所名やデバイス名(例:Main_Entrance、Server_Room)。スペースの代わりに下線_を使いましょう。
- アクション名:付与される特定のアクション(例:UNLOCK_DOOR、LOG_ATTENDANCE)。

例:

permission_prefix	LDAP グループ名	解析されたコンテキ	解析されたアクション
NFC アクセス-	NFC-アクセス- Main_Entrance- UNLOCK_DOOR	「正面玄関」	「UNLOCK_DOOR」
NFC アクセス-	NFC-アクセス-Server_Room- UNLOCK_DOOR	「サーバールーム」	「UNLOCK_DOOR」
部屋パームー	部屋のパーム Meeting_A LOG_ATTENDANCE	「ミーティング A」	「LOG_ATTENDANCE」

ユーザーに権限を与えるには、ディレクトリ内の対応するグループにメンバーとして追加するだけです。

ステップ 3:構成情報の提供

以下の情報を収集し、Tigermeeting の技術チームに提出して同期接続の設定を依頼してください。

必須情報チェックリスト:

- 「ldap_host
- 「ldap_port
- 「bind_dn
- 「bind_password - 暗号化されたパスワード
- 「base_dn」
- 「tag_attribute」 - NFC/RFID タグ UID の LDAP 属性
- 'email_attribute'- ユーザーのメール用 LDAP 属性
- 'permission_attribute'- グループメンバーシップの LDAP 属性、例:memberOf
- 「permission_prefix」 - 権限グループの接頭辞、例:「nfc-access-」

Tigermeeting AD 同期サービスは、定期的に AD データを検証データベースと同期させます。

CSV ファイル統合の手順

同期は通常のファイル転送でも可能です。

期待される CSV ファイル形式は以下の通りです:(ヘッダー付き):

メール、tag_uid、コンテキスト、アクション

name@company.org,ABDD1234,「ミーティング A」UNLOCK_DOOR

Tigermeeting の CSV 同期サービスは定期的にファイルを取得し、検証データベースにデータをインポートしようとします。

API REST 統合の手順

組織は独自のウェブフックを設定でき、デバイスはそれに対して検証を試みます。

検証サービスの URL を定義します。

画面は POST API リクエストを通じて、以下の JSON ペイロードを定義された検証 URL に送信します。

```
{
  「tag_uid」 : 「ABCD1234」
  「organization_id」:123456、(タイガーミーティングによる割り当て)
  「email_address」 : 「user@company.org」 、
  「コンテキスト」:「会議 A」、
  「アクション」:「UNLOCK_DOOR」
}
```

期待されるレスポンスコードは http 200 で、ペイロードは以下の JSON 形式である必要があります。

```
{  
  「ステータス」:「付与」(または「失敗」)  
  「メッセージ」:「アクション拒否」(任意)  
}
```

この API は意図的に非常にシンプルに作られており、誰もが自社の認証サービスと簡単に連携できるようになっており、TigerMeeting の運営はオンプレミスに限定されています。

GPIO 制御

本章では、Android ベースのデバイスにおける汎用入出力(GPIO)を紹介します。GPIO は、ユーザーが単純な電子機器(LED、ボタン、リレー、センサー)を接続し、それらを直接制御または読み取りできる仕組みを可能にします。追加のマイクロコントローラは必要ありません。

GPIO とは何ですか？

GPIO ピンは、デバイスの回路基板上で設定可能なデジタルチャネルです。

出力モードでは、デバイスはピンを HIGH(電圧)または LOW(グラウンド)に駆動して外部部品のオン/オフを切り替えます。

入力モードでは、ピンは外部の論理信号(例えばボタン押しやセンサー出力)を読み取ります。

GPIO のユースケース

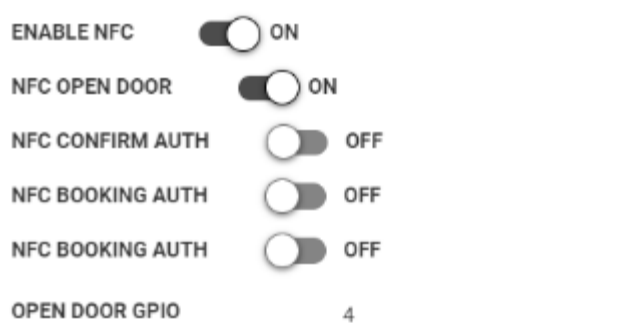
- 接続やアラートを表示するステータスインジケータ(LED)を追加してください
- カスタム操作のプッシュボタンを接続する
- 単純なセンサー(動き、光、温度)とのインターフェース
- 高電圧機器を制御するためのスイッチリレー
- 追加基板なしで新ハードウェア機能の試作
- アクセス管理 — ドアを開けるなど

GPIO ピン/ポート

ほとんどの Android Things やカスタム Android ボードでは、GPIO は基板の側面または下部にラベル付けされています。ピン割り当てについてはハードウェア図(例:「GPIO4」、「ピン 7」)を参照してください。

詳細な配線情報については、ハードウェアの販売業者にお問い合わせください。

Tiger アプリケーションはデフォルト **GPIO4** ですが、スキャンや NFC オープンドア機能の設定時に簡単に変更可能です。



ドアロックおよびアクセスコントロールシステム

GPIO 制御の最も一般的な用途の一つは、Tigermeeting を動作させるスクリーンによって駆動されるドアロックアクセス制御システムです。

GPIO 制御は NFC または QR コードスキャナー認証機能と組み合わせて使用可能に設定可能です。

異なるハードウェアサプライヤーからは多様なハードウェア構成が存在することがあります。

以下は Tigermeeting の顧客がよく使う例です:



门禁电源控制器 ACCESS POWER SUPPLY

5A 12V DC

大功率 小体积 双稳压



センサーおよび IoT デバイスの構成

Tigermeeting センサー統合アーキテクチャ

Tigermeeting は、環境意識、ルーム状態自動化、将来のスマートビル拡張をサポートする柔軟でモジュール化されたセンサー統合フレームワークを含んでいます。現在のリリースは環境環境センサーをサポートしていますが、基盤となるアーキテクチャは REST API を介して通信可能なあらゆるセンサーを統合するよう意図的に構築されています。

対応センサーの種類

環境環境センサー

Tigermeeting は温度、湿度、大気質、CO₂、VOC などの環境指標を提供するセンサーをネイティブにサポートしています。これらのセンサーは通常、会議室、オープンオフィスエリア、共有スペースに設置され、ダッシュボード、分析、自動化されたルーム状態ロジックのためのリアルタイム環境データを提供します。

アンビエントセンサーは標準化された REST ポーリング機構を通じて統合されており、Tigermeeting は設定可能な間隔で測定値を取得し、システムの自動化エンジンに公開できます。

REST 対応 IoT デバイス向けのモジュラーアーキテクチャ

Tigermeeting のセンサーおよび IoT サブシステムはプラグインアーキテクチャに基づいて構築されており、コアアプリケーションを改変せずに新しいセンサータイプを追加できます。REST API を通じてデータを公開できるセンサーは、ローカル、クラウドベース、ゲートウェイ介有のいずれであっても、軽量アダプターを介して統合可能です。

主要なアーキテクチャ原則

REST ファースト設計:すべてのセンサー統合は REST エンドポイントを通じて通信し、最新の IoT デバイス、ゲートウェイ、クラウド API との互換性を確保しています。

アダプターベースの拡張性:各センサータイプは以下を定義するアダプターモジュールとして実装されています:

- エンドポイント構成
- 認証方法
- データマッピングルール
- 投票頻度
- 割り当てられた行動
- エラー処理とフォールバックロジック

統一データモデル

センサーの読み取り値は Tigermeeting の内部データモデルに正規化され、ダッシュボード、自動化ルール、分析で一貫した処理が可能です。

イベントおよび自動化統合

センサーが登録されると、そのデータは以下をトリガーできます：

- 部屋の状態の変化
- 通知
- LED または画面の挙動
- 予約ロジックとの統合
- カスタム自動化スクリプト

新しいセンサーのサポート追加

新しいセンサータイプの統合には通常以下の手順があります：

- REST エンドポイントと認証方法の定義
- データマッピングアダプターの実装
- TigerMeeting 構成におけるセンサータイプの登録
- 部屋やデバイスプロフィール内のセンサーを有効にする
- 診断パネルによる測定値の検証

このプロセスにより、以下のようなセンサーの迅速なオンボーディングが可能になります：

- 占有センサー
- 動体検知器
- 大気質調査所
- 光レベルセンサー
- ドア/デスク占有センサー
- エネルギー消費メーター
- カスタムエンタープライズ IoT デバイス

アーキテクチャによって可能となったユースケース

Tigermeeting の REST ベースのセンサーフレームワークは、幅広いスマートビルディングシナリオを可能にします。

- 占有センサーに基づく自動客室の空き可能性
- 施設管理のための環境ダッシュボード
- 大気質に基づく会議の勧告
- 省エネ自動化(空になったら照明やスクリーンを消す)
- 第三者の建物管理システムとの統合
- REST にさらされた IoT デバイスを使ったカスタムエンタープライズワークフロー

Tigermeeting は現在、Steinel、Milesight、Tuya、Philips Hue、ProDVX PuKK デバイスからの環

境センサーをサポートしていますが、そのアーキテクチャは意図的にユニバーサルセンサー統合を前提に設計されています。REST API 経由で通信可能なセンサーはモジュールアダプターを通じて追加可能で、Tigermeeting は完全なスマートビルディングプラットフォームへと進化します。

必要な統合ドキュメント付きのセンサーや IoT デバイスを送っていただければ、Tigermeeting エコシステムに統合します。

TigerMeeting は会議室に設置されたセンサーからの部屋の占有率と周囲値(温度、湿度、CO₂、光)を表示します。各予約画面は自分の部屋のセンサーを読み取り、すべてのセンサータイプが画面のセンサー状態と一緒に表示されます。

センサー	つながり方	検出するもの	自動ノーショーリリースに適しています
シュタイネル EO 知的財産権	画面がセンサーをポーリングします	人数を数える	はい
マイルサイト VS121-P	センサーは予約画面にデータを送信します	人数を数える	はい
フィリップス Hue モーションセンサー	画面はローカルネットワークの Hue ブリッジと表示されています	動議のみ	いいえ

Tuya の存在感センサー(mmWave)	画面には「屠鴉雲」と表示されています	存在	はい
Tuya モーションセンサー(PIR)	画面には「屠鴉雲」と表示されています	動議のみ	いいえ

モーションセンサーは動いている人だけを検知します。Tigermeeting は最後のモーションの後 5 分間、部屋を占有者としてマークしますが、長い会議中にじっと座っている人は見逃すことがあります。

始める前に、以下のことを確認してください:

- 予約画面には固定 IP アドレス(または DHCP 予約)があります
- センサーと予約画面は同じネットワーク(Milesight と Hue)上にあります。
- Tigermeeting 管理者の予約画面のデバイス設定を開けることができます

シュタイネル

Steinel EO の IP センサーは独自の REST API サーバーを持ち、設定された予約画面がポーリングします。管理者アプリケーションでセンサーの IP と管理者認証情報を提供し、センサーポーリングプロセスを可能にします。

マイルサイト

Milesight VS121-Psensor はレポートを予約画面に直接送信するため、画面の住所だけを知る必要があります。

- 一. センサーを会議エリアの上の天井に取り付け、PoE ネットワークポートに接続します。
- 二. ブラウザでセンサーのウェブインターフェースを開き、ログインしてください。
- 三. 「人数を数える地域」設定の下に、部屋全体を覆う検出領域を少なくとも 1 つ描いてください。
- 四. HTTP データプッシュ設定を開き、次の URL を入力してください:
 - 一. **http://<booking-screen-IP>:6026/milesight**
 - 二. 同じポートが ProDVX PuKK にも設定されています — Android セットアップを参照してください。
- 五. 60 秒間隔で定期的な報告を有効にしてください。トリガー報告は任意で、占有状況の変更をより速く表示します。
- 六. スナップショットアップロードをオフにしてください。TigerMeeting は画像を使わず、到着時に削除します。
- 七. 設定を保存してください。
- 八. Tigermeeting 管理アプリで予約画面のデバイス設定を開き、オンにしてください
- 九. **Milesight IoT を有効にしてください。**

報告間隔は 5 分未満でなければなりません。5 分間報告が届かない場合は、タイガーミーティングはセンサーをオフラインにマークします。

フィリップス・ヒュー

予約画面はローカルネットワークの Hue ブリッジを通じて Hue のモーションセンサーを読み取ります。

- 一. フィリップスの Hue アプリで Hue ブリッジにモーションセンサーを追加し、各センサーに明確な名前を付けます。例えば「Room 3.14 sensor」などです。
- 二. Hue Bridge にはルーターの固定 IP アドレスを割り当ててください。
- 三. TigerMeeting のアプリケーションキー作成:
 - 一. ヒューブリッジの上部にある丸いリンクボタンを押してください。
 - 二. 30 秒以内に同じネットワーク上のコンピュータから次のコマンドを実行します: `curl -k -X POST https://<bridge-IP>/api -d '{"devicetype":"tigermeeting#screen"}'`
 - 三. 回答からユーザー名の値をコピーしてください。これがアプリケーションキーです。
- 四. Tigermeeting 管理アプリで予約画面のデバイス設定を開き、「Philips IoT を有効にする」をオンにしてください。
- 五. フィールドを埋める:
 - 一. Hue Bridge IP アドレス:ブリッジの固定 IP アドレスです。
 - 二. Hue の適用キー:ステップ 3 のキーです。
 - 三. この部屋の色相センサー:この部屋のセンサーの名前をコンマで区切って示します。
- 六. 設定を保存してください。
 - 一. 複数の部屋に対応する橋がある場合は、必ずセンサー名を入力してください。フィールドが空いている場合、予約画面は橋上のすべてのモーションセンサーを使用します。
 - 二. 1 つのアプリケーションキーは、ブリッジを共有するすべての予約画面で使用できます。

トウヤ

予約画面は Tuya クラウドの Tuya センサーを読み取り、インターネット接続が必要です。

- 一. Smart Life や Tuya Smart アプリにセンサーを追加し、それぞれに明確な名前を付けましょう。
- 二. Tuya IoT 開発プラットフォームで Tuya 開発者アカウントを作成し、クラウドプロジェクトを作成しましょう:
 - 一. 開発方法:スマートホーム。
 - 二. データセンター:アプリアカウントが登録されている地域、例えば中央ヨーロッパ。
 - 三. API サービス:IoT Core。
- 三. クラウドプロジェクトで「デバイス」を開き、「リンクアプリアカウント」を選択し、Smart Life または Tuya Smart アプリで QR コードをスキャンします。センサーがプロジェクトに表示されます。
- 四. クラウドプロジェクトからの以下の点に注目してください:
 - 一. プロジェクト概要に示されている Access ID と Access Secret。
 - 二. この部屋の各センサーのデバイス ID は、プロジェクト機器リストに表示されています。
- 五. Tigermeeting 管理アプリで予約画面のデバイス設定を開き、「Tuya IoT を有効にする」をオンにしてください。
- 六. フィールドを埋める:

- 一. **Tuya データセンターの URL:**リストからクラウドプロジェクトの地域を選びます。例えば中欧
https://openapi.tuya.eu.com。
- 二. **Tuya アクセス ID と Tuya アクセスシークレット:**ステップ 4 から。
- 三. **Tuya デバイス ID:**この部屋のセンサーのデバイス ID で、コンマで区切られています。

七. 設定を保存してください。

- 一. データセンターの URL はクラウドプロジェクトの地域と一致しなければならず、そうでなければ Tuya は接続を拒否します。すべてのセンサー読み取りは Tuya サブスクリプションの API コールを使用しているため、IoT Core サービスがアクティブで十分なクォータがあるか確認してください。

セットアップの確認

同じネットワークのブラウザで **http://<booking-screen-IP>:6026/sensor** を開きます。各設定済みのセンサーは「online」のセンサーの下に表示されるはずです:true、room.occupied は誰かが部屋に出入りするときに変化します。

問題	原因としては	どうすればいいか
スタイネルセンサーは現れません	間違ったデバイス IP アドレスや管理者認証情報	センサーのウェブインターフェースでセンサーの IP アドレスと管理者認証情報を検証 https://sensor-ip
マイルサイトセンサーは表示されません	間違ったプッシュ URL や Milesight が有効になっていない	センサーの IP アドレス、ポート、/milesight パス、そして管理者アプリのトグルを確認してください
マイルサイトセンサーは数分後にオフラインになります	トリガーレポートのみが有効になっています	60 秒ごとに定期的な報告をオンにしてください
色相センサーが現れません	ブリッジの IP やアプリケーションキーが間違っている、または名前が一致しない	ブリッジ IP を確認し、新しいキーを作成し、Hue アプリと同じようにセンサー名をコピーします
すべての部屋が占有中と表示されています	Hue センサーのフィールドは空です	この部屋のセンサー名だけを入力してください
Tuya センサーが現れません	間違ったデータセンター、Access ID またはシークレット	URL がクラウドプロジェクトのリージョンと一致しているか確認してください
トウヤは数週間で仕事をやめた	IoT Core のサブスクリプション、すなわちクォータが期限切れです	Tuya クラウドプロジェクトでのサービスを更新してください
静かな会議中に	動体センサーはじっと座っ	受け入れて諦めて

部屋が空いていると表示されています	ている人を見逃しました	
-------------------	-------------	--

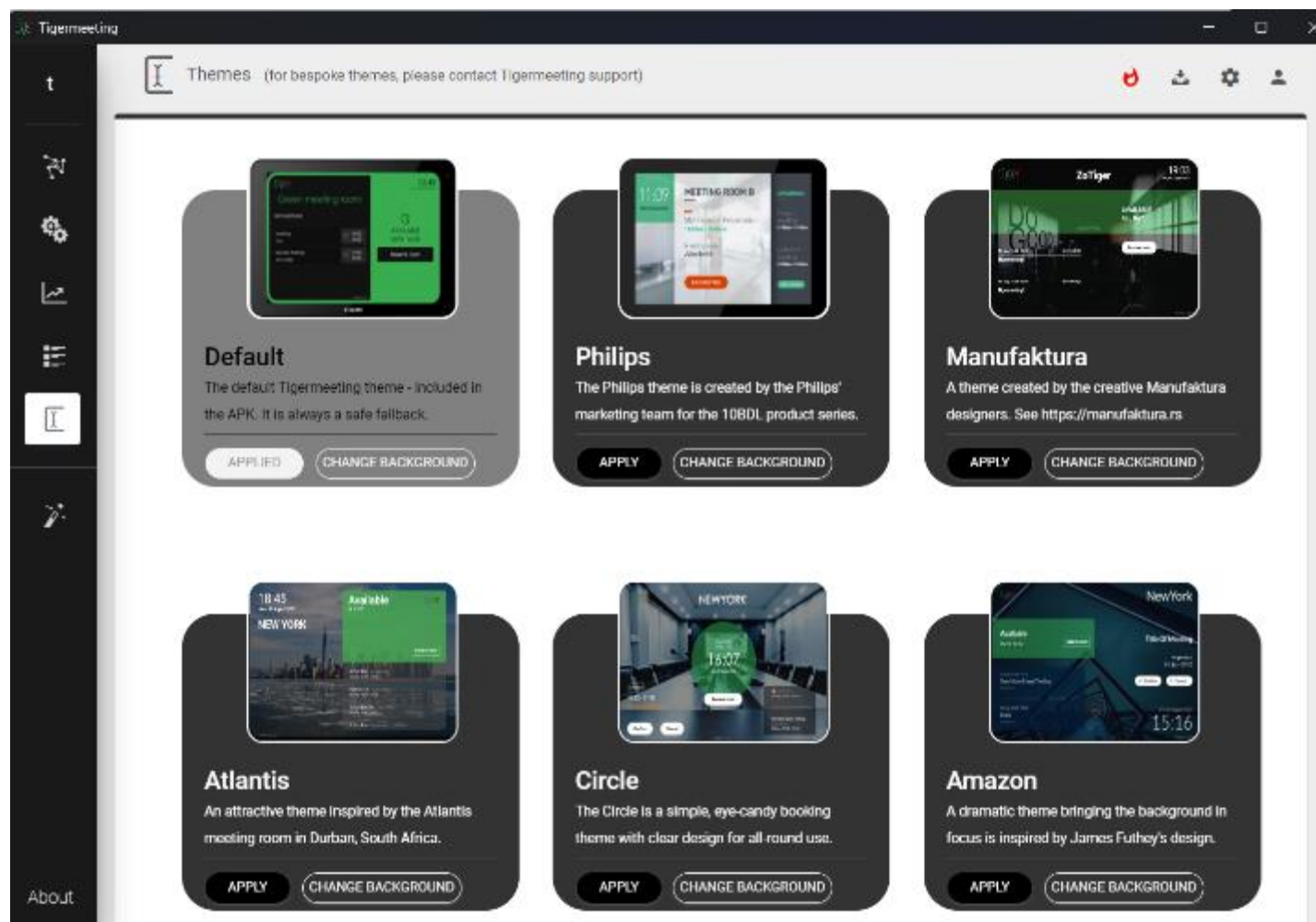
テーマ構成

TigerMeeting スイートは、予約画面のホーム画面レイアウトをテーマ、背景画像、会社のロゴを変更することで変更できるため、デバイスの外観をパーソナルでブランド化されたものにできます。

選べるテーマは多様で、デフォルトのものや、世界中の Tigermeeting の優れたデザイナーや顧客のアイデアに触発された多くのテーマがあります。

新しいテーマは、ソフトウェアのアップグレードを必要とせず、オンデマンドや新しいデザインアイデアが浮かんだ際に、継続的に動的に追加されます。テーマのテンプレートや顧客のカスタム背景は Tigermeeting クラウドに保存されているため、この操作にはファイアウォールを通じて <https://tigermeeting.app> URL へのアクセスが必要です。

リクエストに応じて、専用のテーマを作成して有効化することも、すべての顧客に共通のテーマとして設定することも可能です。詳細については、Tigermeeting サポートにお問い合わせください。



テーマ背景画像の構成

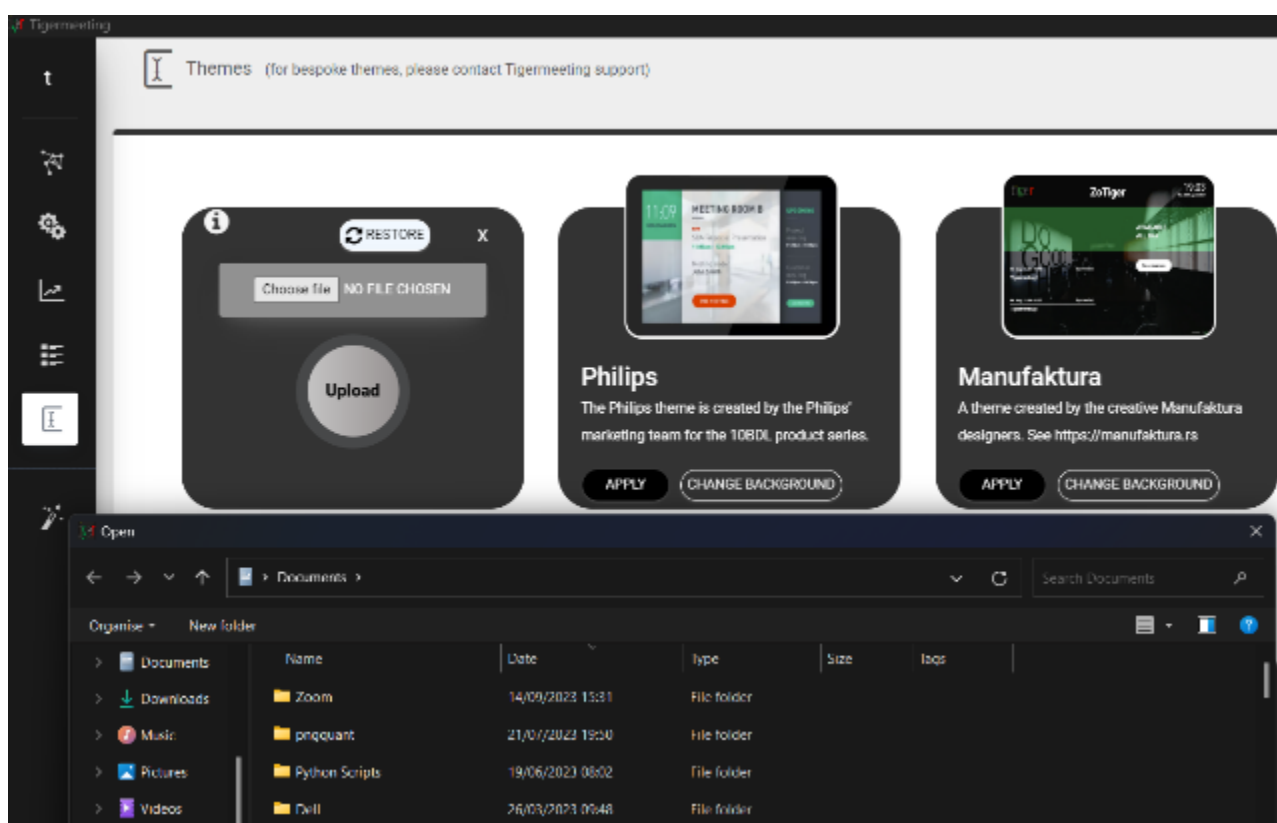
すべてのテーマは背景画像の変更に対応しています。

管理者アプリのテーマメニューで希望の背景画像をアップロード>

画像ファイルの要件:

- PNG フォーマット
- 最大ファイルサイズ 4Mb。
- 使用される画面サイズに合った解像度と比率。

フィリップス、IAdea、Qbic のスクリーンには比率 16:9、サイズ 1280 x 800 ピクセルが推奨されます。他の Android デバイスについては、画面の説明書をご参照いただき、画面の比率と解像度に合った画像を選択してください。



各テーマはカスタムで顧客固有の背景を持つことができますが、新しい背景をテーマにアップロードすると、そのテーマの前の画像が上書きされます。

STORE ボタンを使って、テーマの元のデフォルト背景画像を復元してください。

すべてのデバイスでテーマの元の背景画像をリセットしてください。リセット ボタン

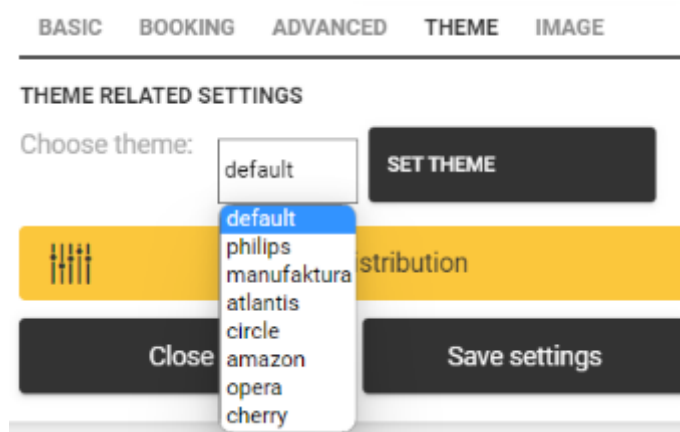
デバイスと同期して変更をコミットし、デバイス上でテーマ変更プロセスを開始します。デバイスはまずクラウドサーバーからテーマをダウンロードし、適用します。

注意: デバイスは <https://tigermeeting.app> クラウドサーバーにアクセスできる必要があります。

各デバイスごとのテーマ設定

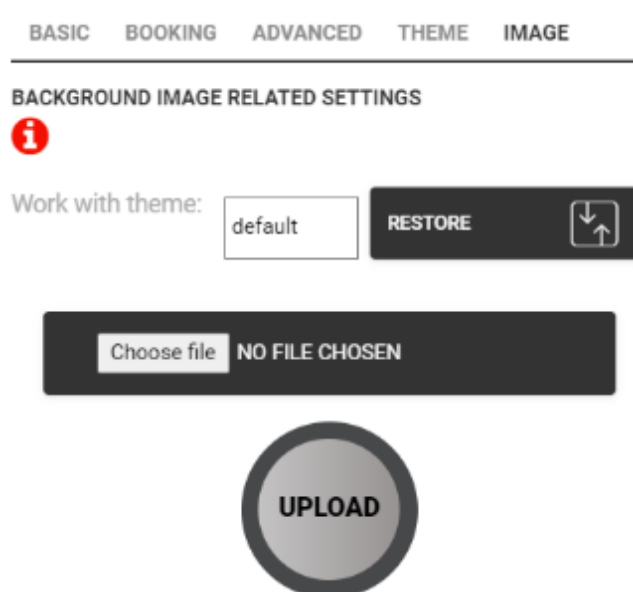
各デバイスは、他のデバイス関連パラメータを編集しながら、それぞれ独自のテーマや背景設定を設定できます。

テーマと画像のタブをチェックしてみてください



テーマを選んで「SET THEME」ボタンを押してください。

背景画像は IMAGE タブで変更されます。



テーマを選び、そのデバイス専用に適用される希望の背景画像をアップロードします。
このデバイスのテーマのデフォルト背景画像を STORE ボタンで復元してください。

変更後、デバイスとの同期を行う必要があります。

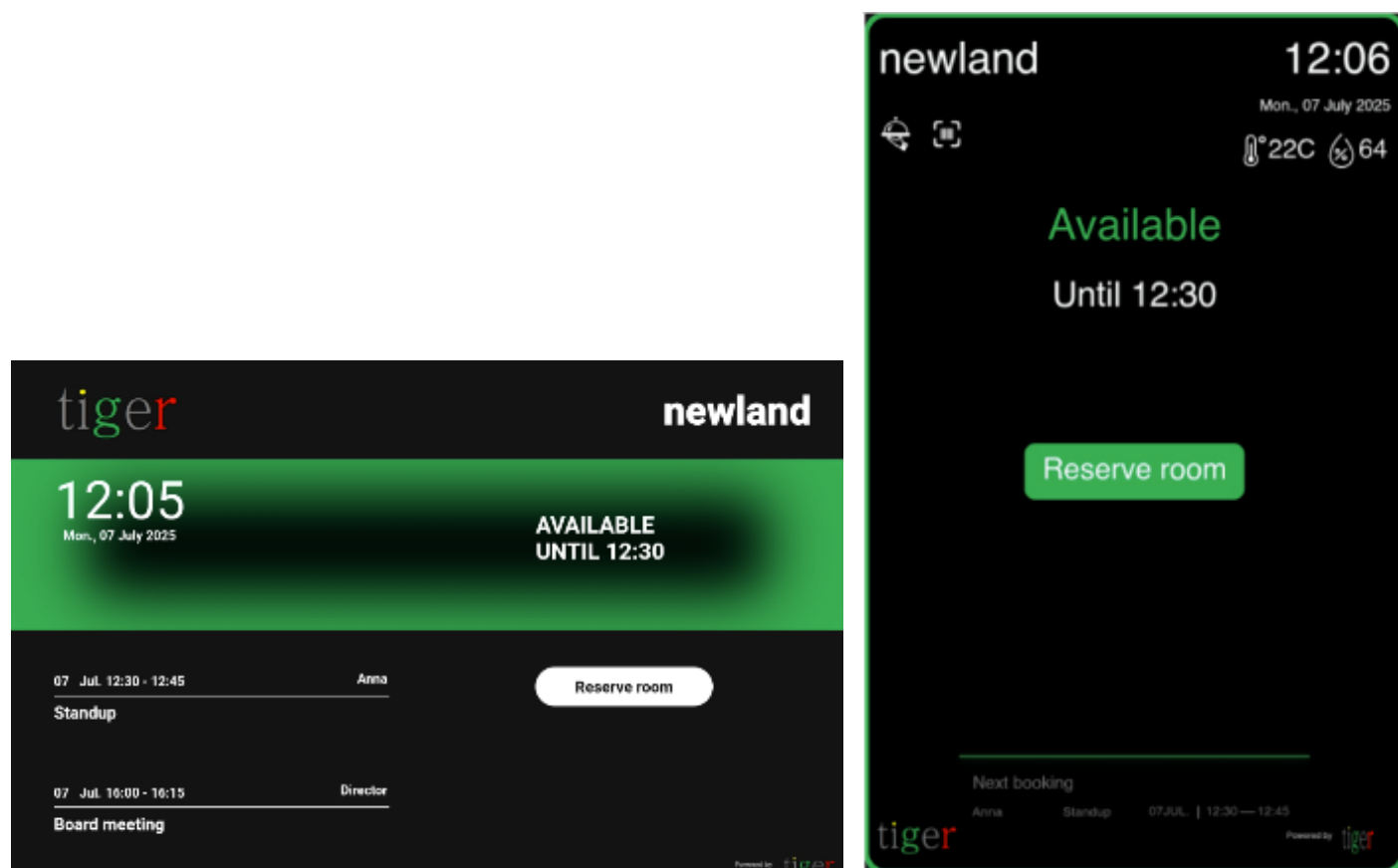
テーマの肖像と風景の方向性

TigerMeeting はデバイスセンサーに基づく画面向きの選択をサポートしていません。

タイガーは 4 インチから 15 インチまでの多くのスクリーンに対応しており、フィリップス、IAdea、ProDVX、Aurora、Qbit、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo など多くのメーカーが対応しています。
テーマ変更、会社のロゴ、オフィス・学校・デスクモードなど、タイガーの機能でこれら多様な画面サイ

ズや解像度に対応するため、すべてのテーマで縦向きモードをサポートしないという戦略的な判断を下さなければなりませんでした。

「_portrait」という接尾辞が付いたテーマがあり、ポートレートモードで動作するよう設計されており、Tiger アプリケーションは選択したテーマに基づいて自動的に画面の向きを調整しますが、デバイスのセンサーには基づきません。



ネットワーク内の各デバイスの向きに応じてリバーモードオプションも利用可能です -> デバイス(ペン)選択 -> ADVANCED -> 画面の逆向き オン/オフ

タイガーは以下の Android 画面向きをサポートしています:

- 景観
- ポートレート
- REVERSE_LANDSCAPE
- REVERSE_PORTRAIT

特定の画面で横向きと縦向きの向きは、Android デバイスのファームウェアによって異なります。

ほとんどの汎用デバイスに対応していますが、一部の Android バージョンやメーカーのデバイスでファームウェアレベルの画面向き設定に問題がある可能性があります。

注意: Tiger が画面の向き変更を正しく行うには、センサーによる回転や Android 設定に基づく画面

向きを無効にする必要があります。

トラブルシューティングのセクションで詳しくお読みください。

ファイルストアの機能

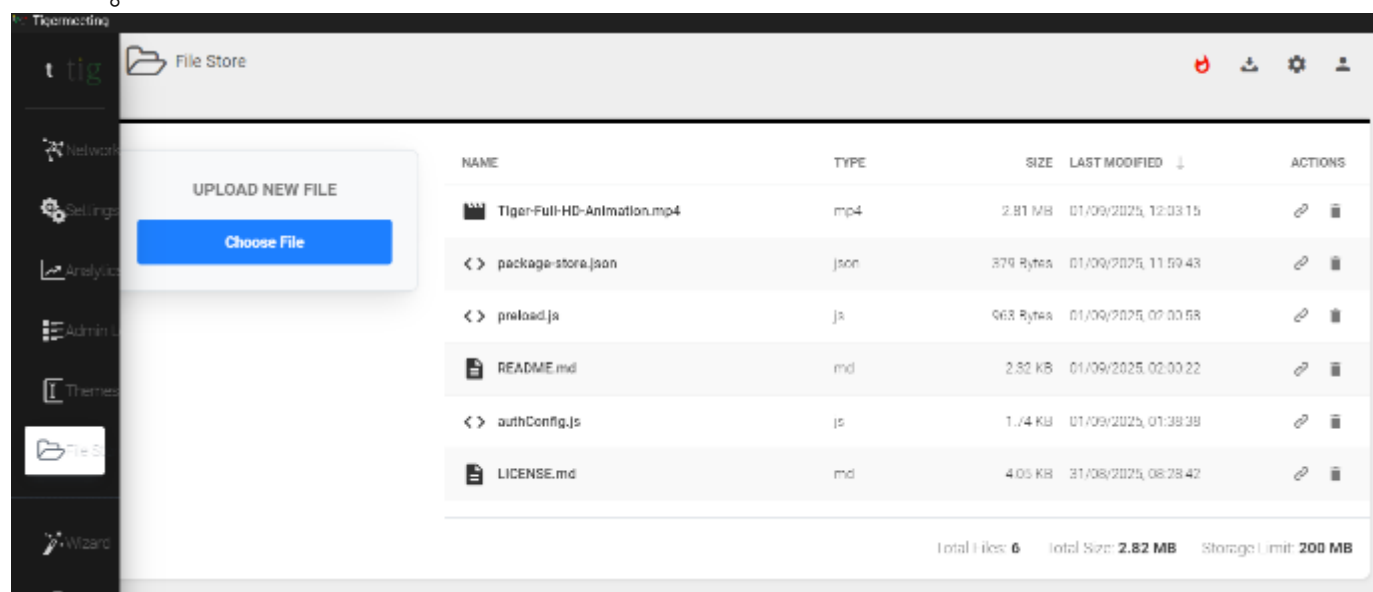
TigerMeeting の顧客は、これらのファイルをホストするためにウェブサーバーを必要とするビデオプレーヤーや iCalendar 機能を広く利用しています。

通常、URL でアクセス可能な社内スペースを見つけるのは問題ありません。多くの場合、組織のイントラネット上でホストされています。

顧客の要望に応じて、Tigermeeting はファイルストアのコンセプトを導入し、これらのファイルが Tiger インフラに安全に保存されます。

ファイルストアは基本的に Google ドライブや Microsoft の Share ポイント、類似のファイルストアサービスのようクラウドストレージであり、大きく異なる点が 2 つあります。

- Tigermeeting File Store は非常に基本的なファイル管理機能しかありません。
- Tigermeeting ファイルストアのリソースは、クリーンでアンラップされた URL を通じてアクセス可能で、Android Media Player やその他の低レベルの利用に適したファイルを直接公開します。



ファイルストア操作:

- ファイルアップロード
- ファイル削除
- URL をコピーする - ビデオプレーヤーや iCalendar の設定に適した外部 URL をコピーします

ファイルストアの制約:

- ファイルは Tiger クラウドに安全に保存されていますが、Tiger Cloud へのインターネットアクセスが必要です。
- セキュリティ上の理由から、CGI スクリプトの実行は無効化されています
- ファイル形式に制限は意図的にありませんが、ストレージ容量には制限があります
- 個々のファイルサイズには 10MB の制限があります

概要地図

- Tigermeeting の概要画面は 2 つのモードで動作します:
クラシックモード:EPG スタイルの部屋占有 - 外部ネットワークアクセスを必要としません。



- マップモード:実際の地図上で部屋の占有状況を表示するため、Tigermeeting の予約画面テーマのように、Tigermeeting クラウドへの断続的なインターネット接続が必要です

マップモード

Overview Maps 機能により、管理者は大規模な共有ディスプレイ(32 インチ~75+インチのオーバービュー画面)向けに設計されたインタラクティブで視覚的なフロアプランを作成できます。物理的な建物の幾何学をデジタルゾーンにマッピングすることで、ユーザーは利用可能なスペースを特定し、会議室のリアルタイム占有状況を確認し、中央表示ダッシュボードから空間レイアウトを直接特定できます。

マップキャンバスと画像資産の管理

地図のプロビジョニングは、Overview Maps タブ内の 2 つの異なる管理セクションを通じて管理されます。

- マップ管理:管理者が選択ドロップダウンを使って既存設定を切り替えたり、REFRESH によるキャッシュリセットの強制、NEW MAP で空白のスレートを初期化したり、DELETE でデータを消去したりできます。
- マップキャンバス管理:ターゲット展開エリアのメタデータパラメータを定義します。表示名:地図ビューの識別子(例:2 階)やカスタム説明:地域のコンテキストノート(例:ストックホルムオフィスのフロア 2)。

重要: 地図画像最適化ガイドラインに従ってください

フロアプラン画像は、ディスプレイ間でのレイアウト歪みを防ぐために明確な厳格な技術的制約を満たす必要があります:

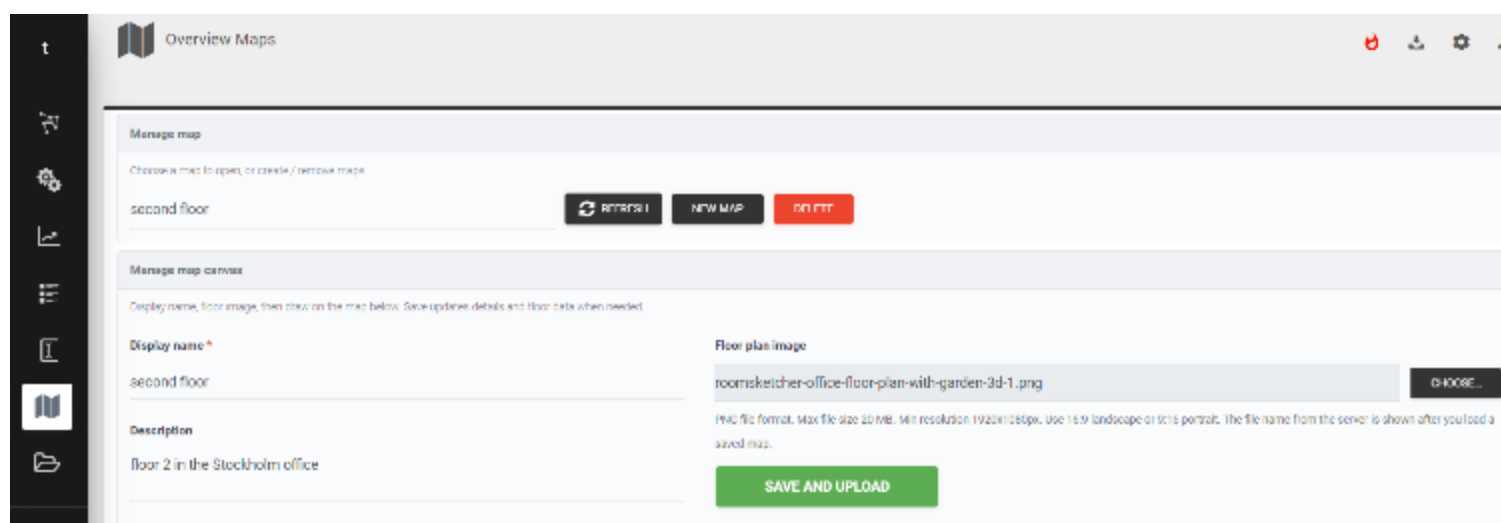
画像ファイル形式:完全に PNG 形式

最大ファイルサイズ:20MB

最低解像度:1920 x 1080 ピクセル

アスペクト比:16:9 横(標準)または 9:16 縦(縦画像)

「CHOOSE...」をクリックしますローカルアセット(例:roomsketcher-office-floor-plan-with-garden-3d-1.png)を閲覧し、その後「SAVE and UPLOAD」をクリックして、フロアプランの背景をアプリケーションキャンバスにバインドします



画像アセットがアップロードされると、管理スイートは専用の編集キャンバスゾーンを読み込み、RAW 画像の上に空間ベクトルを重ねます。

キャンバスとベクター描画ツールバーの編集

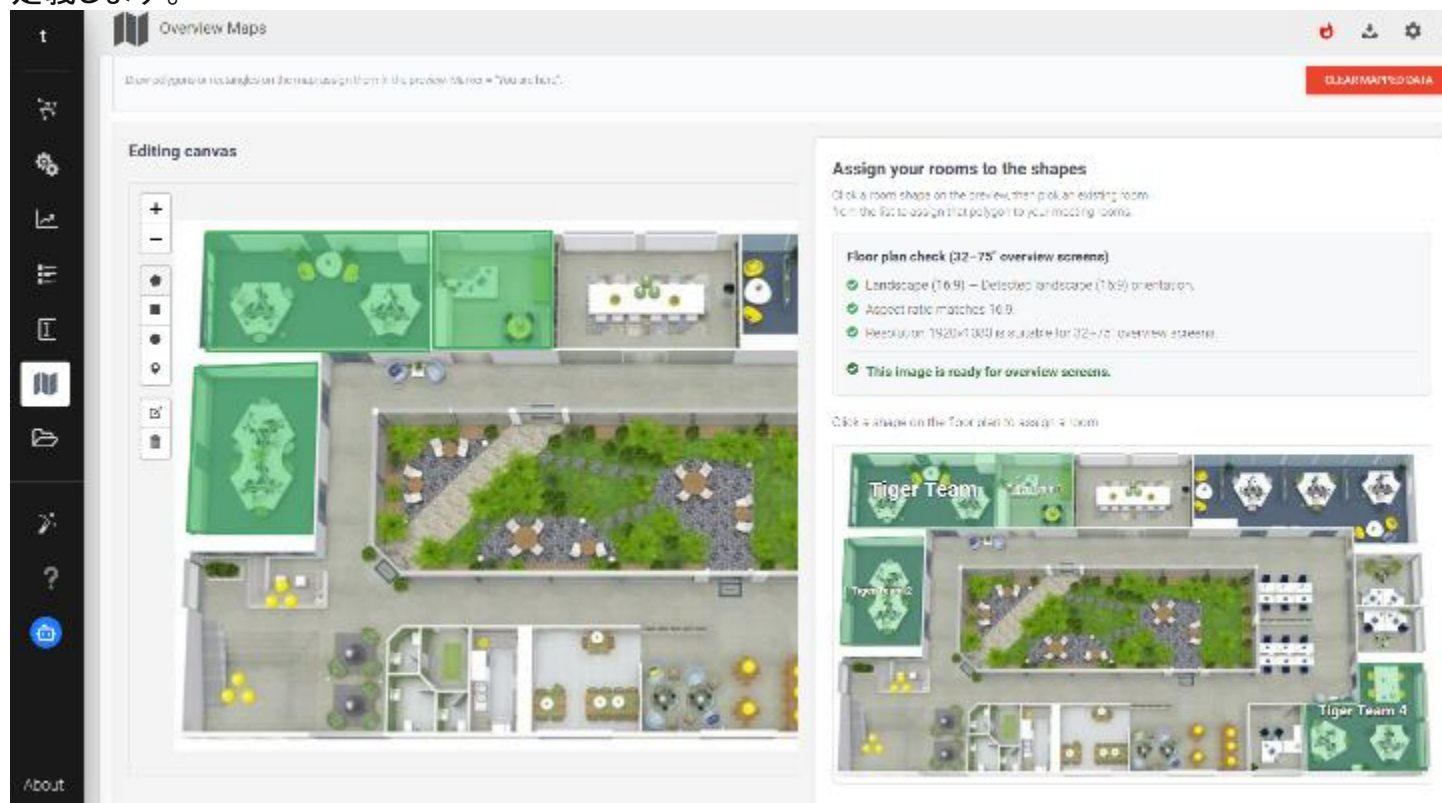
キャンバスの左端にある垂直ツールストリップは、管理者が標準的な GIS スタイルのベクトルを使い、会議空間の境界を正確に境界するために使用されます。

- + / - (ズーム操作):キャンバスのスケールを調整し、正確なアンカー配置を行います。
- ポリゴンツール:複雑な建築境界のために不規則な幾何学的線をプロットします。
- 長方形ツール:標準的な対称的な部屋に完璧な 4 点バウンディングボックスを瞬時にスナップできます。
- 円形ツール:丸みを帯びたまたは楕円形の建築構造を囲むものです。
- マーカーツール(ピン):最終表示ボードを使って視聴者に位置を指示するための静的な「You are

here」ビーコンを地図上に設定します。

- レイヤー編集 / 削除(ゴミ箱アイコン):既存のベクター座標を修正または消去します。

管理者は個々の建築ゾーンに緑色の半透明の形状をなぞり、独立したインタラクティブなホットゾーンを定義します。



自動間取りの整合性チェック:

形状を読み込む際、TigerMeeting は接続されたキオスクモニター間でアスペクト比の一貫性を確保するためにバックグラウンド検証ループを実行します。フロアプランチェックマトリックスは、マルチポイントグリーンインジケーターバッジを通じてエンジン互換性を確認します:

- ✓ 地形(16:9)– 地形の検出(16:9)向き。
- ✓ アスペクト比は 16:9 に合わせています。
- ✓ 解像度 1920 × 1080 は 32~75 インチのオーバービュースクリーンに適しています。

検証基準が一致すると、システムは確認バナーを表示します:「この画像は概要画面の準備が整いました。」

ベクター形状をカレンダーにマッピングする

物理的なレイアウト境界をライブスケジューリング動作にリンクさせるには、編集キャンバス内で新しく描画された緑色のベクターハイライトゾーンを選択してください。

「Assign your rooms」の形状サイドバーパネルで、インポートしたカレンダーリストから既存の部屋を選択します(例:Tiger Team、Tiger Team 1、Tiger Team 2、Tiger Team 4)。

プラットフォームはカレンダーエンティティ ID をその空間領域に割り当てます。

最終レイアウトプレビューでは、割り当てられたスペースの範囲内にリアルタイムの視覚ラベルを直接表示し、地図が完全に設定されて表示ネットワーク全体で公開できる状態であることを確認できます。

地図を保存してください。

地図を保存した後は、画像の変更やポリゴンの再描画など、後の段階で編集が可能です。

重要: ベクターレイアウトは下の画像レイヤーから完全に分離されています。つまり、画像自体、解像度、向きを変えてもベクターレイアウトは変わらず、これは良い面と悪い面の両方があり、管理者が認識しておくべきです。

良い面:

- 同じサイズと向きの他の画像と組み合わせて変更でき、部屋の位置に影響しない間取図の変更など、同じ画像が大きく変わらない場合に非常に役立ちます。

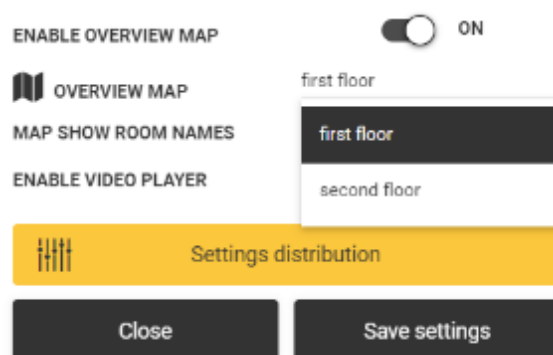
ネガティブな面:

- 2D の間取りを 3D 画像に変更すると、ベクターポリゴンのレイアウトが歪む可能性が高いです
- 画像解像度を HD から 4K に変更すると、ベクターレイアウトが新しい画像の上隅に集まり、ベクターポリゴンの再作業(そして新しいマップとして保存)が必要です。

マップを概要画面に割り当てる

ネットワークリストに移動し、「概要画面」を選択し、デバイスを選択します。

「概要マップ」ラジオボタンを有効にし、以前に編集した地図のいずれかを選択します。



部屋名がポリゴンに表示されていなければ、簡単に消すことができます。

注意:「Tigermeeting の使い方」ビデオガイドのご

<https://www.youtube.com/@tigermeeting/playlists> をご覧ください。

デバイス変更 - 交換

一部またはすべての機器を交換する必要がある状況もあります。

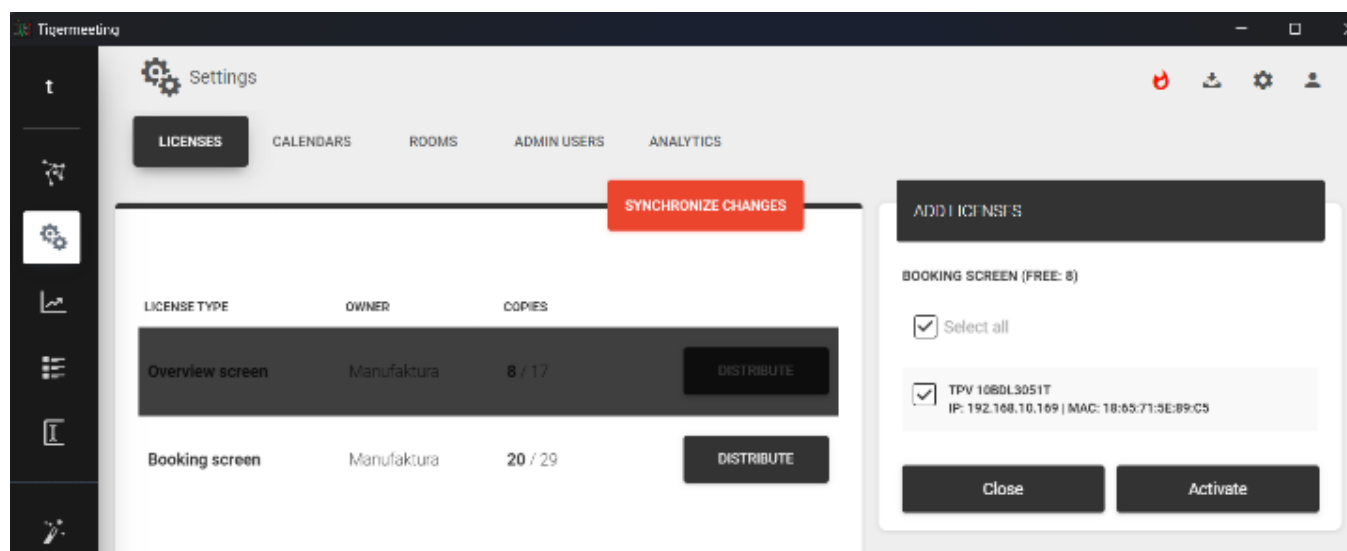
Tigermeeting のライセンスは永続的であり、組織内のデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいています

組織がライセンスを所有しています。したがって、組織が購入した範囲内であれば、設定済みデバイスからライセンスを切り離し、同じライセンスを他の新しいデバイスにアタッチすることも可能です。

- 一. TigerMeeting の APK を新しいデバイスにインストールし、管理者アプリに表示させてください
- 二. ネットワークタブでデバイスプロパティを編集し、古いデバイスからライセンスを一つずつ切り離してください。



- 三. 設定>ライセンスタブで、解放されたばかりのライセンスを非ライセンス画面に割り当ててください



- 四. ネットワークタブの「非ライセンス」デバイスを削除してください
- 五. ライセンス済みデバイスを設定し、SYNCHRONIZE で変更をデプロイします。

ネットワークからデバイスを削除してください

場合によっては、デバイスをネットワークから削除する必要があります。
これらの事例には以下が含まれます:

- デバイス修理

- 装置の交換
- 永久的な削除
- デバイスの工場出荷時リセット
- デバイスを別の環境に移動させる

このような場合、TigerMeeting ネットワークから削除することが推奨されます。そうしないと、このデバイスは常に切断された状態が表示されます。

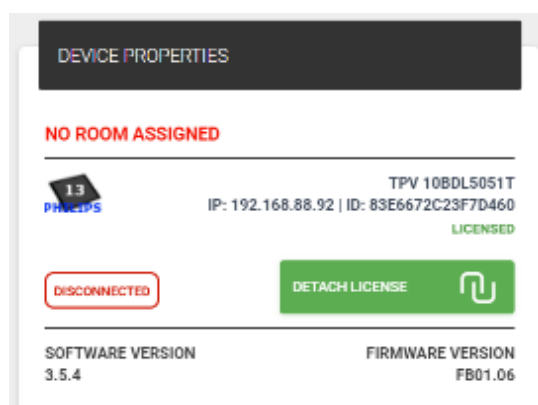
Tigermeeting ネットワークは、MAC アドレスまたは AndroidID でデバイスを識別します。

MAC アドレスは Android 8 までのデバイスで使用されており、永久的です。

Android 9 以降のデバイスでは、AndroidID は工場出荷時リセットのたびに再生成されるため、リセットされたインストール済みデバイスはネットワーク上でライセンスなしで新しいデバイスとして表示されます(場合によっては同じ IP アドレスで)。

TigerMeeting ネットワークからデバイスを削除する手順:

- 一. デバイスの電源を切るか、ネットワークインターフェースをオフにして「切断」にしてください。
- 二. デバイスが永久に削除された場合は、ライセンスを解除して他のデバイスで使えるようにしてください



三. デバイスをネットワークから削除してください



注意: 再起動後、削除されたデバイスは新しい未知デバイスとして再びネットワークに参加しようとします。

デバイスを別のネットワークセグメントに移動させる

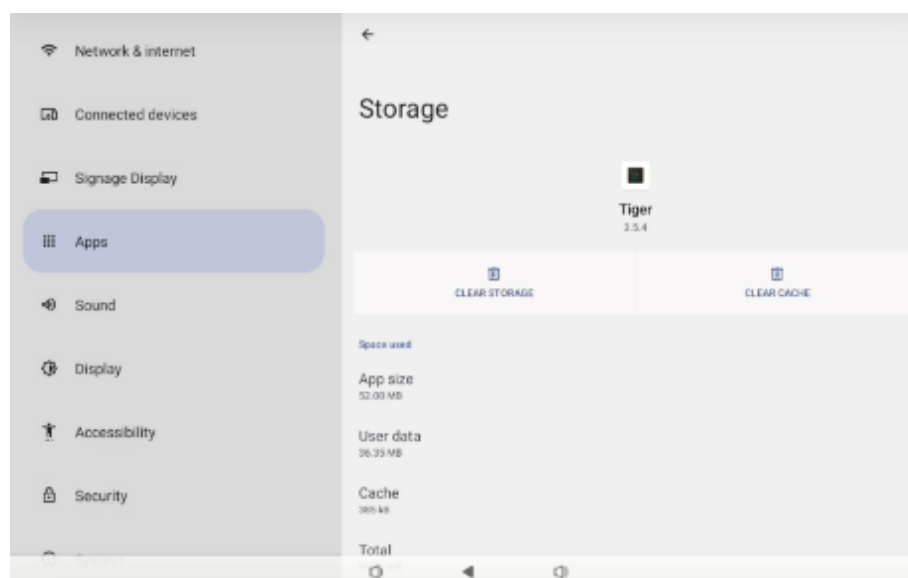
TigerMeeting はオンプレミスのカレンダーソリューションとして、VLAN やサブネットなどのネットワークセグメント上の通信に大きく依存しています。

Tigermeet で設定されたデバイスがあるネットワークセグメントや別の組織へ移動すると、設定に問題が生じる可能性があります。

Tigermeeting アプリケーションは新しいネットワーク構成を使い始めますが、設定データベースが新しいセグメントの設定と一致しない可能性があります。特に、すでに別の Tigermeeting のインストールがそこに設定されている場合はなおさらです。これにより、データベースの競合状態が生じ、避けるべき(絶対に)避けるべき状態になります

解決策と推奨される方法は以下の通りです:

- 一. 上記の手順に従って、ネットワークからデバイスを削除してください
- 二. Android の設定メニューにアクセスするためにデバイスをメンテナンスモードに設定してください
- 三. ネットワーク(Wi-Fi とイーサネットの両方)をオフにしてください
- 四. アプリ(アプリケーション)メニューに移動します
- 五. インストール済みの Tiger アプリを探す
- 六. ストレージ&キャッシュへナビゲーション
- 七. ストレージとキャッシュクリア



- 八. デバイスを希望するネットワークセグメントに移動します
- 九. ネットワークを有効にして設定してください。

注意: 新しいネットワークセグメントに設定済みの Tigermeeting デバイスが含まれている場合、新しいデバイスは自動的に適応しネットワークの一部となります。管理アプリで設定してください。

異なるネットワークセグメントとの連携

管理者アプリはステートレスツールです。

ネットワーク上のデバイスのブロードキャストメッセージを受信します。デバイスから共有データベースを取得し、同じネットワークセグメント内のデバイスの設定を編集・変更できる親しみやすいユーザーインターフェースを提供します。

同じ Admin アプリを別のネットワークセグメントで別の顧客に使用することも可能であり、Admin アプリはこれらの機能を実行するよう設計されています。

しかし、一つ非常に重要な制約があります。それは管理者アプリの再起動です。ログアウトしてネットワーク(WiFi かイーサネットか)を変更するだけでは不十分です。管理者アプリ全体を閉じて起動する必要があります。

やってはいけないこと

- 管理者アプリが稼働している間にネットワークを変更すると、2 つの異なるネットワークセグメントを混在・統合できます
- 管理者アプリからログアウトしてネットワークを変更しただけで、2 つのネットワークセグメントをマージするリスクはありませんが、発見が期待通りに機能しないかもしれません

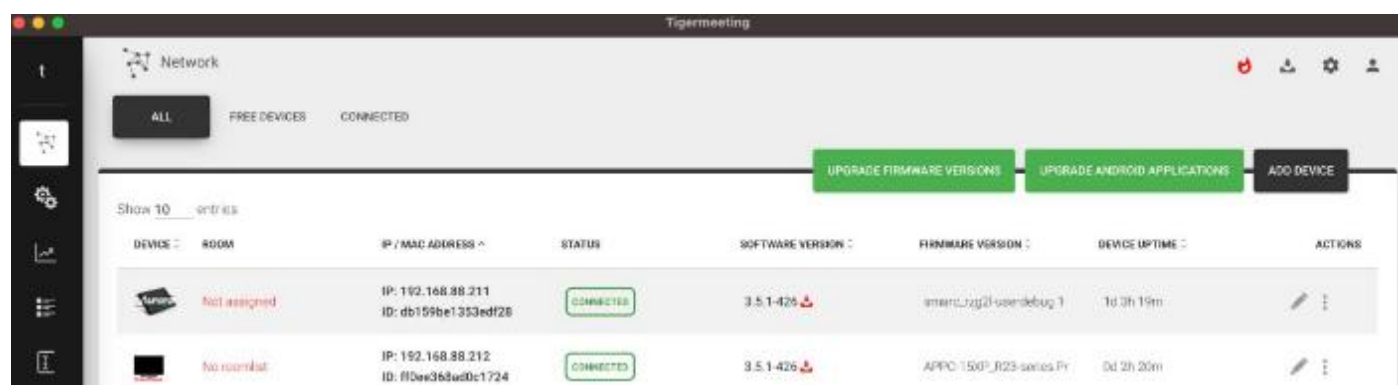
やって

管理者アプリからログアウトする -> 管理者アプリを閉じる -> ネットワークを変更する -> 管理者アプリを起動する -> 再度ログインする

ソフトウェアおよびファームウェアのアップグレード

ソフトウェアアップグレード

ソフトウェアアップグレードはほぼすべてのデバイスでサポートされており、Tigermeeting はすべてのお客様に無料のソフトウェアアップグレードを誇りを持って提供しています。



新しい Android ソフトウェアの利用可能情報は管理者アプリの>ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは画面の赤いアップグレードサインを押すことで1台のデバイスをアップグレードするか、すべてのデバイスをアップグレードする機会があります(「ANDROID APPLICATIONS をアップグレード」を押すことで)

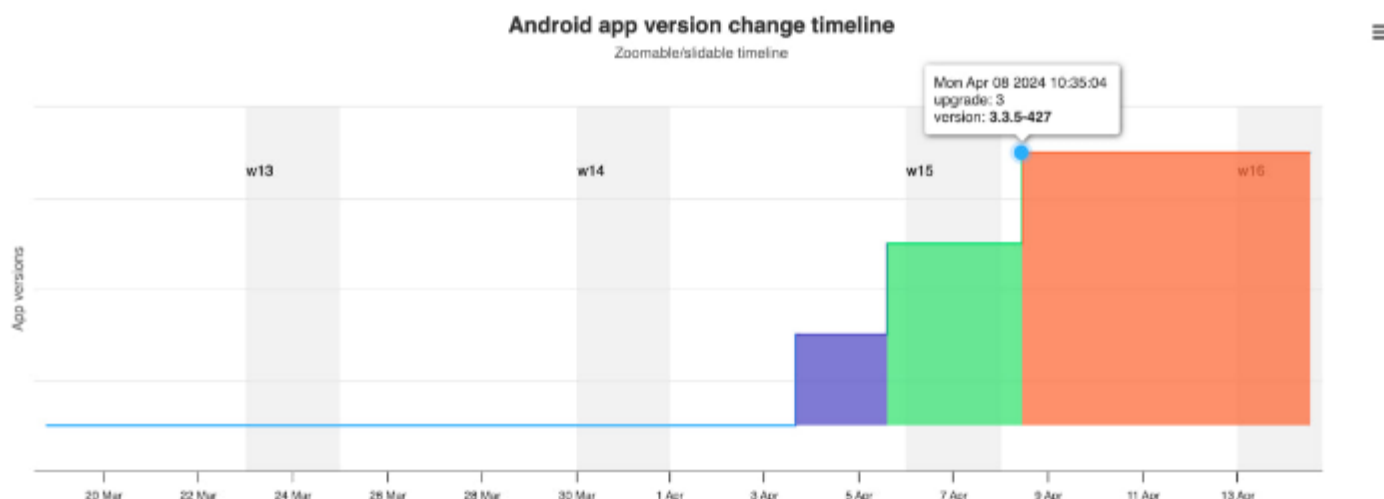
注記:

- 一. 技術的には、スクリーンは新しいソフトウェアアップデートの可用性をポーリングします。つまり、Tigermeeting クラウドにアクセスできなければ、スクリーンは新しいソフトウェアアップデートを検出しません。しかし、新しいリリースノートが送信された後、画面が Tigermeeting クラウドにアクセスできるのは 2 時間以内です。スクリーンはアップデートをダウンロードでき、アップデート自体はインターネットから完全に切り離されたオンプレミスで実行できます。
- 二. Tiger アプリケーションはアップグレードをダウンロードするためにストレージアクセス権限を持っている必要があり、そうでなければダウンロードが失敗する可能性があります。
- 三. 画面のファームウェア、Android のバージョン、設定によっては、更新手順にユーザーの操作が必要になる場合があります。Tigermeeting の開発は完全なハードウェア統合を目指していますが、Google Play Protect やその他の Android セキュリティプロセスがアップグレードプロセスに干渉し、画面上の確認を求めることがあります。これは大規模なインフラや遠隔地では困難を伴うことがあります。したがって、ハードウェアを選ぶ際には画面機能の選択が非常に重要です。

ハードウェアを購入する前に、必ず Tigermeeting のハードウェア互換性マトリックスを参照してください。

ATiger を自分の環境で自分の画面でテストすることを強く推奨します。

ソフトウェアのバージョン変更は、Analytics -> デバイス ID セレクターで追跡されます。



ソフトウェアのリリースノートは管理者アプリケーションの「About」メニューで公開されています

重要: Tigermeeting Android APK は Tigermeeting 署名によって署名されます。この署名はソフトウェアのアップグレード時に非常に重要です。管理者アプリによってオーケストレーションされたソフトウェアアップグレードは、署名が削除、再署名、変更された場合に失敗します。

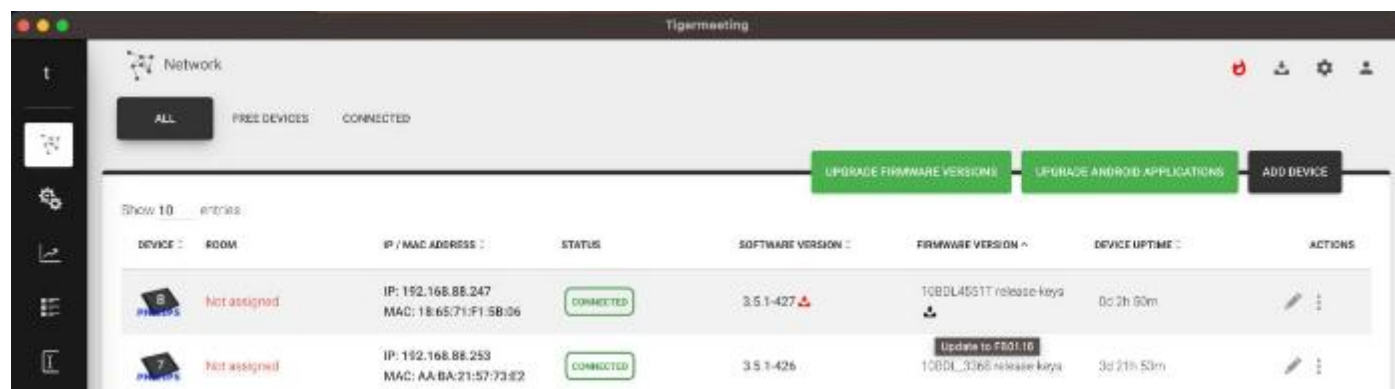
ファームウェアのアップグレード

ファームウェアのアップグレードは対応デバイス専用です。Philips の Android ベースの画面もその一

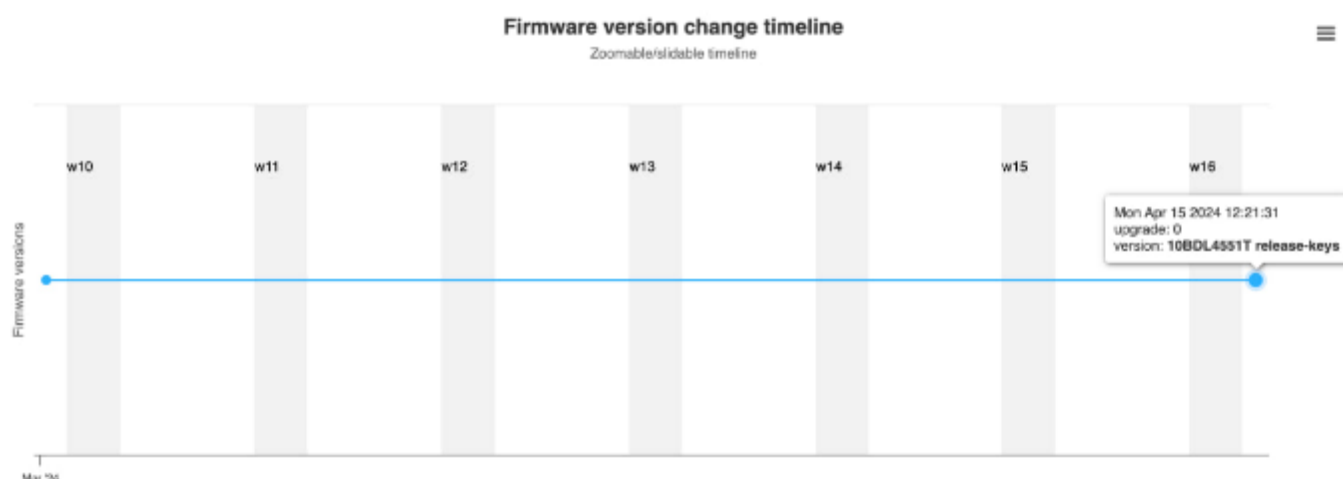
つです。

Tigermeeting はファームウェアがテストされ、Tigermeeting の品質保証の厳格なテストに合格した後にファームウェアアップデートをリリースします。

ファームウェアの利用可能性は管理者アプリの>ネットワークリストに表示され、管理者ユーザーは画面列の赤いアップグレードサインを押すことで1台のデバイスをアップグレードするか、すべてのデバイスをアップグレードする機会があります(「UPGRADE FIRMWARE VERSIONS」を押すことで)



ファームウェアのバージョン変更は、Analytics ->デバイス ID セレクターで追跡されます。



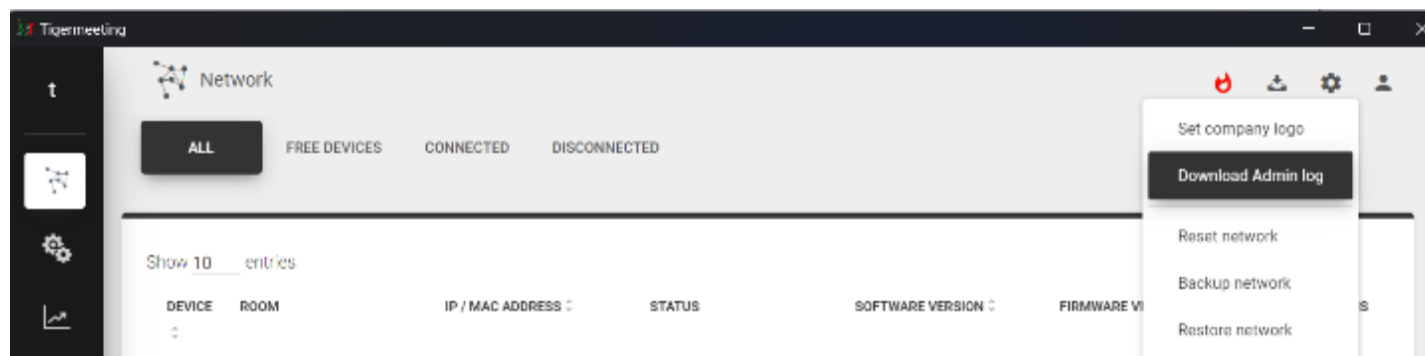
注意: Tigermeeting はファームウェアのアップグレードによる損傷について一切責任を負いません。ファームウェア自体はハードウェアメーカーからの変更されていない署名済みパッケージです。利用規約の文書で詳細はこちらをご覧ください:<https://tigermeeting.app/terms-of-service>

トラブルシューティング

管理者アプリと各デバイスの両方にトラブルシューティングログが有効になっています。これらのログは、将来的な問題のトラブルシューティングに非常に役立ちます。

管理者ログをダウンロード

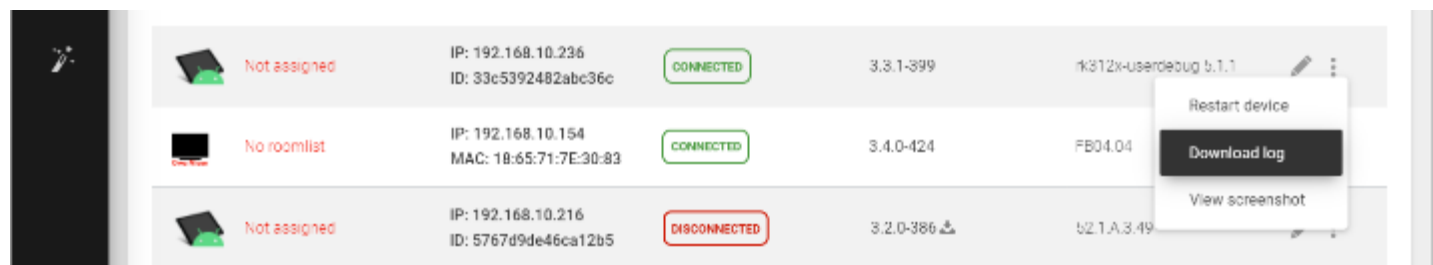
設定メニュー(右上の歯車のシンボル)から管理者アプリのログをダウンロードしてください。



ダウンロードされたログファイルには、Tigermeeting-AdminLog-29-02-2024-2343.log のような説明的なファイル名が付けられています。ファイル内容のリネームや編集はご遠慮ください。

デバイスログをダウンロード

ネットワークメニューからデバイスを選択し、行の末尾にある 3 つの点をクリックすると、デバイスログをダウンロードできます。
デバイスは「接続済み」状態である必要があることにご注意ください。



ダウンロードされたログファイルは、Tigermeeting-DeviceLog-(18-65-71-5E-89-C5)-29-02-2024-2345.log のような説明的なファイル名を持っています。ファイルの内容を変更したり編集したりしないでください。

ログは暗号化されたテキストファイルで、メールで安全に送信できます。ご要望があれば、Tigermeeting カスタマーサポートに送信してください。

デバイス UID(ユニット識別)

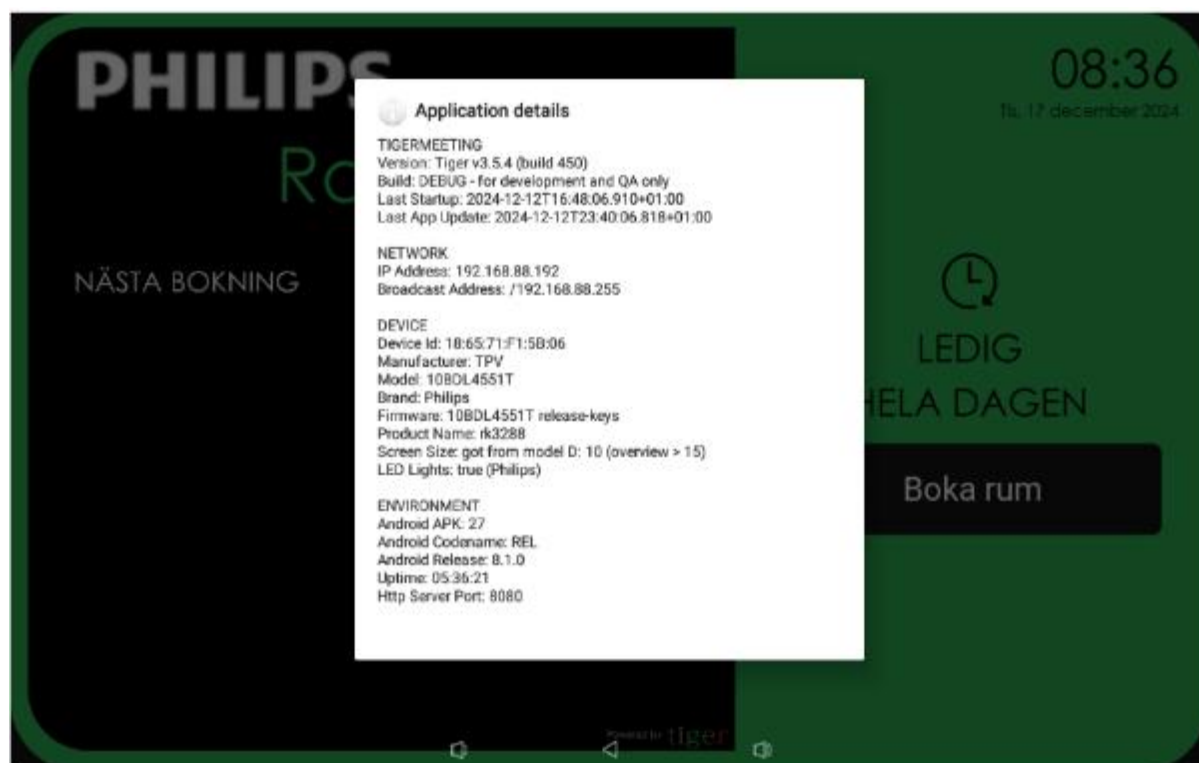
管理者がデバイスを識別する必要がある場合、Device UID(ユニット識別)を用いて特定のデバイスを容易に識別できます。

UID サーバーインフラエリアで一般的に使われている技術 – サーバー前面のボタンを押すと、前後の LED ランプが点灯し、ラック内のサーバーの識別が容易になります。

	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL4551T release-keys	LICENSED	Ud 4h 52m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	CONNECTED	3.5.4-450	10BDL_3568 release-keys	LICENSED	44d 0h 21m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.104 MAC: 18:65:71:7E:2E:E8	CONNECTED	3.5.4-450	FB04104	LICENSED	35d 17h 11m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.91 ID: 3a3be43c11a2ff30	DISCONNECTED	3.5.4-450	v3.12.3_020240910.20	LICENSED	1d 0h 32m	
	Not assigned	IP: 192.168.88.240 ID: bfec3651d61b24dc	CONNECTED	3.5.4-450	MVR09M A500FLUXU103F1	LICENSED	2d 18h 16m	

- Restart device
- Download log
- View screenshot
- View device info
- Device UID
- Maintenance mode

デバイス UID リクエストを使用すると、デバイスは画面上にユニット識別ウィンドウを表示します。

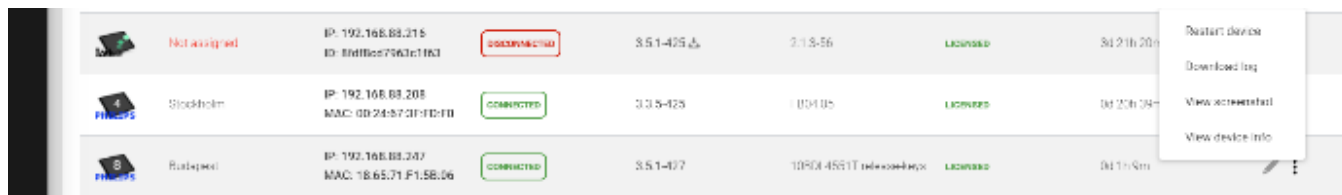


注: ユニット識別ウィンドウは、次の再起動や画面タッチ(オンスクリーンタッチが有効の場合)まで画面を覆い続けます。

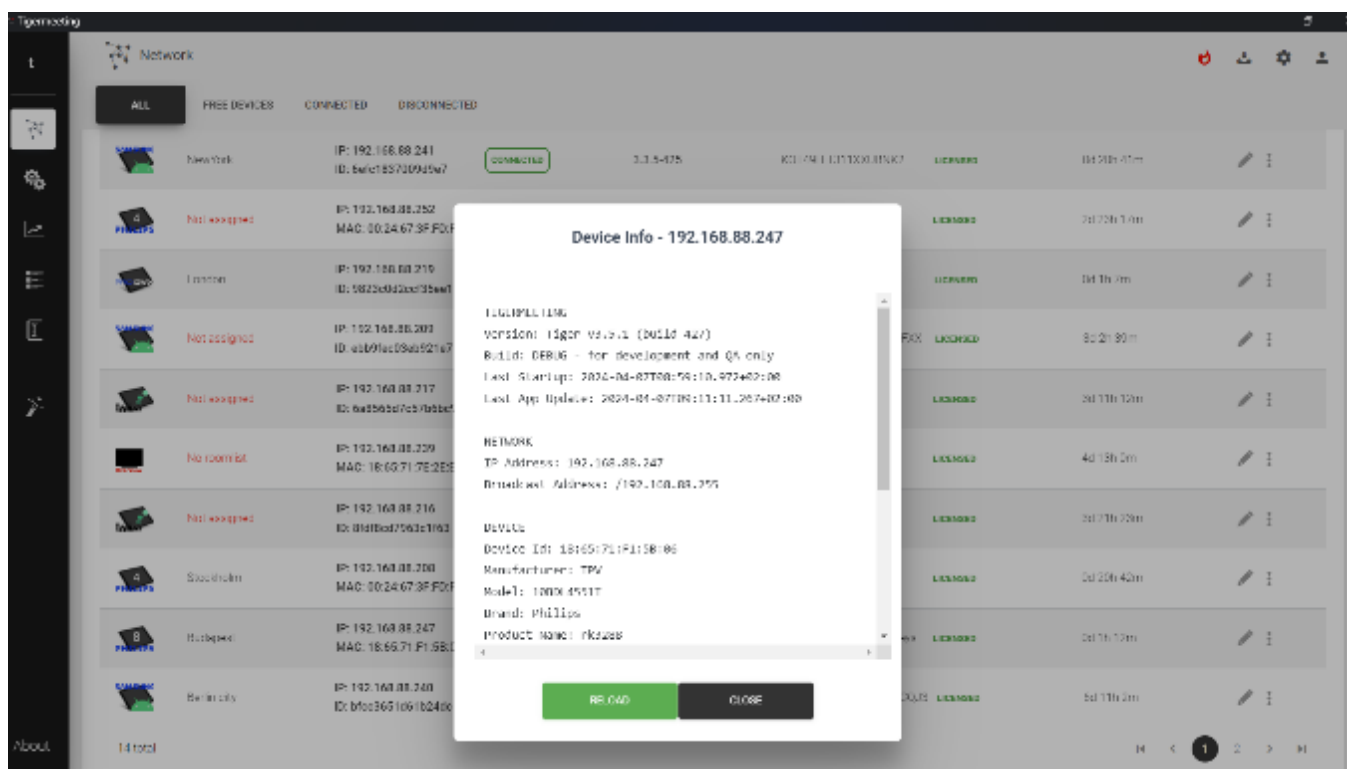
デバイス情報を見る

デバイスの詳細をもっと知ることが役立つ場合もあります。

関連するハードウェア、ソフトウェア、ベンダー固有の API 情報を収集する機能「デバイス情報表示」をご利用ください。



デバイスが「接続」状態の場合、情報はすぐにスクロール可能な形式で表示されます。



この情報には、トラブルシューティング時に有用となるベンダー固有の API 情報が含まれています。ご要望があれば、ぜひ Tigermeeting のサポートにこの情報を共有してください。

例:

```
ベンダーAPI getDeviceInfo = { "status": "OK", "deviceKey": "ProDVXapi",
"deviceManufacturer": "ZDMID", "deviceModel": "APPC-7XPL", "deviceProduct":
"rk3368", "deviceDisplay": "APPC-7XPL.AP6255.ProDVX.LVDS-1024x600.HW-
V1.1_1.11.10e.A23_04", "devicePlatform": "rk3368", "androidSdk": 27,
"androidVersion": "8.1.0", "serialNumber": "7XPL22900181", "ip4Address":
"192.168.88.219", "screenBrightnessInternal": 200, "screenBrightness": 78,
"showSystemBars": false, "touchScreenEnabled": true, "deviceInteractive": true,
"apiAppPackageName": "com.prodvx.api", "apiAppVersion": "1.0",
"apiAppVersionCode": 20, "apiAppSystemSigned": true, "apiAppSystemFlagged": true,
"apiAppSystemUser": true}
```

タイガーミーティングルームのパラメータ

Tigermeeting のインフラストラクチャでは、設定をデバイス間で共有(セット配布)することもでき、各デバイスが言語から LED やブッキングの動作パラメータまで独自の設定を持つことも可能です。

Analytics の DeviceID セレクター>には、部屋ごとの設定詳細が表示されます。

Tigermeeting room parameters

key	value
booking_mode	today
clock_type	24h
calendar_sync_interval	10000
check_app_state_interval	1000
check_new_booking_interval	10000
confirm_after_start_interval	600000
confirm_before_start_interval	900000
confirm_interval	900000
default_confirmation	0
default_duration	15
device_id	18:65:71:F1:5B:06
duration_step	5
enable_cancel	1
enable_disable_confirmation	1
enable_reservation	1
greeting_text	Conference rooms
language	en
roll_step	5
screen_saver_interval	3600000
screen_saver_enabled	0
show_title	1
timeline_duration	4
timezone	Europe/Belgrade

この情報はシステムのトラブルシューティングに非常に役立ちます。
もしこの情報を求められたら、ぜひ Tigermeeting のカスタマーサポートに共有してください。

メンテナンスモード

Tigermeeting のソリューションは主に公共の場で使われており、悪意ある攻撃や画面の悪用を防ぐためのセキュリティ対策が必要です。

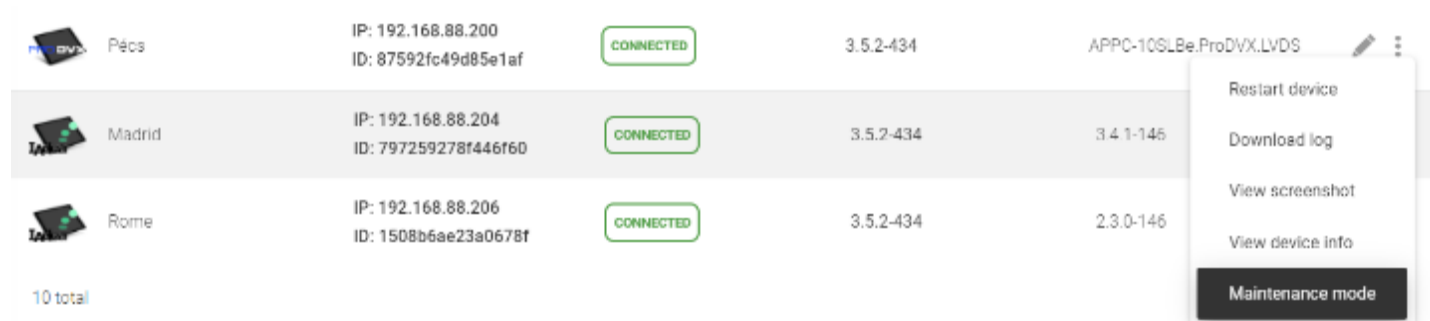
そのため、Tigermeeting アプリは標準的な Android 技術を使って画面全体を占領し、アクセスを無効化します。例えば:

- SYSTEM_UI_FLAG_LOW_PROFILE:ステータスバーのアイコンが暗くなります。
- SYSTEM_UI_FLAG_HIDE_NAVIGATION:ナビゲーションバーが隠されています。
- SYSTEM_UI_FLAG_FULLSCREEN:ステータスバーが隠されています。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_STABLE:安定したレイアウトを維持するのに役立ちます。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_HIDE_NAVIGATION:ナビゲーションバーがアプリのコンテンツに重ねて表示されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_LAYOUT_FULLSCREEN:ステータスバーがアプリのコンテンツに重ねて表示されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE:ユーザーはスワイプジェスチャーでシステムバーを表示できますが、自動的に再び隠されます。
- SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE_STICKY:SYSTEM_UI_FLAG_IMMERSIVE と似ていますが、システムバーは一時的に表示されます。

同様に、デバイスサプライヤーが不要な画面アクセスをブロックするための API インターフェースを提供している場合も、それらも利用されます。

ユーザーは Tigermeeting がデバイス全体を占めており、デバイスにアクセスできないと感じるかもしれません。しかし多くの場合、これは事実ではありません。サプライヤーの機器マニュアルを読むことで、いくつかのボタンの組み合わせやパスワードで保護されたダイアログがあり、システムバーやデバイスメンテナンス作業を行うためのボタンが表示されることがわかるかもしれません。

サプライヤーAPI がメンテナンスをブロックし、画面を解除するために API 呼び出しが必要な場合もあります。(ProDVX や Allnet デバイスがその例です。)

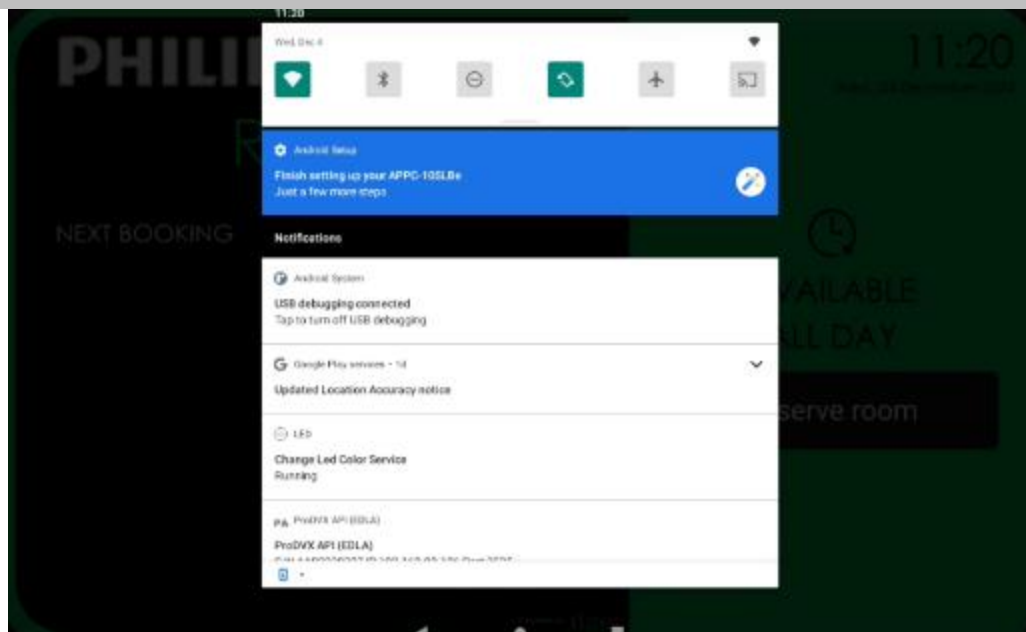


対応デバイスには「メンテナンスモード」が表示されます。

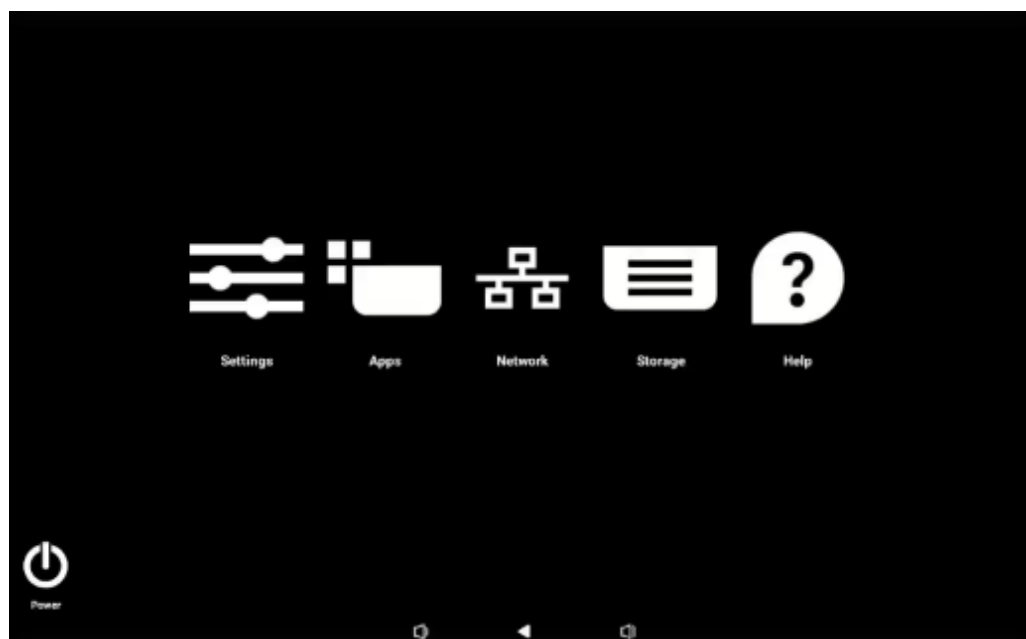
デバイスは手元に置いておくといいです。一部のデバイスではシステムバーが短時間だけ表示されたり、画面上部から下にスワイプしないとシステムバーが表示されません。サポートされているデバイスでは Android セットアッププログラムが起動されます。

注意: セキュリティ上の理由から、アクティブメンテナンスモードでは絶対にデバイスを無人にしないでください。

上から下にスワイプすると、ProDVX の画面にシステムメニューが表示されます:



Philips(および他の一部の Android 画面)はパスワード保護なしでセットアップアプリを呼び出します

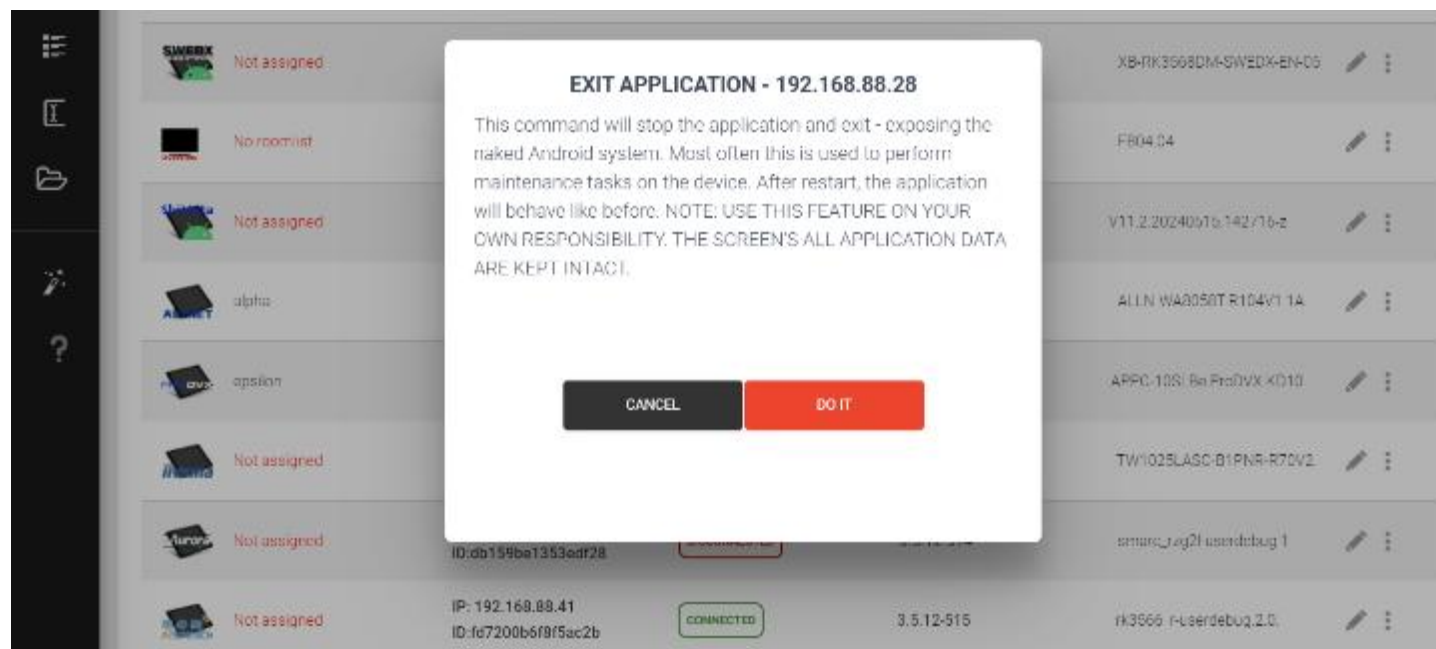


注意:メンテナンス後は、保護を回復するためにデバイスを再起動する必要があります。
特に、曝露された保護されていない機器の乱用リスクが高い公共の場所に設置する場合は重要です。

出口申請

「Exit application」機能も、裸の Android デスクトップに到達するための強力なツールの一つです。
Tiger アプリケーションが画面をロックする場合(公共空間での本番使用時にはそうあるべきですが)、
管理者は画面のメンテナンスや設定作業を行う必要があります。
Tigermeeting アプリケーションはシンプルで優雅に存在し、通常の Android ランチャーを管理者に公開します。

注意: セキュリティ上の理由から、アクティブメンテナンスモードでは絶対にデバイスを無人にしないでください。



ポスト指揮部

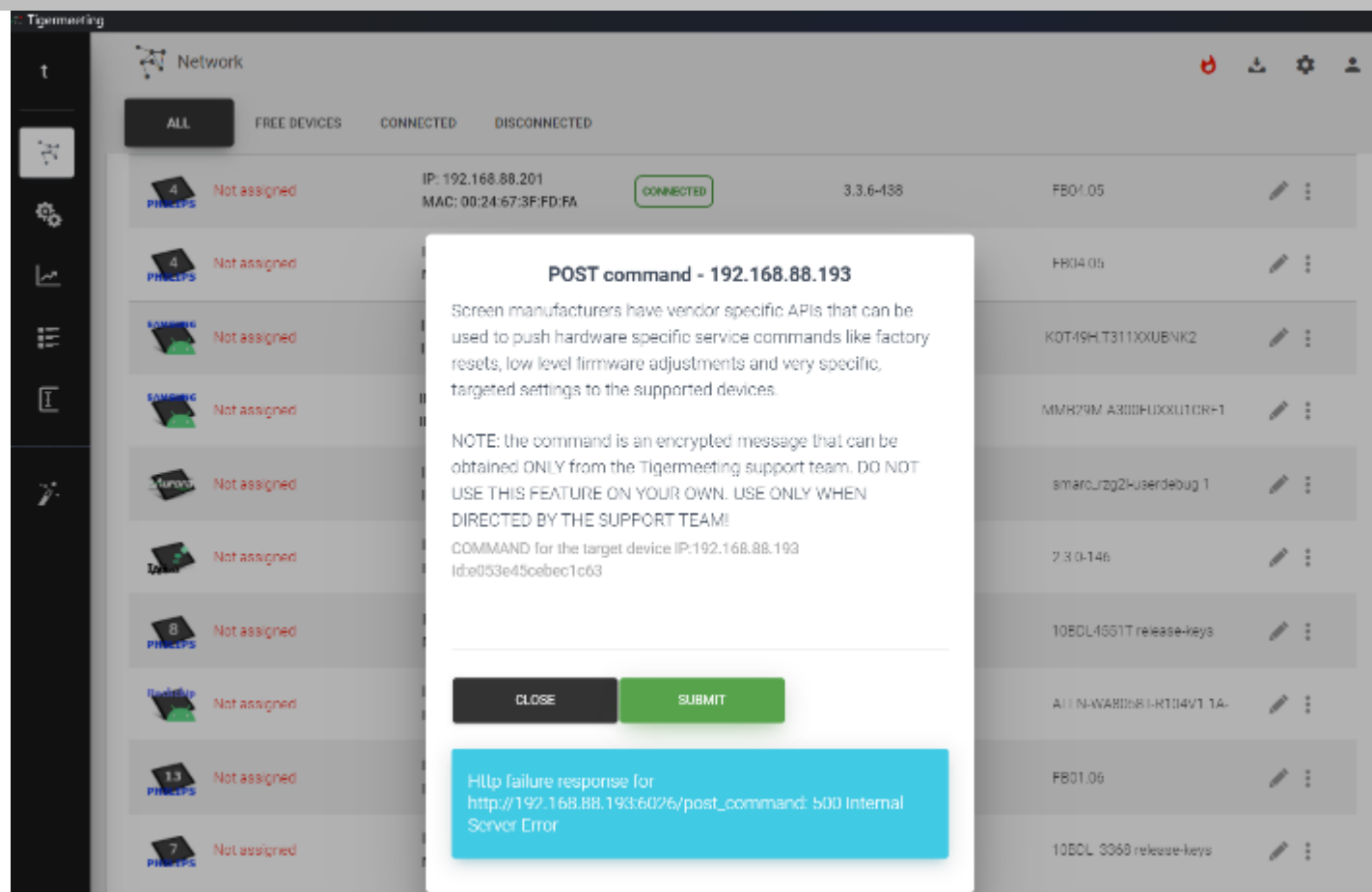
POST コマンドは、Idea、Qbic、Aurora などの対応デバイス向けに利用可能であり、ベンダーAPIによりデバイスに対して非常に低レベルからさらにはセキュリティ調整関連の操作が可能です。メーカーのスクリーンベンダーAPI は公開されていませんが、Tigermeeting は特定の設定やセットアップタスクを実行するターゲットを絞った暗号化メッセージをプッシュし、デバイスと安全な通信手段を提供します。

クリア

	Not assigned	IP: 192.168.88.193 ID: e053e45cebec1c63	CONNECTED	3.5.4-445	2.3.0-146	
	Not assigned	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	CONNECTED	3.5.4-447	10BDL4551T re	
	Not assigned	IP: 192.168.88.101 ID: a0c1cb2fd5c0aa55	DISCONNECTED	3.5.4-445	ALLN-WA8058	
	Not assigned	IP: 192.168.88.95 ID: ec3bdfd1962ab569	DISCONNECTED	3.5.4-444	FB01.06	

- Restart device
- Download log
- View screenshot
- View device info
- Post command

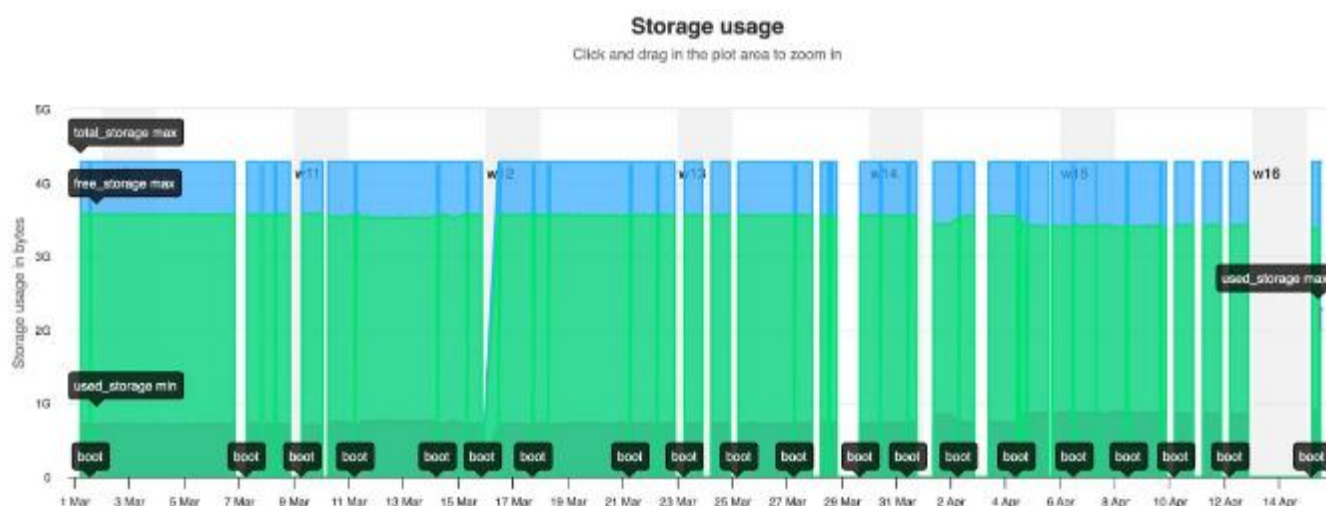
メッセージが Tigermeeting キーで暗号化されていないか、フォーマットが悪ければ、画面はエラーメッセージで応答します。

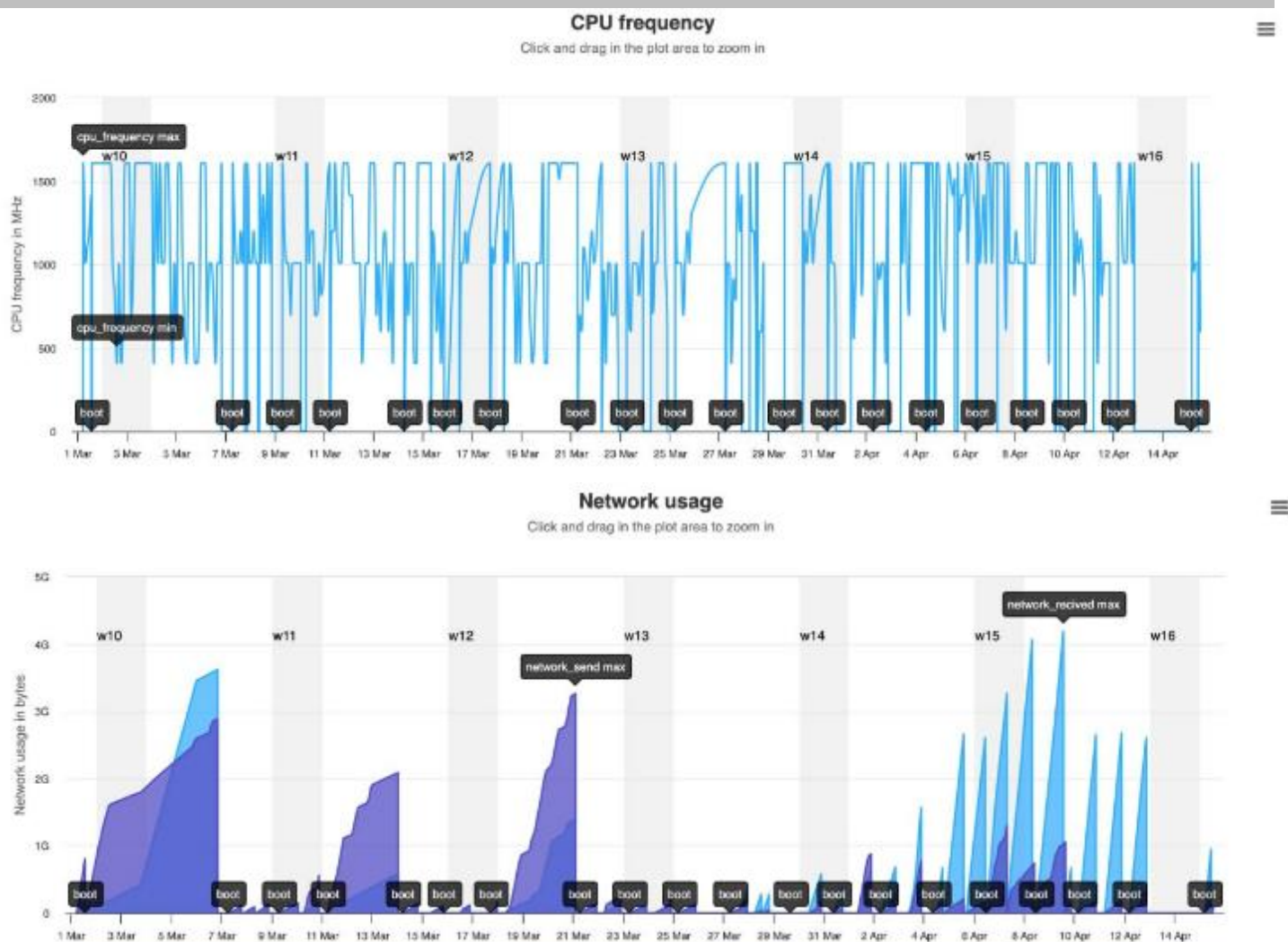


重要な注意:このコマンドは暗号化されたメッセージで、TigerMeeting のサポートチームからのみ取得可能です。この機能はご自身で使用しないでください。
サポートチームの指示があった場合にのみご利用ください!

ハードウェア指標

アナリティクス機能をオンにすると、トラブルシューティングのために貴重なハードウェア関連情報が利用可能になります。デバイスは約 2 時間ごとか、イベント発生時に測定値を送信します。この情報は純粋に MAC アドレスまたはデバイスの Android ID に紐づいています

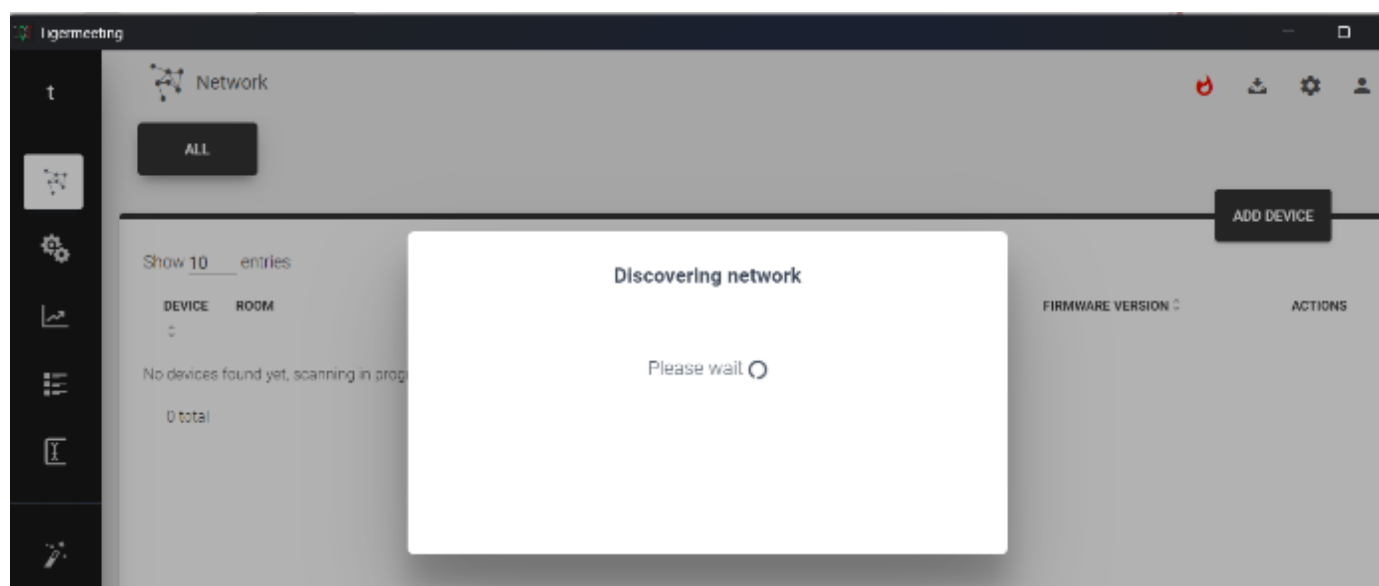




詳細については、プライバシーポリシーおよび GDPR コンプライアンスページをご覧ください
<https://tigermeeting.app/en/features/gdpr-compliance>

デバイス発見の問題

Admin アプリが Tigermeeting アプリを実行している画面やデバイスと同じネットワークセグメントで起動されている場合、デバイスは自動的に検出されます。



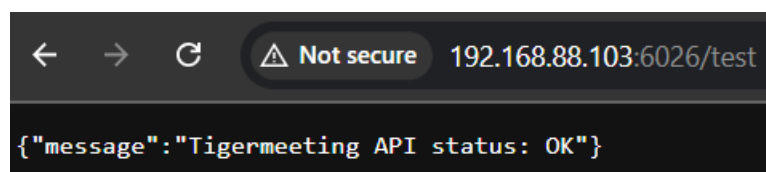
デバイスが検出されない場合は、以下のテストを実施してください:

- 一. ネットワークはネットワーク要件を満たしています(文書の冒頭参照)
- 二. 管理者アプリはネットワーク使用が許可されています(Windows はこの権限を求めて Windows ファイアウォールを通過させる場合があります)
- 三. デバイスがネットワークにアクセスできるか確認してください(例えば ping コマンドでテストするなど)。

VPN 接続やルーターは通常、ネットワークブロードキャストパッケージを転送しません。その場合、デバイスの IP アドレスを入力することで ADD DEVICE ボタンでデバイスを追加できます。

デバイスの IP が正しく、Tiger APK が正しく動作している場合、そして管理者アプリがデバイスと接触できない場合は、ブラウザを開いて以下の URL を入力してください

:http://device_IP_address:6026。期待される応答は以下の JSON 形式です:



応答が異なっていたりタイムアウトした場合、管理者アプリとデバイス上の Tiger APK 間で通信ができません。

管理ログを TigerMeeting サポートに送って分析してください。

注意: 初期の MacOS Sequoia(バージョン 15.x)では、デバイス検出時にすべてのデバイスがオフラインであることに問題がありました:

Show 10 entries

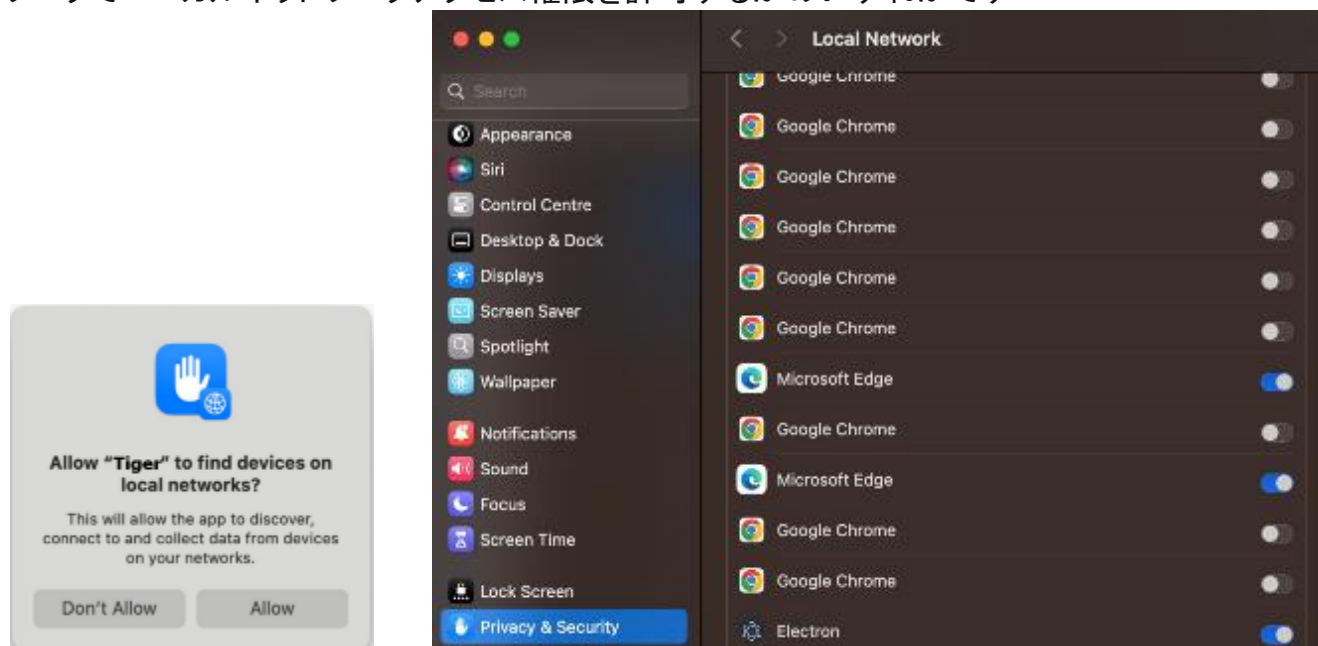
DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS
 4 PINEAPPLE	p_Budapest	IP: 192.168.88.201 MAC: 00:24:67:3F:FD:FA	DISCONNECTED
 4 PINEAPPLE	p_London	IP: 192.168.88.208 MAC: 00:24:67:3F:FD:F0	DISCONNECTED
 7 PINEAPPLE	p_NewYork	IP: 192.168.88.103 MAC: AA:BA:21:57:73:E2	DISCONNECTED
 8 PINEAPPLE	p_Paris	IP: 192.168.88.192 MAC: 18:65:71:F1:5B:06	DISCONNECTED
 10 PINEAPPLE	p_Rome	IP: 192.168.88.193 ID: 1508b6ae23a0678f	DISCONNECTED

この問題は 15.0 から 15.1.x までのバージョンで確認されています

MacOS バージョン 15.2 以降はこの問題は解消され、最新の OS アップデートで解決されたと考えられています。

なお、MacOS Sequoia からは、Tigermeeting 管理者アプリもローカルネットワークアクセスが必要な他のアプリケーションと同様に、ローカルネットワークアクセス 権限が必要です。

最初の起動時に許可するか、後でシステム設定->プライバシー&セキュリティ->ローカルネットワークでローカルネットワークアクセス権限を許可するかのいずれかです



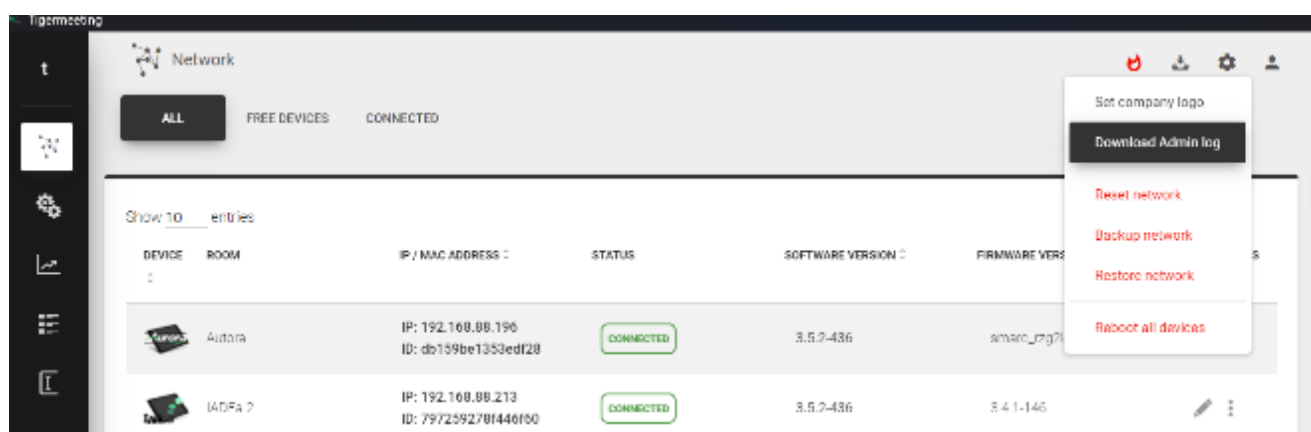
アプリケーション名は Tiger、TigerMeeting、Electron などさまざまです。

ネットワーク再起動

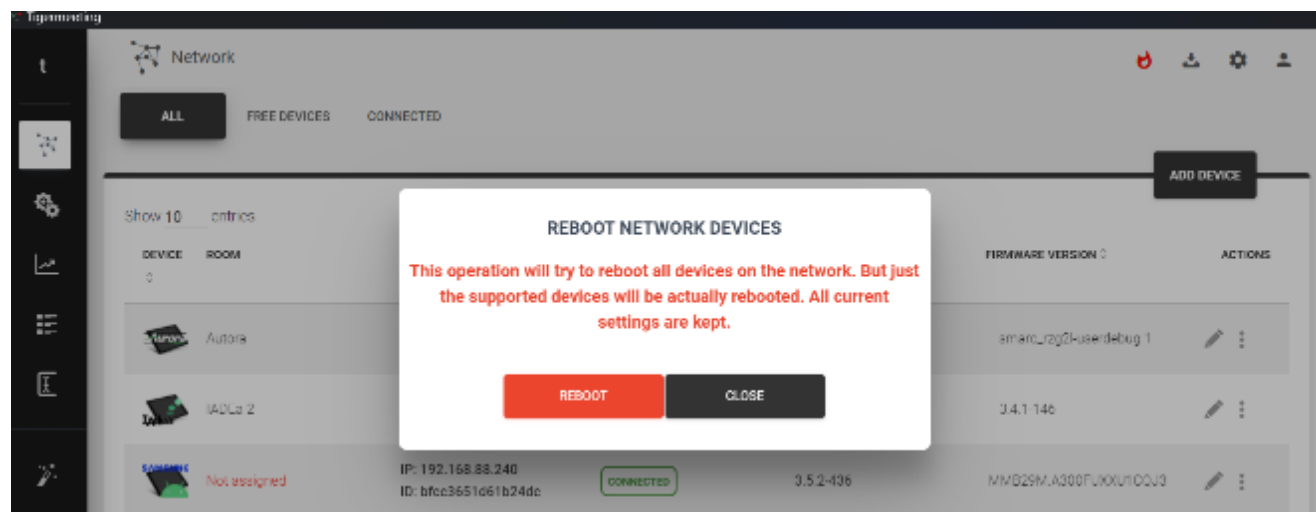
管理者がすべてのデバイスに対してネットワーク全体の操作を行いたい場合もあります。

これらの作戦には以下が含まれます：

- ネットワークをリセット する – すべてのデバイスの Tiger をデフォルトにリセットします。
- バックアップネットワーク - 現在の構成のバックアップを実行する
- ネットワークを復元 する – 以前のバックアップから設定を復元します。
- すべてのデバイスで即時再起動を行う。



リセット、バックアップ、復元操作は直感的ですが、再起動には説明が必要です。



顧客はコマンドですべての設定済みデバイスを再起動すると期待していますが、実際にはサポートされたデバイスだけが再起動を行うことになります。

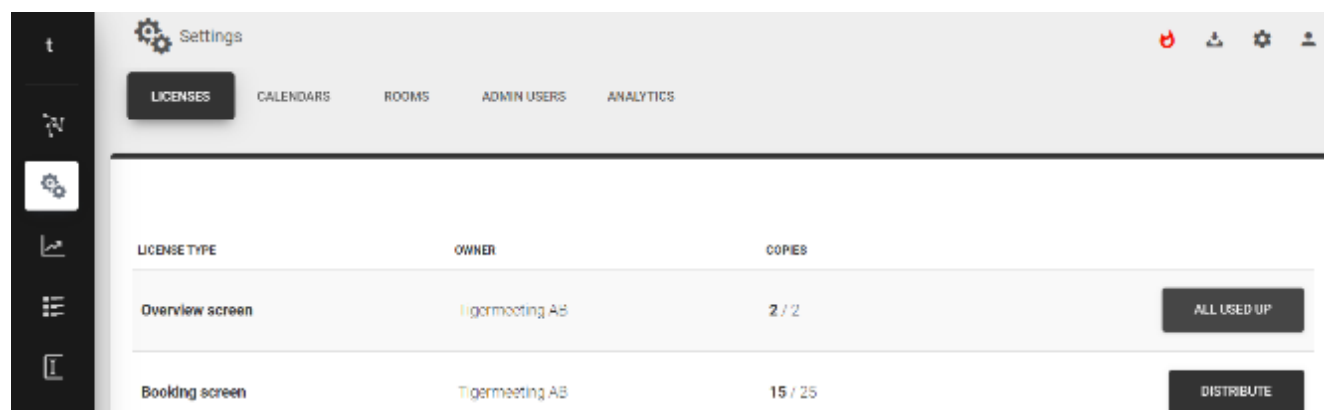
Tiger Android アプリは root アプリケーションではありません。ユーザースペースで動作するため、ベンダーがインターフェースを提供していないデバイスに対してシステム操作を行う権限はありません。

対応機器には Philips、ProDVX、IAdea、Qbic、Aurora の全てのスクリーンやその他多くのメーカーが含まれますが、すべてのスクリーンがサポートされているわけではありません。ハードウェア互換性マトリックスを必ずご確認ください。

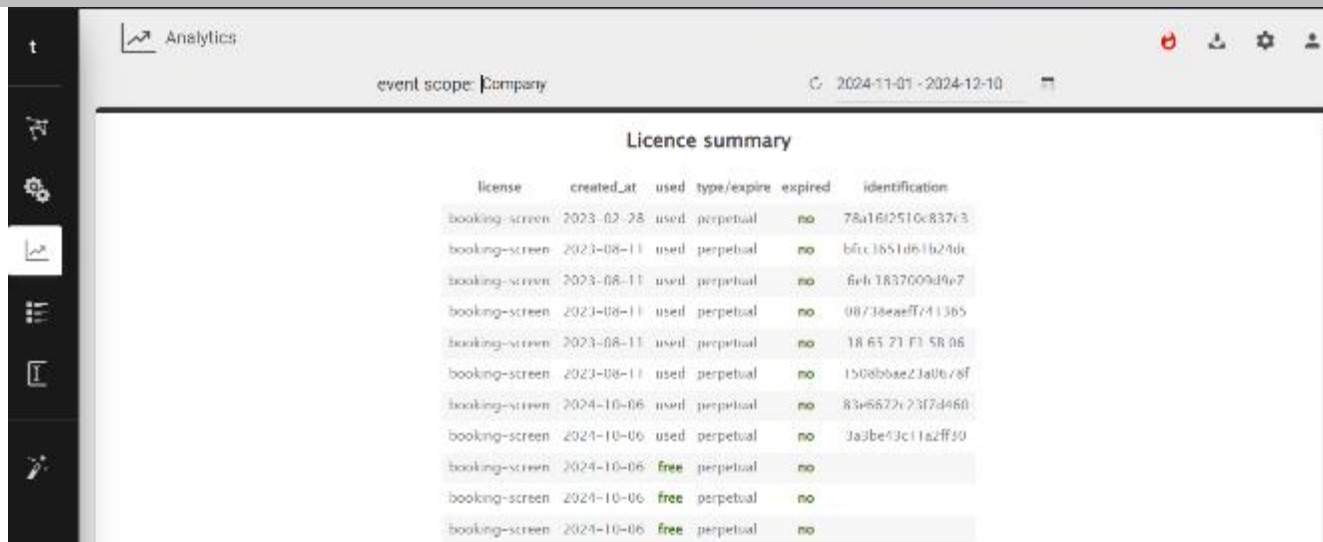
免許証の欠落

前の章からのリマインダー:

ライセンスは管理者アプリで管理されます。管理者ユーザーは以下の操作を行うことができます:
設定>ライセンスで表示・割り当て



Analytics->Company でライセンスの種類、有効期限、割り当てられたデバイス識別を表示



license	created_at	used	type/expire	expired	identification
booking-screen	2023-02-28	used	perpetual	no	78a16d2510c837c3
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	bfc13651d61b24dc
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	66h3837009d9e7
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	08738aeff741365
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	18 65 21 F1 58 06
booking-screen	2023-08-11	used	perpetual	no	150abbae23a0e78f
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	83e6627c23f2d460
booking-screen	2024-10-06	used	perpetual	no	3a3be43c11a2ff50
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	
booking-screen	2024-10-06	free	perpetual	no	

もしライセンス取得デバイスが事前にライセンスを切り離さずにネットワークから削除された場合、ライセンスは「使用済み」状態のまま、非終了デバイスに紐付けられたまま維持されることがあります。

これらの孤児ライセンスを取得するには、Tigermeeting カスタマーサポートに連絡し、デバイスの識別番号(MAC/AdID)を提供して取得を依頼してください。

同じデバイスが異なる識別で複数回

TigerMeeting はデバイスの MAC アドレスまたは Google Android ID を使って、TigerMeeting ネットワーク上のデバイスを識別します。

Android デバイスにおける MAC アドレスと Android ID は異なる目的を持ち、プライバシーや機能性に明確な影響を及ぼします:

MAC アドレス:

- 定義:MAC(メディアアクセス制御)アドレスは、物理的なネットワークセグメント上の通信に割り当てられるネットワークインターフェースに割り当てられる一意の識別子です。MAC はデバイスのネットワークハードウェアのデジタルフィンガープリントです。
- 用途:LAN 内のネットワーク管理や通信に使用されます。ルーターは MAC アドレスを使ってデバイスを識別し、通信します。
- プライバシー:Android 10 から、Google はプライバシーを強化するために MAC アドレスランダム化を導入しました。これは、デバイスが接続する Wi-Fi ネットワークごとに異なる MAC アドレスを使用するため、ネットワークがあなたのユーザーを追跡しにくくしていることを意味します

Android ID:

- 定義:Settings.Secure.ANDROID_ID または SSAID は、デバイスの初回セットアップ時に割り当てられる一意の識別子です。一度だけ生成され、デバイスが工場出荷時リセットされない限り一定のままです。

- 利用法:ANDROID_ID はアプリ開発者がデバイスの識別、安全なアプリのインストール、アプリやサービス間のユーザーアカウント管理に一般的に使用します。広告 ID とは異なり、ANDROID_ID は通常パーソナライズ広告には使用されません。
- プライバシー:ANDROID_ID はユーザーがリセットできませんが、アプリの権限管理や機密デバイス識別子へのアクセス制限などでプライバシーを守ることができます。さらに、デバイスを工場出荷時リセットすると新しい ANDROID_ID が生成されます

ネットワークは常にデバイスの MAC アドレスを使用しているため、Android 10+デバイスではランダムな MAC 変更は Tiger APK で処理されているようです。

ファームウェアの工場出荷時リセットや意識的な Android ID リセットは、ネットワークが新しい Android ID のデバイスを検出してしまうことがあります。新たに発見されたデバイスにはライセンスがありません。

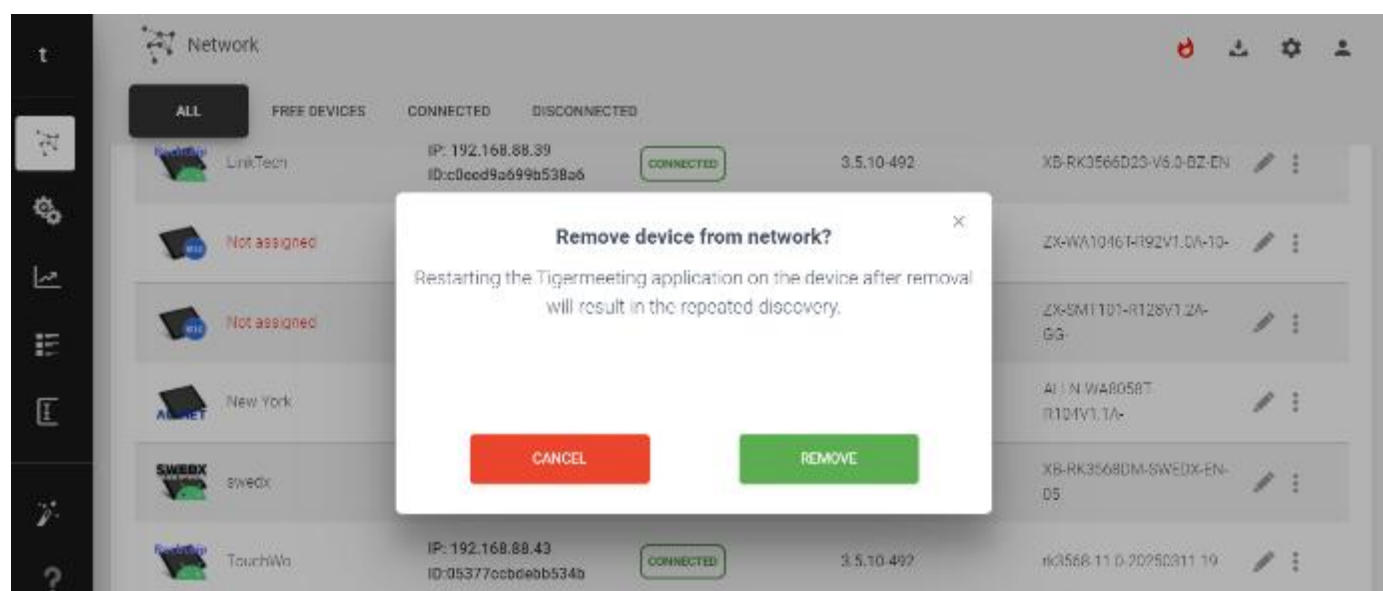
管理アプリ内での問題を解決する:

- 古い ID のデバイスからライセンスを切り離し、削除してください。
- 新たに発見したデバイスにライセンスを付与し、設定してください。

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID:b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID:223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	

上記の例では、切断されたデバイスは安全にネットワークから外すことができます

	levinko	IP: 192.168.88.11 ID:b9abf9677da2f519	DISCONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	
	Not assigned	IP: 192.168.88.11 ID:223fa8f6869d65b4	CONNECTED	3.5.10-492	M68-11.0-10.1-XP-YS0.1-	



…管理ログを見ると、削除されたデバイスのライセンスが切り離され、会社のライセンスプールに

戻されていることが確認できます。

USER	EVENT	TIME	IP	ADMIN
zoli@tigermeeting.app (me)	License detached (b9abf9677da2f519)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)
zoli@tigermeeting.app (me)	Device removed (b9abf9677da2f519 OK)	2025-07-07 08:25:07	83.251.225.184	Windows (3.4.0)

新たに発見されたデバイスには標準手順に従ってライセンスを付与してください: **設定 -> ライセンス**

場合によっては、管理者がログアウトして再度ログインして、「紛失」ライセンスが利用可能なライセンスプールに表示される必要がある場合もありますのでご注意ください。

インテグレーターやディストリビューターの方へ: 画面をある組織から別の組織へ移行するにはどうすればよいですか？

- メーカーはしばしば Tiger アプリをインストールしたまま画面を出荷しますが、**結果として画面にライセンスが表示されません**
- (画面に Tiger アプリがプリインストールされていない場合は、Tigermeeting Android の設定マニュアルに従ってください。結果: 画面にライセンスが表示されません)
- 会社 A はスクリーンをテストし、ライセンスを割り当てます。結果: 会社 A のライセンスが画面に表示されます
- 会社 A はこれらの画面をエンドユーザー企業に売りたいと考えています。例えば会社 B です
- 会社 A は管理アプリの画面からライセンスを切り離す必要があります。これによりデバイスからライセンスが削除されます(ただし画面は会社 A の組織に紐づいたままです)。
- 画面ではネットワークを無効にし、Android 設定では **> Apps & Notifications -> Tiger -> キャッシュをクリア データをクリア** - これにより前の会社(会社 A)の添付ファイルが削除されます。結果: 画面にライセンスが表示されません
- 会社 A は Tigermeeting サポートに、会社 B のテストライセンス作成を依頼します(会社名と管理者のメールアドレスだけで十分)
- 会社 B の管理者にはライセンスと指示に関するメールが届きます。
- 会社 A は安全にスクリーンを会社 B に届けられます。スクリーンにはライセンスがかからず(製造元から直接発送されたかのように)
- 会社 B の管理者が画面をテストし、その画面にライセンスを割り当てます。結果: 会社 B のライセンスが画面に表示されます

これは Tiger ライセンスのライフサイクル管理の段階的な説明です。

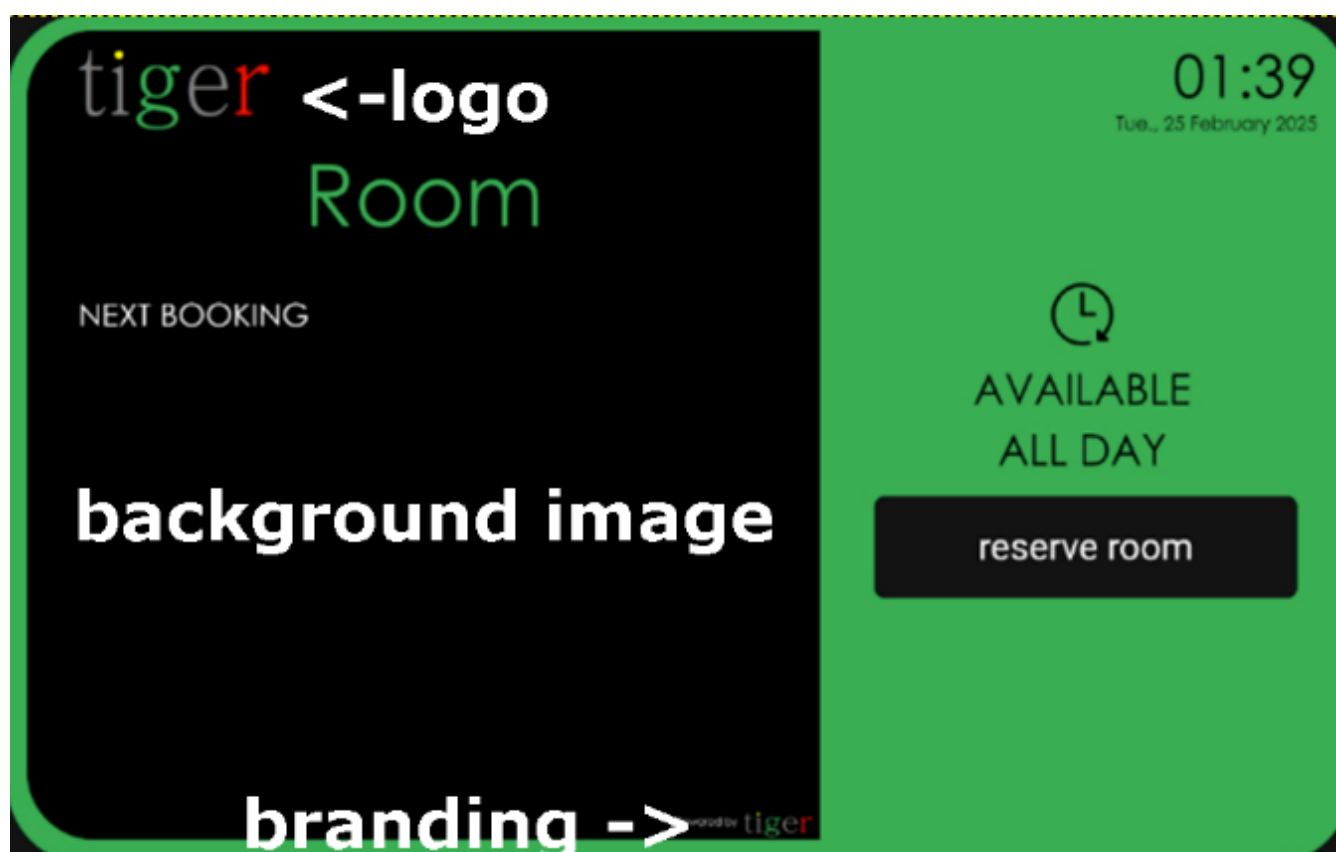
会社のロゴ、背景画像、ブランディング

すべてのブッキング画面のテーマには、変更や調整が可能なグラフィック要素があります。

- 会社のロゴ
- テーマ背景画像
- ブランディングメッセージ(タイガー提供)。

これらの要素を調整することは、予約画面を会社のオフィスや学校の環境に適合させるために不可欠です。

この章では、すでに各メニューポイントで詳細に説明されているこれらのグラフィカル要素関連オプションをまとめます。



会社のロゴ(ロゴマークまたはロゴタイプ)

- デフォルトの(タイガー)会社のロゴは、管理アプリの設定(右上の歯車)から変更できます



- 希望する会社のロゴマークを 300x130 ピクセルサイズの PNG 画像形式でアップロードしてください。異なるテーマに合わせて透明な背景を推奨します。会社のロゴはすべてのデバイスで同じになります。

注意: アップロードされた画像のサイズはシステムが 300x130px にリサイズされるため、画像の歪みを避けるために正しい比率を使用してください。

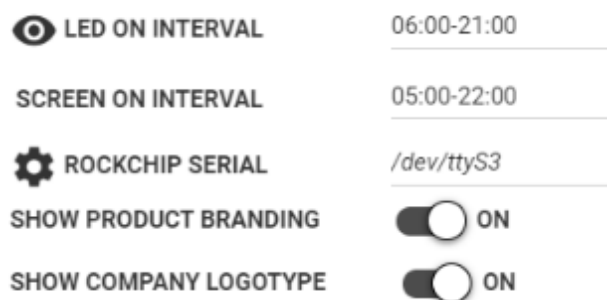
- 企業ロゴマークの外観は、管理者アプリから各デバイスごと(または配布全体)で有効または無効化も可能です:Network->device->advanced options「**show company logomark**」

背景画像

- 背景画像はテーマごとに変更可能ですが、背景画像が見える領域や画像の不透明度はテーマに依存し、テーマごとに変わります。
- 背景画像は PNG 形式で、最大画像サイズは 4Mb でなければなりません
- 背景画像は、部屋名、天気情報、次回会議など、テーマ固有の要素を考慮した特別なデザインを推奨します。
- 背景画像には予約スクリーンのサイズ、比率、解像度(通常は 16:9、サイズ 1280 × 800px)が推奨されます
- ほとんどのテーマでは、小さな背景画像がタイル張りになっています。
- 背景画像はテーマごとにグローバルに設定することも、必要に応じてデバイスごと設定可能です。詳細はテーマ設定章をご覧ください。

ブランディングメッセージ

- 「powered by Tiger」というブランドメッセージと Tiger ロゴは、管理者アプリのデバイス詳細オプションからデバイスごと(または配布全体)でオン・オフが可能です。
- 「商品ブランディングを表示する」のオン/オフパラメータは、「ルームサービス」などからブランド関連のタイガーロゴをすべて削除します。



Oauth 認証トークンの期限切れ

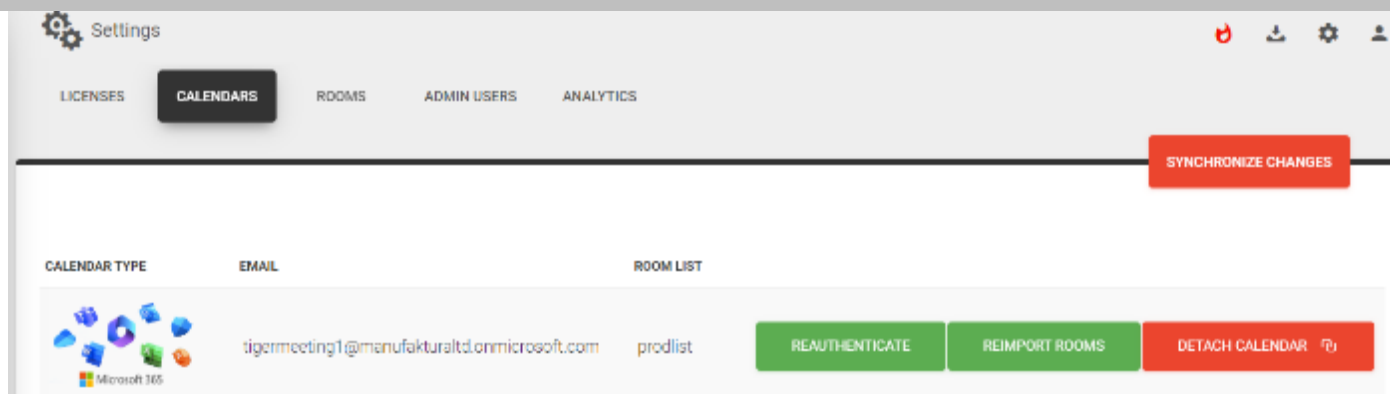
多くのカレンダーは認証やセッション処理に OAuth トークンを使用しています。Microsoft 365、Google Workspace、Lark、Feishu、Zoho Workplace などです。

カレンダー認証トークンには期限が切れます。

カレンダーや会社のセキュリティ設定によっては数ヶ月、数日や数時間程度の場合もあります。

画面上の TigerMeeting アプリケーションは、トークンの有効期限約 10 分前に新しいトークンを要求してトークンを維持しようとします。

更新直前に画面が一度もオンラインになっていなければ、古いトークンは期限切れとなり、今後は使えなくなります。再認証によってこの問題は解決します。



...このような状況を避けるために、毎晩や週末はすべてのデバイスを電源を切ったり、ネットワークから切断したり、スリープモードにしたり、すべてのデバイスを一時停止したりしないでください。

オンラインになるデバイスは 1～2 台だけで十分で、トークン更新が行われ、再びオンラインになったら他のデバイスに配布されます。

デバイスの時間は正しいのでしょうか？

カレンダーの管理は時間がすべてです。

TigerMeeting 環境のデバイスや画面はすべて独立した存在であり、時間を使って互いに協力しています。

時間がコマンドと同期していなければ、更新が無視されることがあり、カレンダーが SSL ハンドシェイクを拒否して誤動作や誤解が生じることがあります。これは、ネットワーク内のデバイス間のデータベース交換や、管理者アプリがデバイスに送信する修正された設定が正しいタイムスタンプ(日付と時刻)に依存しているためです。

これらのエラーはエンドユーザー(オフィスの従業員、大学の学生、学校の生徒)には漏らされませんが、ログを分析することで Tigermeeting のインフラ管理者にはこれらの問題が明らかになります。

しかし、TigerMeeting 環境で潜在的な不整合を検出し問題を避ける最も簡単な方法は、以下の点を確認することです：

- 使用されているタイムゾーンは正しいです
- 時間は正しく設定されています
- 装置は正しい時刻を示しています

NTP やローカルネットワークの時間を使うか、明示的にタイムゾーンや時間を設定しても、TigerMeeting の観点からは、デバイスが常に正しく使っている日付と時間が正しい限り、違いはありません。

ビデオプレーヤーが起動しません

ビデオプレーヤーが起動しない場合、通常は満たされていない 2 つの基本的な要件のいずれかが確認されます。

ビデオファイルの URL

動画ファイルは URL を通じてアクセス可能である必要があります。この URL は YouTube リンク、Google ドライブ、SharePoint リンクなどではありえません。なぜなら、これらは mp4 ファイルを直接公開しないからです。動画はウェブサーバー経由で公開され、http や https プロトコルで直接アクセス可能である必要があります。

社内の(例えばイントラネットサーバー)や外部のウェブサーバーでも構いませんが、URL は動画ファイルに直接向けられている必要があります(リダイレクトや JavaScript ラッパーは使わず)

一) **悪い例:**(有効な動画はあるが、Android メディアプレーヤーが「ラップされたファイル」を再生できない)

YouTube:<https://www.youtube.com/shorts/T4IKFKSZvL8>

Google ドライブ:https://drive.google.com/file/d/1qP91wWHD9SjFDBb3a_BlOrOYq6Ft_OY1

二) **良い例:**(URL は直接動画ファイルを指しています)

<https://examplefiles.org/files/video/mp4-example-video-download-hd-1280x720.mp4>

<https://onlinetestcase.com/wp-content/uploads/2023/06/4.06-MB.mp4>

Tiger クラウドに保存されているファイルストアが提供する URL を使用してください。

Android の権限

Android の MediaPlayer は、管理者アプリで設定された動画コンテンツを再生するために使われます。これは、しばらくの非アクティブ期間の後に行われます。

MediaPlayer にはストレージ権限が必要です。Tiger アプリにすべてのストレージ権限があることを確認してください。

Android のバージョンによって用語や表現が異なり、許可権も異なりますが... Tiger アプリで起動された MediaPlayer はストレージにアクセスできる必要があります。

設定>アプリ(および通知)->タイガー ->権限(またはストレージ権限)で、すべての権限(ファイルやメディア、動画や写真など)が許可されているか必ず確認してください。および類似の権限です。

アップグレード後(ファームウェアアップグレードと Tiger APK アップグレードの両方)後、権限が取り消される可能性があります。

これは Tiger アプリの単純なバグではなく、Android の権限処理の根本的な変更によるものです。

古いバージョンのアプリに付与された権限は、特に主要な Android バージョンの閾値を超えると、特に targetSdkVersion を大幅に上げるとアップグレード後に通常取り消されます。

通常、targetSdkVersion がすでに最新で、Tiger が単に機能アップデートを推している場合、付与された権限は維持されます。この取り消しは、アプリが Android システムに対して新しくより安全な権限モデルをサポートしていると伝えることによる一度きりのイベントです。

ビデオプレーヤーが動作を続けるために、もう一度ストレージアクセス権限を設定してください。一部のデバイスでは、新しい権限設定を使うために再起動が必要です

横向きモードのポートレートテーマ

Tigermeeting アプリケーションは、選択したテーマに基づいて Android の内部呼び出しを使って画面の向きを管理します。

これはほとんどの場合非常にうまく機能しますが、OS レベルで画面向きを制御できる画面では、それを上書きできるソフトウェアが存在しません。これにより、縦型テーマを選択し、Tiger アプリが無事に縦型に切り替えられたにもかかわらず、画面が横向きモードのままになるという症状が生じることがあります。

これは Android 11(API 30)を搭載したデバイスでよく見られます。このオプションが導入され、後に改良されたため、Android 11 以上ではこの方向性がよく機能します。

また、Android 16(API 34)では、画面の向きが上書きできない場合にいくつかのセキュリティオプションが追加されました。

この場合、画面の向きは手動で調整が必要で、Tigermeeting の内蔵自動向き変更機能は使えません。

画面向きに関する設定については、Android の設定オプション、特に設定>表示のオプションを確認してください。

画面の回転を 90 度変えることで、ほとんどの場合問題が解決します。

ただし、画面の販売業者にアドバイスやハードウェアサポートを必ず確認してください。

デュアルスクリーンデバイス

Tigermeeting アプリケーションは、以下のようなデュアルスクリーンデバイスに対応しています：

- 天井から吊るされた廊下の展示
- 壁に垂直に取り付けられています
- 会議室のテーブルに置かれた装置

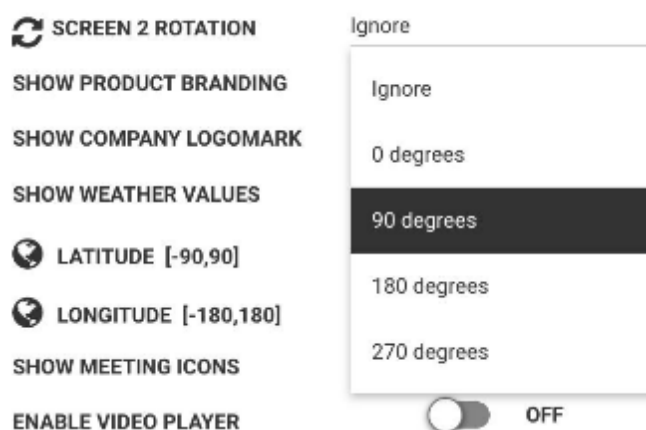
これらのデバイスは両側(両画面)から同じコンテンツを表示します。

プライマリスクリーンの向きは通常、Tigermeeting アプリケーションでうまく処理されます(前章参照)

が、サブスクリーンはメーカーが設定したデバイスファームウェアによってロックされることが多いです。

Tigermeeting はすべてのデバイスで画面回転をサポートしているため、一部のデバイスのファームウェア設定では、サブスクリーンの回転(逆さに見える内容を避けるため)が難しくなります。選んだデバイスで希望の向きをテストしてください。

Rockchip 技術を搭載したデバイスでは、管理者アプリでセカンダリー画面回転オプションが可能で、正しい向きを設定できます。



ハードウェア固有の設定

TigerMeeting は可能な限り画面の「工場出荷時設定」を使っています。

しかし、ハードウェアモデルによって設定が変更されたり、ユーザーがセキュリティを向上させたりハードウェアの動作を微調整するために設定されたりします。

ProDVX トークン

ProDVX トークンは ProDVX API を使用するための認証層とセキュリティを提供します。トークンは静的(Qbic や IDea API とは異なり)ですが、顧客固有のもので、ProMGR の ProDVX リモート管理ツールで設定可能です。(リードの詳細は ProDVX のドキュメントをご覧ください)

トークンがデフォルトでない場合、LED バーやその他の画面やメーカー固有の機能が期待通りに動作しません。

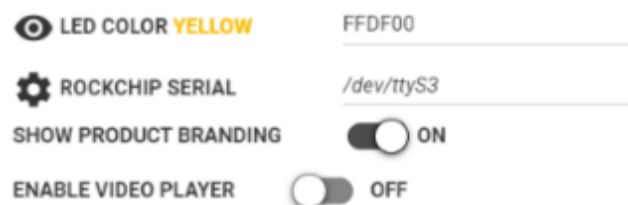
この場合、画面を工場出荷時リセットしてデフォルトの ProDVX トークンを使うか(トークンが不明の場合)、または管理者アプリで必要なトークンを設定してください。これはデバイスごとまたは配布全体に対してです。



ロックチップシリアルデバイス

モデルやシリーズによって、LED ライトやその他の画面機能を制御するシリアルデバイスが変わることがあります。デフォルトは `/dev/ttyS3`。

変わることは可能です



ShiMeta シリアルデバイス

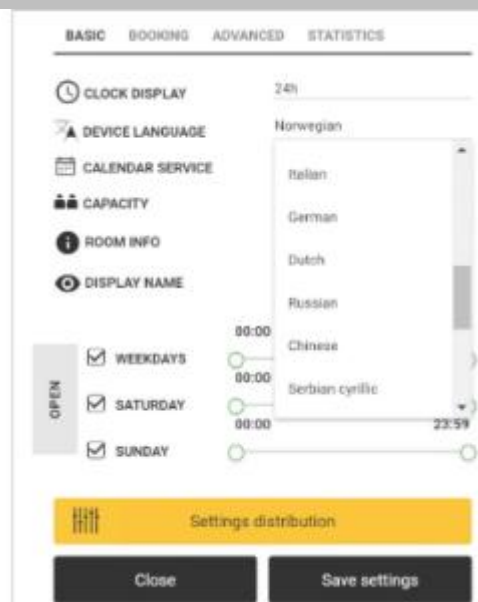
Rockchip シリアルデバイスを参照してください。

言語サポート

Tigermeeting ソリューションは 50 以上の言語をサポートしており、その中には以下のものがあります:

en(英語)、hu(ハンガリー語)、sr(セルビア語)、sv(スウェーデン語)、da(デンマーク語)、no(ノルウェー語)、bs(ボスニア語)、hr(クロアチア語)、es(スペイン語)、es(アイスランド語)、fi(フィンランド語)、fr(フランス語)、it(イタリア語)、de(ドイツ語)、nl(オランダ語)、ru(ロシア語)、zh(中国語)、zf(中国繁体)、ar(アラビア語)、sr-cyr(セルビア語、キリル文字)、pt(ポルトガル語)、et(エストニア語)、lv(ラトビア語)、lt(リトアニア語)、pl(ポーランド語)、cz(チェコ語)、ro(ルーマニア語)、el(ギリシャ語)、he(ヘブライ語)、ja(日本語)、mk(マケドニア語)、tr(トルコ語)、th(タイ語)、am(アムハラ語)、af(アフリカーンス語)、hi(ヒンディー語)、id。(インドネシア語) fa(ペルシア語) be(ベラルーシ語) uk(ウクライナ語) sl(スロベニア語) sk(スロバキア語) vi(ベトナム語) ms(マレー語) hy(アルメニア語) az(アゼルバイジャン語) ph(フィリピン語) sq(アルバニア語) mfe(モーリシャス・クレオール語) ko(韓国語)

TigerMeeting スイートは、高度で革新的かつ動的なローカリゼーション技術を採用しており、シンプルかつ簡単な変更が可能です。



デバイス言語はすべてのデバイスで簡単に設定できます。
 すべてのテキストメッセージとシステムメッセージは設定された言語で行われます。
 オンスクリーンキーボードは RTL 言語を含むほとんどの言語をサポートしています。



画面上のキーボードは、対応している言語のキーボードレイアウトを使用します。「グローブ」ボタンを押すと言語レイアウトが変わります。

アプリケーションクリアデータ

このコマンドは、**Settings->Applications->Tiger->Storage->Clear Data / Clear Cache**と同じです。

キャッシュとストレージからすべての Tiger アプリケーション関連データを削除します。

Tiger アプリケーションは初回インストール直後と同じように動作します。

注意:この機能はご自身の責任でご利用ください。

画面上のすべてのアプリケーションデータは消去されます。

管理者アプリがデバイスを復旧させ、デバイスのライセンスも保持します。

この操作により、Tiger アプリの以前の権限の一部が変更または取り消される可能性があることにご注意ください。必要な最低限の権限(ファイルやメディアの保存アクセス、他のアプリの上書きなど)を設定していることを確認してください。

これらの操作の違いを理解するために、デバイス工場出荷時リセットもお読みください。

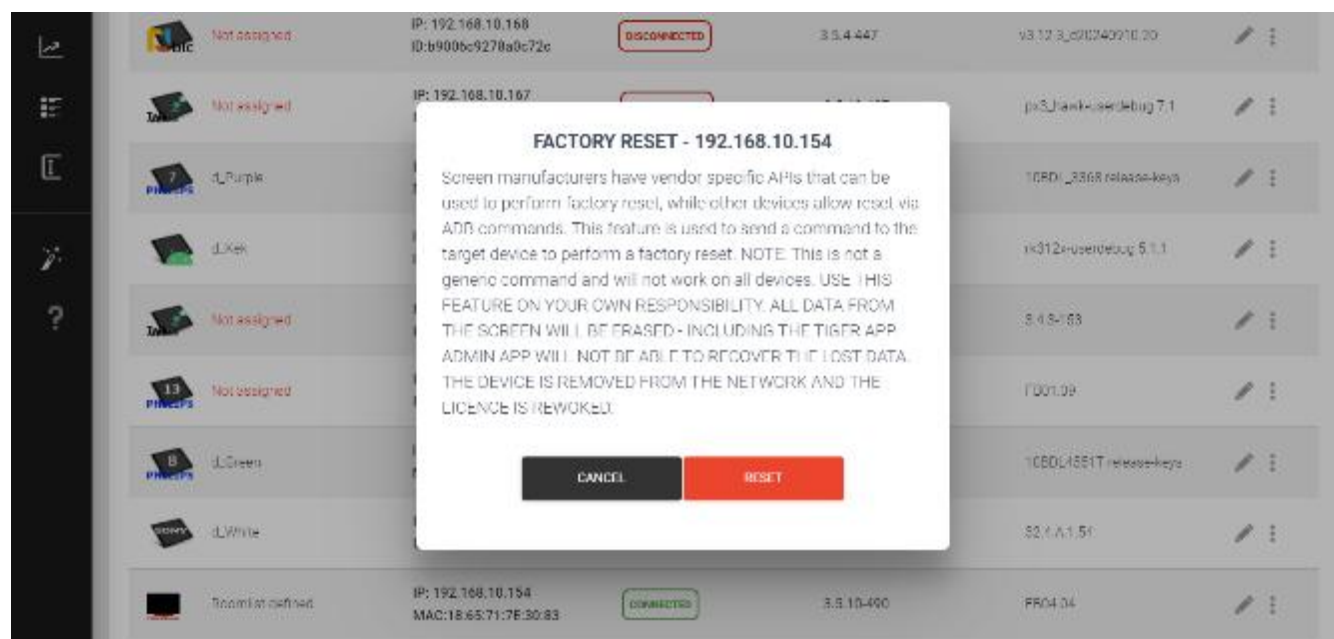
デバイスの工場出荷時リセット

スクリーンメーカーは工場出荷時リセットに使えるベンダー固有の API を持っていますが、他のデバイスは ADB コマンドでリセットが可能です。

この機能は、ターゲットデバイスに工場出荷時リセットを依頼するコマンドを送信するために使われます。注意:これは汎用コマンドではなく、すべてのデバイスで動作するわけではありません。

この機能はご自身の責任でご利用ください。画面上のすべてのデータは消去されます。TIGER アプリも含まれます。管理者アプリは失われたデータを復元できません。

工場出荷時リセットはデバイスの Android ID を変更する可能性が高いため、接続された Tigermeeting ライセンスは切り離され、デバイスはネットワークから削除されます



重要な注意点:工場出荷時リセットは不可逆的です。これによりデバイスの工場出荷時設定が復元されます。この操作は、自分が何をしているのか確信が持てて、かつ完全にご自身の責任で行う場合のみお願いします。

タイガーミーティングの建築コンセプト

Tigermeeting 製品アーキテクチャ

Tigermeeting はサーバーレス、オンプレミス、モジュール式かつスケーラブルな会議室管理ソリューションです。

これらの特性により、Tigermeeting はクラウド志向の会議室管理市場において、競争において独自かつ際立っています。

- **サーバーレス:** TigerMeeting のインストールはカレンダー操作専用サーバーを必要としません。
- **オンプレミス:** Tigermeeting の基本的なカレンダー操作は、クラウドサービスやインターネット接続なしで完全に機能します。
- **モジュラー:** TigerMeeting のインフラストラクチャは、Tiger APK と Admin アプリを実行し、ネットワーク上で論理的に緩やかに結合されたデバイスで構成されています。
- **スケーラブル:**モジュールアーキテクチャの活用 – Tigermeeting はデバイスの追加・削除で簡単にスケーラブルで、TigerMeeting やネットワークパフォーマンスには影響しません。

TigerMeeting は、上記の機能を達成するために、最新のネットワーク設計のベストプラクティスと最高のセキュリティインフラ原則を活用しています。

最も重要な設計パターンはネットワークセグメントとブロードキャストメッセージングの利用です。

ネットワークセグメンテーション

ネットワークセグメントとは、コンピュータネットワークの中でネットワークの他の部分から分離された部分のことです。この分離は、ネットワークの設計やセグメント間の接続に使用されるデバイスによって物理的なものまたは論理的なものとなります。

ネットワークセグメントに関する主なポイントは以下の通りです。

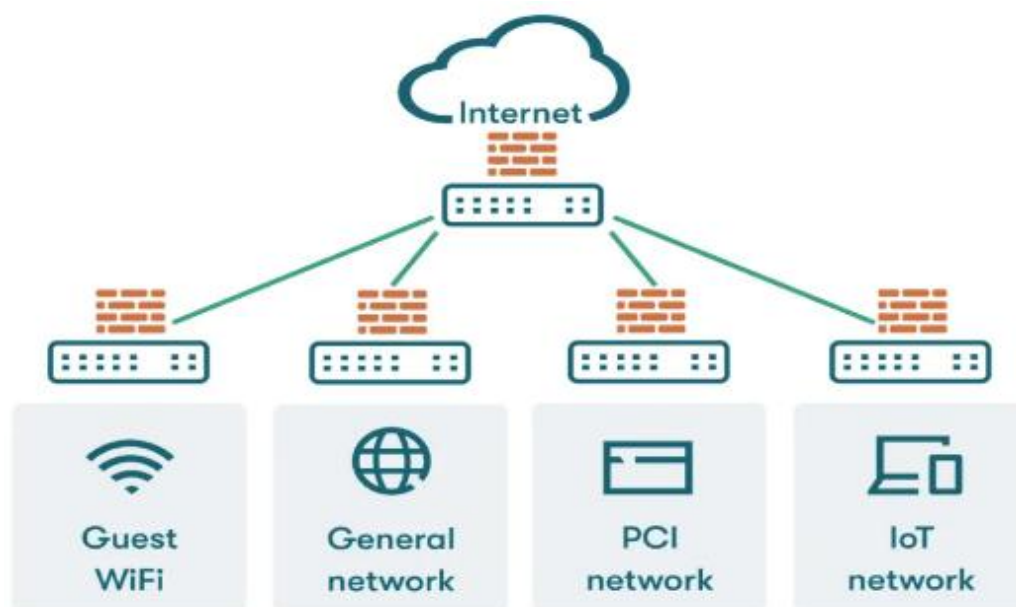
(詳細は https://en.wikipedia.org/wiki/Network_segmentation をご覧ください)

- 一. 定義: ネットワークセグメントとは、ネットワークトポロジーの特定の部分であり、しばしば 2 台のコンピュータやルーター、スイッチなどのネットワーク機器間の接続によって定義されます。
- 二. 目的: ネットワークセグメンテーションは、大きなネットワークをより小さく管理しやすい部分に分割することで、ネットワークのパフォーマンスとセキュリティを向上させるために用いられます。これにより、混雑の緩和、サイバー攻撃の拡散を抑え、機密データの保護に役立ちます。
- 三. 方法: セグメンテーションは、仮想ローカルエリアネットワーク(VLAN)、ファイアウォール、ソフトウェア定義ネットワーク(SDN)技術など、さまざまな方法で実現できます。
- 四. 福利厚生:
 - 混雑の軽減: 各セグメントのデバイス数を制限することでネットワークトラフィックが減少し、パフォーマンスが向上します。

- セキュリティの向上:セグメンテーションはローカルセグメントへのブロードキャストを含み、攻撃対象を減らすことで、攻撃者がネットワーク内で横方向に移動しにくくなります。
- 強化された制御:ネットワークトラフィックやアクセスをより細かく制御でき、認可されたデバイスやユーザーのみが特定の部分にアクセスできるようにします。

例 1:企業環境では、管理者がネットワークを分割して財務部門の機密データを一般のオフィスネットワークから分離し、権限を持つ担当者のみが財務情報にアクセスできるようにしたい場合があります。

例 2:オフィススペースを異なる都市間や大きな建物間で分けるべき論理的な理由が非常に多いです。



放送通信

ネットワークセグメント上のブロードキャスト通信とは、そのセグメント内のすべてのデバイスに同時にデータパケットを送信することを指します。この方法は、ネットワークセグメント上のすべてのデバイスが同時に同じ情報を受け取ることを保証します。

放送コミュニケーションに関する重要なポイントは以下の通りです。

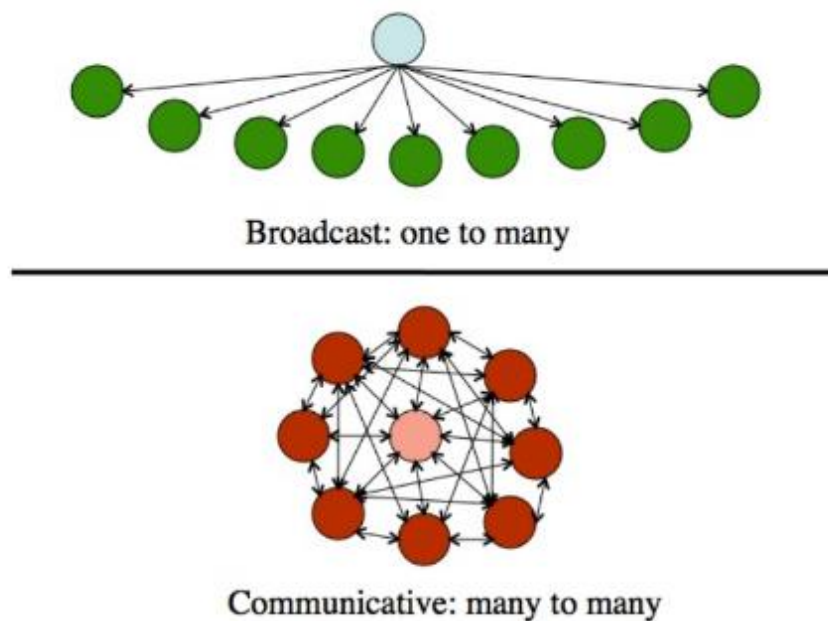
(詳細は [https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_\(ネットワーキング\)](https://en.wikipedia.org/wiki/Broadcasting_(ネットワーキング)) をご覧ください)

- 一. 定義: ブロードキャストとは、ネットワークセグメント内のすべての受信者にメッセージを送信する方法のことです。これはユニキャスト(1 対 1)やマルチキャスト(1 対多)通信方式とは異なります。
- 二. ブロードキャストアドレス: IPv4 ネットワークでは、ブロードキャストアドレスは通常、ネットワークの最高 IP アドレス(例えばネットワークの 192.168.1.0/24 の 255)で終わります。これはパケットがネットワーク上のすべてのホストに配信されるべきであることを示します。IPv6 では、ブロードキャスト通信はマルチキャストアドレッシングによって実現されます。
- 三. 用途: ブロードキャストパケットは、アドレス解決プロトコル(ARP)要求、ネットワーク発見、ネットワ

ーク全体のアラート送信など、さまざまなネットワークプロセスに使用されます。例えば、デバイスが IP アドレスに関連付けられた MAC アドレスを探す必要がある場合、ARP リクエストをブロードキャストパケットとして送信します。

四. **ブロードキャストドメイン:** ブロードキャストの範囲はブロードキャストドメインに限定されており、通常はローカルネットワークセグメントの境界で定義されます。同じブロードキャストドメイン内のデバイス同士がブロードキャストパケットを受信できます。

五. **効率と制約:** ブロードキャストは特定のタスクでは効率的ですが、ネットワークセグメント上のすべてのデバイスがブロードキャストパケットを処理するため、過剰使用するとネットワークの混雑を引き起こすこともあります。



放送通信は特定のネットワーク運用に不可欠ですが、放送嵐のような潜在的な問題を避けるために適切に管理することが重要です。

ネットワークセグメントでのタイガーミーティング

タイガーミーティングの設置、すなわち**タイガーミーティングの島**は、あるネットワークセグメントに存在しています。

Tiger APK を実行しているデバイス同士は、ブロードキャストメッセージを使って互いに通信します。ブロードキャストメッセージは通常、ネットワークセグメントに限定されるか、そうでない場合も含めて、複数のネットワークセグメントをブロードキャストで接続するという意識的な決定があります

ネットワークセグメントのアーキテクチャ原則—利点と制限—に基づき、以下の重要な事実が適用されます。

- タイガーミーティング島の事象の地平線は、放送ネットワークの境界線です。
- 複数のタイガーミーティング島は、ネットワークセグメントによって分離された組織内で独立して共存することができます。
- 各タイガーミーティング島は個別に管理する必要があります。

Tigermeeting アプリケーションは分散型データベースアーキテクチャと独自のハイテンポル同期技術に基づいており、オンプレミスの中央データベースや外部クラウドデータベースなしで動作しますが、特定のネットワーク要件を設定するためにデバイス間のスムーズな通信を必要とします。

これらの要件の概要は最初の章で説明されています。多くの管理者はアーキテクチャの概念を深く掘り下げたがらないためです。しかし、複雑なネットワークピックを扱う際には、より深い理解が強く推奨されます。

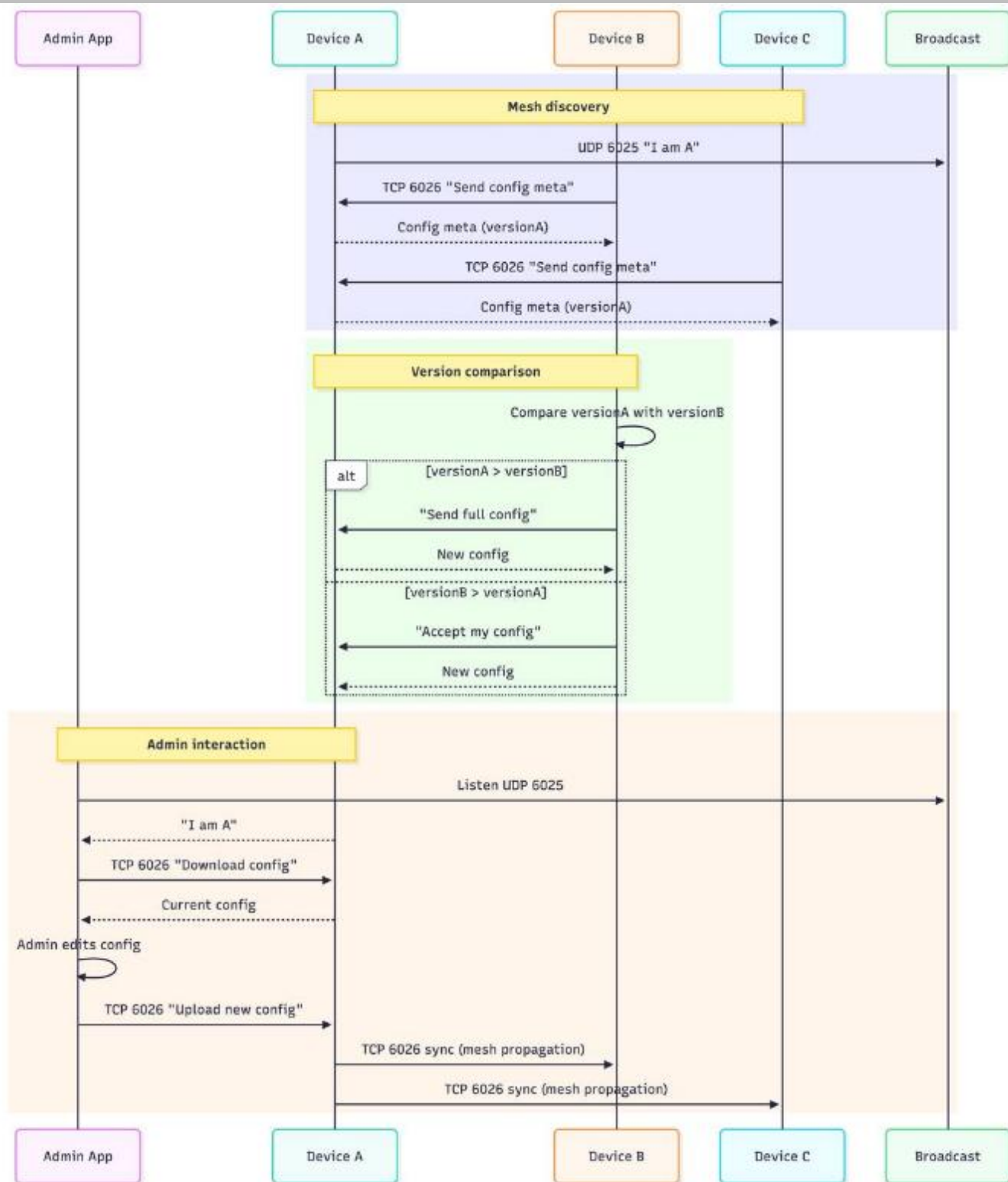
- **ブロードキャストリクエスト**はネットワークセグメント上で有効化する必要があります(ネットワークのアーキテクチャ境界に適合する必要がある場合、リモート管理が使われている場合は VPN 経由でも有効です)
- **UDP ポート:6024、6025、6030、6031** はネットワークセグメントで有効化する必要があります。
- **admin->device、device->device-device、device->admin 通信では、ネットワーク上のデバイス間で TCP ポート 6026 が有効化される必要があります。**
- Google Workspace や Microsoft365、または iCal ファイルの外部 URL などの外部オンラインカレンダーを使用する場合、それらのリソースへの通信はファイアウォール経由で許可される必要があります。

Tigermeeting のインフラ運用に必要な TCP および UDP ポートは文書化されています。

https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_TCP_and_UDP_port_numbers を参照してください。

高水準シーケンス図

シーケンス図は、Tigermeeting の複雑でサーバーレスなメッシュアーキテクチャを簡略化した技術的可視化です。



タイガーミーティングクラウド

TigerMeeting は通常のカレンダー運用にネットワークアクセスを必要としません。しかし、限定的なクラウド機能を追加することで、カレンダーの使いやすさ、柔軟性、顧客希望のユースケース、テーマのサポート、バックグラウンド変更、分析、ハードウェアおよび会議室の指標、さらにはソフトウェアやデバイスハードウェアのアップグレードが大幅に向上します。

以下の機能のために、TCP ポート 443 を経由して Tigermeeting tigermeeting.app Cloud へのオープン通信が必要です。

- 管理者アプリ:管理者ログイン
- 管理者アプリ:パスワードリセットを忘れました
- 管理アプリ:分析を表示
- デバイスの定期的なライセンス検証
- デバイスのイベントログ(分析機能が有効の場合)
- 管理者とデバイスの両方:テーマ設定とバックグラウンドアップデート
- 管理者とデバイスの両方:新しいソフトウェアアップグレードチェック
- 管理者とデバイスの両方:新しいファームウェアアップグレードチェック
- 気象局
- テーマサービス(テーマ変更、背景画像変更)
- ユーザー認証(NFC、スキャナー)

Tiger クラウドとクローズドインターネット、オンプレミス運用については「クローズドオンプレミス環境における Tiger サービス」章を詳しくお読みください。

注意: TigerMeeting はセキュリティ向上のために、Tigermeeting クラウド向けの専用サイトツーサイト VPN 接続を提供しています。この機能は営業担当者または Tigermeeting のカスタマーサポートにご依頼ください。

Tigermeeting cloud(クラスター)は欧州連合内に位置しています。

TigerMeeting ネットワークの利用状況

Tigermeeting のネットワーク利用状況は、ネットワークセグメント内のデバイス数に依存します。

すべてのデバイスは 30 秒ごとにブロードキャストメッセージを送信します。ブロードキャストメッセージのサイズは 20 バイトから最大 1kb までです。

データベース同期は、デバイス間の同期がずれているか、管理者アプリが新しい設定をプッシュしたときに行われます。データベースの典型的なサイズ(暗号化ペイロード付き)は約 20kb で、データベース内のデバイス数によってわずかに変動します。

各デバイスは個別にカレンダーに連絡を取り、最大 7 日間の予約を取得します(スライディングウィンドウ使用)。この利用量は組織のカレンダータイプや会議室の予約・使用状況に依存します。

タイガーミーティング運営

Tigermeeting アプリケーションは分散型データベースアーキテクチャとハイウォーターマーク同期技術に基づいており、デバイス同士がデータベースの設定を共有し従います。

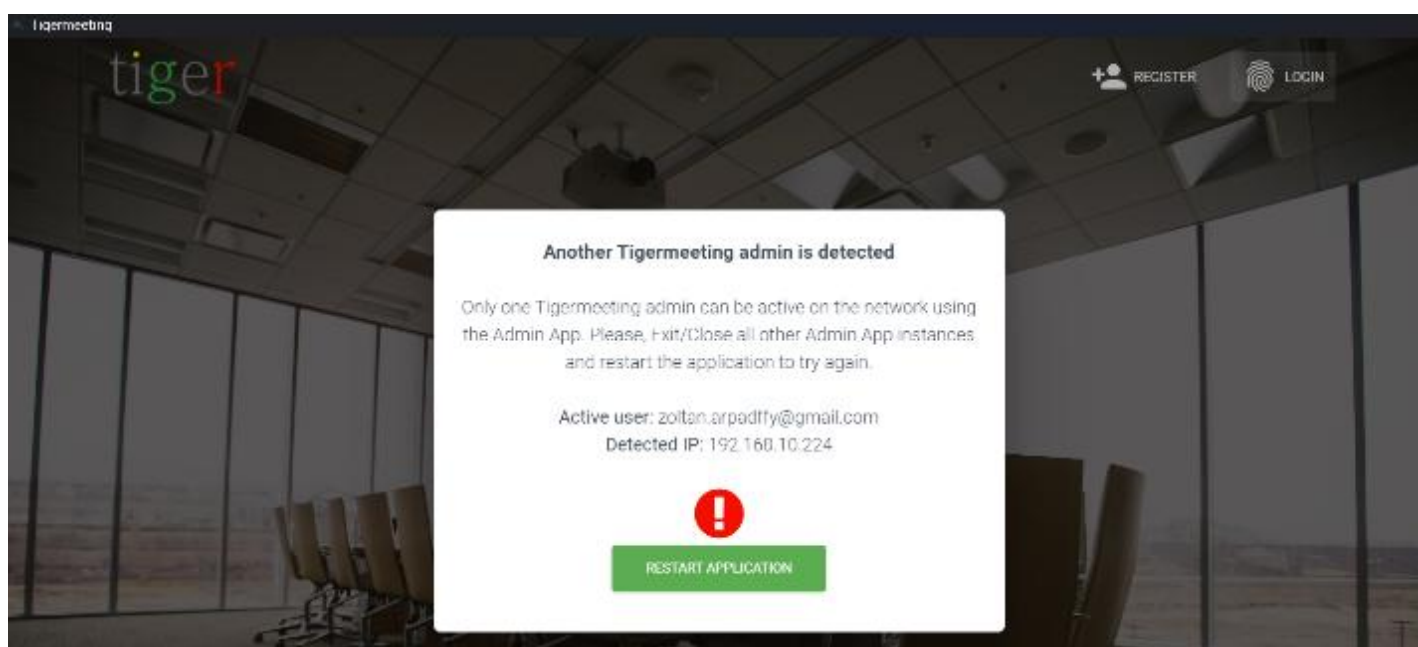
設定を変更する必要がある場合、管理者がそのセグメントで管理者アプリを起動します。管理者アプリ

ケーションはその特定の Tigermeeting 島の一部となり、デバイス間で共有されるデータベースを取得し、設定の編集を可能にします。

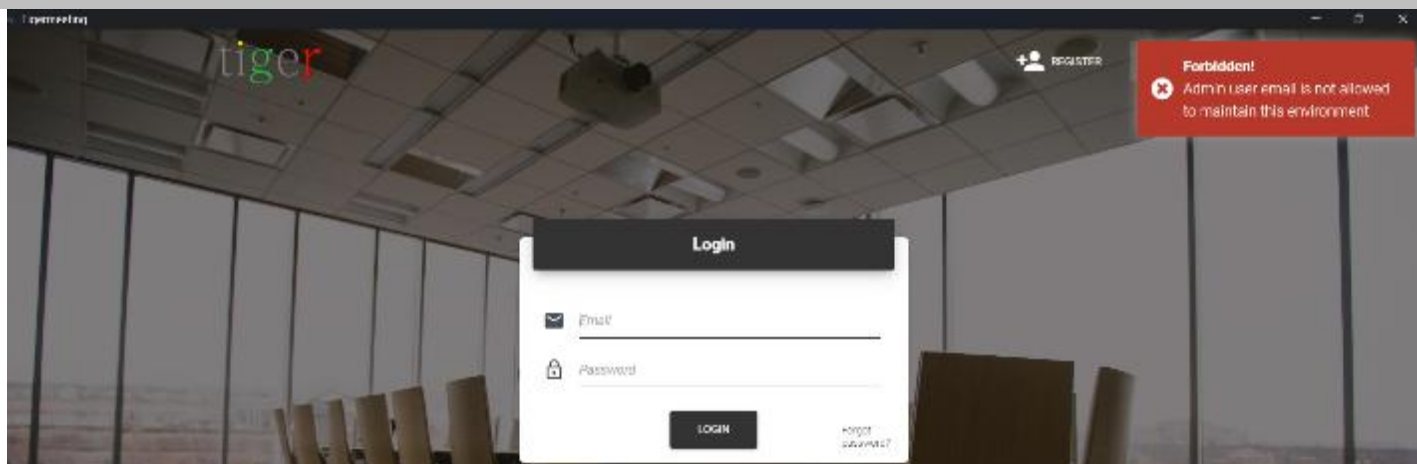
管理者ユーザーは「SYNC WITH DEVICES」操作で設定をプッシュします。デバイスは新しい設定を受け入れ、すぐに新しい設定の使用を開始します。

制限事項:

- この章で提示されたネットワークおよびアーキテクチャの概念に基づくと、複数の管理者ユーザーが同時にネットワーク設定を変更できる場合、互いの変更を上書きし合うことが明らかなです。これが Tigermeeting のインフラがネットワークセグメント上で複数の管理者アプリを実行させない理由です。



- Tigermeeting の管理者は自分の環境を管理することに制限されており、これは当然の要件であり、特に不思議なことではありません。しかし、Tigermeeting は分散型かつ緩やかに結合されたアーキテクチャであるため、管理者のログイン時に管理者のユーザー資格を検証するにもかかわらず、管理者は拒否される可能性があります。なぜなら、管理者アプリケーションは、何の優先設定も保存もしていないからです。設定 – ログイン後にどの Tigermeeting Island が管理されるか事前に分からないため、ログイン中の管理者ユーザーがその Tiger セグメントを管理する権限を持っているかどうかのチェックは、管理者アプリがデバイスからデータベースを取得したときにのみ決定されます。正しく認証された管理者ユーザーが、特定の Tigermeeting 島ライセンスを所有する組織に属していなければ、「禁止」メッセージとともに管理者はログアウトされます。



注意: このイベントは、観測可能性のため、また悪用を避けるために両組織の管理者ログに記録されています。

VPN 接続による管理

「デバイスを追加」機能は、ブロードキャストがファイアウォールやネットワークセグメント間で許可されず、ネットワーク検出失敗を引き起こす場合すべてに必要です。

リモート管理者の操作は、VPN 接続上でリモートで管理作業が行われ、標準的な VPN 設定ではデバイスの検出が失敗する典型的なケースの一つです。

解決策としては、既知のデバイスの IP アドレスを「デバイス追加」機能でネットワーク探索を助けることです。IP アドレスで 1 つのデバイスにアクセスすると、共有ネットワークデータベースにアクセスでき、すべてのデバイスを発見し、Tigermeeting インフラストラクチャの完全なリモート管理が可能になります。



重要: ネットワーク検出をブロックするセグメント間のブロードキャスト通信は許可されていませんが、管理者アプリは手動で「デバイスを追加」したり、そのデバイスから共有データベースを取得したり、すべてのデバイスを管理したり、「デバイスと同期」したりするために、デバイスに対して TCP/IP アクセス権を持つ必要があります。

バーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念

Tigermeeting はバーチャルブランドとバーチャルネットワークの概念を導入し、異なる Tigermeeting とそのホワイトラベルブランドが同じネットワークセグメント上で共存できるようにしました。また、すべてのネットワークにバーチャルネットワークを割り当てることで、同じバーチャルブランドの異なるバーチャルネットワークが同じネットワークセグメント上で共存することも可能になりました。

バーチャルブランドとバーチャルネットワークの割り当ては自動的に行われ、管理者ユーザーのログイン時に生成されます。これによりライセンス保有組織が特定され、管理者ユーザーの特定のブランドおよび仮想ネットワークの範囲が制限されます。

これにより、特に複雑なネットワークインフラを持つ大規模な組織において、オンプレミスの構成能力が大幅に拡張されます。この概念により、以前の制限が解消され、以下が可能になります：

- 同じネットワークセグメントで異なるカレンダーを使う
- 同じネットワーク内で異なる TigerMeeting のホワイトラベルブランドを使う
- デバイスは顧客ごとにセグメント化し、同じネットワークインフラを共有します
- 複数の独立した組織が、同じネットワークインフラ上、例えば賃貸オフィススペース上で Tigermeeting の設置を管理できるようにしましょう

制限事項: メールアドレスを持つ Tigermeeting 管理者のユーザーは、同じメールアドレスを持つ複数の組織に所属することはできません。

通常のユーザーはこの制限の影響を受けませんが、サービスインテグレーター、複数の顧客のインフラを管理するディストリビューター、Tigermeeting の設置は、異なる顧客に対して同じメールアドレスを使用することが許可されていません(Tigermeeting の設置)。

簡単な回避策としては、すべての顧客に専用のメールアドレスを作成することです。

Tigermeeting のカスタマーサポートは、管理者のメールアドレスに転送する仮想メールアドレスを作成できます。このようにして、1 つのメールアドレスを持つ 1 人の管理者が複数のネットワークの管理者になり、仮想メールアドレスをユーザー名のように使い、完全なパスワード回復機能を持つことができます。

この挙動について質問がある場合は、Tigermeeting のカスタマーサポートまでお問い合わせください。

整合性声明

Tigermeeting のインフラストラクチャは、完全にモジュール化され、分散型かつ自己完結型のアーキテクチャに基づいて構築されています。

Tigermeeting のインフラストラクチャには以下のアクターが含まれます：

- 予約画面(複数回あり得ます)
- 概要画面(複数あり得ます)

- 管理者アプリケーション(管理ネットワークごとにアクティブは1つのみ許可)
- タイガークラウド(1つのみ - オプション)
- 企業カレンダー(1つだけ許可)

このインフラのすべてのアクターは、TigerMeeting インフラストラクチャの他のアクターおよび Tiger クラウド(利用可能な場合)のみと通信します

TigerMeeting のインフラのいかなる部分も、他の第三者や外部ネットワークサービスと通信しません。

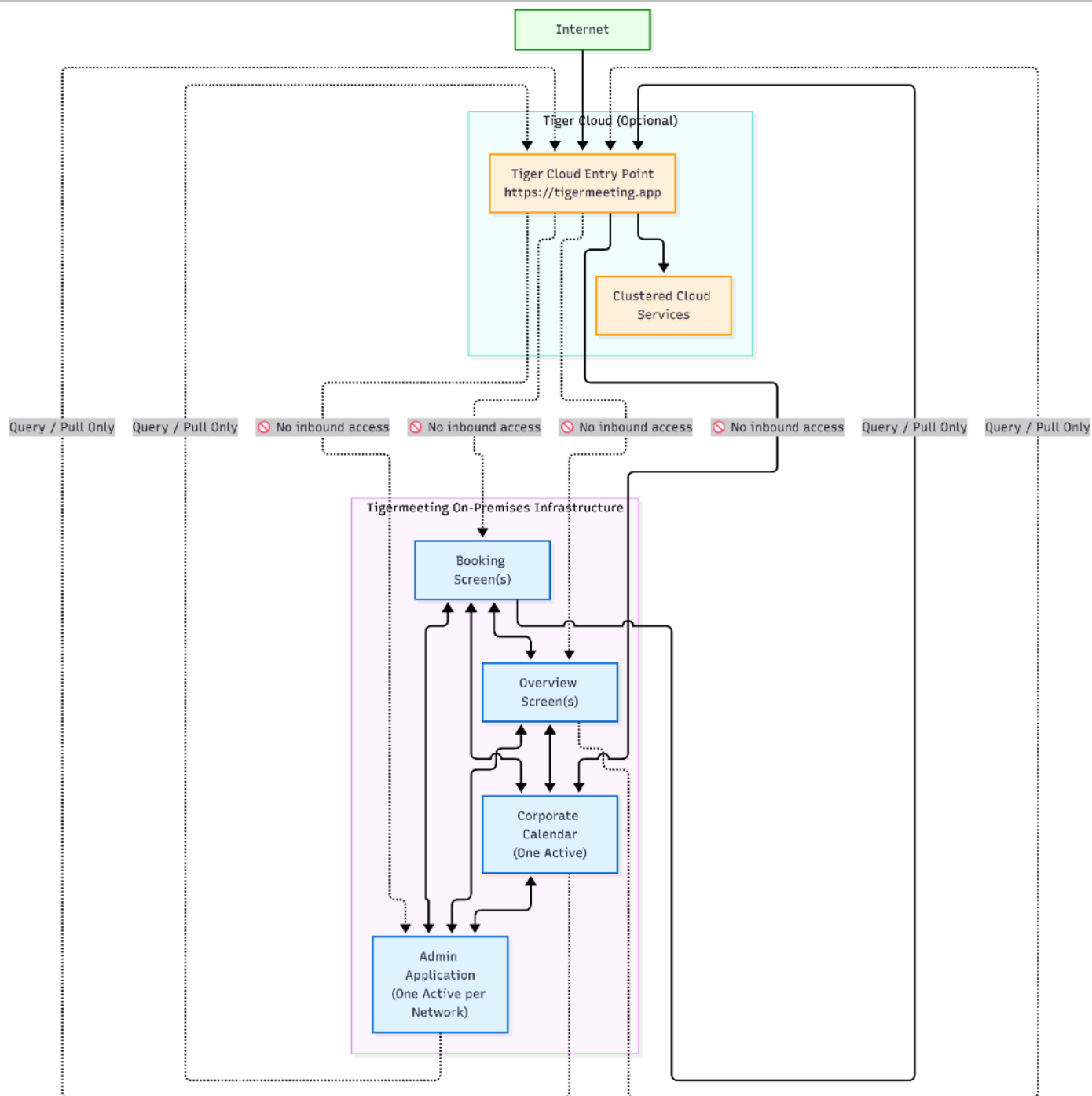
Tigermeeting のインフラは自己完結型であり、すべての機能を提供するために必要なサービスはすでにこれらの製品に含まれています。

タイガークラウドはクラスタ化されたアーキテクチャですが、<https://tigermeeting.app> 唯一のアクセスポイントとして高度なセキュリティ対策と有効な証明書で保護されています。

Tiger クラウドサービスは常にクエリまたはプルされます。

インターネットや Tiger クラウドから顧客の展開済み TigerMeeting オンプレミスインフラにアクセスする方法はありません。

注:エコシステム内で TigerMeeting の関係者と通信するセンサーや IoT デバイスは任意であり、Tigermeeting はその行動を保証することはできません。



TigerMeeting インフラストラクチャ内のアクター間の通信の図式図。

閉鎖されたオンプレミス環境でのタイガーサービス

エアギャップ環境におけるオフライン管理

Tigermeeting Admin アプリケーションは、高度に安全で完全にエアギャップされた環境をサポートするように設計されています。適切に初期化されると、管理、デバイス管理、会議同期を含む Tigermeeting のインフラ全体がインターネットから完全に隔離されて動作可能です。

このモードでは、ローカル Android デバイスメッシュが分散データベースとして機能し、設定、ライセンス、管理者認証情報を安全に保存し、管理者アプリケーションがローカルでネットワークを認証・管理できるようにします。

オフラインモードの前提条件

オフライン管理機能を活用するには、システムが最初にオンライン同期を行う必要があります。オフライン環境で最初のログインを行うことはできません。

システムをファイアウォールの背後に移動したり、インターネットから切断したりする前に、以下の手順を踏まなければなりません。

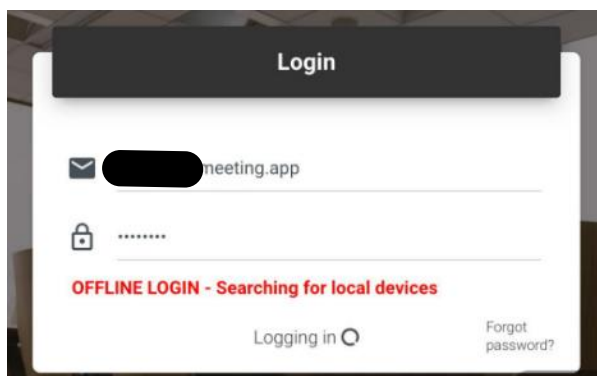
- Tigermeeting 管理アプリをホストしているコンピュータをインターネットに接続してください。
- 管理者認証情報でログインしてください。
- 管理者アプリでローカル Android デバイスを検出できるようにしてください。
- 少なくとも 1 回はデバイス同期を成功させてください。

この初期のオンライン同期中、管理者アプリケーションは Tigermeeting クラウドから貴社の認可管理者、アクティブなライセンス、ユーザー、言語パックをダウンロードし、このキャッシュを接続画面のローカルメモリに安全に配布します。

これが完了すれば、ネットワークは安全に隔離されます。

オフラインでのログイン

管理者アプリケーションがインターネットに接続不可を検知すると、自動的にオフラインモードにフォールバックします。



- Tigermeeting 管理者アプリを起動し、認証情報を入力してください。

- ログイン画面には赤い警告が表示されます:「オフラインログイン中。ローカルデバイスを検索中。」
- 管理者アプリはローカルネットワークに積極的に ping を送り、Tigermeeting の画面を検出します。
- 画面が応答すると、管理者アプリがメッシュからキャッシュされた認証情報を安全に取得し、ローカルでセッションを認証します。

注意:オフライン認証には、ローカルネットワーク上の少なくとも 1 つの Tigermeeting 画面がオンで管理者アプリケーションがアクセス可能である必要があります。

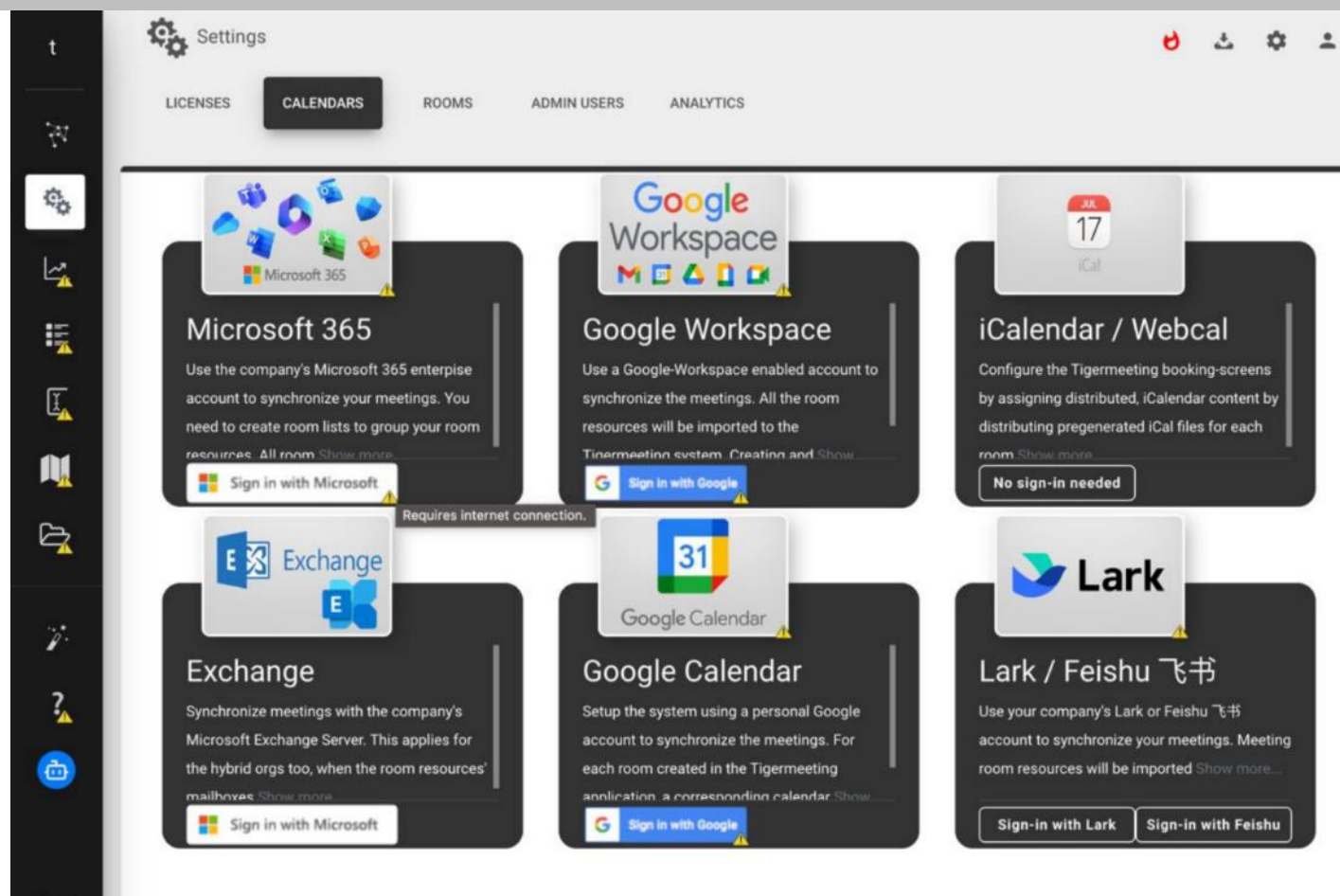
オフラインモードの機能制限

システムの安定性を確保し設定エラーを防ぐために、アクティブなクラウド接続が必要な機能はオフライン運用時に厳しく無効化されます。

特定のサイドバーメニューやサイドパネルのオプションがグレイアウトしたり、オレンジの警告三角形でマークされたり、完全に隠れているのに気づくでしょう。

利用できないサイドバーモジュール:

- 分析:クラウド処理された会議統計やワークスペース利用データは利用できません。
- 管理者ログ:過去のクラウドイベントログのダウンロードは無効です。
- ブッキングテーマ:クラウドベースのブッキング UI テーマの閲覧、ダウンロード、管理はできません。
- 概要マップ:フロアマップデザイナーとマップアセット管理ツールは無効にしています。
- ファイルストア:ロゴ、背景、ファームウェアファイルのクラウドストレージへのアクセスは制限されています。
- AI アシスタント:クラウド搭載の TigerMeeting 対応チャットボットは無効化されました。



制限されたデバイスと概要設定:

- カレンダーサービス: Google Workspace、Google Calendar、Microsoft 365、Yandex 360、Zoho Workplace、Lark、Feishu などのクラウド統合は認証、再インポート、または変更できません。オフライン環境で動作可能なカレンダーのみが有効化されます: ローカルカレンダー、CalDAV、Odoo、iCalendar/Webcal、Exchange サーバー(オンプレミス)
- 気象サービス: 気象値、気象センサー、緯度、経度を表示するためのトロールは、概要画面でロックされています。
- テーマと背景のアップロード: 新しいカスタム背景をアップロードしたり、新しい UI テーマを個別のデバイスにプッシュすることはできません。
- 概要マップ表示: 概要画面でのフロアマップの割り当てや変更は無効になっています。
- ソフトウェアアップデート: OTA(オーバーエア)ファームウェアおよびアプリケーションのアップデートはダウンロードできません。

インターネットへの再接続

最終的に管理者アプリケーションのインターネットアクセスを回復すれば、次のログイン成功時にオフライン制限は自動的に解除されます。システムはイベントログ、会議統計、デバイスの状態をシームレスに Tigermeeting クラウドアカウントに同期を再開します。

タイガークラウドにアクセスできない画面の制限

Tigermeeting の画面は、Tigermeeting クラウドで提供されるサービスにアクセスできない施設内で

動作するように設計されていますが、多くの顧客はハイブリッドアーキテクチャの利点、ソフトウェアやファームウェアのアップグレード、言語の更新、テーマの変更などを享受したいと考えています。

簡単な解決策は、デバイスが Tiger Cloud に(限定期間)アクセスできるようにすることです:

<https://tigermeeting.app> (ホスト:tigermeeting.app ポート 443)。

タイガーソフトウェアのアップグレード

Tigermeeting は活発に開発されているライブプロダクトです。多くのアップデートは Android アプリのアップグレードを必要としません。例えば、翻訳の修正、言語の更新、古いテーマの調整、新しいテーマなどです。

新機能、セキュリティ、バグ修正、改善を含む Android ソフトウェアのアップデートは、年に約 3~4 回、定期的にリリースされています。

新リリースやそのコンテンツは、すべての管理者ユーザーへのメールやソーシャルメディアで発表されます。変更内容はリリースノート(管理者アプリの>についてのメニューからアクセス可能)に掲載されます

Tiger Cloud にアクセスできるデバイスはクラウドサービスにクエリを行い、自動的にアップデートを取得し、アップグレードの利用可能性は管理者アプリ>ネットワークリストで通知されます。

閉鎖されたオンプレミス環境はアップデート通知を受け取れません。これは単にデバイスが Tiger クラウドをポーリングできず、利用可能なアップデートを取得できなかったからです。

解決策:

- 一. 管理者アプリから新しい Tiger APK をダウンロードしてください。USB ペンドライブにコピーし、画面上で手動でデバイスを更新してください。(この手動処理は安全ですが、大規模なインストールには不便です)
- 二. リリースノートメールを受け取った後、最大 2 時間だけ **Tiger クラウドアクセスを開く**ことで、デバイスは Tiger クラウドから最新のアップデートを取得することができます。管理者アプリですべてのデバイスのアップデートが利用可能が表示されたら、ファイアウォール上で Tiger クラウドアクセスを再びオフにでき、アップグレードは標準的な方法で完全にオフラインで行えます。

注:

- すべての管理者の皆様にはリリースノートをよく読み、そのリリースにアップグレードするかどうかを判断することをお勧めします。
- TigerMeeting のリリースは累積的です。次回リリースにはこれまでのすべての機能が収録されます。
- アップグレードは常に最新リリースのみで利用可能です。以前のリリースは公開されていません。

言語更新

新しい言語、言語アップデート、修正は、新しい Android Tiger ソフトウェアアップデートとともに提供されるか、Tiger クラウドへのアクセスが許可されている場合は、画面が定期的に Tiger クラウドに新しいアップデートがあるかどうかをポーリングします。
クローズドオンプレミス環境では言語の更新は受信されません。

解決策: ファイアウォールで Tiger クラウドアクセスを短時間(約 2 時間)開放すると、画面がクラウドから言語アップデートを投票・ダウンロードします。

テーマ変更

すべての予約画面のテーマ、デフォルトおよび顧客固有の背景画像は Tiger クラウドから保存・提供されています。

デバイスは定期的に Tiger クラウドにテーマの更新や調整を問い合わせます。ただし、テーマ変更は管理者アプリの明示的な管理者命令でのみ行われます。画面が Tiger Cloud にアクセスできない(または有効なライセンスを持っていない場合)は、テーマ変更は起こりません。
しかし、テーマがすでにデバイスにダウンロードされている場合は、デバイスはそのテーマを使い続けます。

クローズドのオンプレミス環境では、テーマを動的に変更したり背景画像を設定したりすることはできません。

解決策: 管理者がテーマの設定とテーマがデバイスに定着するまでの間、ファイアウォール上で Tiger クラウドアクセスを短時間開放する(数分で完了)。完全なオンプレミスインストールでは、TigerMeeting インフラストラクチャのテーマ機能を利用できます。

概要地図

キャンバス編集、保存、概要画面の設定などの概要マップ操作はすべて、上記のテーマ操作と同じです。

オフラインモードでは、クラシックビューの設定のみが有効です...しかし、オーバービューマップがすでに作成・割り当てられていて、設定が画面上で既に展開されて機能している場合、デバイスはオフラインモードでもそのマップを使い続けます。

解決策: 管理者が概要マップの設定を進め、新しいマップが概要デバイスに設定されるまでの間、ファイアウォール上で Tiger クラウドアクセスを短時間開放すると(数分で完了可能)、完全にオンプレミスのインストールで TigerMeeting インフラストラクチャのビューマップ機能を利用できます。

気象サービス

画面上の気象サービスは、タイガークラウド気象サービスを用いて、地球上の特定の場所のリアルタイムの温度と湿度の値を提供します。

Tiger 気象サービスは公共サービスの気象データを使用していますが、Tiger クラウドプロキシは意図的に作成され、セキュリティを強化し、第三者からの曝露から顧客を守るために作られています。

これは完全クラウドベースのサービスであり、Tiger クラウドへのアクセスがなければ利用できません。

NFC/スキャナー認証サービス

Tigermeeting のサービスは、NFC/RFID タグを読み取り、QR コードをスキャンしてユーザー認証や認証が必要な操作を行うことでユーザー認証を可能に設定できます。

認証サービスが Tiger クラウド上でホストされている場合、デバイスは Tiger クラウドサービスへのアクセスが必要です。

TigerMeeting は、顧客がオンプレミスでホストできるシンプルなコンテナやスクリプト+データベースを提供し、この要件を回避できます。

分析

Tigermeeting の分析は、ハードウェアの健康状態、機器の使用状況、会議室の状態などに関する貴重な洞察を提供します。

分析は、画面が定期的送信する匿名データに基づいています。この機能はオンまたはオフが可能です。

管理アプリケーションに公開されるアナリティクスデータは、現在 Tiger クラウド上で利用可能なデータからランタイムで生成されます。

この機能は Tiger Cloud へのアクセスを必要とし、回避する方法はありません。

AI アシスタント

Tigermeeting AI-Assistant は Tigermeeting のドキュメントと内部知識ベースを基に訓練されたチャットボットですが、完全に Tiger クラウドにホストされているリソースに依存しています。オフラインモードでは利用できず、回避策ありません。

VPN からタイガークラウドへ

TigerMeeting は、セキュリティ向上のために Tigermeeting クラウド向けに設置された専用のサイト

ツーサイト VPN 接続を提供しています。

その 以下の integrity 文はオープン VPN 接続でも有効です:Tiger Cloud はオンプレミスインフラへのインバウンド接続を試みず、必要としません。

混合カレンダー環境におけるタイガーミーティング

Tigermeeting のインフラは環境ごとに 1 つのカレンダー接続に厳密に制限されているため、異なるドメインを持つ 2 社以上の企業を処理する唯一の方法は、Tigermeeting が認識する前にソースでカレンダーを統合することです。

基本的には「マスターテナント」または「シンクブリッジ」を作成し、会社 A のイベントが会社 B のルームカレンダーに表示されるようにする必要があります(その逆も同様)。

以下は、これを達成する最も効果的な方法です:

カレンダー相互運用(Google + Microsoft Mix に最適です)

一方が Google Workspace を利用し、もう一方が Microsoft 365 を使っている場合、カレンダー・インターオペレーションの設定が可能です。

どのように機能するのですか？

2 つのドメイン間で信頼関係を設定しましょう。これにより、会社 A のユーザーは会社 B の部屋の空き状況を確認でき、直接予約できます。

結果:

会社 A の「ミーティングルーム 1」カレンダーには、会社 B の予約が自動的に反映されます。タイガーミーティングは会社 A と連携しているため、両方が表示されます。

リアルタイムカレンダー同期ツールの利用

SyncPenguin や CalendarBridge のようなサードパーティの「同期ブリッジ」を使いましょう。

どのように機能するのですか？

これらのツールは両社の間に位置しています。会社 B の誰かが「ルーム 1」を予約すると、ツールは即座に会社 A の「ルーム 1」に対応する「ビジュー」イベントを作成します。

結果

Tigermeeting は会社 A または同期ツールカレンダーに直接接続されたままですが、画面は両方のドメインのスケジュールを正確に反映します。

資源の共有と委任

両社が同じプラットフォーム上にある場合(例:両社とも Microsoft 365 を使っているがテナントは異なる場合)。テナント間でルームメールボックスを共有することは可能です。

どのように機能するのですか？

すべてのスクリーンの「ホスト」として A 中隊を指定してください。

会社 B では、自動転送ルールを設定するか、Power Automate を使って部屋予約を会社 A の部屋カレンダーに「プッシュ」します。

iCal フィード

iCal フィードの活用:両社がルームカレンダーをプライベートな iCal URL として公開できるなら、カレンダーアグリゲーターを使ってそれらを 1 つの URL に統合し、Tigermeeting が読み取ることも可能です。

CalDAV や iCal URL でカレンダーを公開することで、これらの問題を解決できます。

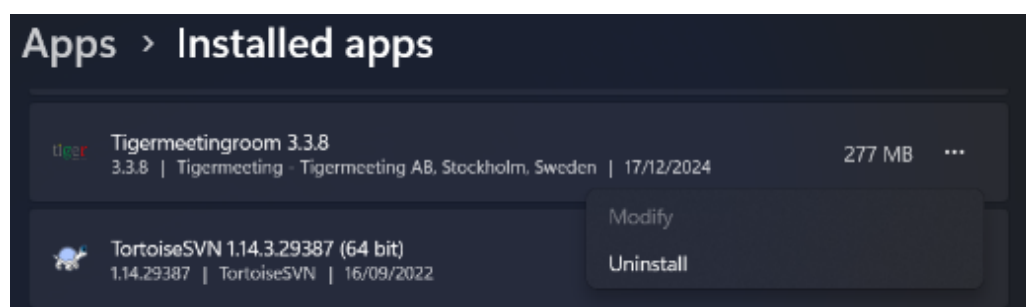
Tigermeeting 管理アプリのアンインストール

Tigermeeting 管理アプリのアンインストールが必要なユースケースもあります。

以下の手順に従ってください。 使用されているオペレーティングシステム:

Windows オペレーティングシステム

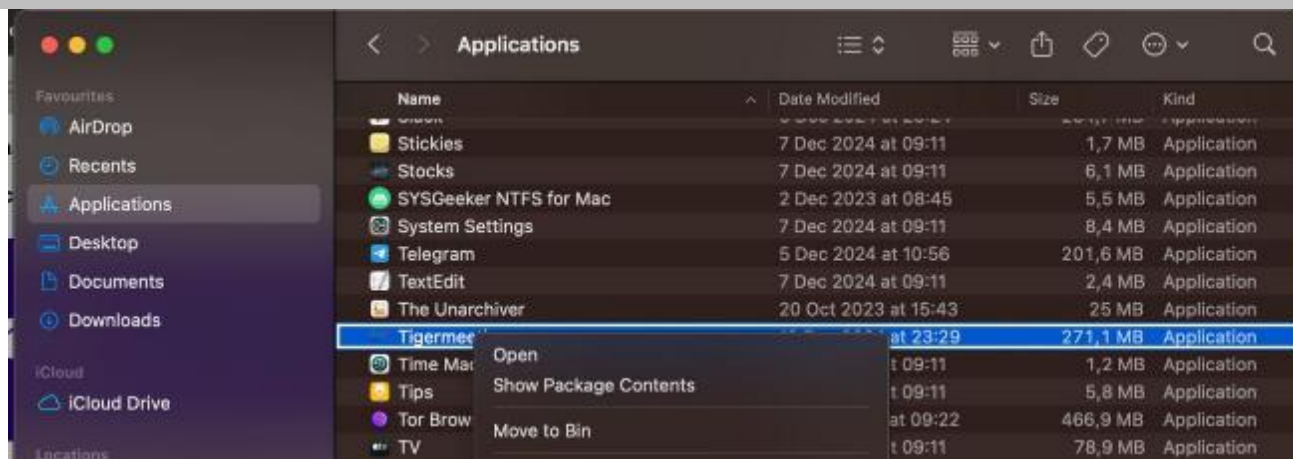
スタートからアプリ>インストール済みアプリへ移動し、TigerMeeting-admin または Tigermeetingroom(旧バージョン)の Tiger ロゴ付きアプリケーションを検索してください
ツリードット(...)を押すとオプションが表示されます。アンインストールボタンを押してください



macOS オペレーティングシステム

Finder -> Applications を開き、Tigermeeting-admin または Tigermeetingroom(旧バージョン)のロゴ付きアプリケーションを検索してください。

Tigermeeting-admin アプリケーションを左クリックするとオプションが表示されます。
プレス:ゴミ箱へ移動



Linux オペレーティングシステム

Tigermeeting Admin Application インストーラーは、Linux オペレーティングシステム向けに 3 つのフォーマットで提供されています。

- RPM パッケージ - RedHat パッケージマネージャー – RedHat、Fedora、SuSE など用です。
- DEB パッケージ – Debian ソフトウェアパッケージ – Debian、Ubuntu、Kali など向け
- AppImage ファイル - Linux 向けのポータブルソフトウェアパッケージで、アプリケーションと異なる Linux ディストリビューションで動作するために必要なすべての要素が含まれています。

RPM パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo rpm -e Tigermeeting-admin
```

DEB パッケージ

ターミナルを開き、スーパーユーザー権限で以下のコマンドを実行します：

```
$sudo dpkg -r Tigermeeting-admin
```

AppImage ファイル

ターミナルを開き、AppImage ファイルの場所をナビゲートします。

rm で実行ファイルを削除してください。 ./Tigermeeting-admin*。AppImage コマンド。

ヒントやコツ、ショートカット

簡単なスクリーンショット

ネットワークビューでデバイス画像をダブルクリックしてください

 delta	IP: 192.168.88.18 ID:513629fe0d4bf6f4	CONNECTED	3.5.12-598
---	--	-----------	------------

クイックデバイスモデルとブランド

ネットワークビューのデバイスイメージをフーバーで重ねてしまいます

 beta	IP: 192.168.88.36 ID:9a9eababb8379dbd	CONNECTED	3.5.12-598
 Not assigned	IP: 192.168.88.26 ID:c0eed9a699b538a6	CONNECTED	3.5.12-598

デバイスのフルファームウェアバージョン

ネットワークビューでデバイスのファームウェアバージョンにカーソルを合わせてください

 Not assigned	IP: 192.168.88.123 ID:645334747af0db78	CONNECTED	3.5.12-598	C06-V21.3-VC-8-HNH-31AL LICENSED	0d 9h 56m
--	---	-----------	------------	----------------------------------	-----------

利用可能なファームウェアおよびソフトウェアアップグレードバージョン

ネットワークビューの赤いアップグレード可能アイコンをホバーで確認してください。

 Not assigned	IP: 192.168.88.45 ID:d05474e6a1740199	CONNECTED	3.5.12-598	XB-RK3566D23-V6.0-BZ-EN
 Not assigned	IP: 192.168.88.45 ID:d05474e6a1740199	CONNECTED	3.5.12-598	XB-RK3566D23-V6.0-BZ-EN
 Not assigned	IP: 192.168.88.20 ID:327062899a385a81	CONNECTED	3.5.12-599	TW1025LASC-B1PNR-R70V2

デバイスをモデルやアプリケーションバージョンで並べ替えてください...

ネットワークビューでデバイスを並べ替える(または逆戻し)するには、上下矢印を押してください。

DEVICE	ROOM	IP / MAC ADDRESS	STATUS	SOFTWARE VERSION	FIRMWARE VERSION	LICENSE	DEVICE UPTIME
 Device Not assigned		IP: 192.168.08.27 ID: e053e45cebec1c63	CONNECTED	3.5.12-599	2.3.2-153	LICENSED	0d 9h 55m

TigerMeeting でお困りですか？

文書

Tigermeeting は、顧客にすべて公開される広範な知識ベースを維持しています。

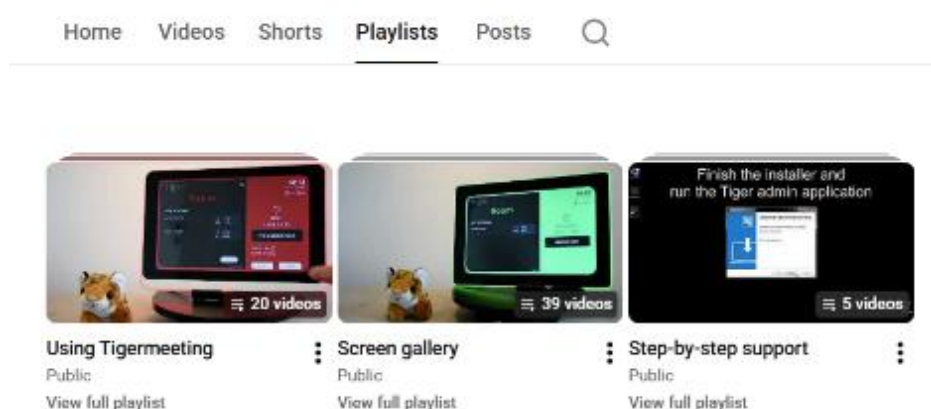
管理者用マニュアルと Android セットアップマニュアルは、Tigermeeting のホームページから複数の言語で入手可能です <https://tigermeeting.app/downloads>

Tigermeeting Manuals



YouTube のヘルプ動画

Tigermeeting の YouTube チャンネルには、実用的なユースケースを扱った多くの動画があります。
<https://youtube.com/@tigermeeting/playlists> のすべてのプレイリストを見てみてください



FAQ

Tigermeeting はよくある質問に対して迅速な回答を提供しています。

より詳細な FAQ はオンラインでご覧いただけます <https://tigermeeting.app/faq>

Q: TigerMeeting スイートの設置を拡張するために、さらに多くのライセンスを購入するにはどうすればよいですか？

A: 一般的には、お近くの Tigermeeting の販売代理店にご連絡ください。
もしこの情報がご不明、またはお住まいの国に地元の代理店がない場合は、
<https://tigermeeting.app/en/contact> までお問い合わせください。

新しいライセンスの購入は、地元の Tigermeeting ディーラーを紹介する形で、または再販業者
がない場合は直接ライセンスを販売するお手伝いをいたします。

タイガーミーティングは世界中で発送可能です。

Q: デバイスを変更するにはどうすればいいですか？ライセンスは影響を受けますか？

A: 一部またはすべての機器を交換する必要がある状況があります。

Tigermeeting のライセンスは、組織内のデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいてい
ます。

ライセンスは組織が所有しています。したがって、組織が購入した範囲内であれば、設定済みデ
バイスからライセンスを簡単に切り離し、同じライセンスを他の新しいデバイスにアタッチすることも
可能です。

ライセンス管理は Tigermeeting 管理アプリを通じて簡単かつ直感的に行えます。

Q: Tigermeeting 管理アプリの費用はいくらですか？ライセンスは必要ですか？

A: Tigermeeting 管理アプリは、Tigermeeting の予約画面や概要画面を設定・管理する中央管
理ツールで、無料製品であり、Tigermeeting ソリューションに含まれています。

<https://tigermeeting.app/en/downloads> ページからダウンロード可能です。

利用するには、少なくとも 1 つの予約画面または 1 つのオーバービュー画面ライセンスが必要で
す。

Tigermeeting Admin アプリは Windows、MacOS、Linux の各オペレーティングシステムで動
作し、Tigermeeting APK を搭載した Android デバイスのみに対応し、他の用途には使用できま
せん。

Q: TigerMeeting 管理アプリは常に動作する必要がありますか？

A: いいえ、Admin アプリは画面の変更や Tigermeeting のインフラ設定の変更に使われます。
変更がコミットされると、Admin アプリは安全に閉じることができます。

詳細については、「管理者アプリの目的とは何か？」をご覧ください。および Tigermeeting アーキ
テクチャのセクションをご覧ください。

Q: Tiger はポートレートモードに対応していますか？

A: Tiger は 2022 年にポートレートモードのサポートを終了しましたが、2025 年に再導入されまし
た。

その理由は、Tiger が 4 インチから 15 インチまでの多くのスクリーンに対応しており、Philips、
IAdea、ProDVX、Aurora、Qbic、Allnet、Samsung、Huawei、Xiaomi、Asus、Oppo など多くの
メーカーから対応しているからです。

テーマ変更、会社のロゴ、オフィス/学校/デスクモードなど、タイガーの機能でこれらすべての異なる画面サイズや解像度に対応するため、Android センサーを基にポートレートモードをサポートしないという戦略的な決定を下さなければなりませんでした。

私たちはこう述べました:市場からの需要があれば、製品部門は将来的に新たな開発を手配するかもしれません。しかし、幅広いスクリーンの選択肢があり、顧客が画面サイズを選べること、そして同じ環境内で異なるベンダーやスクリーンモデルを混用できるため、これまでの問題はありませんでした。

顧客の需要があったため、2025 年にテーマベースの縦向きおよび横向きモードを導入しました。センサーは依然として無視されますが、縦型テーマを選択することで画面は縦向きモードで動作します。管理アプリで利用可能なテーマもぜひご覧ください。

Q: オーダーメイドの特集は可能ですか？

A: Tigermeeting は、市場の需要、技術の進歩、顧客の希望リストによって形作られた明確な製品ロードマップに従っています。

要望された機能がこのロードマップに合致すると、追加費用なしで今後のリリースに追加されます。

オーダーメイドのテーマ、ホワイトラベルブランディング、非標準のカレンダー統合、顧客固有の独自機能実装など、ロードマップ外のリクエストは依然として提供可能ですが、以下のいずれかが必要です。

- 最小注文量(MOQ)、または
- 時間と物資の合意です。

例:

IBM Lotus Notes カレンダー統合の実装には、最低注文数(MOQ)が 300 ライセンスの要件が求められます。

Q: 対応する Android 画面はどこで入手できますか？

A: Tigermeeting は会議室ソリューションのグローバルなソフトウェアプロバイダーであるため、ソフトウェア、ライセンス、サポートは Tigermeeting 自身が担当しています。一方、Tigermeeting は地域の規制やハードウェアのサポート・サービス義務のため、ハードウェアの販売や流通は一切担当していません。

一部の国では、Tigermeeting は現地のハードウェアディストリビューターと契約を結んでおり、ターンキーの Tigermeeting ソリューション(ハードウェア+Tigermeeting ライセンスバンドル)を提供できます。

世界の他の地域では、タイガーミーティングはハードウェアを販売していませんが、フィリップスや他のハードウェアの再販・販売代理店と協力しています。

<https://tigermeeting.app/contact> でご要望やご要望について詳しく教えてください。フィ

リップス、サムスン、レノボ、シャオミ、オポ、ファーウェイ、アマゾン、モトローラ、Asus、Aurora multimedia、Qbic、ALLNET、ProDVX、iiyama、AOpen、AllSee、または IAdea の販売代理店・再販・販売店をお探しし、選んだハードウェアを入手いたします。

Tigermeeting は中国各地の OEM ハードウェアメーカーと協力しており、独自のハードウェア仕様とブランドで Tiger 互換 Android デバイスを製造できます。

世界中のすべての Android デバイスをサポートするのは単純に不可能ですが、異なる Android バージョンやほとんどの異なる画面サイズに対応しられる高度な技術を活用すれば、古い Android スマートフォンやタブレット、より安価なブランドを活用できる可能性が生まれ、Tigermeeting ソリューションはさらに手頃な価格で、世界最高の会議室管理製品の TCO(総使用コスト)を目指します。

Tigermeeting APK はオフィスにあるほぼすべての Android デバイスで動作することを忘れないでください。ただし、Tigermeeting QA チームによるすべてのテストはほぼ不可能です。

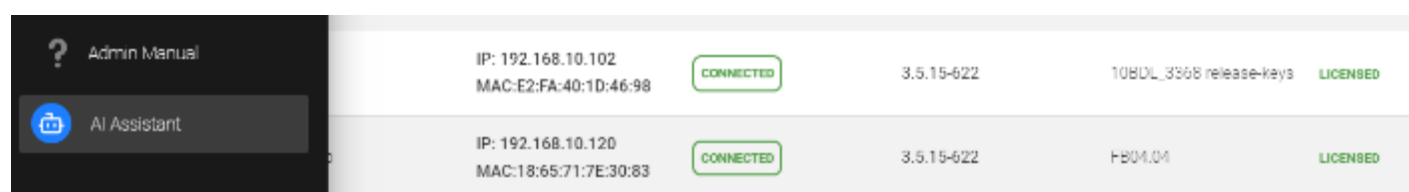
AI アシスタント

AI ドキュメントアシスタントは、Tigermeeting プラットフォームエコシステムに直接統合された専門的なコンテキスト認識型検索拡張生成(RAG)システムです。統一された知能的な言語エンジンによって駆動され、管理アプリケーション内の組み込みツールとしても、製品の公開ホームページを通じてアクセス可能なオンデマンドサポートエンジンとしてもアクセス可能です <https://tigermeeting.app/faq>

システム管理者、ディストリビューター、デプロイエンジニアが数百ページに及ぶ技術参考書を手動で照合する代わりに、アシスタントはインストール、デバイスプロビジョニング、ハードウェア互換性、ワークフローに関する意味的な質問を解析し、即座に実行可能な回答を提供します。

AI アシスタントはネイティブに埋め込まれており、管理アプリケーション内のどのビューからでも、メインの左側ナビゲーションドロワーから呼び出すことができます。

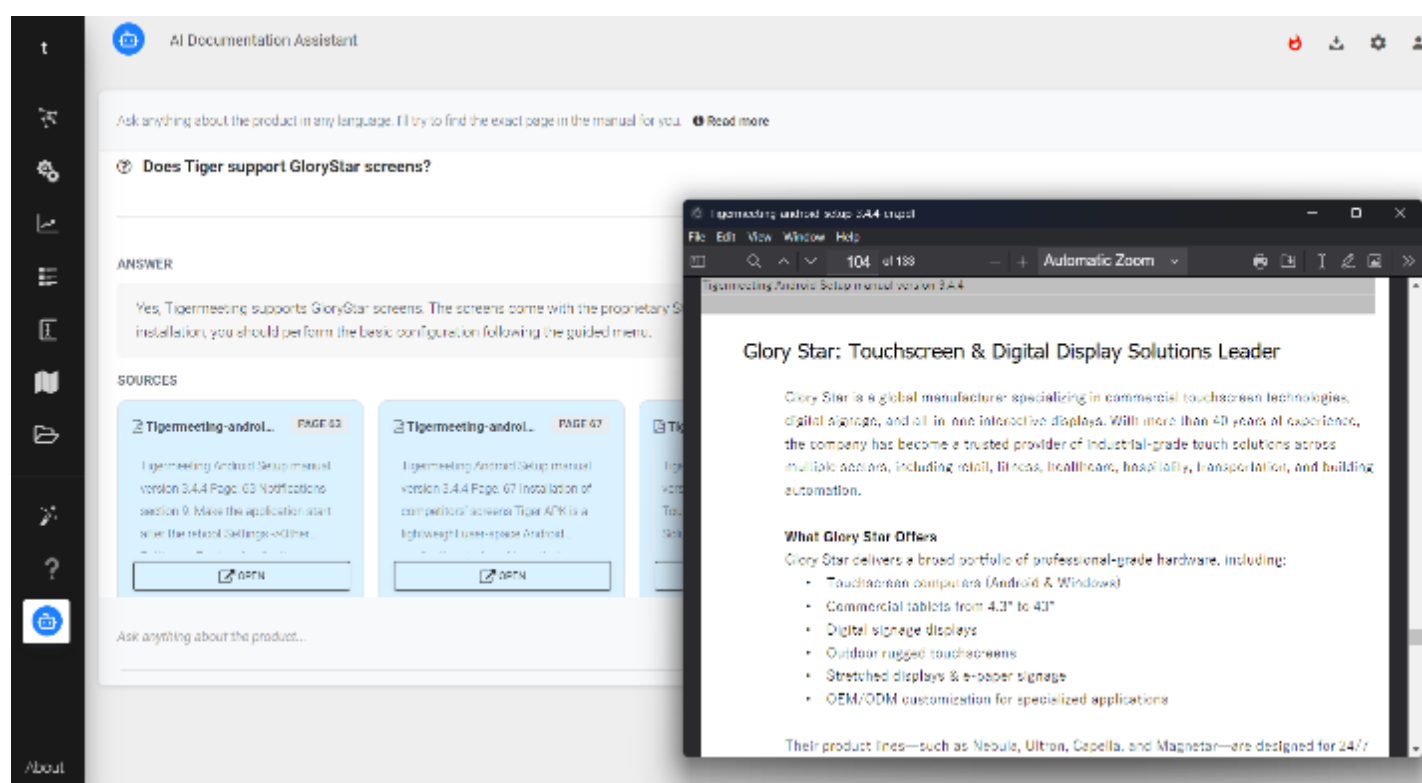
- 左側のメインサイドパネルを見つけてください。
- ウィザードと管理者マニュアルの下の下のセクションまでスクロールしてください。
- 青いロボットアイコンで示される AI アシスタントオプションを選択してください。



ローンチ時には、内部エンジニアリングのオンボーディングを効率化し、サポート時間を短

縮するために設計された明確でワークスペースに焦点を当てたダッシュボードを提供します。エンジンの中核機能は以下の通りです:

- 直接回答合成:単に広範な文書マッチや一般的な検索リンクを返すのではなく、ドキュメントセットの全文脈を読み取り、クエリに対応する簡潔な要約を生成します。
- 出典帰属:回答構築に用いられた親文書と正確なページ参照の明確なリストをまとめます。
- ディープリンク参照マッピング:管理者が包括的な技術マニュアル内の明示的な場所にワンクリックでアクセスできるようにします。
- ネイティブの多言語サポート:任意の言語の質問を受け付け、元のドキュメントで使われている言語に関係なく、ユーザーの方言に合わせた回答を自動的に翻訳します。



クエリが提出されると、バックエンドは自然言語の意味インデックスを通じて処理し、プラットフォームのマニュアルから検証済みのデータポイントを抽出してインタラクティブコンソール内でレンダリングします。

アクティブクエリセッションは応答をターゲットを絞った技術的セグメントに分割します。

- 意味論的クエリ評価:プロンプト(例:「Tiger は GloryStar スクリーンをサポートしていますか?」)は直接下部入力フィールドに入力されます。
- 統合回答欄:アシスタントは互換性を即座に要約します(例:ハードウェアの組み合わせの検証や前提設定の説明)。
- ソース検証カード:システムは、特定のファイル名や正確なターゲットページ(例:63 ページ、67 ページ)など、ターゲットパラメータに合致する構造化されたリファレンスバッジを表示します。

- 即時 PDF ページアンカー:任意のソースカードの OPEN ボタンを押すと、統合されたシステムビューアが自動的に開き(例:Tigermeeting-android-setup-3.4.4-en.pdf の呼び出し)、ハードウェア検証テキストに一致する正確なターゲットページにビューをアンカーします。

Tigermeeting カスタマーサポート

もしご質問の答えが見つからなかったり、個人的な助けが必要な場合は、ぜひ Tigermeeting サポートにご連絡ください。今日、会議室や学校の廊下を輝かせ、成功を手伝ってください。

メール: support@tigermeeting.app

Review us on  Trustpilot

<https://uk.trustpilot.com/review/tigermeeting.app>

お客様の体験を共有することで、私たちのサービスは継続的に向上します。

Tigermeeting ハードウェア互換性マトリックス

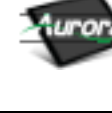
Tigermeeting は、バージョン 4.1 以降のすべての Android デバイス(x86、x86_64、armeabi-v7a、arm64-v8a)をサポートすることを目指しています。

デジタルサイネージや会議室管理向けに特別設計されたターゲット製品を用意しています。

ハードウェアメーカーはしばしば独自の API を提供しています。そして、デバイスと通信し、ハードウェア固有の機能を活用するための SDK です。例えば LED ライトなどです。

TigerMeeting は主要なデジタルサイネージメーカーのデバイスと統合されています。この統合は主にベンダーAPI の機能に依存しており、すべての機能がすべてのデバイスで利用可能というわけではありません。

注: ハードウェア関連以外の純粋な Tigermeeting アプリケーション機能はすべてのデバイスで利用可能です。カレンダー予約機能、テーマやバックグラウンドの変更、オンプレミス管理、分析、ログ、管理アプリの互換性などが含まれます(Tigermeeting の機能については管理ユーザーマニュアルをご覧ください)

1	フィリップス 	アイディア 	ProDVX 	Qbic 	オーロラ 	オールネット 	その他 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リポート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り/認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●~	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	●*_	●	●*	●	●*_
FW アップグレード	●	●^	●^	●	●^	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	●	●	●	●	●=	●=
メンテナンスモード	●	●+	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

2	オープン 	オールゼー 	ELC 	AlSpeech 	シメタ Shimeta 	SWEDX 	タッチウォー 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り /認証	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK の アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	● =	● =	● =	● =	● =	● =	● =
メンテナンスモード	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

3	グーグル 	サムスン SAMSUNG 	プラスワン 	ファーウェイ HUAWEI 	ニューランド Newland 	飯山 Iiyama 	ロックチップ Rockchip 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナーの読み取り /認証	●	●	●	●	● %	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK の アップグレード	● *	● *	●	●	● *	●	● *
FW アップグレード	● ^	● ^	● ^	● ^	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	● =	● =	● =	● =	●	● =	● =
メンテナンスモード	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

4	ポートワールド 	レヴィンコ 	エロタッチ 	スンミ 	グローリースター 	方糖 	オールウィナー 
LED ライト	●	●	● 「	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナー読み取り	●	●	●	●	●	●	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	● =	● =	●	●	●	●
メンテナンス MOD です	●	●	●	●	●	●	●
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

5	ulnk 	シマウマ 	ハネウェル 	ウロヴォ 	ミモ 	データロジック 	ビューソニック 
LED ライト	●	●	●	●	●	●	●
リブート	●	●	●	●	●	●	●
スクリーンショット	●	●	●	●	●	●	●
ビデオプレーヤー	●	●	●	●	●	●	●
デバイス情報	●	●	●	●	●	●	●
NFC/RFID 認証	●	●	●	●	●	●	●
スキャナー読み取り	●	● %	● %	● %	●	● %	●
GPIO 制御	●	●	●	●	●	●	●
司令官後	●	●	●	●	●	●	●
ソフトウェア/APK のアップグレード	●	●	●	●	●	●	●
FW アップグレード	●	●	●	●	●	●	●
HW メトリクス	●	●	●	●	●	●	●
没入モード	●	● =	● =	● =	● =	● =	●
メンテナンス MOD です	●	●	●	●	●	●	● +
アプリストア対応	●	●	●	●	●	●	●

例:

● **-OK-** 機能はサポートされています

● **-いいえ-** ベンダーAPI は機能を可能にしますが、Tiger によって実装されていません。

● **-該当しない-** 該当しない – 操作を実行するための API や権限がありません。

* - SW/APK のアップグレードはトリガー可能ですが、画面上の承認が必要です

- - アプリストアを通じてシームレスなソフトウェア/APK アップグレードが利用可能です

^ - ハードウェアサプライヤーは Tigermeeting とは独立してアップグレードを配信しています。

+ - 再起動後に AppStart を使って再生操作を一時停止してください

~ - 代わりにフィリップスのより優れた CMND 技術を使うこと。詳細は <https://cmnd.io>

= - 画面ピンの使用 (デバイスマニュアルを読んでください)

「」- ポゴ周辺アクセサリ

%- 標準の USB スキャナーに加えて、内蔵の QR コードスキャナーもサポートしています

互換性マトリックスの注意事項:

- 表番号 1、2、3... はあくまで参照用であり、優先順位やグループ分け、特定の順序はありません。
- その他(その他)欄は、その他の任意の Android デバイスすべてを表しています。つまり、どんな Android タブレットや携帯電話でも、それらの機能が動作することを期待できるということです。これらは会議室管理用に明確に設計・製造されていない汎用デバイスです(例えば Sony、Asus、Xiaomi、Lenovo、Tecno、Oppo、Vivo、Itel など)。
- その他グループには、Tigermeeting がまだ完全なハードウェア統合を完了していない優れたデジタルサイネージメーカーのデバイス(Kramer、Black Box、Yealink、Crestron、Harman、Neat、Cisco など)も含まれます。
- **アプリストアのサポート** とは、Google Play、Amazon Appstore、HUAWEI AppGallery、SAMSUNG Galaxy Store、Xiaomi GetApp / Mi App Mall、VIVO V-Appstore、OPPO Store、Transsion Palmstore、Aptoid、ONE Store などの Android アプリストアのデフォルトまたはオプションの利用可能を指します

注:

もし優れたハードウェアや、Tigermeeting がまだ対応していない魅力的な機能を備えた優れた画面を持っているなら、

ぜひご連絡ください。私たちは喜んで統合し、TigerMeeting アプリにデバイスのアイコンを追加します

統合はおそらく簡単です。Tigermeeting Android APK は非常にモジュール化され、丁寧に構築・設計されており、優れたソフトウェアアーキテクチャパターンを採用しています。

さらに、以前のメーカーの統合で蓄積された経験と技術的知識も言うまでもありません。

例えば、Tiger APK は Rockchip および ShiMeta の幅広いチップセットをフルサポートし、zigbee_reset、シリアルポート、jnielc、Yuxian API、adwdev socket、sysfs、Iztech、Milesight などの最も一般的な LED コントローラーをサポートしています。そしてオン/オフ、3 色、7 色、フル RGB カラースキーマをサポートする多くの独自 API も含まれます。

正確な数値で、Tigermeeting アプリケーションは以下をサポートしています：

- 21 種類の異なる Android API(バージョン 16 から 37)
- 17 種類の異なるハードウェアベンダーAPI
- 16 種類の統合 SDK が登場します
- 12 種類の LED コントローラー
- 10 NFC/RFID 技術
- 4 ハードウェアアーキテクチャ
- 9 種類の異なる GPIO API
- 8 種類の異なるチップセット
- 8 つの QR コード/バーコードスキャナーブランド

...そして数え続けている。

近岸、オフショア、極東ブランドおよび OEM メーカーとの戦略的提携により、グローバルな規模で品質、機敏さ、イノベーションを提供しています。

もっと多くの会議室、オフィス、学校の廊下を一緒に輝かせましょう。



お客様に伝えましょう:統合はシームスです。

GDPR 声明

Tigermeeting 製品は独自のハイウォーターマーク分散データベース技術を採用しているため、情報や構成自体はローカルネットワークインフラ内の画面デバイス間のみに分散されます。オンプレミス、中央、外部のデータストアは不要なので、存在しません。

予約および概要画面

- カレンダー操作 - 画面上の予約や予約・概要画面でのカレンダーイベント表示などは、オンラインカレンダーサプライヤー(Microsoft や Google など)間で表示目的のみを目的とした API ベースのリクエスト/レスポンス操作です。個人情報とはデバイス上に保存されたり、他の場所へ転送されたりしません。

管理アプリ

- Tigermeeting 管理者アプリ自体は、管理者がネットワークにログインした瞬間に分散データベースの一部となり、管理者のコンピュータには情報が保存されません。
- しかし、管理者ユーザーのログイン情報や顧客のライセンス情報は、Tigermeeting クラウド(ライセンスサーバーと呼びます)に高セキュリティ暗号アルゴリズムを用いたハッシュ形式で保存されています。これは管理者認証に使用されます。
- もし顧客がそうした場合、Tigermeeting クラウドは顧客のネットワークバックアップ(インフラ設定のスナップショットを暗号化形式で保存し、ネットワーク復元機能に使う)を保存できます。

分析

- 顧客が希望する場合、Tigermeeting Cloud は会議室の分析ページの下に匿名で収集された会議室利用情報を保存するために使われます。これにより、会議室利用統計、予約傾向、企業の予約行動が会議室利用率向上に役立つ有用な情報やハードウェアの健康状態を可視化します。
- イベントは匿名で、ある意味でデバイスの MAC アドレスや Android ID に紐づいています。
- イベントは、分析/イベントログ機能がオンになり、デバイスがイベント中に稼働している間に Tigermeeting アプリケーションから送信されます。詳細については、Admin アプリのドキュメントおよび各 Analytics ページ下部にある Analytics 免責事項をお読みください。

ウェブクッキー

- Tigermeeting は個人情報を含むクッキーを使用しません - 詳細は

<https://tigermeeting.app/cookie-policy> をご覧ください

明示的な要望に応じて、蓄積されたすべてのイベントログやその他の顧客データを提示・配信または永久削除を要求できます。

詳細については、GDPR、CCPA、PIPEDA、CDR、LGPD、POPI の規則に準拠した Tigermeeting プライバシーポリシー(<https://tigermeeting.app/privacy-policy>)をご覧ください。



TigerMeeting はオンプレミスアーキテクチャにより、以下のようなデータおよび情報システムの全国的な自律性要件を自然に満たします。

- 中国のサイバーセキュリティ法およびデータセキュリティ法は、国家の安全と自治を維持するために、特定の種類のデータを国内で保存・処理することを義務付けています
- インドのデジタル個人データ保護法案は、データのローカライゼーションに関する規定を含み、重要なデータが国内に留まることを確実にすることを目的としています。
- ロシアの個人データに関する連邦法(FZ-152)は、ロシア市民のすべての個人データを、まずロシア連邦内に物理的に所在するデータベースに収集・保存することを明示しています。
- ベトナムのサイバーセキュリティ法およびその施行令(例えば法令 53 号)は、特定分野(例:ソーシャルメディア、電子商取引、オンライン決済)における国内外企業に対し、一定期間特定のユーザーデータをベトナム国内に保管することを義務付けています。
- インドネシアの政府規制(GR71 など)では、「パブリックスコープ」電子システムの運用者はインドネシア国内にデータセンターと災害復旧センターを設置しなければならず、事実上ローカルデータ保存が義務付けられています。

サイバーセキュリティコンプライアンス

Tigermeeting AB では、セキュリティ、プライバシー、運用の安定性が会議室管理ソフトウェアの基盤となっています。

現代の欧州連合サイバーセキュリティ基準に備え、包括的なサイバーセキュリティとコンプライアンス文書を公開しました。

この文書には、公式の EU 適合宣言、ネットワーク管理者向けの必須セキュリティ指示、製品サポート

ライフサイクル(エンド)保証、そして EU サイバーレジリエンス法(CRA)および一般データ保護規則(GDPR)に基づき求められる調整脆弱性開示ポリシーが含まれています。



当社の完全なコンプライアンス文書およびガイドラインは、サイバーセキュリティコンプライアンス文書でご覧いただけます:<https://tigermeeting.app/compliance>

DEMO ライセンスをお願いしましょう

DEMO ライセンスは、期間限定の有効期間を持つ完全な機能的な本番ライセンスです。

DEMO ライセンス申請中や DEMO ライセンスの期限切れ後、支払いや義務は一切ありません。

潜在的な顧客が自分の環境で TigerMeeting ソリューションの性能を自分の機器でテストできるようにする狙いです。

DEMO ライセンスの有効期限が切れると、画面はオンラインカレンダーの使用をやめ、最初の DEMO モードに戻るだけで、顧客の環境に害や変化をもたらすことはありません。

顧客は評価期間中または DEMO ライセンスの期限切れ後、いつでも永続ライセンスを注文し、Tigermeeting インフラストラクチャをフルパワーと機能で再び利用することができます。

購入前に、Tigermeeting 製品を自分の環境でテストできる無料のデモライセンスを

<https://tigermeeting.app/en/contact> で申請してください。

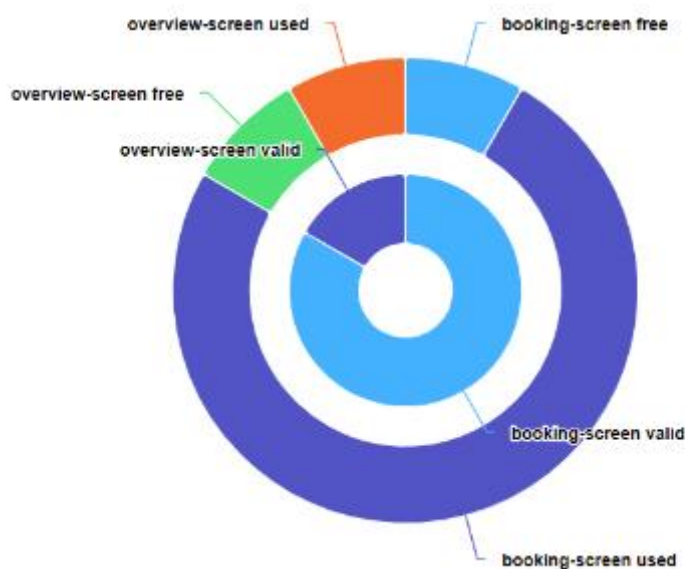
DEMO ライセンスは通常 30 日間有効ですが、これは厳密な制限ではありません。評価にもっと時間が必要な場合は、DEMO ライセンスの有効期限を簡単に延長できます。

ライセンスの有効性および配布は、管理アプリ -> **Analytics** -> **Company** で確認できます。分析レポート。

booking-screen licences: 10 total / 9 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted
overview-screen licences: 2 total / 1 used / 1 free / 0 demo / 0 expired / 0 deleted

Licence summary

A graphical presentation of the table shown above



連絡先情報

メール: info@tigermeeting.app

ウェブ: <https://tigermeeting.app/en/contact>

カスタマーサポート: support@tigermeeting.app

詳細は管理アプリケーションの「About」メニューから入手できます。



ソーシャルメディア

製品ニュースや新発売のイベント更新を受け取りたい方は、ぜひソーシャルメディアでフォローしてください。

LinkedIn <https://www.linkedin.com/company/tigermeeting/>

Facebook <https://www.facebook.com/tigermeeting/>

インスタグラム <https://www.instagram.com/tigermeeting>

ブルースカイ <https://bsky.app/profile/tigermeeting.bsky.social>

GitHub <https://www.github.com/tigermeeting>

X(Twitter) <https://x.com/tigermeeting>

YouTube <https://youtube.com/@tigermeeting>

スレッド <https://www.threads.net/@tigermeeting>

TikTok <https://www.tiktok.com/@tigermeeting>

電報 <https://t.me/tigermeeting>

Pinterest <https://www.pinterest.com/tigermeetingroom/>

WhatsApp

<https://www.whatsapp.com/channel/0029VanwIDn6LwHgKMtMF90S>

魏心 / WeChat



Tigermeeting(c)は Tigermeeting AB の商標であり、その他のすべての商標はそれぞれの会社が所有しています。